

平成 21 年度 先駆的保健活動交流推進事業

保健師の活動基盤に関する基礎調査 報告書

平成 22 年 3 月

社団法人 日本看護協会

はしがき

近年の行財政改革や医療制度の改革により、保健師を取り巻く環境は大きく変動しています。また、新型インフルエンザや児童虐待など保健師が対応すべき健康課題は多様化かつ困難化しています。保健師にはこれらの課題に対応できる、より高い専門性と実践力が求められています。

しかし近年の保健師活動をめぐっては、保健師基礎教育の統合カリキュラムの実施による地域実習の不足などから、保健師の力量低下が危惧されています。また、現任教育体制の仕組みが十分でなく、実践の中で保健師が力をつけていく仕組みづくりも未整備であると考えます。

以上の様な観点から、日本看護協会では厚生労働省の「先駆的保健活動交流推進事業」の一環として、保健師の活動基盤に関する実態を明らかにするために調査を実施いたしました。これまで、保健師個人を対象とした全国的な調査は実施されておらず、初の調査となります。

本会といたしましては、調査結果より明らかとなった保健師の現任教育体制や活動環境の実態を踏まえ、保健師の専門性の発揮を目指した現任教育体制に関する検討や政策提言を行っていきたいと考えております。

保健師の皆様や各方面の方々におかれましても、本報告書を現任教育体制や活動環境を検討する際の資料としてご活用くださいますとともに、ご意見等お寄せくださいますようお願い申し上げます。

最後に、調査にご協力いただいた保健師の皆様、関係団体、都道府県看護協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 22 年 3 月 31 日

社団法人 日本看護協会
会長 久 常 節 子

目 次

I. 調査結果の概要	1
1 調査実施の趣旨	1
2 調査の概要	1
3 回答者の属性	2
4 調査結果のポイント	2
II. 調査結果	5
第1章 回答者(保健師)の属性	5
1. 年齢	5
2. 保健師としての通算経験年数	5
(1)回答者全体での通算経験年数	5
(2)年齢と通算経験年数の関連性	5
3. 最終学歴	6
(1)回答者全体にみる最終学歴の構成	6
(2)各年齢層による最終学歴の違い	6
(3)活動領域による最終学歴の違い	6
(4)大学院(修士・博士)修了者の実態	7
4. 勤務地	8
5. 活動領域・所属組織	9
(1)回答者全体における活動領域・所属組織の割合	9
(2)活動領域・所属組織による年齢構成の差異	9
6. 保健師の職位	10
(1)回答者全体における各職位の割合	10
(2)職位と年齢・経験年数、学歴との関係	10
(3)所属組織別での管理職の割合	11
(4)職位と業務内容	11
7. 統括的な立場の保健師	12
(1)回答者全体における統括的な立場の保健師の割合	12
(2)統括保健師の年齢・経験年数	12
(3)活動領域・所属組織別での統括保健師の割合	12
(4)統括保健師にある者の職位	13
(5)統括保健師の現任教育の受講状況	14
(6)統括保健師の業務内容	14
(7)統括保健師における業務上の決定権の有無及び人事への関与の可否	14
(8)統括保健師の現状の課題認識	15
第2章 保健師の活動環境	16
1. 現在の雇用形態および勤務形態	16
(1)雇用形態・勤務形態	16
(2)活動領域・所属組織による雇用形態の差異	16
2. 産休・育休の取得予定期間	17

(1)産休・育休取得予定期間	17
(2)活動領域・所属組織別での産休・育休取得予定期間	17
3. 保健師としての転職の状況（回数・理由等）	17
(1)転職経験の有無・回数・理由	17
(2)年齢・経験年数や学歴と転職との関係	18
(3)転職理由を「興味・やりがい」「自分の適性の不安」とした者の傾向	18
4. 職場構成	19
(1)保健師1人のみの職場	19
(2)所属組織別での職場構成	19
(3)保健師1人のみの職場における現任教育の機会	20
5. 業務上の決定権（決裁権限）及び人事への関与	20
(1)決裁権限の有無	20
(2)人事への関与	21
6. 連絡会議等（定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワーク）	23
(1)有無や参加状況	23
(2)所属組織による差異	23
第3章 業務内容	24
1. 行政分野の業務内容	24
(1)多くの保健師が携わっている業務	24
(2)経験年数により従事する業務の差異	24
(3)所属組織により従事する業務の差異	24
2. 産業分野の業務内容	25
(1)多くの保健師が携わっている業務	25
(2)経験年数より従事する業務の差異	25
3. 行政・産業以外の分野の業務内容（医療・福祉・教育等）	25
(1)多くの保健師が携わっている業務	25
(2)経験年数により従事する業務の差異	25
(3)所属組織により従事する業務の差異	25
第4章 現任教育	27
1. 新任研修・プリセプターによる指導	27
(1)新任研修	27
(2)プリセプター（指導保健師）による指導	28
2. 中堅研修・管理者研修	29
(1)中堅研修	29
(2)管理者研修	29
3. 活動領域・所属組織による新任・中堅・管理者研修等の受講状況	30
(1)行政分野	30
(2)産業分野	32
(3)行政・産業以外（医療・福祉・教育）の分野	33
4. 長期研修・課題研修	33
(1)長期研修	33
(2)課題研修	34

5. 自主勉強会	34
(1) 自主勉強会への参加状況	34
(2) 年齢による差異	35
(3) 活動領域・所属組織による差異	35
(4) 職位による差異	35
6. 学会への参加	36
(1) 学会への参加状況	36
(2) 経験年数や最終学歴・職位による差異	36
(3) 活動領域・所属組織による差異	36
7. 保健師学生の実習指導受け入れ	37
(1) 保健師学生の実習指導受け入れへの関与の状況	37
(2) 年齢・経験年数・職位による差異	37
(3) 活動領域・所属組織による差異	37
8. スーパーバイザー	38
(1) スーパーバイザーの有無	38
(2) 経験年数や職位による差異	38
(3) 所属組織や1人配置の職場との関係	38
第5章 就労条件	40
1. 超過勤務とそれに対する手当	40
(1) 超過勤務の有無・頻度や手当の有無	40
(2) 年齢や職位と超過勤務	40
(3) 活動領域・所属組織による超過勤務の差異	40
(4) 業務による超過勤務の有無	41
2. 所定休日の（月平均）日数	41
3. 休日出勤	41
(1) 休日出勤の頻度	41
(2) 経験年数・職位・業務による休日出勤の差異	42
4. 有給休暇取得実績	42
(1) 有給休暇の取得実績の状況	42
(2) 経験年数・活動領域や所属組織による差異	43
(3) 休日出勤の頻度と有給休暇取得実績	43
5. 早出・遅出出勤	43
(1) 早出・遅出出勤の頻度	43
(2) 活動領域・所属組織による差異	43
6. オンコール対応	44
(1) オンコール対応の有無	44
(2) オンコール対応に必要な領域・組織・職位等	44
7. 半年以上の休暇	44
(1) 取得経験のある休暇	44
(2) 休業・休暇中における賃金の支給状況	45
(3) 休業・休暇中の代替要員の有無	45
8. 社会保険の完備	45

第6章 現状認識	46
1. 回答者全体としての課題・問題認識	46
2. 属性による課題・問題認識の差異の有無	46
(1) 年齢や経験年数による差異	46
(2) 活動領域による差異	46
(3) 職位による差異	48
(4) 業務による差異	48
Ⅲ. 総括	49
1 回答状況	49
2 活動基盤に関して	49
3 調査上の課題	51
4 今後の取り組みに向けて	52
Ⅳ. 単純集計・クロス集計	53
単純集計	53
クロス集計	88
調査項目	159
事業推進体制	165

I . 調査結果の概要

I. 調査結果の概要

1 調査実施の趣旨

これまで保健師を取り巻く環境は、老人保健法や地域保健法などの法制度の中で大きく変化してきた。また、昨年度から特定保健指導が開始となるなど、医療制度改革により今後も保健師の業務が大きく変化していくことが予測される。

このような中、現在保健師は様々な領域で活動しているが、世代の偏りや2007年問題、保健師間の連携の希薄化や孤立化などから、以前であれば比較的整っていたであろう保健師が学び育つための条件が大きく変化してきている。

また、これまでも保健師は24時間の対応や緊急の対応を行ってきた。しかし、虐待などの緊急を要するケースや解決が困難なケースの増加により、保健師の自己努力だけでは保健活動を実施できない状況が生まれている。時代が変化し、社会のニーズが多様化する中で、保健師が適切に活動できるような体制が求められている。

これらの状況に対応し、保健師が専門性を発揮していくためには、個々の保健師の就労や現任教育・研修等の条件・状況を明らかにし、その特徴や保健師が抱える問題を明らかにする必要がある。しかし、自治体保健師を対象とした既存の調査の多くは個人を対象としておらず、自治体以外の保健師については、概要すらつかむことが困難な状況にある。そこで、本会では保健師の活動基盤の現状を明らかにし、就労や現任教育に関する課題を明らかにすることを目的に調査を実施した。

2 調査の概要

- 1) 調査名 「保健師の活動基盤に関する基礎調査」
- 2) 調査目的 ①保健師が抱える就労条件や労働環境の問題や課題を明らかにする
②保健師の現任教育や研修体制の実態を明らかにする
③保健師の専門性の発揮を目指した支援体制の方向性を明らかにする
- 3) 調査期間 平成21年8月10日(月)～平成21年11月9日(月)
- 4) 調査対象 保健師として活動している(または活動しようと思っている)
全国の保健師
- 5) 調査方法 インターネットのホームページ上で質問に回答するWeb調査
質問数全45問(全て選択式)
- 6) 回答状況 全回答件数 24,107件(内有効回答件数 23,054件)
回答率 53.1% ※参考値による推計*
- 7) 倫理的配慮 本調査は、日本看護協会研究倫理委員会の承認を得て実施した
- 8) 結果の公表 ①全国版の調査結果…本報告書
②各都道府県別集計結果…各都道府県および各都道府県看護協会に別途送付

*有効回答数23,054件÷平成20年度衛生行政報告例43,446人により推計値として算出。

3 回答者の属性

1) 性別

女性が98.4% (22,679人)、男性が1.6% (375人)であった。

2) 年齢

平均年齢は40.7歳。

「20代」18.0% (4,141人)、「30代」29.1% (6,702人)、「40代」29.8% (6,876人)、「50代」4,701人 (20.4%)、「60代以上」634人 (2.7%)であった。

3) 保健師としての通算経験年数

平均通算経験年数は約16年。

経験年数「0～9年」35.2% (8,108人)、「10～19年」27.5% (6,333人)、「20～29年」25.3% (5,830人)、「30年以上」12.1% (2,783人)であった。

4) 最終学歴

「専門学校(保健師養成機関)」61.8% (14,253人)、「短期大学専攻科」10.5% (2,423人)、「四年制大学」24.6% (5,660人)、「大学院修士(前期)課程」2.7% (631人)、「博士(後期)課程」0.4% (87人)であった。

5) 保健師が活動する領域

「行政分野」80.8% (18,516人)、「産業分野」5.8% (1,339人)、「医療分野」4.9% (1,121人)、「福祉分野」4.2% (968人)、「教育分野」2.1% (488人)であった。

6) 保健師の職位

「係員(スタッフ)」45.5% (10,432人)、「主任級」20.5% (4,703人)、「係長級」21.7% (4,980人)、「課長級」5.5% (1,271人)、「部長級」0.6% (144人)、「所長級」0.8% (186人)であった。

7) 統括的な立場の保健師

「自分が統括的な立場の保健師である」と答えた者は17.9% (4,095人)であった。

4 調査結果のポイント

1) 最終学歴の変化

四年制大学卒業者は全体では24.6%であった。しかし20代前半ではその割合が80.0%に達したのに比べて、20代後半では66.1%、30代前半では37.9%、30代後半では14.5%、40代以上では10%以下と年代により大きく異なった。

20代で四年制大学卒業者が多くを占めることは、学生時代に家庭訪問や健康教育等の実習経験が少なかった保健師が多くいると考えられ、現任教育において何らかの対応が必要と考えられる。

2) 管理職の割合

職位では、管理職である「課長級以上」と答えた者の割合は6.9%であった。但し、行政分野において、「都道府県」ではその割合が11.5%であるのに対し「市町村」では4.3%と、同じ行政分野でも所属組織により差があった。

「市町村」における管理職の増加が望まれる。

3) 統括的な立場の保健師

「統括的な立場の保健師である」と答えた者のうち、「中堅研修」の機会がなかった者が28.8%、「管理者研修」の機会がなかった者が35.3%であった。また、「業務上の決定権」がなく「人事への関与」もできない者が44.5%であった。

4) 保健師としての転職回数とその理由（他業種や看護師等からの転職を含む）

転職経験のある者は全体の36.0%であった。その中で転職回数が1回の者は64.7%、2回以上の者は35.3%であった。20代の転職経験者（1,436人）の中には、2回以上転職したことのある者が22.2%（319人）に達している。

5) 職場構成

回答した者の12.1%（およそ8人に1人）が「保健師1人のみの職場」と回答した。

6) 現任教育（※各々の研修について「受けるべき立場にない」の回答を除いた割合）

保健師の現任教育の状況では、「新任研修」の機会がなかった者が20.8%、「中堅研修」の機会がなかった者が35.3%、「管理者研修」の機会がなかった者は45.5%であった。新任研修の際に「プリセプター（指導保健師）による指導」を受ける機会がなかった者は52.6%であった。また、過去1年間に「課題研修」を受ける機会がなかった者は65.7%であった。

同じ行政分野でも「市町村」は「都道府県」などに比べて現任教育を受ける機会が少ない傾向があり、所属組織により差があった。

保健師の現任教育の現状は十分ではなく、改善が求められる。

7) 保健師学生の実習受け入れ

半数以上の保健師が保健師学生の実習に関わっている。中でも「保健所」は72.1%、「保健所設置市」は63.5%と高い割合であった。

8) 超過勤務の賃金

超過勤務者の62.4%は、超過勤務の賃金が全額もしくは一部支給されていない。

9) 保健師の現状認識・問題

約4割の保健師が「分散配置により、保健師間での連携・協力ができなくなった」「産休や育休による人員不足・代替要員の確保が困難」「業務増加により、職場内研修が増加」を選択している。

II. 調查結果

II. 調査結果

第1章 回答者(保健師)の属性

1. 年齢

回答者全体の平均年齢は40.7歳であった。年齢階層別での回答者の割合は、30代・40代が約3割ずつ(30代29.1%(6,702人)、40代29.8%(6,876人))と多く、次いで20代と50代が約2割ずつ(20代18.0%(4,141人)、50代20.4%(4,701人))となった。

年齢を5歳刻みで見ると、「24歳以下」の割合が他の年齢層よりも低い(4.6%(1,062人))が、これは近年の保健師の採用数の状況(特に行政では、定年退職者等が出ないと新規採用はないこと等)も影響しているものと推測される。

【単純集計結果 Q3】

2. 保健師としての通算経験年数

(1) 回答者全体での通算経験年数

回答者の保健師としての平均通算経験年数は約16年であった。10年刻みでの構成割合を見ると、10年未満が35.2%(8,108人)、10～19年が27.5%(6,333人)、20年～29年が25.3%(5,830人)、30年以上が12.1%(2,783人)となった。

【単純集計結果 Q5】

(2) 年齢と通算経験年数の関連性

年齢と経験年数との間にはある程度の相関があった。一方で、どの年齢層においても経験年数の浅い者が若干名はいることから、多様な年代で保健師になる者がいることがうかがえる。

【クロス集計結果 1①】

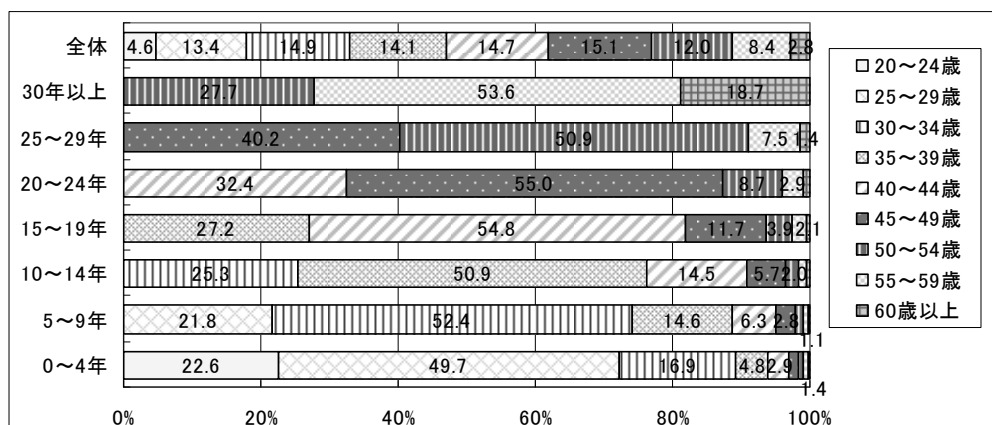


図1 通算経験年数の各層における年齢構成 (n=23,054)

3. 最終学歴

(1) 回答者全体にみる最終学歴の構成

全体の6割程度(61.8%(14,253人))が「専門学校(保健師養成機関)」卒業となり、次いで約1/4(24.6%(5,660人))を「四年制大学」卒業者が占めた。

その他「短大専攻科」が10.5%(2,423人)、「大学院修士(前期)課程」が2.7%(631人)、「大学院博士(後期)課程」が0.4%(87人)となった。

【単純集計結果 Q4】

(2) 各年齢層による最終学歴の違い

全体としては専門学校(保健師養成機関)卒業者が大半であったが、四年制大学卒業者も全体の約1/4を占めるようになっており、特に20代ではその割合が高い(20代前半の80.0%、20代後半の66.1%)。年代が若いほど(最近になるほど)四年制大学卒業者の比率が高まり、専門学校(保健師養成機関)卒業者の比率が低くなる等、年代(時代)により最終学歴は大きく異なる。

このことから、保健師になる過程は、以前は専門学校(保健師養成機関)を卒業してから保健師になるパターンが主流であったのに対し、近年では四年制大学を卒業してから保健師になるパターンが主流になりつつあると言える。20代で四年制大学卒業者が多くを占めることは、学生時代に家庭訪問や健康教育等の実習経験が少なかった保健師が多くいると考えられ、現任教育において何らかの対応が必要と考えられる。

【クロス集計結果 1②】

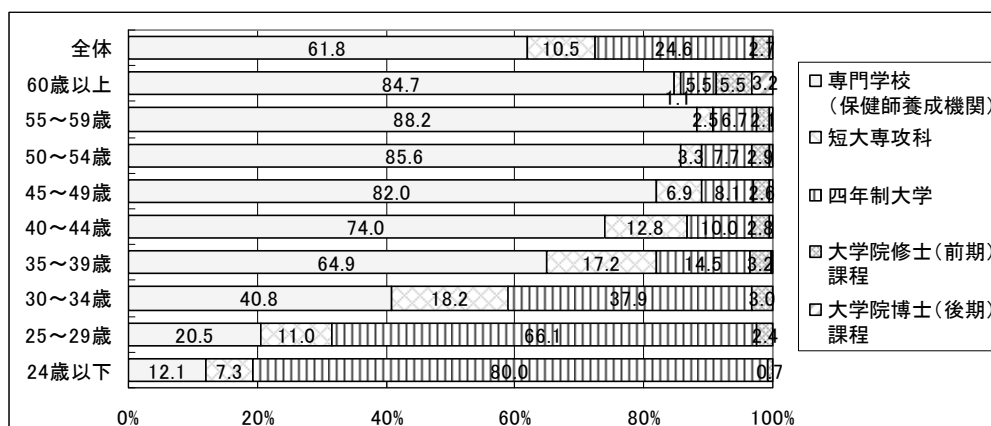


図2 各年齢層における最終学歴(n=23,054)

(3) 活動領域による最終学歴の違い

回答者全体や行政分野での割合(専門学校(保健師養成機関)卒業者が6割超、四年制大学卒業者が1/4弱)に比べて、産業分野や医療分野においては四年制大学卒業者の占める割合が高い(産業分野30.9%、医療分野37.9%)。また、教育分野は約半数(45.7%)を大学院修了者が占めた。

【クロス集計結果 1④】

(4) 大学院（修士・博士）修了者の実態

① 勤務地

回答者のうち大学院出身者の現在の勤務地を見ると、大学院修士（前期）課程修了者（全体の2.7%、631人）は、東京都（51人）、神奈川県（40人）、愛知県（39人）、福岡県（30人）、大阪府（27人）等比較的大都市に集中している傾向が見られる。また、大学院博士（後期）課程修了者（全体の0.4%、87人）は、東京都（11人）以外ではあまり地域的な偏りはない。

勤務地が大都市圏に偏っているのは、大都市圏に大学が比較的多いこと、勤めながらの通学が可能であること等、いくつかの要因が影響していると推測される。大都市圏以外でも大学院修了者の活用は必要なことから、大学院修了者の経験やスキルが発揮・伸長できる環境（キャリアパス）を整備する必要があると考えられる。

【クロス集計結果 1⑤】

② 活動領域・所属組織

大学院修士（前期）課程修了者では、過半（55.2%）が行政分野で、1/4超（26.2%）が教育分野で活動している。また、所属組織別に見ると、約1/3（34.1%）が市区町村（保健所設置市・特別区・市町村）に、次いで1/4超（26.7%）が教育・研究機関に、約1/5（21.4%）が都道府県（都道府県・保健所）に所属している。

大学院博士（後期）課程修了者では、69.0%が教育分野で、次いで行政分野（13.8%）、産業分野（10.3%）で活動している。また、所属組織別では、72.4%が教育・研究機関に、8.0%が市区町村（保健所設置市・特別区・市町村）に、6.9%が企業・事業所に、5.7%が都道府県（都道府県・保健所）に所属している。

各活動領域における大学院修了者が占める割合（全体では3.1%）を見ると、過半を占める教育分野の次は行政分野（2.0%）ではなく産業分野であった（3.9%）。産業分野では、経験者を採用する等採用者の年齢が高いことが大学院修了者の勤務者の比較的多い理由の一つとして考えられる。

【クロス集計結果 1⑦】

③ 大学院修了者の転職状況

他の学歴の回答者に比べ、大学院修了者には転職経験者が非常に多く（修士（前期）課程修了者で60.4%、博士（後期）課程修了者で81.6%）、転職回数も多い。また、保健師として転職した理由としては、「自分の進学」（修士（前期）課程修了者14.9%、博士（後期）課程修了者16.9%）、「自己のキャリアアップ」（修士（前期）課程修了者34.7%、博士（後期）課程修了者40.8%）の割合が特に高くなっており、他の学歴の転職経験者よりも高いキャリア志向を持つ傾向にあると言える。

【クロス集計結果 2(2)】

4. 勤務地

回答者の勤務地の分布はグラフの通りとなった。他の設問と同様、実際の保健師の地域的な分布を示すものではないが、今回の調査における回答者数が多かった都道府県は、愛知県(1,214人、全体の5.3%)、北海道(1,194人、同5.2%)、東京都(1,008人、同4.4%)、大阪府(998人、同4.3%)と、三大都市圏と北海道となっている。

なお、回答率(分母の保健師数には「平成20年保健・衛生行政業務報告」統計表1の実人数を使用して推計した場合)の観点で見ると、高かったのは富山県(82.5%)や山口県(81.8%)、低かったのは東京都(32.8%)や千葉県(35.5%)となった。

【単純集計結果 Q6】

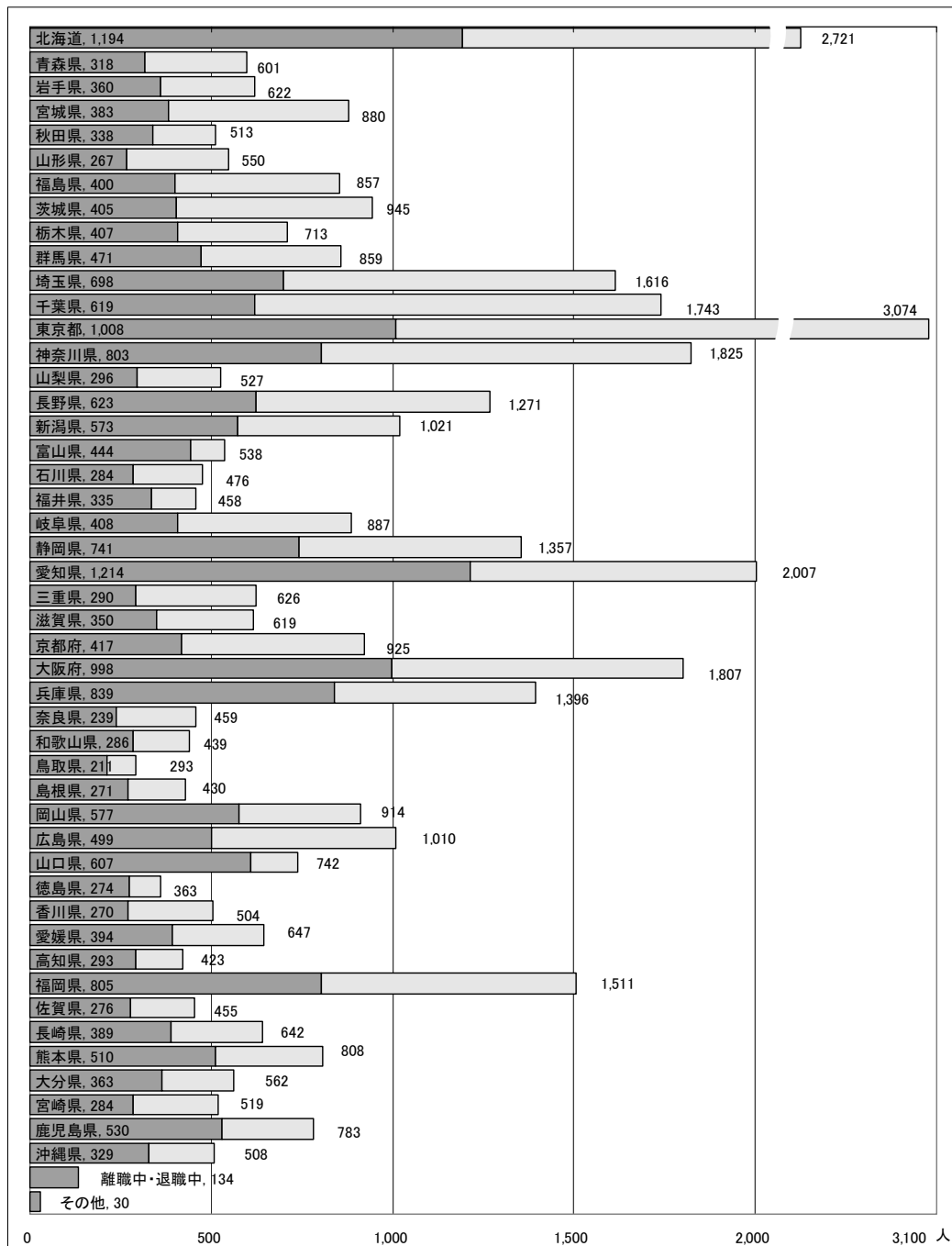


図3 勤務地別回答者数(n=23,054)

5. 活動領域・所属組織

(1) 回答者全体における活動領域・所属組織の割合

①活動領域

回答者全体の約 8 割 (80.8% (18,516 人)) を「行政」が占めた。「行政」以外では、「産業」5.8% (1,339 人)、「医療」4.9% (1,121 人)、「福祉」4.2% (968 人)、「教育」2.1% (488 人) となった。

【単純集計結果 Q7】

②所属組織

「市町村」が 46.3% (10,611 人) と最も多く、次いで「保健所」16.6% (3,801 人)、「保健所設置市」10.7% (2,449 人) となり、市区町村 (市町村・保健所設置市・特別区) に所属する保健師が回答者全体の約 6 割、都道府県 (都道府県・保健所) に所属する保健師が約 1/5 (21.0%) を占めている。

【単純集計結果 Q8】

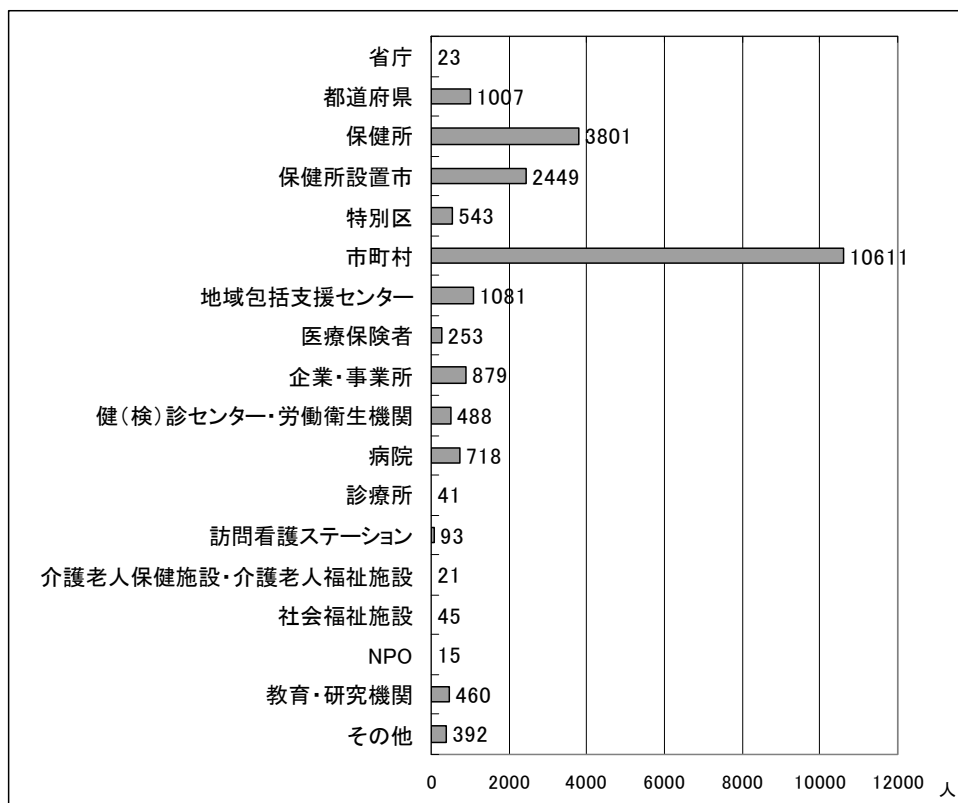


図 4 所属組織別回答者数 (n=22,920)

(2) 活動領域・所属組織による年齢構成の差異

①活動領域

医療分野で 34 歳以下の割合が高く (51.8%)、教育分野では 50 代以上の割合が高い (38.9%)。平均年齢でも医療分野は全体 (40.7 歳) に比べ 4 歳ほど若く (36.6 歳)、教育分野は全体に比べ 6 歳ほど高い (45.9 歳)。

【クロス集計結果 1⑥】

②所属組織

比較的若年層の多い医療分野の中でも、健（検）診センター・労働衛生機関、病院では20代後半～30代前半の割合が高く平均年齢も比較的低い（約36歳）一方、訪問看護ステーションは40代以上の比率が高く平均年齢が全体に比べても高い（45.7歳）。

福祉分野全体（40.9歳）では平均並みでも、介護老人保健施設・介護老人福祉施設では50代以上、社会福祉施設では40代の割合が高い（それぞれ66.7%、42.2%）ために平均年齢も高い（それぞれ53.2歳、48.0歳）。また、全体としては平均並みである行政分野の中でも都道府県（都道府県・保健所）では平均年齢が高い（それぞれ45.3歳、43.2歳）。

【クロス集計結果1⑥】

6. 保健師の職位

(1) 回答者全体における各職位の割合

回答者の45.5%（10,432人）が「係員（スタッフ）」で最も多く、次いで「係長もしくはそれと同等」が21.7%（4,980人）、「主任もしくはそれと同等」が20.5%（4,703人）、「課長もしくはそれと同等」が5.5%（1,271人）、「部長もしくはそれと同等」が0.6%（144人）、「所長もしくはそれと同等」が0.8%（186人）となった。

【単純集計結果Q9】

(2) 職位と年齢・経験年数、学歴との関係

①職位と年齢

管理職（課長級以上。以下同じ）の平均年齢は所長級53.9歳、部長級56.8歳、課長級54.1歳、非管理職の平均年齢は係長級48.9歳、主任級41.4歳、係員（スタッフ）33.7歳と、所長級を除き職位が上がるにつれて平均年齢が上がる傾向にあり、所長級は生え抜きによる年功序列での昇格ではない場合が比較的多いようである。

また、管理職の最年少はいずれも30歳前後となっていることから、ごく一部で抜擢人事もあるようである（20代後半では市町村で管理職1名、30代前半では市町村で管理職2名、企業・事業所、健（検）診センター・労働衛生機関、訪問看護ステーションで管理職4名）。

【クロス集計結果1⑧】

②職位と経験年数

管理職の平均経験年数は所長級26.2年、部長級29.5年、課長級29.3年、非管理職の平均年齢は係長級24.8年、主任級16.9年、係員（スタッフ）8.3年と、年齢と同様、所長級を除き職位が上がるにつれて平均経験年数は上がる傾向にある。

平均年齢に比べ、係長級以上での職位間での平均経験年数の差は小さいことから、昇進は経験年数よりも年齢が重視されていることが推測される。

【クロス集計結果1⑧】

③職位と最終学歴

高学歴であれば職位が高いという関係は見られず、学歴によって職位の処遇がされていることはないようだが、部長級における修士・博士を合わせた大学院修了者の割合は16.7%となっており、結果として他の職位よりも高くなっている。

【クロス集計結果 1⑨】

(3) 所属組織別での管理職の割合

所属組織別に管理職の割合を（結果からの差異として）見ると、同じ行政分野の中でも都道府県（都道府県・保健所）では約1割（10.6%）が管理職となっている（都道府県11.5%、保健所10.4%）のに対し、市区町村（保健所設置市・特別区・市町村）では4.4%しか管理職となっていない。

産業分野においても、健（検）診センター・労働衛生機関（10.2%）では約1割が管理職であるのに対し、企業・事業所では3.9%にとどまっている。

その他、訪問看護ステーション（54.8%）や介護老人保健施設・介護老人福祉施設（47.6%）では管理職の割合が非常に高くなっているが、これらの職場は組織としての規模が比較的小さく、また保健師としての従事者数も少ないという所属組織特有の事情が影響していると思われる。

各組織における管理職ポストの数や割合はそれぞれの組織の規模や業務の執行体制等によって決まることが多数であるから、その数や割合が高いからといって単純にその組織において保健師の専門性が尊重されていることにはならないが、都道府県と市町村のように、少なくとも同じ分野において組織によって大きく異なるようなことは、経験と責任に見合った処遇がなされていない場合もあり*、そのような組織については改善が求められる。

【クロス集計結果 1⑩】

(4) 職位と業務内容

①職位に応じた業務分担の有無

課長級以上の保健師で「管理業務（マネジメント）」を主たる業務として選択している者の割合が比較的高く、係長級以下でほとんどの業務を担当していることから、職位に応じた業務分担が一定程度はされている。

【クロス集計結果 3(3)】

②管理職の業務内容

課長級以上の保健師で「管理業務（マネジメント）」を主たる業務として選択している者の割合は、行政分野で課長級以上の6割前後、行政・産業以外の分野では所長・部長級で5割以上、課長級では3割未満にとどまっている。

産業分野においては、所長を除く係長級以上で「健康管理活動のマネジメント」を主たる業務として選択している者の割合が、また課長級以上で「他職場・他部門との

* 例えば東京都では課長級以上（課長・統括課長・部長）は一般行政職の9.9%、横浜市（課長・部長・局長・区長）では9.2%となっており（いずれも平成20年4月1日現在）、今回の調査結果における市区町村の保健師の管理職の少なさが目立つ。

コーディネート（連絡・連携・調整）」を準ずる業務として選択している者の割合がそれぞれ比較的高いが、それでも1～2割強程度しかいない。

以上のように、全ての管理職がマネジメント系の業務を主たるあるいは準ずる業務にできておらず（あるいは認識・意識しておらず）、実際は管理職であっても現場の業務を行わざるを得ない（あるいは管理職としての管理業務を意識せず現場担当の意識が強い）保健師が少なくないと考えられ、改善が期待される。

【クロス集計結果 3(3)①②】

7. 統括的な立場の保健師

(1) 回答者全体における統括的な立場の保健師の割合

「統括的な立場の保健師」（以下、「統括保健師」という）とは、人材育成や地域全体の健康課題を明確にして活動する観点から、技術的に指導調整する統括的な役割を持つ保健師のことをいう。

今回の調査において、このような統括的な役割を担っているか（統括保健師か）について尋ねたところ、回答者全体の17.9%（4,095人）が「はい」と答えており、回答者のおよそ2割弱が統括保健師であるとしている。保健師がより専門性を発揮するためにも、統括保健師はもっと増える必要があり、可能であれば保健衛生部門に配置されることが望ましい。

【単純集計結果 Q10】

(2) 統括保健師の年齢・経験年数

統括保健師の平均年齢は49.1歳、平均経験年数は約24年であった。統括保健師ではない者の平均年齢は38.8歳、平均経験年数は13.5年であったことから、一定程度キャリアを積んだ者が統括保健師になっていると考えられる。

60歳以上を除き、年齢や経験年数が上がるにつれ統括保健師の割合が増加している。

【クロス集計結果 1⑩】

(3) 活動領域・所属組織別での統括保健師の割合

①活動領域

活動領域別では統括保健師のいる割合に大きな差異は無いが、医療分野（14.2%）や福祉分野（13.0%）が他の分野に比べて若干低い。

【クロス集計結果 1⑪】

②所属組織

同じ行政分野でも、市区町村ではその割合が若干低く（特別区 11.6%、保健所設置市 16.0%、市町村 16.9%）、省庁（26.1%）や都道府県（都道府県 23.8%、保健所 20.9%）で高い。都道府県は組織の規模が大きく所属する保健師数も多いため、統括保健師の役割を持つ者がより必要とされているものと考えられる。

同様に、医療分野では訪問看護ステーション（24.7%）と病院（11.1%）、福祉分

野では介護老人保健施設・介護老人福祉施設（38.1%）と社会福祉施設（24.4%）と同じ分野でも組織によって統括保健師のいる割合に大きな差がある。

【クロス集計結果 1⑬】

表 1 所属組織別の統括保健師の人数・割合

上段：度数・下段：比率(%)	あなたは、統括的な立場の保健師ですか		
	全体	はい	いいえ
全体	22920 100.0	4095 17.9	18825 82.1
省庁	23 100.0	6 26.1	17 73.9
都道府県	1007 100.0	240 23.8	767 76.2
保健所	3801 100.0	795 20.9	3006 79.1
保健所設置市	2449 100.0	392 16.0	2057 84.0
特別区	543 100.0	63 11.6	480 88.4
市町村	10611 100.0	1798 16.9	8813 83.1
地域包括支援センター	1081 100.0	204 18.9	877 81.1
医療保険者	253 100.0	54 21.3	199 78.7
企業・事業所	879 100.0	170 19.3	709 80.7
健(検)診センター・労働衛生機関	488 100.0	85 17.4	403 82.6
病院	718 100.0	80 11.1	638 88.9
診療所	41 100.0	5 12.2	36 87.8
訪問看護ステーション	93 100.0	23 24.7	70 75.3
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21 100.0	8 38.1	13 61.9
社会福祉施設	45 100.0	11 24.4	34 75.6
NPO	15 100.0	1 6.7	14 93.3
教育・研究機関	460 100.0	91 19.8	369 80.2
その他	392 100.0	69 17.6	323 82.4

(4) 統括保健師にある者の職位

統括保健師である割合が高いのは係長級が最も多く(46.5%)、次いで課長級(21.3%)、主任級(12.5%)、係員(スタッフ)(11.4%)であった。必ずしも職位が高くなるとその割合が増えるものではなく、職位の高低との密接な関係はなかった。また係長以下が約7割であることから、管理職とは別の位置付けとなっていることがうかがえる。

但し、主任以下も少なくないものの、結果として課長級と係長級で約7割を占めていた。保健師の技術的な指導調整という統括保健師の役割からするとラインの管理職でなく経験豊富な保健師が任に当たることが適当と考えられる。しかし、実際には適任者を探した結果として、係長級が不足している組織では管理職である課長級を充てているものと考えられる。

【クロス集計結果 1⑭】

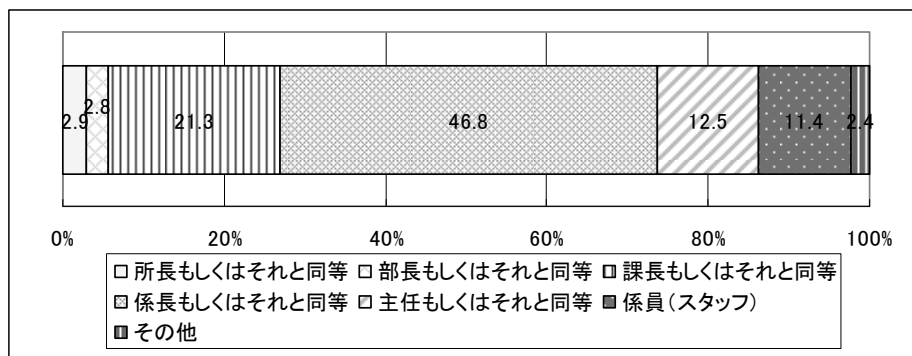


図5 統括保健師の職位(n=4,095)

(5) 統括保健師の現任教育の受講状況

統括保健師はそうでない保健師よりも、中堅研修・管理者研修・長期研修・課題研修（過去一年間）の各受講率、自主勉強会や学会への参加率、保健師学生の実習指導の関与率のいずれも1～2割ほど高い。

しかし、絶対評価で見ると、統括的役割を果たす上で参考となりうる中堅研修や管理者研修において、受講すべき立場にありながら「機会があったが受けなかった」「機会がなかった」統括保健師が3～4割もおり、統括的役割を果たすに必要なノウハウやスキルを有しているかどうか不安な部分もある。

【クロス集計結果 4(6)】

(6) 統括保健師の業務内容

統括保健師以外の保健師に比べて統括保健師の選択率が高い業務は、行政分野では「管理業務（マネジメント）」（主たる業務で31.7%）や「企画調整（研修・調査含む）」（準ずる業務で12.1%）、産業分野では「健康管理活動のマネジメント」（主たる業務で14.1%）や「他職場・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）」（準ずる業務で9.8%）というように、企画・管理的な業務のウェイトが他の保健師に比べると若干大きいようである（行政・産業以外の分野でも同様の傾向）。

ただ、これらの結果は、あくまで統括保健師の大半が係長・課長であることに起因するものと考えられる。また統括保健師の中での業務ウェイトを見ると大半が現業的な業務であった。今回の調査では自らの認識として統括保健師かどうかを問うのみで実際にその任にあるかどうかは不明である。

【クロス集計結果 3(4)】

(7) 統括保健師における業務上の決定権の有無及び人事への関与の可否

統括保健師の約半数（49.7%）が業務上の決定権（以下「決裁権限」という）を持っており、約3割（「人事に関与できる」11.6%、「保健師の人事に関しては関与できる」20.3%）が人事に関与できているとしている。

ただ、権限を持つ職位とは別の役割として、組織内の保健師の技術的な指導・調整を

担う統括保健師としては、保健師の人事に関しては意見を言えることが重要である。いずれの形でも人事に関与できていない統括保健師が約7割に達していることは、統括保健師に期待されている役割が十分に果たされていないことを意味することから、職位とは別の実質的な権限・役割として保健師の人事には関与できるようなあり方が期待される。

【クロス集計結果 1⑮・2(5)】

(8) 統括保健師の現状の課題認識

ほとんどの課題項目において統括保健師の選択率はそうでない保健師の選択率よりも高かったが、その中でも「次期のリーダーが育っていない」(35.4%)、「業務増加により職場内研修の確保が困難」(45.2%)、「新人の人材育成ができていない」(27.1%)などの項目では、統括保健師でない者の選択率との差が特に大きく、統括保健師は人材育成に関する問題意識が高いと考えられる。

【クロス集計結果 6(5)】

第2章 保健師の活動環境

1. 現在の雇用形態および勤務形態

(1) 雇用形態・勤務形態

①雇用形態

正規職員として働く保健師が回答者全体の約9割（90.9%、22,836人）であり、非正規雇用職員の占める割合は全体の1割未満（「臨時職員（雇用期間の定めのある人。但し派遣社員を除く）」5.7%（1,307人）、「派遣社員」0.2%（41人）、「パートタイマー・アルバイト」1.9%（438人）、「その他」1.3%（298人）にとどまっている。

【単純集計結果 Q11】

②勤務形態*

94.5%（21,666人）の保健師が「日勤のみ（定時間勤務）」と圧倒的に多く、保健師の勤務形態として当直や交代勤務がある割合は極めて少ない（全体の3%未満。「日勤+当直あり」1.5%（353人）、「交替勤務（2交替、3交替）」1.0%（239人））。

従って、回答者での割合から見ると、正規職員でかつ日勤のみ（定時間勤務）の保健師が大部分であると言える。

【単純集計結果 Q12】

(2) 活動領域・所属組織による雇用形態の差異

①雇用形態

産業分野では正規職員の割合が75.7%と他に比べて低く、また臨時職員の割合が11.9%と他に比べて高い。

所属組織別に見ると、都道府県や保健所、保健所設置市、特別区、市町村などに勤務する保健師は9割以上が正規職員であるのに対し、医療保険者や企業・事業所に勤務する保健師はその割合が6割～7割台と低く、臨時職員やパートタイマー・アルバイトの割合が比較的高い。また、診療所や訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設でもパートタイマー・アルバイトの割合が比較的高い。

これらの結果から、雇用がしっかりしている行政分野とは異なり、産業分野やそれに関連する組織や、医療・福祉分野の特定の組織では、保健師の雇用形態が比較的不安定であることが読み取れる。

今回の回答者の約8割は行政分野に所属する保健師であり、また行政分野の92.9%が正規職員であることから、雇用形態を回答者全体で見れば保健師の大部分が正規職員となるが、実際は特定の領域・組織では非正規雇用の割合が高いという結果になっている。

【クロス集計結果 2(3)①】

* 休業中の回答者が全体の1.3%と少ないことから、休業中のためにアンケートの案内や回答依頼が伝わっていない可能性があると考えられる。

②勤務形態

ほとんどが日勤のみであるが、領域別では医療分野、組織別では病院、訪問看護ステーション、健（検）診センター・労働衛生機関で「日勤＋当直あり」や「交代勤務」の割合が高い。

【クロス集計結果 2(3)①】

2. 産休・育休の取得予定期間

(1) 産休・育休取得予定期間

回答者のうち、現在産休・育休中の保健師は全体の1.2%（266人）であった。このうち、産休・育休の平均取得予定期間は1年半弱（17ヶ月）となった。期間別では半数以上（52.6%）が1年から1年半程度を予定しているが、中には3年以上の取得を予定している者も8.6%（23人）おり、概ね必要な産休・育休が取得できているようである。

【単純集計結果 Q13】

(2) 活動領域・所属組織別での産休・育休取得予定期間

活動領域別では、行政分野の平均（18.3ヶ月）は全体の平均（17ヶ月）よりやや長め、産業や医療、教育分野は平均より短め（産業分野12.3ヶ月、医療分野12.7ヶ月、教育分野9.4ヶ月）の傾向が現れた。

また、組織別では、都道府県、保健所設置市、地域包括支援センターで19ヶ月前後と特に平均より長め、健（検）診センター・労働衛生機関が9.6ヶ月と短めの傾向が現れた。

これらのことから、雇用・勤務形態と同様に産休・育休の取得に関しても、行政以外の分野の保健師は行政分野の保健師よりも比較的休暇を取得しにくい状況にあると考えられる。

【クロス集計結果 2(3)②】

3. 保健師としての転職の状況（回数・理由等）

(1) 転職経験の有無・回数・理由

① 転職経験の有無・回数

保健師としての転職経験（他業種や看護師等からの転職も含む）が「ある」者は36.0%（8,260人）であった。平均転職回数は約1.6回で、転職経験者のうち64.7%（5,341人）が転職回数は1回としている。

転職経験は他業種や看護師等からの転職も含めていることから、全体の約2/3が転職経験がなく、経験者でも回数が1回程度であることは、保健師としての雇用の流動性は全体としてそれほど高くないと考えられる。

【単純集計結果 Q14】

② 転職理由

26.1% (2,158人) が転職理由を「結婚・妊娠・出産・子育て」としており最も多く、次いで「自己のキャリアアップ」18.8% (1,557人)、「他業種への興味」11.6% (960人) となった。

【単純集計結果 Q15】

(2) 年齢・経験年数や学歴と転職との関係

① 年齢・経験年数と転職

転職経験の有無と経験年数に相関性は見られた（経験年数が長くなる（30年以上を除く）につれて転職経験者の割合が減少）が、年齢とは見られなかった。

年齢と関係があるのは転職理由で、「結婚・妊娠・出産・子育て」は年齢と共に増加しているが、「給料・待遇」「興味・やりがい」「自分の適性の不安」「他業種への興味」は年齢と共に減少している。また、20代後半から30代では「自己のキャリアアップ」が他の年代における割合よりも高かった。

【クロス集計結果 2(1)】

② 20代における転職

転職経験者（20代全体で1,436人）の割合（同34.8%）は、20代前半ではまだ低い（10.0%）が、20代後半になると急激に高く（43.4%）なっている。

転職回数は約2/3が1回だが、細かく見ると若くして複数回の者も少なくなく、20代後半の転職経験者の約1/4（23.7%、314人）は2回以上転職している。

主な転職理由は「他業種への興味」（22.2%）や「自己のキャリアアップ」（21.8%）、「結婚・妊娠・出産・子育て」（10.4%）だが、20代前半に限ると「給料・待遇の低さ」「職場の人間関係」が他の年代に比べ選択率が高かった。

こうした実態を踏まえ、保健師としての意識を高めるような保健師の養成環境や、就職後の職場での何らかのフォロー・働きかけ等が必要になっていると考えられる。

【クロス集計結果 2(1)】

③ 最終学歴と転職

最終学歴が高くなるにつれて転職経験者の割合が増加し、転職理由において「結婚・妊娠・出産・子育て」を理由とする者が減少している。

【クロス集計結果 2(2)】

(3) 転職理由を「興味・やりがい」「自分の適性の不安」とした者の傾向

① 「興味が持てない、やりがいがない」を選択した者（223人）の特徴

主に20代後半から30代前半（40.8%）、経験年数が10年未満（48.0%）の者が中心となった。

全体の人数構成と比べ、専門学校（保健師養成機関）卒業者が少なく、短大専攻科以上の卒業者が多かった。

【クロス集計結果 2(7)】

表2 転職理由で「興味がない・やりがいがない」を選択した者の最終学歴

	転職理由で「興味がない・やりがいがない」を選択した者		回答者全体	
	度数	%	度数	%
全体	223	100.0	23,054	100.0
専門学校(保健師養成機関)	115	51.6	14,253	61.8
短大専攻科	35	15.7	2,423	10.5
四年制大学	62	27.8	5,660	24.6
大学院修士(前期)課程	9	4.0	631	2.7
大学院博士(後期)課程	2	0.9	87	0.4

②「自分の適性の不安」を選択した者(299人)の特徴

主に20代後半から30代前半(36.8%)、経験年数が15年未満の者(69.9%)が中心となった。

全体の人数構成と比べ、専門学校(保健師養成機関)卒業者が少なく、四年制大学卒業者が多かった。

【クロス集計結果2(8)】

表3 転職理由で「自分の適性の不安」を選択した者の最終学歴

	転職理由で「自分の適性の不安」を選択した者		回答者全体	
	度数	%	度数	%
全体	299	100.0	23,054	100.0
専門学校(保健師養成機関)	154	51.5	14,253	61.8
短大専攻科	31	10.4	2,423	10.5
四年制大学	110	36.8	5,660	24.6
大学院修士(前期)課程	4	1.3	631	2.7
大学院博士(後期)課程	0	0.0	87	0.4

4. 職場構成

(1) 保健師1人のみの職場

回答者のおよそ8人に1人(12.1%、2,781人)が「保健師1人のみの職場」に勤務している。

【単純集計結果Q16】

(2) 所属組織別での職場構成

介護老人保健施設・介護老人福祉施設、社会福祉施設、訪問看護ステーションや診療所における勤務者の約6割以上、企業・事業所や病院における勤務者の約3割が保健師1人のみの職場となっており、行政分野以外の所属組織では保健師1人のみの職場が少ない。

また、同じ行政分野であっても、保健所や市区町村(保健所設置市、特別区、市町村)では9割前後の勤務者が保健師複数配置の職場であるのに対し、省庁や都道府県の勤務者の約1/4が保健師1人のみの職場となっており、所属組織によって職場構成に明らかな差異が見られる。

【クロス集計結果2(3)①】

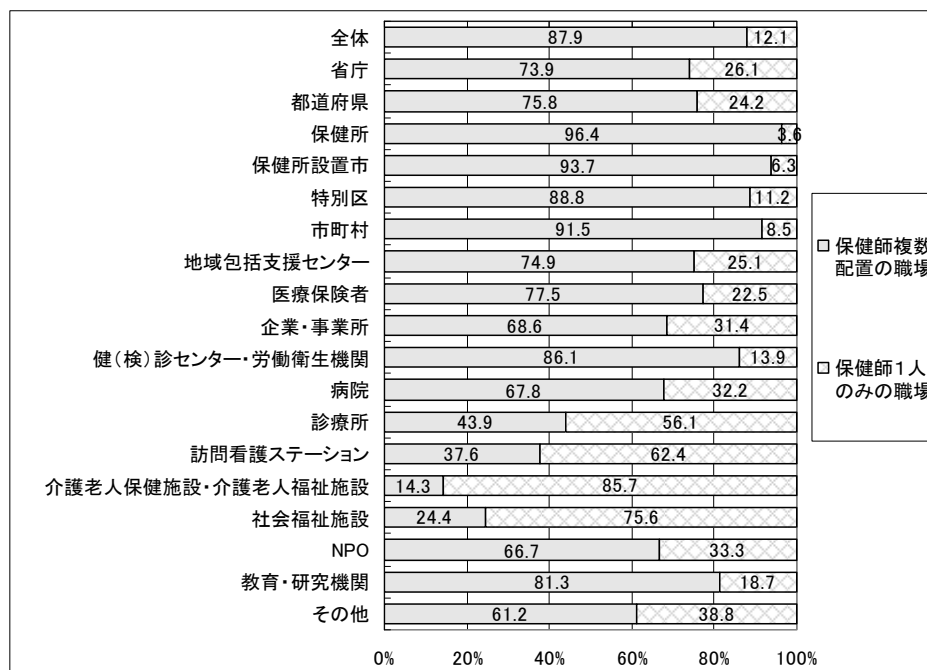


図6 所属組織別での保健師1人のみの職場の人数・割合(n=22,920)

(3) 保健師1人のみの職場における現任教育の機会

保健師が1人のみ配置されている職場（以下「1人配置の職場」と略）と複数配置されている職場（以下「複数配置の職場」と略）とで現任教育の機会の有無や連絡会議等の有無を比較すると、1人配置の職場では、各種の研修において研修機会がなかったとする者の割合が複数配置の職場よりも1割前後高い傾向にある。また、スーパーバイザー（業務上の相談をする人）についても、複数配置の職場では約3/4の者にスーパーバイザーがいるのに対し、1人配置の職場では約半数しかスーパーバイザーがいない。

今回の調査では「保健師が1人のみ配置されている職場」というのが、所属組織全体で1人のみなのか、所属組織全体では複数人所属しているものの配属部署では1人のみ（いわゆる分散配置）なのか、回答者によって捉え方が異なる可能性があり、それによって研修の機会の有無の意味合いが異なってくる。少なくとも1人配置の職場の保健師は教育を受ける機会が複数配置の職場の者よりも少ないということが実態としてあることから、1人配置の職場の保健師に対して現任教育に何らかの手当てが必要であると考えられる。

【クロス集計結果 4(8)】

5. 業務上の決定権（決裁権限）及び人事への関与

(1) 決裁権限の有無

現在の立場で、決裁権限が「ある」とした者は17.7%（4,063人）と2割未満にとどまったが、職位や所属組織による差異の有無は以下の通り。

【単純集計結果 Q17】

①職位による権限の有無

決裁権限は、通常、職位に応じて有する権限であることから、管理職（課長職以上）にある者であれば当然権限を有しているとも考えられるが、権限を有すると回答した者は部長級で91.7%、所長級で86.6%、課長級で75.1%と所長・部長級の1割前後、課長級の4人に1人は決裁権限を持っておらず、管理職でも決裁権限を持っていない者が一定程度いる。

その一方で、所属組織によっては係長級でも30.2%（1,502人）の者が決裁権限を持っていると回答している。業務の迅速化を目指した分権化が進んでいるのか、あるいは管理職ポストが不足しているために事実上の決裁権限のみ付与しているのか、組織の事情によりいずれか（もしくはいずれも）考えられる。

なお、上記の結果は、回答者のイメージする業務上の決定権というのが、どのレベルの決定権としたかによって回答が変わってくる（例えば現場レベルでの決定権であれば現場のリーダーたる課長（場合によっては係長）が、権限を有していると認識した所長や部長であっても「なし」を選択する可能性がある。逆に高度な意志決定をイメージした場合部長や課長であっても「なし」を選択する可能性がある）ので慎重な分析が必要である。

【クロス集計結果 2(4)】

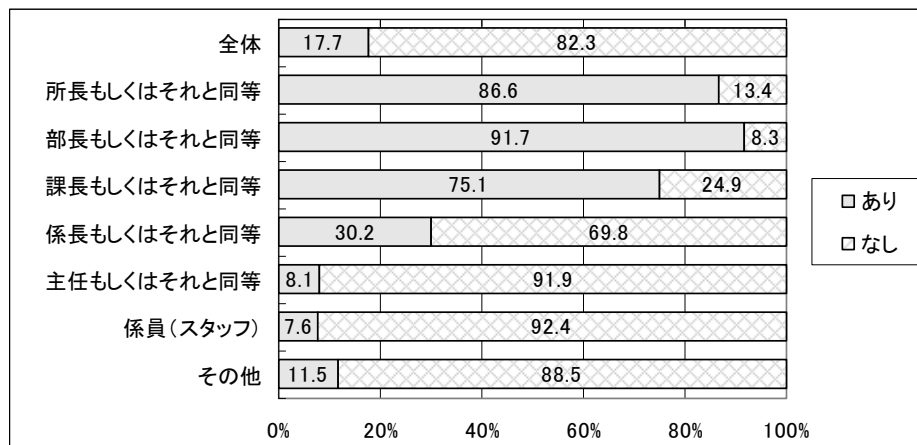


図7 各職位における決裁権限の有無(n=22,920)

②所属組織別の決裁権限の有無

行政分野の各組織では決裁権限がないとする者の割合が高い一方で、権限があるとする者の割合が診療所（36.6%）、訪問看護ステーション（55.9%）、介護老人保健施設・介護老人福祉施設（61.9%）などで高かった。

これらの組織は所属する人数自体が少なく、そのために保健師も1人配置である割合が高く、そして組織内唯一の保健師が管理職である割合も高いことから、権限も含め1人で業務をコントロールしているものと推察される。

【クロス集計結果 2(3)①】

(2) 人事への関与

「人事に関与できる」が3.6%（829人）、「保健師の人事に関しては関与できる」が

5.2% (1,199人)、「関与できない」が91.2% (20,892人)となり、保健師の人事に関与できる者は回答者全体の1割未満にとどまった。なお、職位や所属組織による差異の有無は以下の通り。

【単純集計結果 Q18】

①職位による人事への関与の可否

所属組織や保健師の人事に関与できる割合は、部長級では85.4%だが、課長級では53.6%と決裁権限と20%以上の開きがあることから、決裁権限はあれど人事には関与できない課長が少なくないようである。

また、係長級にある者でも決裁権限を持つ者は3割程度いたが、人事への関与についても決裁権限よりは少ないものの、12.7% (633人)の者が関与できている。

人事は人事部門の所管業務であることもあって関与が限定的となっており、かつ職位の影響を強く受けていると言える。

なお、決裁権限を持ちかつ何らかの形で人事への関与もできる者は、所長級で53.8%、部長級で63.2%、課長級で24.9%となっており、両方の権限を有する者は管理職の中でも限られている。

【クロス集計結果 1⑩・2(4)】

表4 各職位における決裁権限と人事への関与の可否

上段:度数・下段:比率(%)	全体	人事に関与できる	保健師の人事に関しては関与できる	関与できない
全体	22920 100.0	829 3.6	1199 5.2	20892 91.2
所長もしくはそれと同等計	186 100.0	102 54.8	21 11.3	63 33.9
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 161 100.0	100 53.8	18 9.7	43 23.1
なし	25 100.0	2 1.1	3 1.6	20 10.8
部長もしくはそれと同等計	144 100.0	92 63.9	31 21.5	21 14.6
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 132 100.0	91 63.2	26 18.1	15 10.4
なし	12 100.0	1 0.7	5 3.5	6 4.2
課長もしくはそれと同等計	1271 100.0	335 26.4	346 27.2	590 46.4
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 954 100.0	317 24.9	292 23.0	345 27.1
なし	317 100.0	18 1.4	54 4.2	245 19.3
係長もしくはそれと同等計	4980 100.0	114 2.3	519 10.4	4347 87.3
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 1502 100.0	85 1.7	362 7.3	1055 21.2
なし	3478 100.0	29 0.6	157 3.2	3292 66.1
主任もしくはそれと同等計	4703 100.0	32 0.7	103 2.2	4568 97.1
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 381 100.0	17 0.4	52 1.1	312 6.6
なし	4322 100.0	15 0.3	51 1.1	4256 90.5
係員(スタッフ)計	10432 100.0	102 1.0	142 1.4	10188 97.7
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 794 100.0	50 0.5	56 0.5	688 6.6
なし	9638 100.0	52 0.5	86 0.8	9500 91.1
その他計	1204 100.0	52 4.3	37 3.1	1115 92.6
業務上での決 定権(決裁の 権限)	あり 139 100.0	38 3.2	20 1.7	81 6.7
なし	1065 100.0	14 1.2	17 1.4	1034 85.9

②所属組織による人事へ関与ができる者の割合

組織もしくは保健師のいずれかの人事に関与できる者の割合は、行政分野の各組織が1割未満であるのに対し、企業・事業所は24.6%（「人事に関与できる」13.1%、「保健師の人事には関与できる」11.5%）と比較的高く、組織として人事部門がしっかり人事をコントロールしている行政より企業・事業所の方が、人事に関与しやすいという結果になっている。

また、訪問看護ステーション（「人事に関与できる」46.2%、「保健師の人事には関与できる」2.2%）や介護老人保健施設・介護老人福祉施設（「人事に関与できる」52.4%、「保健師の人事には関与できる」9.5%）では人事に関与できる者の割合が非常に高い。これは、これらの組織では保健師の所長職の割合が高く、規模も比較的小さいという事情が影響していると考えられる。

同様に、職場の規模が比較的小さい診療所（「人事に関与できる」14.6%、「保健師の人事には関与できる」14.6%）や、教育・研究機関（「人事に関与できる」16.7%、「保健師の人事には関与できる」7.4%）などの組織でも、行政より組織や保健師の人事に関与できる者の割合が高い。

【クロス集計結果 2(3)①】

6. 連絡会議等（定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワーク）

(1) 有無や参加状況

連絡会議等（定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワーク）に「参加している」者は63.8%（14,632人）、「連絡会議等はあるが参加していない」者は19.6%（4,498人）、「連絡会議等がない」者は16.5%（3,790人）となった。連絡会議等がない、あるいは参加していない者が約4割に達しており、高い。

【単純集計結果 Q19】

(2) 所属組織による差異

行政分野の各組織は概ね参加率が6～7割と比較的高いが、唯一、都道府県のみ参加率が49.6%と低く、連絡会議等がないとしている率が高い（32.2%）。

また、企業・事業所、医療保険者に所属する保健師は6割以上が参加していると答えている。

一方、健（検）診センター・労働衛生機関、病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設などでは、連絡会議等への参加率が2～4割弱と低く、病院や介護老人保健施設・介護老人福祉施設では連絡会議等がないとしている率が4割程度と高い。

【クロス集計結果 2(3)①】

第3章 業務内容

1. 行政分野の業務内容

(1) 多くの保健師が携わっている業務

活動領域として行政分野を選択した保健師のうち、多くの保健師（およそ5人に1人以上）が従事している業務（主たる業務もしくは準ずる業務のいずれかで選択された業務）は、「母子保健」が最も多く（31.6%）、次いで「健康づくり」（24.0%）、「地区担当」（21.6%）、「生活習慣病予防（がん対策含む）」（20.4%）などとなった。

【単純集計結果 Q20】

(2) 経験年数により従事する業務の差異

「母子保健」や「地区担当」を主たる業務・準ずる業務とする者は経験年数が上がるに連れてその割合が減少していることから、行政機関の保健師となった当初は母子保健や地区担当に携わり、その後他の業務を経験していく傾向が見られる。

「管理業務（マネジメント）」の割合は経験年数が上がるにつれて高くなってはいるものの、経験年数30年以上の者でも3割程度にとどまっており、ベテランでも約7割は現業に従事している。

同様に経験が重視されていると思われる業務は「企画調整」であるが、経験年数が上がるに連れて従事者の割合が高まっており、特に経験年数20年以上の者が主に担当している傾向が見られる。

これら以外の業務で経験年数に応じた業務配置は明確には見えず、行政分野におけるベテラン保健師は介護関連業務へ集中配置されているという一般的に言われているような事象は今回の調査結果（介護関連業務は10%程度で、他の業務と大きな差はなかった）からは見られなかった。

【クロス集計結果 3(1)①】

(3) 所属組織により従事する業務の差異

そもそも、行政分野では業務によって所管する組織が異なることから、組織によって主たる業務に違いが見られる。

市区町村では母子保健に関わる者の割合が多い（保健所設置市 23.6%、特別区 16.1%、市町村 26.7%）。それ以外の業務では、市町村では生活習慣病予防（がん対策含む）（18.9%）、保健所設置市や特別区では地区担当の占める割合が高い（各 19.0%、31.9%）。

保健所でも母子保健の割合が比較的高い（17.2%）ものの、やはり他と異なる専門である感染症対策（17.4%）のほか、精神保健（16.4%）、難病（10.2%）の占める割合が高い。

介護保険等介護や高齢者福祉は、地域包括支援センターがほとんどであった。

【クロス集計結果 3(2)①】

2. 産業分野の業務内容

(1) 多くの保健師が携わっている業務

活動領域として産業分野を選択した保健師のうち、半数以上の保健師が従事している業務（主たる業務もしくは準ずる業務のいずれかで選択された業務）は、「健康相談・保健指導」（57.7%）や「各種健康診断と事後管理」（50.1%）であった。次いで比較的多くの保健師が従事しているのが「メンタルヘルス対策」（21.0%）や「生活習慣病対策」（14.8%）となった。

【単純集計結果 Q21】

(2) 経験年数より従事する業務の差異

産業分野の多くの保健師が従事している「各種健康診断と事後管理」の割合も、経験年数が上がるに連れて減少する傾向にある。

一方、「健康管理活動のマネジメント」や「健康・衛生管理体制の整備と参画」に従事する者の割合は、経験年数が上がるにつれて微増する傾向にある。

メンタルヘルス対策はどの経験年数でも担当しているが、どちらかと言えば、経験年数15年以上の比較的長い者がより多く担当している。

【クロス集計結果 3(1)②】

3. 行政・産業以外の分野の業務内容（医療・福祉・教育等）

(1) 多くの保健師が携わっている業務

行政・産業以外の分野の保健師のうち、多くの保健師が従事している業務（主たる業務もしくは準ずる業務のいずれかで選択された業務）は、「保健指導」（42.3%）、「健診業務」（27.2%）、「看護師業務（在宅看護・訪問看護含む）」（17.9%）などとなっている。さまざまな分野が混在しており、共通点が少ないことから、多くの者が選択した分野の業務に結果としてひっぱられていると推測される。

【単純集計結果 Q22】

(2) 経験年数により従事する業務の差異

「管理業務（マネジメント）」や「企画調整（研修・調査含む）」の割合は経験年数が上がるにつれて高くなっていることから、様々な分野が混在している中で共通する傾向であると言えるが、経験年数の長い者でも前者が8%程度、後者でも2割程度にとどまっている。

その他、ケアプランの作成はどの経験年数でも従事しているが、特に経験10～19年の者が中心になっているようである。

【クロス集計結果 3(1)③】

(3) 所属組織により従事する業務の差異

行政・産業以外の分野ということで、様々な分野が混在しており共通点が少ない

が、多くの者が選択している組織は、病院、市町村、地域包括支援センター、教育・研究機関、健（検）診センター・労働衛生機関であった。

これら所属組織によって多くの者が従事している業務は異なり、病院ではやはり看護業務（在宅看護・訪問看護含む）や保健指導、健診業務の従事者割合が高く、訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設では課長職以上や統括的役割を持つ者の割合が多い影響からか、管理業務（マネジメント）の従事者割合が高かった。

【クロス集計結果 3(2)③】

第4章 現任教育

1. 新任研修・プリセプターによる指導

(1) 新任研修

① 新任研修の受講状況

現在の職場における新任研修の受講経験は、「受けた」が69.6%（15,946人）、「機会があったが受けなかった」が0.6%（145人）、「機会がなかった」が18.5%（4,233人）、転職等の理由から現在の職場では「受ける立場にない」とした者は11.3%（2,596人）であった。

「受ける立場にない」を除いた受けるべき者（20,324人）の中では、「機会があったが受けなかった」者は少ない（0.7%）ものの、約5人に1人（20.8%）が「機会がなかった」としている。

【単純集計結果 Q23】

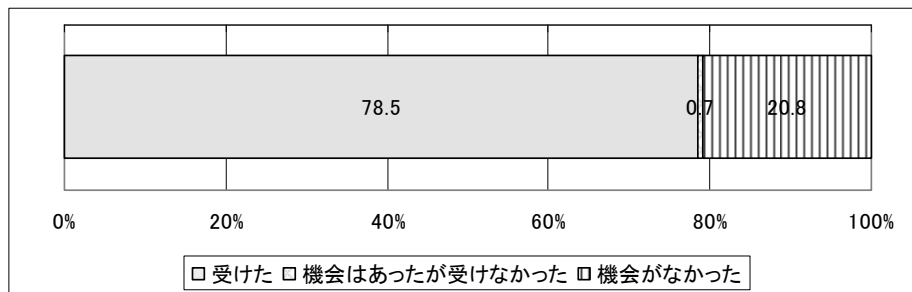


図8 新任研修の受講状況 (n=20,324)

② 年齢との関係

受けるべきなのに研修の機会がなかった者は、50代以上では約3割もいるのに対し、20代後半～30代では約15%前後、20代前半では10.1%となった。

このように、概ね年齢が若い層（近年）では新任研修の機会がなかった者の割合は低くなってきているようであり、各所属組織における研修環境の改善が進んできているとも言えるが、しかしながら20代でもおよそ1割から2割弱の者は新任研修を受ける機会がなかったとしている。

【クロス集計結果 4(1)】

③ 経験年数との関係

受けるべきなのに研修の機会がなかった者は、経験年数が30年以上では3割に達しているのに対し、5～14年では16%前後、5年未満では約2割（19.7%）となり、年齢と同様、昔ほど受講機会がなかった人が多いと言える。

新任研修の機会がなかった者の割合は、年齢が若い者よりも経験年数が短い者の方が高く、どの年代にも経験年数の短い者が一定程度含まれていることも考慮すると、保健師以外の職種等で一定のキャリア・年齢を経た者が保健師になった場合に、保健師としての新任研修を受けないことがあることも影響していると推測される。

【クロス集計結果 4(1)】

(2) プリセプター（指導保健師）による指導

① プリセプターによる指導の有無

現在の職場におけるプリセプターによる指導の受講経験は、「受けた」が 39.7%（9,099 人）、「機会があったが受けなかった」が 0.8%（184 人）、「機会がなかった」が 44.9%（10,297 人）、転職等の理由から現在の職場では「受ける立場にない」が 14.6%（3,340 人）であった。

「受ける立場にない」を除いた受けるべき者（19,580 人）の中では、半数以上（52.6%）が「機会がなかった」としており、新任研修の機会がなかった者は 2 割程度となっていることから、就業当初の教育としては、新任研修はあれどプリセプターによる指導体制はないという組織が少なくなかったと言える。

【単純集計結果 Q24】

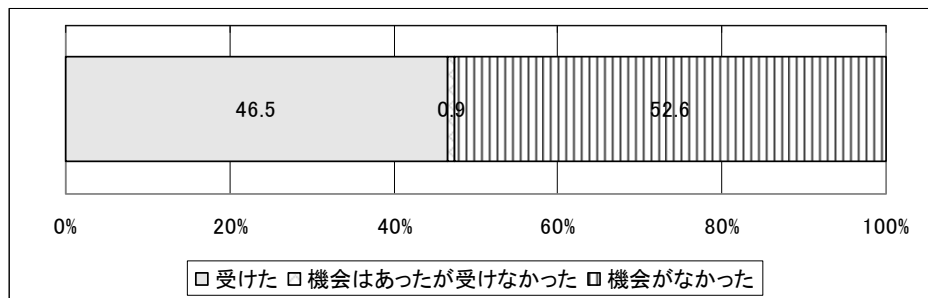


図 9 プリセプターによる指導の有無 (n=19,580)

② 年齢との関係

受けるべきなのにプリセプターによる指導を受ける機会がなかった者は 30 代以上の 5 割以上、特に 40 代・50 代では 6 割前後に達するのに対し、20 代前半では 23.2% となっており、20 代（最近）はプリセプターによる指導を受ける機会が比較的あるようである。

【クロス集計結果 4(1)】

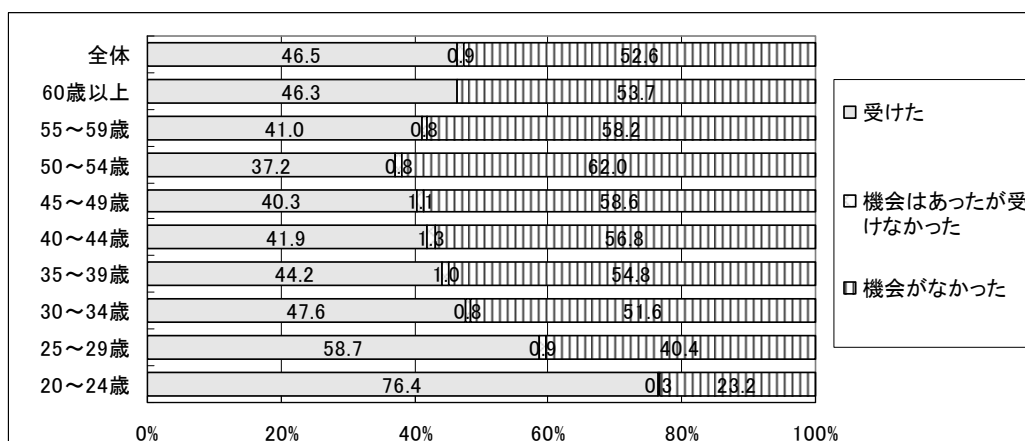


図 10 年齢別のプリセプターによる指導の有無 (n=19,580)

2. 中堅研修・管理者研修

(1) 中堅研修

① 中堅研修の受講状況

現在の職場における中堅研修の受講経験は、「受けた」が40.3%（9,233人）、「機会があったが受けなかった」が2.9%（666人）、「機会がなかった」が23.5%（5,397人）、転職等の理由から現在の職場では「受ける立場にない」が33.3%（7,624人）であった。

「受ける立場にない」を除いた受けるべき者（15,296人）の中では、約3人に1人（35.3%）が「機会がなかった」としている。

【単純集計結果 Q25】

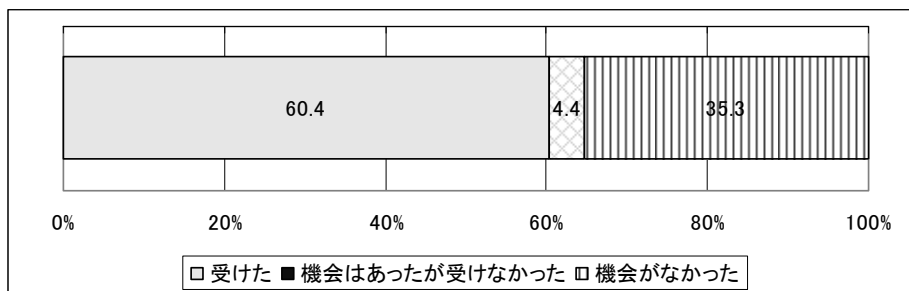


図 11 中堅研修の受講状況(n=15,296)

② 経験年数との関係

中堅研修はある程度の経験者が受講対象となるべきことから、経験年数が増えるにつれて研修受講者の割合は増加しており、経験10年目までに約半数が受講するという結果は、概ね妥当な人材育成を行っている組織が少なくないと言える。

一方で、経験10年以上のかなりのキャリアを積んでいる保健師の中でも、中堅研修の機会がなかったとする者が3割以上はいる。

【クロス集計結果 4(1)】

③ 職位との関係

受けるべきなのに研修の機会がなかった者は係長級で29.6%、課長級で29.6%、部長級で31.5%、所長級で43.2%となった。

機会があったが受けなかったとする者も含めると、現在（もしくは以前）中堅職員である（あった）主任級以上の者（10,094人）の約3人に1人が中堅研修を受けていない。

【クロス集計結果 4(5)】

(2) 管理者研修

① 管理者研修の受講状況

現在の職場における管理者研修の受講経験は、「受けた」が12.7%（2,922人）、「機会があったが受けなかった」が0.9%（213人）、「機会がなかった」が11.4%（2,621人）、転職等の理由から現在の職場では「受ける立場にない」が74.9%（17,164人）であった。

「受ける立場にない」を除いた受けるべき者（5,756人）の中では、半数弱（45.5%）

も「機会がなかった」としている。

【単純集計結果 Q26】

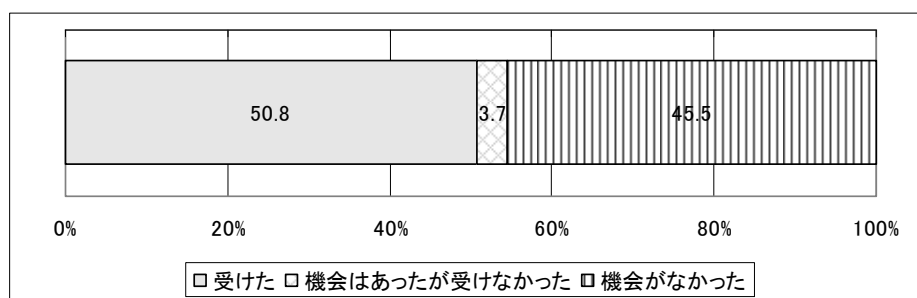


図 12 管理者研修の受講状況 (n=5,756)

②職位との関係

受けるべきなのに研修の機会がなかった者は係員（スタッフ）で 85.4%、主任職で 63.3%、係長職で 38.8%、課長職で 30.3%、部長職で 20.6%、所長職で 32.9% となった。係員等の非管理職でも管理者研修の機会がなかったと回答した者が相当数いるため、全体集計における管理者研修の機会がなかった者の割合が若干高くなっているとも考えられるが、管理者研修を受けるべき本来の対象である管理職（すなわち課長職以上の者：1,389人）の中でも、機会があったが受けなかったとする者も含め約 3 人に 1 人（32.6%）が管理者研修を受けておらず、実際かなりの数の管理職がその立場に相応の研修を受けていないという結果となった。

また、20代で新任研修の機会がなかったとする者が 1～2割であったことをふまえると、経験の浅い者に対する研修の機会は徐々に増えつつある一方で、管理職等ある程度経験を積んだ者に対する指導力強化等に関する研修の機会は不足しているのではないかと推察される。

【クロス集計結果 4(5)】

3. 活動領域・所属組織による新任・中堅・管理者研修等の受講状況

(1) 行政分野

① 行政分野での受講状況

行政分野における新任研修、プリセプターによる指導、中堅研修、管理者研修の受講状況は次表のようになった。行政以外の分野よりも受講率が高く、「機会がなかった」とする者の割合が全般的に低いことから、行政分野は他に比べると、比較的教育・研修の機会・環境に恵まれていると言える。

【クロス集計結果 4(4)】

表 5 行政分野における各種研修の受講状況

	「受けた」		「受けなかった」		「機会がなかった」	
	全体	行政	全体	行政	全体	行政
新任研修	78.5%	82.7%	0.7%	0.8%	20.8%	16.5%
プリセプターによる指導	46.5%	48.2%	0.9%	1.0%	52.6%	50.7%
中堅研修	60.4%	64.9%	4.4%	4.7%	35.3%	30.3%
管理者研修	50.8%	55.9%	3.7%	4.3%	45.5%	39.8%

②勤務地（都道府県）による受講状況等の差異

行政分野全体としては他分野に比べると教育・研修の機会・環境に恵まれているが、同じ分野の中でも地域差が生じている。

表6 行政分野における、勤務地(都道府県)別での、各種研修の「機会がなかった」の割合

	新任研修	プリセプターによる指導	中堅研修	管理者研修
回答者全体	20.8%	52.6%	35.3%	45.5%
行政分野全体	16.5%	50.7%	30.3%	39.8%
北海道	11.1%	62.7%	36.9%	52.8%
青森県	19.2%	50.4%	21.4%	33.8%
岩手県	27.1%	55.1%	39.4%	46.7%
宮城県	14.7%	65.7%	16.7%	30.4%
秋田県	26.4%	56.1%	33.0%	43.2%
山形県	26.5%	57.6%	41.8%	46.5%
福島県	31.0%	67.2%	53.3%	56.8%
茨城県	12.1%	57.6%	33.1%	58.3%
栃木県	18.8%	45.4%	25.2%	29.4%
群馬県	14.0%	53.0%	13.7%	38.4%
埼玉県	9.4%	42.3%	8.8%	10.7%
千葉県	9.7%	46.8%	19.5%	35.4%
東京都	10.5%	17.8%	29.5%	31.0%
神奈川県	5.6%	21.6%	13.5%	30.5%
山梨県	13.9%	66.3%	55.8%	53.6%
長野県	18.6%	58.4%	48.1%	57.8%
新潟県	9.0%	42.2%	10.1%	41.8%
富山県	12.1%	55.2%	26.6%	21.3%
石川県	27.2%	64.5%	54.4%	53.3%
福井県	43.0%	66.0%	68.4%	72.2%
岐阜県	19.2%	51.9%	33.1%	53.3%
静岡県	17.8%	46.1%	34.4%	36.8%
愛知県	10.5%	37.6%	23.0%	40.1%
三重県	16.5%	68.4%	17.5%	27.6%
滋賀県	16.8%	56.5%	32.5%	44.1%
京都府	13.1%	36.1%	31.6%	34.9%
大阪府	7.5%	30.6%	28.4%	23.8%
兵庫県	14.4%	32.0%	40.8%	35.6%
奈良県	15.1%	55.9%	17.6%	39.0%
和歌山県	26.1%	59.5%	30.4%	52.7%
鳥取県	24.0%	63.8%	47.8%	51.6%
島根県	28.1%	69.4%	46.1%	47.9%
岡山県	16.4%	56.7%	12.1%	20.2%
広島県	20.6%	46.6%	31.6%	44.7%
山口県	15.1%	54.2%	18.9%	34.3%
徳島県	24.1%	58.0%	55.4%	66.7%
香川県	25.6%	69.3%	38.3%	45.9%
愛媛県	30.4%	72.2%	45.4%	52.2%
高知県	17.6%	66.5%	45.5%	30.8%
福岡県	15.1%	49.8%	34.6%	41.6%
佐賀県	25.4%	68.2%	31.8%	44.4%
長崎県	17.9%	67.4%	21.6%	48.7%
熊本県	21.4%	57.9%	20.2%	36.8%
大分県	12.9%	62.1%	18.6%	36.9%
宮崎県	25.7%	73.3%	50.4%	50.9%
鹿児島県	15.9%	43.9%	45.7%	37.2%
沖縄県	23.8%	74.8%	20.4%	50.9%

新任研修の機会がない職場への勤務者が比較的多い地域（都道府県）は、福井県、福島県、愛媛県などであった。

プリセプターによる指導を受ける機会がなかった職場への勤務者が比較的多い地域（都道府県）は、沖縄県、愛媛県など（6割以上とすると四国・九州を中心に多数の県が該当）であった。

中堅研修の機会がない職場への勤務者が比較的多い地域（都道府県）は、福井県、山梨県、石川県、福島県、宮崎県などであった。

管理者研修の機会がない職場への勤務者が比較的多い地域（都道府県）は、福井県、徳島県などであった。

【クロス集計結果 4(10)②】

③所属組織による差異

行政分野の各組織（省庁と地域包括支援センターは除く）において、新任研修、プリセプターによる指導、中堅研修、管理者研修の「機会がなかった」を選択した者の割合は、次表のようになった。

同じ行政分野の中でも所属組織によって教育・研修環境に差がある。特に市町村はいずれの研修でも行政分野全体の結果より「機会がなかった」者の割合が高く、保健所設置市や特別区はその割合が行政分野全体の結果より低かった。

【クロス集計結果 4(4)】

表 7 行政分野の各組織における各種研修の「機会がなかった」の割合

	全体	行政	都道府県	保健所	保健所設置市	特別区	市町村
新任研修	20.8%	16.5%	20.4%	15.5%	13.7%	10.2%	17.1%
プリセプターによる指導	52.6%	50.7%	54.3%	45.8%	33.4%	14.6%	56.7%
中堅研修	35.3%	30.3%	26.5%	22.0%	25.7%	25.0%	34.5%
管理者研修	45.5%	39.8%	30.9%	25.3%	27.7%	28.8%	49.8%

(2) 産業分野

①産業分野での受講状況

産業分野における新任研修、プリセプターによる指導、中堅研修、管理者研修の受講状況は次表のようになった。全体での受講状況に比べ以下の全ての研修において「機会がなかった」とする者の割合が大幅に高く、総じて全体（あるいは行政分野）に比べて教育・研修の機会が少ない傾向にある。

【クロス集計結果 4(4)】

表 8 産業分野における各種研修の受講状況

	「受けた」		「受けなかった」		「機会がなかった」	
	全体	産業	全体	産業	全体	産業
新任研修	78.5%	55.0%	0.7%	0.4%	20.8%	44.5%
プリセプターによる指導	46.5%	39.9%	0.9%	0.4%	52.6%	59.7%
中堅研修	60.4%	27.8%	4.4%	1.0%	35.3%	71.2%
管理者研修	50.8%	28.6%	3.7%	0.3%	45.5%	71.2%

②所属組織による差異

産業分野の各組織において、新任研修、プリセプターによる指導、中堅研修、管理者研修の「機会がなかった」を選択した者の割合は、次表のようになった。

同じ産業分野の中でも所属組織によって教育・研修環境に差があり、新任研修、プリセプターによる指導は健診センター・労働衛生機関が、中堅研修は企業・事業所が、管理者研修は医療保険者が、それぞれ「機会がなかった」とする者の割合が他の組織よりも高く、いずれも産業分野全体及び全体に比べ研修機会が大幅に不十分であることが明らかとなった。

【クロス集計結果 4(4)】

表 9 産業分野の各組織における各種研修の「機会がなかった」の割合

	全体	産業	医療保険者	企業・事業所	健診センター・ 労働衛生機関
新任研修	20.8%	44.5%	45.9%	45.3%	48.6%
プリセプターによる指導	52.6%	59.7%	58.5%	59.5%	61.9%
中堅研修	35.3%	71.2%	71.8%	74.7%	70.1%
管理者研修	45.5%	71.2%	80.3%	72.4%	68.8%

(3) 行政・産業以外（医療・福祉・教育）の分野

行政・産業以外の各分野において、新任研修、プリセプターによる指導、中堅研修、管理者研修の「機会がなかった」を選択した者の割合は、次表のようになった。

医療・福祉・教育分野は、全体や行政分野と比べ各種研修の「機会がなかった」者の割合が高く、産業分野よりも（医療分野における新任研修と、医療・教育分野におけるプリセプターによる指導を除けば）「機会がなかった」とする者の割合が低かった。

【クロス集計結果 4(4)】

表 10 行政・産業以外(医療・福祉・教育)の分野における各種研修の「機会がなかった」の割合

	全体	行政	産業	医療	福祉	教育
新任研修	20.8%	16.5%	44.5%	50.2%	25.2%	40.3%
プリセプターによる指導	52.6%	50.7%	59.7%	64.4%	57.1%	67.6%
中堅研修	35.3%	30.3%	71.2%	64.6%	46.1%	55.0%
管理者研修	45.5%	39.8%	71.2%	66.9%	56.3%	64.5%

4. 長期研修・課題研修

(1) 長期研修

① 受講状況

現在の職場での長期研修の受講経験は、「受けた」が 17.9% (4,092 人)、「機会があったが受けなかった」が 3.1% (704 人)、「機会がなかった」が 45.9% (10,517 人)、転職等の理由から現在の職場では「受ける立場にない」が 33.2% (7,607 人)であった。

「受ける立場にない」を除いた受けるべき者 (15,313 人) の約 7 割 (68.7%) が「機会がなかった」とし、受講経験者は 3 割未満と、他の研修に比べ受講率はあまり高くない。

【単純集計結果 Q27】

②経験年数による差異

経験年数が上がるに連れて長期研修の受講経験者の割合は増加しているが、受講率が最も高い経験30年以上の者でも約4割と、中堅研修（68.7%）に比べて3割ほど少なかった。

このように長期研修の受講率が他の研修と比べて低い理由の一つには、長期に職場を空けなければならない（補欠要員の確保が必要）など、従業員を長期研修に送り込むことができる職場が限られていることが推測される。

【クロス集計結果 4(1)】

③活動領域・所属組織による差異

活動領域によって長期研修を受けるべき者のうち受講機会のなかった者の割合に差異があり、教育分野と行政分野を除き8割前後の高率となった。教育分野が最も受講率が高く（44.0%）、他の研修と異なり行政分野よりも高い。教育分野は他の職場と異なり長期に職場を空けられる機会があるようである。

所属組織による差異を見ると、長期研修を受ける機会がなかった者の割合は、同じ行政分野の中でも、都道府県（都道府県・保健所で48.9%）と市区町村（保健所設置市・特別区・市町村で74.1%）とで大きな差があり、都道府県よりも市区町村で長期研修の機会が少なくなっている。

【クロス集計結果 4(4)】

(2) 課題研修

①受講状況

過去1年間に現在の職場で課題研修を受けた者は29.1%（6,662人）、機会があったが受けなかった者は5.3%（1,205人）、機会がなかった者は65.7%（15,053人）であった。

この間は、過去1年間での受講経験を問うものであったことを考慮する必要がある。

【単純集計結果 Q28】

②活動領域・所属組織別による差異

長期研修等と異なり、課題研修を受ける機会がなかったとする者の割合はどの分野も概ね65～75%と活動領域による大きな差異は見られなかった。

所属組織では、特別区（52.5%）と医療保険者（56.1%）のみ他の組織に比べて研修機会がないとする者の割合が比較的低く、組織によって差が見られた。

【クロス集計結果 4(4)】

5. 自主勉強会

(1) 自主勉強会への参加状況

現在の職場における過去1年間の自主勉強会（組織内・組織外を問わず自主的な勉強会）の参加状況は、「参加している」が65.9%（15,109人）、「参加していない」が25.2%（5,765人）、「自主勉強会がない」が8.9%（2,046人）となった。9割以上の者が過去

1年間に自主勉強会があったとし、自主勉強会があったとする者のおよそ4人に3人は何らかの形で自主勉強会に参加している。

他の研修と比較すると、新任研修に次ぐ受講率及び参加率の高さとなっており、自主勉強会の実施や参加は多くの職場で行われているようである。

【単純集計結果 Q29】

(2) 年齢による差異

30代後半を底として、年齢が上がる（あるいは下がる）につれ参加率が増加する傾向にある。これは、若手は経験不足を補うため、ベテランは自らの経験を若手に伝えるためにそれぞれ参加している、あるいは30代は業務や育児等で多忙のために参加できない等といった理由が考えられる。

【クロス集計結果 4(1)】

(3) 活動領域・所属組織による差異

①活動領域

自主勉強会への参加者の割合は、他の研修の傾向とは異なり、行政分野（63.8%）よりも産業分野（81.9%）・医療分野（76.0%）・教育分野（76.8%）が高かった。

これは、産業や医療分野において、行政分野よりも低い各種研修の機会を、職場内部での自主勉強会で部分的に手当てしているといった意味合いもあると推測される。

【クロス集計結果 4(4)】

②所属組織

同じ活動領域でも所属組織によって自主勉強会に参加している者の割合に差異が見られた。

参加率が比較的低い行政分野の中でも特別区の割合が特に低く（57.8%）、参加率が高い産業分野の中でも企業・事業所の割合が特に高かった（84.5%）。また、行政分野よりも自主勉強会への参加率が低い福祉分野（63.4%）の中でも介護老人保健施設・介護老人福祉施設（85.7%）では参加率が高かった。

【クロス集計結果 4(4)】

(4) 職位による差異

管理職の参加率（所長級 78.0%、部長級 82.6%、課長級 79.1%）は、非管理職の参加率（係長級 69.5%、主任級 60.4%、係員（スタッフ） 65.5%）よりも高く、管理職は比較的意識を持って人材育成・ノウハウの共有に努めているものと考えられる。

【クロス集計結果 4(5)】

6. 学会への参加

(1) 学会への参加状況

過去1年間の学会への参加状況は、他の研修・勉強会の参加状況と異なって少なく、およそ4人に1人（24.1%、5,534人）しか参加していない。

【単純集計結果 Q30】

(2) 経験年数や最終学歴・職位による差異

① 経験年数

必ずしも経験豊富な保健師の参加率が高い訳ではなく、経験年数15～19年の層を底として年数が上がる（あるいは下がる）に連れて参加率が増加している。

参加率の違いはあるものの、概ね自主勉強会と同様の傾向となっていることから、職場の中堅層で業務や育児等に多忙なことも参加率が低い理由の一つと推測される。

【クロス集計結果 4(1)】

② 最終学歴による差異

他の学歴の回答者に比べ、大学院修了者は教育分野に所属する者が多いことや、在学時から学会への参加に慣れている等の影響からか、学会への参加率が非常に高かった（修士（前期）課程修了者で65.1%、博士（後期）課程修了者で92.0%）。

大学院修了者以外の参加率はいずれも概ね2割程度（専門学校（保健師養成機関）23.3%、短大専攻科20.6%、四年制大学22.2%）と学歴による参加率の差異は見られなかった。

【クロス集計結果 4(2)】

③ 職位による差異

管理職の学会への参加率（所長級42.5%、部長級59.0%、課長級40.5%）は、非管理職の参加率（係長級28.0%、主任級21.4%、係員（スタッフ）21.1%）よりも高かった。

【クロス集計結果 4(5)】

(3) 活動領域・所属組織による差異

① 活動領域

学会に参加した者は行政分野で21.2%、産業分野で40.6%、医療分野で34.7%、福祉分野で15.5%、教育分野で72.5%となった。

研究発表等の関係上、やはり教育分野の参加率が突出して高いが、産業分野や医療分野も行政分野より参加率が高かった。自主勉強会への参加率の結果と合わせて考えると、これらの分野では、保健師の現任教育の環境に関し、組織的な研修よりも個人的・自主的な範囲での学習が多いことが推察される。

【クロス集計結果 4(4)】

② 所属組織

同じ行政分野でも、都道府県や保健所では3割以上と平均よりも高い参加率である

のに対し、保健所設置市では22.8%、特別区では15.3%、市町村では16.4%と低い参加率に留まっており、所属組織によって参加率に明らかな差異が見られる。

【クロス集計結果 4(4)】

7. 保健師学生の実習指導受け入れ

(1) 保健師学生の実習指導受け入れへの関与の状況

回答者全体の85%の勤務先で過去1年間に保健師学生の実習指導を受け入れており、受け入れに回答者の半数以上（53.4%、12,237人）も関わっている。

【単純集計結果 Q31】

(2) 年齢・経験年数・職位による差異

① 年齢・経験年数による差異

年齢や経験年数（60歳以上及び経験30年以上を除く）が上がるにつれて保健師学生の実習指導の受け入れに関わった者の割合が高くなる傾向にあり、最も割合が高い層は年齢で50代後半（61.1%）、経験25～29年（62.1%）となった。

【クロス集計結果 4(1)】

② 職位や統括保健師による差異

所長級（38.7%）、部長級（44.4%）、係員（スタッフ）級（47.6%）では保健師学生の実習指導の受け入れに関わった者の割合が比較的低く、課長級（61.2%）、係長級（65.4%）、主任級（60.4%）では6割以上が受け入れに関わっている。主として受け入れに関わっている者は主任級から課長級である中堅の保健師となっている。

また、統括保健師である者となない者とで保健師学生の実習指導の受け入れに関わった者の割合に大きな差異があり、統括保健師の約65%が受け入れに関わっている。

以上から、中堅の保健師が実習指導の受け入れ等の人材育成に関わり、組織において重要な役割を担っていると言える。

【クロス集計結果 4(5)(6)】

(3) 活動領域・所属組織による差異

① 活動領域

保健師学生の実習指導の受け入れているのは、領域によって大きな差異があり、行政分野では92%の回答者の所属組織が受け入れているのに対し、産業分野56.6%であった。

また、行政分野では実習指導を受け入れている組織内では受け入れに関与している者の方が多い（61.0%）が、産業等行政以外の分野では受け入れに関与していない者の方が多い。

【クロス集計結果 4(4)】

②所属組織

実習指導を受け入れている割合が高い行政分野の中でも所属組織によって大きな差異があり、保健所は7割程度、市町村は6割程度であった。

【クロス集計結果 4(4)】

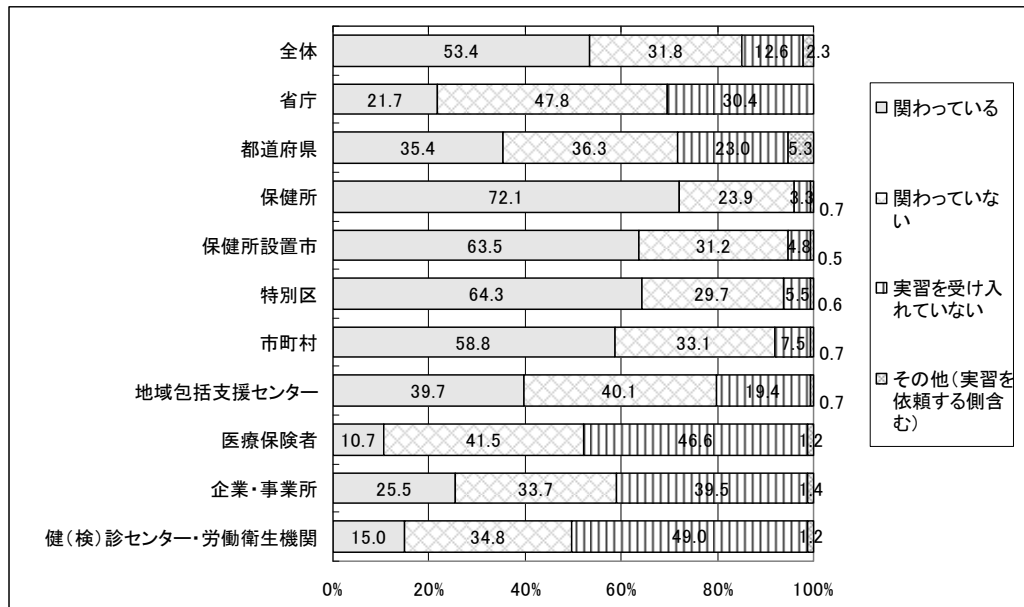


図 13 所属組織別実習指導受け入れへの関与の状況 (n=22,920)

8. スーパーバイザー

(1) スーパーバイザーの有無

73.5% (16,835 人) の回答者が、過去 1 年間でスーパーバイザー（業務上の相談をする人）がいるとしているが、全体の 3 割弱はスーパーバイザーがいなかった。

【単純集計結果 Q32】

(2) 経験年数や職位による差異

概ね経験年数が上がるに連れ、また職位が上がるにつれてスーパーバイザーがいるとする者の割合は減少している。

これらは、一定の経験を積んだ者が経験の浅い者に対してスーパーバイザーとしての役割を果たしているためと考えられる。一方、経験年数が 10 年未満の者であっても 2 割弱はスーパーバイザーがいらないとしており、相談体制づくりが期待される。

【クロス集計結果 4(1)】

(3) 所属組織や 1 人配置の職場との関係

①所属組織

「病院」や「診療所」では 4 割以上の者が、「介護老人保健施設・介護老人福祉施設」や「社会福祉施設」では 7 割弱の者が、それぞれスーパーバイザーがいらないとしており、これらの組織では業務上の相談をする者が不在のまま日々の業務に従事して

いる者が多いようである。

【クロス集計結果 4(4)】

②1 人配置の職場との関係

1 人配置の職場ではスーパーバイザーがいるとした者の割合が複数配置の職場の者よりも2割ほど低かった。

1 人配置の職場ほど複数配置の職場よりも日常業務上での相談ができる環境が必要であり、職場を超えた相談体制づくりが期待される。

【クロス集計結果 4(8)】

第5章 就労条件

1. 超過勤務とそれに対する手当

(1) 超過勤務の有無・頻度や手当の有無

①有無・頻度

超過勤務（業務の持ち帰りや残業）が「常にある」者が回答者全体の23.3%（5,276人）、「週に半分程度ある」が18.9%（4,276人）、「月に数回」が23.8%（5,388人）、「特定の時期に集中」が13.9%（3,143人）、「ほとんどなし」が15.4%（3,480人）、「全くなし」が4.7%（1,057人）となった。

「常にある」「週に半分程度ある」「月に数回」を合わせると、定期的に超過勤務があるとする保健師は回答者全体の6割以上にのぼった。

【単純集計結果 Q33】

②超過勤務に対する手当の支給状況

超過勤務が全く無い者を除いた超過勤務者（21,563人）のうち、超過勤務に対する手当を「全額支給」されている者が37.7%（8,121人）、「一部支給」が46.6%（10,001人）、「支給なし」が16.0%（3,441人）となっており、3割未満の者しか超過勤務手当が全額支給されていない。

【単純集計結果 Q34】

(2) 年齢や職位と超過勤務

①年齢と超過勤務

超過勤務が「常にあり」とする者は40代前半では約2割前後だが、40代後半～50代前半では約3割に増加し、年代別ではこの層が多忙さのピークとなっている。

【クロス集計結果 5(1)】

②職位と超過勤務

超過勤務が「常にあり」とする者は係員（スタッフ）や主任級では2割弱だが、係長級以上では3～4割となっており、一定の職位以上の者は超過勤務の頻度が高い。

また、超過勤務手当を「支給なし」とする者は係長級では1割程度であった。

これらの結果から、保健師としてのキャリアが上がるにつれ業務も多忙になる傾向があるのは否めないものの、手当が不要となる管理職が優先的に超過勤務をしている側面もあるかと推察される。

【クロス集計結果 5(3)】

(3) 活動領域・所属組織による超過勤務の差異

①超過勤務の有無・頻度

超過勤務が「常にあり」とする者の割合は、領域別では教育分野（49.1%）、組織別では省庁（65.2%）、教育・研究機関（52.5%）、訪問看護ステーション（45.6%）等で高く、これらの分野・組織では超過勤務の頻度が高い傾向にあり、逆に産業分野やそれに関連する組織では超過勤務の頻度が低い傾向にあった。

また、行政分野の中でも省庁の 65.2%、都道府県の 37.9%が超過勤務を「常にある」としているが、保健所や市町村等は 2 割程度にとどまり、同じ行政分野でも組織によって超過勤務の頻度に差異があった。

【クロス集計結果 5(2)】

②超過勤務に対する手当の支給状況

NPO や介護老人保健施設・介護老人福祉施設で 5 割以上、医療保険者や訪問看護ステーションで 3 割前後が超過勤務手当を支給されていない。

産業分野では超過勤務手当が全額支給されている者の割合が高く、特に企業・事務所では 7 割以上が全額支給されている一方、医療保険者では 4 割弱が全く支給されていない。

また、特別区では超過勤務手当が全額支給されている者の割合が 55.0%と企業・事務所に次いで高かった。

【クロス集計結果 5(2)】

(4) 業務による超過勤務の有無

行政分野では、「管理業務（マネジメント）」、「感染症対策」、「障害者福祉」、「健康危機管理」などの業務で、超過勤務の頻度が高く（「常にある」割合が 3 割以上）なった。

その他の分野では、「退院調整」や「教育」（「常にある」割合が 5 割以上）、「看護師業務（在宅看護・訪問看護を含む）」や「管理業務（マネジメント）」（「常にある」割合が 3 割以上）などの業務で超過勤務の頻度が高かった。

【クロス集計結果 5(6)】

2. 所定休日の（月平均）日数

過去 1 年間の所定休日の月平均は 6.9 日となった。

日数別では「8 日」と回答した人が最も多く（46.1%（10,427 人））、「9 日」（10.2%）、「10 日」（9.4%）と合わせた割合は全体の 7 割弱となっており、概ね週休 2 日の勤務となっている。

設問は過去 1 年間の所定休日の月平均（有給休暇や夏季休暇等を除く）を問うものであったが、「0 日」（4.5%）や「1 日」（12.8%）と回答した者も少なくなかった。これらは恐らく過去 1 年間で取得した休暇日数の総計もしくはその月平均を回答していると思われ、一部設問の意図とは異なる回答も含まれていると考えられる。

【単純集計結果 Q35】

3. 休日出勤

(1) 休日出勤の頻度

休日出勤が「常にある」が 3.6%（820 人）、「一定程度（月 1 回程度）」が 18.1%（4,101 人）、「特定の時期に集中してあり」が 14.5%（3,274 人）、「若干あり（数ヶ月に 1 回）」

が 37.2% (8,407 人)、「ほとんどなし」が 17.8% (4,027 人)、「全くなし」が 8.8% (1,991 人) となった。

「常にある」「一定程度 (月 1 回程度)」を合わせると、定期的に休日出勤があるとする保健師は回答者全体の 2 割以上にのぼった。

【単純集計結果 Q36】

(2) 経験年数・職位・業務による休日出勤の差異

① 経験年数と休日出勤との関係

「ほとんど無し」「全く無し」の割合が、経験年数が上がるに連れて概ね減少しており、経験年数が上がるにつれて休日出勤をする者の割合は増加している。

【クロス集計結果 5(1)】

② 職位と休日出勤との関係

「常にあり」「一定程度 (月 1 回程度)」を合わせた割合は係員 (スタッフ) や主任級は約 2 割、係長や課長級は約 3 割、部長や所長級は約 4~5 割となり、職位が上がるに連れて休日出勤の頻度が高まる傾向にある。

【クロス集計結果 5(3)】

③ 業務内容と休日出勤との関係

行政分野では、「健康危機管理」、「管理業務 (マネジメント)」、「健康づくり」、「生活習慣病予防」などの業務で比較的休日出勤の頻度が高かった (「常にあり」が 3 割以上)。生活習慣病予防や健康づくり等健康関連の業務は多くの保健師が従事している重点業務であるが、多くの業務量に比した職員体制でないのを管理職による休日出勤でカバーしているケースや、平日は現業業務が中心で管理業務まで手が回らない管理職が休日出勤で対応しているケースがあるものと推測される。

その他の分野では、「看護師業務 (在宅看護・訪問看護を含む)」や「教育」(「常にあり」と「一定程度 (月に 1 回程度) あり」を合わせると 4 割前後)、「企画調整 (研修・調査を含む)」(同 2 割以上) などの業務で比較的休日出勤の頻度が高かった。

【クロス集計結果 5(6)】

4. 有給休暇取得実績

(1) 有給休暇の取得実績の状況

平成 20 年度の有給休暇の平均取得実績 (日数) は、回答者の平均が約 9 日、最小値は 0 日、最大値は 60 日であった。

日数では 10 日と回答した者が最も多く 18.1% (4,090 人) であったが、全体としては特徴的な偏りは見られなかった。

【単純集計結果 Q37】

(2) 経験年数・活動領域や所属組織による差異

① 経験年数

経験年数が上がるにつれて取得日数は増加するが、経験 15～24 年にかけては所属組織の中核を担い多忙のためか、反転減少する傾向が見られた。

【クロス集計結果 5(1)】

② 活動領域・所属組織

行政分野では比較的長く、教育分野や医療分野では比較的短い傾向が見られることから、行政分野は休みの取りやすい職場環境が比較的整っていると推測される。

但し、同じ行政分野の中でも所属組織によって差異があり、都道府県や特別区では取得日数が長めの傾向にある。

【クロス集計結果 5(2)②】

(3) 休日出勤の頻度と有給休暇取得実績

休日出勤が全くない者を除けば、有給休暇取得実績が 8 日以下では休日出勤が多い者ほど取得率が高くなる傾向にあるが、9 日以上の有給取得実績の割合は、休日出勤が多い者ほど取得率が少なくなる傾向がある。休日出勤の多い者が取得率が高いのは、代休を取っている可能性も考えられる。

【クロス集計結果 5(5)】

5. 早出・遅出出勤

(1) 早出・遅出出勤の頻度

過去 1 年間で、およそ 3 人に 2 人は早出・遅出出勤がほとんど（全く）ない（「ほとんど無し」35.6%（8,059 人）、「全く無し」30.3%（6,852 人））ようで、勤務形態として定期的に早出・遅出出勤をしている保健師は 4%未満（「常にあり」2.1%（475 人）、「一定程度（週に半分程度）あり」1.5%（333 人））と極めて少なかった。

【単純集計結果 Q38】

(2) 活動領域・所属組織による差異

全体で見た場合は勤務形態として定期的に早出・遅出出勤をしている保健師は極めて少なかったが、活動領域では医療分野や教育分野、所属組織では健（検）診センター・労働衛生機関、介護老人保健施設・介護老人福祉施設、省庁、病院、訪問看護ステーションなどで「常にあり」「週に半分程度あり」の割合が比較的高かった。

また、市町村や教育・研究機関で 2 割以上、企業・事業所、健（検）診センター・労働衛生機関、省庁で 1 割強の者が「特定の時期に集中してあり」となっており、他に比べてその割合が高かった。

【クロス集計結果 5(2)①】

6. オンコール対応

(1) オンコール対応の有無

約3割(28.9%、6,534人)の者が過去1年間にオンコール対応があったとしている。

【単純集計結果 Q39】

(2) オンコール対応の必要な領域・組織・職位等

①活動領域・所属組織

オンコール対応「あり」とした者は領域別では行政や福祉分野で3割以上、組織別では訪問看護ステーション(81.8%)や介護老人保健施設・介護老人福祉施設(81.0%)、保健所(62.2%)となり、これらの分野・組織ではオンコール対応の頻度が高い傾向にある。

また、行政分野の中で市町村は他の組織に比べてオンコール対応があった者は少ない(19.7%)結果となった。

【クロス集計結果 5(2)①】

②職位

オンコール対応「あり」とした者は係員(スタッフ)で約2割なのに対し、課長職以上では半数以上にもなる等、職位が上がるにつれてオンコール対応があった者の割合は高くなる傾向がある。

【クロス集計結果 5(3)】

③業務

オンコール対応「あり」と回答をした者の割合が高い業務は、行政分野では「健康危機管理」(従事者の70.1%)、「感染症対策」(同68.3%)、「管理業務(マネジメント)」(同57.8%)「精神保健」(同55.0%)、「難病」(同53.5%)等となった。

また、その他の分野では「ケアプランの作成」(同44.4%)、「管理業務(マネジメント)」(同42.2%)等でオンコール「あり」の割合が比較的高かった。

【クロス集計結果 5(6)】

7. 半年以上の休暇

(1) 取得経験のある休暇

①取得の有無・種類

過去1年間での半年以上の休暇の取得状況は、61.5%(13,910人)が「取得なし」で最多となった。

取得経験者(8,710人)の多くが取得したのは「産休・育児休暇」(26.0%、5,874人)、「病気」(13.0%、2,944人)となった。

取得経験のある休暇の種類の数としては、約2/3(65.4%)は1種類であったが、2種類取得したことがある者も3割弱(27.5%)いる結果となった。設問は、過去1年間に取得した経験がある半年以上の休暇の種類を問うものであったが、4種類以上選択した者も0.8%いた。これらはおそらく今までに取得したことのある休暇の種類

を回答していると思われ、設問の意図とは異なる回答も一部には含まれているものと推測される。

【単純集計結果 Q40】

②年齢による差異

20代では「取得なし」が7割強と全体に比べ高かった。また「産休・育児休暇」の割合が低く「研修」の割合が高かった。

【クロス集計結果 5(1)】

(2) 休業・休暇中における賃金の支給状況

休業・休暇中の賃金を「全額支給」されている者が31.7% (2,765人)、「一部支給」が51.8% (4,513人)、「支給なし」が16.4% (1,432人)となり、休業・休暇の賃金が全く支給されていない割合は全体の2割弱となった。

【単純集計結果 Q41】

(3) 休業・休暇中の代替要員の有無

①代替要員の有無

休業・休暇中の代替要員が補充されていた割合は、休業・休暇取得者の半数にも満たない(48.4%、4,214人)。

半年以上の休業・休暇中には賃金は支給されても、人員の補充までには至らないようである。

【単純集計結果 Q42】

②活動領域・所属組織による差異

休業・休暇中の代替要員が無かったとする者は行政分野では半数未満(48.2%)にとどまるが、産業や医療、教育分野(特に医療保険者、企業・事業所、健(検)診センター・労働衛生機関、訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設)では7割以上に達した。

また、同じ行政分野の中でも市町村は他に比べて代替要員が無かった割合が53.7%と高かった。全体から見れば市町村に所属する保健師の人数は多いものの、現場としてはそれほど人員に余裕があるわけではないという実態がうかがえる。

【クロス集計結果 5(2)①】

8. 社会保険の完備

社会保険が完備されている職場に勤める者が22,197人(96.8%)と大部分の職場で社会保険は完備されている。「完備されていない」1.6%(364人)、「不明」が1.6%(359人)はわずかとなった。

【単純集計結果 Q43】

第6章 現状認識

1. 回答者全体としての課題・問題認識

活動領域や所属組織に関係なく、多くの回答者（概ね回答者の3割以上）が認識している現状の課題・問題としては、「分散配置による保健師間での業務の連携・協力ができなくなった（以下「分散配置による連携の悪化」と略）が42.0%と最も高く、次いで「産休等での人員不足・代替確保難」（39.0%）、「業務増加により職場内研修の確保が困難」（37.7%）、「所属が違う保健師（外部）との連携がとれていない」（31.0%）、「保健師としての人事評価システムの未整備」（29.5%）となっている。

以上の結果から、多くの回答者の職場等で、分散配置によって、職場内研修が困難になっていたり、他の保健師との連携が困難になっていたりすることが共通の課題認識であると類推される。

【単純集計結果 Q44】

2. 属性による課題・問題認識の差異の有無

(1) 年齢や経験年数による差異

①年齢

30代では「産休等での人員不足・代替確保難」が、40・50代で「分散配置による連携の悪化」の選択率が高い。それぞれ年齢に応じ置かれている状況が異なり、意識するところも異なることが窺える。

また、分散配置による課題を意識するのは、分散配置が進む前の状況を知っている年代が中心にならざるを得ないという事情もあると考えられる。

【クロス集計結果 6(1)】

②経験年数

全体として、経験年数が上がるにつれてどの項目の選択率も高くなる（複数回答可のため）傾向があり、経験を積むと様々なところが課題として捉えることができるようである。

経験年数の浅い層との選択率の差異が特に大きい項目としては、「分散配置による連携の悪化」「次期のリーダーが育っていない」「統括保健師のリーダーシップの発揮が困難」等の項目であり、所属組織全体の強化・改善に向けた視点が強くなっていることがうかがえる。

【クロス集計結果 6(1)】

(2) 活動領域による差異

①行政分野

半数近く（46.9%）が「分散配置による連携の悪化」を選択したほか、「業務増加により職場内研修の確保が困難」（41.1%）、「産休等での人員不足・代替確保難」（43.2%）等、業務の増加に応じた人員の配置や人材の育成があまりなされていないためか、人員や研修が不足しているという指摘が多く見られた。

②産業・医療分野

大半の項目が主として行政分野に係る課題となっていることから、多くの項目で比較的選択率が低かったが、その中でも「保健師としての人事評価システムが整備されていない」（産業 43.1%・医療 39.7%）、「上司が保健師でなく理解が得られない」（産業 30.5%・医療 29.7%）、「看護師との区別がなく同じ処遇」（産業 20.9%・医療 45.0%）、「一人配置で先輩の指導が受けられない」（産業 19.1%・医療 20.1%）の選択率が高く、また産業分野は他分野と異なり「正規職員が少なく身分があいまい」を5人に1人が選択（20.9%）した。

以上から、総じて保健師の処遇に関する問題意識が高く、産業分野・医療分野の保健師は身分保障の面で弱い立場にいるケースが少なくないと推察される。

【クロス集計結果 6(3)】

③福祉分野

「分散配置による連携の悪化」は行政分野の次に選択率が高く（43.2%）、次いで「所属が違う保健師（外部）との連携がとれていない」（36.0%）が高かった。また「一人配置で先輩の指導が受けられない」は他分野よりも選択率が高かった（26.9%）。

以上から、分散配置により保健師が1人のみの職場となっており、相談や連携ができない状況にある者が少なくないと推測される。

【クロス集計結果 6(3)】

④教育分野

他の分野と少し異なり、5人に1人が該当する項目がないとし、更に選択された項目（指摘の観点）も他の分野と少し異なった。

中でも「新人の人材育成ができない」（28.7%）や「次期のリーダーが育っていない」（32.6%）等の選択率が他と異なって高く、人材育成に対する問題意識が高いと思われる。

【クロス集計結果 6(3)】

表 11 活動領域別における保健師が認識している現状の課題・問題 (n=22,920)

	分散配置により、保健師間での業務の連携・協力ができなくなった	市町村合併で、労働環境・雇用環境の悪化がみられる（保健師の役割・職場環境・市町村格差）	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない（学ぶ場が無い）	上司が保健師でなく、理解が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で離職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	統括保健師のリーダーシップが発揮できていない	産休や育休による人員不足・代替確保が困難	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである	所属が違う保健師（外部）との連携がとれていない	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	あてはまるものは一つもない	
全体	22920 100.0	9615 42.0	3584 15.6	4412 19.2	2492 10.9	3531 15.4	4434 19.3	974 4.2	5554 24.2	8645 37.7	4692 20.5	8946 39.0	2548 11.1	7100 31.0	1664 7.3	6758 29.5	543 2.4	1928 8.4
行政	18516 100.0	8692 46.9	3220 17.4	4054 21.9	1583 8.5	2381 12.9	3682 19.9	684 3.7	4596 24.8	7613 41.1	4067 22.0	8002 43.2	1860 10.0	5956 32.2	614 3.3	5225 28.2	243 1.3	1303 7.0
産業	1339 100.0	119 8.9	26 1.9	39 2.9	256 19.1	408 30.5	198 14.8	113 8.4	250 18.7	302 22.6	197 14.7	210 15.7	272 20.3	253 18.9	280 20.9	577 43.1	220 16.4	176 13.1
医療	1121 100.0	154 13.7	70 6.2	53 4.7	225 20.1	333 29.7	171 15.3	67 6.0	235 21.0	252 22.5	118 10.5	216 19.3	115 10.3	312 27.8	504 45.0	445 39.7	37 3.7	143 12.8
福祉	968 100.0	418 43.2	139 14.4	151 15.6	260 26.9	204 21.1	160 16.5	34 3.5	206 21.3	259 26.8	146 15.1	270 27.9	111 11.5	348 36.0	112 11.6	263 27.2	11 1.1	92 9.5
教育	488 100.0	149 30.5	86 17.6	70 14.3	93 19.1	115 23.6	140 28.7	38 7.8	159 32.6	107 21.5	105 21.5	155 31.8	88 18.0	121 24.8	75 15.4	125 25.6	17 3.5	107 21.9
その他	488 100.0	83 17.0	43 8.8	45 9.2	75 15.4	90 18.4	83 17.0	38 7.8	108 22.1	112 23.0	59 12.1	93 19.1	102 20.9	110 22.5	79 16.2	123 25.2	15 3.1	107 21.9

(3) 職位による差異

職位の高低による問題意識の違いが顕著に出たものはあまりなかったが、「統括保健師の指導力の発揮が困難」は係員以外の者では意識されており、特に統括保健師となっている者も少なくない課長・係長での問題意識は高かった。また、主任から課長までの中堅層の半数以上が「分散配置による連携の悪化」を指摘しているほか、係長職以上では「新人の人材育成ができない」「次期のリーダーが育っていない」「業務増加により職場内研修の確保が困難」等、人材育成に関する選択率が高く、多くの者が課題として重視していると思われる。

【クロス集計結果 6(4)】

(4) 業務による差異

(2)活動領域による差異の結果と比較し、主担当業務によって指摘される問題点に違いがあるか否かを見たが、結果として業務固有の問題点の指摘という関係性までは見えなかった。

なお、行政分野では健康危機管理、児童福祉、障害者福祉、企画調整、管理業務を主たる業務とする者で多くの項目（問題）が選択（指摘）された。行政以外の分野では、多くの業務で「所属が違う保健師（外部）との連携がとれていない」を、看護師業務に従事する者の6割が「看護師との区別がなく同じ処遇」を、ケアプラン作成や企画調整に従事する者の多くは「一人配置で先輩の指導が受けられない」を、それぞれ選択している。

【クロス集計結果 6(6)】

Ⅲ. 総括

Ⅲ. 総括

1 回答状況

- 平成 20 年度衛生行政業務報告による就業者数を用いた場合、回答率は 53.1%と推計され、当初目標としていた過半数の保健師の調査参加に到達していることから、約半数の保健師が調査に参加したこの結果は、現在の保健師の実情を概ね反映していると考えられる。特に、約 4,400 人の行政以外の活動領域の保健師の回答は意義があると考えている。
- ただ、活動領域および所属組織により回答状況に差があり、行政以外の領域に属する保健師の回答率は 30%であった。また行政分野でも、都道府県所属の保健師は 90%超であったのに対し、市町村所属の保健師は 50%を超えるにとどまり、回答率に差があった。
- 一方、勤務地（都道府県）別の回答状況にも差があり、概して都市部の回答率は低調であった。これらの偏りについては、様々な理由が考えられるが、次回以降、調査周知方法等の改善が必要である。

2 活動基盤に関して

【保健師経験】

- 平均年齢は 40.7 歳で平均経験年数は約 16 年であった。どの年齢層にも若干の経験年数の浅い者がいるが、年齢と経験年数は概ね相関していた。年齢階層別の割合は 20 代が 18.0%で最も少なく、長期的視点で推移を注視する必要がある。活動領域別では、医療分野の保健師の平均年齢が 36.6 歳で特徴的であったが、年齢構成としては顕著な差異は見られなかった。
- 近年の看護系大学の急増を反映し、最終学歴の変化が顕著である。4 年制大学卒業者は全体では 24.6%であったが、30 代以上では 4 割以下であったのに対し、20 代では後半で 66.1%、前半で 80%であった。また、大学院修士課程修了者(631 人)の過半数(55.2%)は行政分野に所属しており、そのうち 1/3 は市町村の所属であった。保健師教育課程の違いが保健師活動にどう影響するか、今後注視する必要がある。
- 職位の構成比は、係員（スタッフ）が 45.5%で、主任級・係長級が各々約 2 割、課長級以上は約 7%であった。所属別では、行政・産業分野以外で訪問看護ステーション等小規模の所属組織では管理職である割合は高かったが、都道府県では約 1 割、市町村では 4.4%、産業分野の企業・事業所では 3.9%にとどまった。

【統括的な立場の保健師（統括保健師）の実態】

- 自らを「統括保健師である」と回答した者は 4,095 人で全体の 17.9%であった。年齢も経験年数も全体平均より高かったことから、統括保健師は一定程度のキャリアを持った者が任にあたっていると言える。活動領域別の統括保健師の割合は、医療・福祉分野では 13~14%と低く、行政・産業分野では 18~19%であり、差があった。
- 職位は様々で、係長級が最も多く 46.5%であったが、係員（スタッフ）も 1 割いた。統括保健師には、人材育成や地域全体の健康課題を明確にする等の技術的指導調整が求められており、必ずしも職位は要しない。しかし、人材育成や技術的な指導調整をする立

場として、これらに対して意見を言えることは機能として重要である。今回業務上の決定権があると回答した者は約半数で、人事に関与できると回答した者は約3割であった。業務上の決定権や人事へ関与ができる位置づけが求められる。

- 統括保健師のうち、中堅研修や管理者研修を「受けなかった」「機会がなかった」と回答した者が3~4割おり、育成環境は不十分な現状と言え、計画的な育成の強化がされるべきである。

【業務】

- 全体として保健師は多種の業務に関わっている現状にあったが、携わっている業務内容は所属組織により異なっていた。行政・産業分野以外の活動領域では、所属組織が多様であった影響で、結果的に所属保健師数が多かった病院や健診センターの業務内容「保健指導」「健診業務」が多く、次いで「看護業務」が多かった。近年医療機関所属の保健師は増加傾向にあるが、保健師として専門性を発揮した業務に携わっているか、詳細に見る必要がある。
- 行政分野では、「母子保健」に携わっているとした者が最も多く、次いで、「健康づくり」「生活習慣病予防」であった。「地区担当」については、経験年数が上がるに連れて減少しているが、経験年数10年未満の者でも、主たる業務もしくは準ずる業務とした者は3割程度であり、地区活動を経験しない保健師が少なくないことが推察される。また、「母子保健」については経験年数が上がるにつれ減少傾向が見られ、経験の少ない保健師が母子保健に従事しているという懸念に重なる傾向であった。一方、介護関連業務についてはベテラン保健師が偏在しているとは言えない結果であった。
- 産業分野では、半数超の保健師が「健康相談・保健指導」や「各種健康診断と事後処理」に携わっており、「メンタルヘルス対策」(21.0%)は経験年数の比較的長い者が担当している傾向があった。
- 過去1年間にオンコール対応があったとした者は、全体では約3割であった。所属組織で多かったのは訪問看護ステーション(81.8%)、老人保健・福祉施設(81%)、保健所(62.2%)であった。行政分野においてオンコール対応があった業務に「健康危機管理」「感染症対策」が多かったが、これは平成21年5月以降の新型インフルエンザ発生の影響が推測される。
- 活動領域を問わず、「管理業務」や「企画調整」の割合は経験年数が上がるにつれ多くなった。しかし、経験年数の長い者でも、「管理業務」に従事している者は2~3割であった。今後保健師のキャリアパス等検討課題であると考えられる。

【現任教育】

- 保健師の現任教育の全体状況は、新任研修、中堅研修、管理者研修の基本的な研修において、決して十分でない現状であった。20代でも新任者研修を受けていない者が2割弱おり、分野及び所属組織によっても差があった。
- プリセプターによる指導の機会が無かったとした者は全体では52.6%であった。年代によっては、保健師の配置がない職場に法改正等により多くの新人保健師が採用された影響も考えられる。しかし、20代前半でも23%が「機会がなかった」と回答しており、プリセプターによる指導は行き届いていない。新人保健師研修制度の具体化が早急に検討されるべきである。

- 長期研修については、活動領域や所属組織により受講機会が著しく差があった。一方、課題研修は活動領域を問わず機会が無かった者が65～75%であった。従来保健師の多くは、都道府県立の保健師養成所で養成されており、その必要性から保健師教育の教員養成のための一定の長期研修が用意されていたが、その機会は減少している。さらに業務に関する課題研修の機会も他の看護職に比して多いとされてきたが、今回の結果では多いとは言えない状況であった。また、過去1年間での学会参加は教育分野の保健師を含めても4人に1人であった。
- 一方で自主勉強会等の参加は65.9%、何らかの連絡会議等の参加は63.8%と多く、上述のような学習機会の不足も影響してか、情報収集や自主学習の必要に迫られている現状が推測される。

3 調査上の課題

◇調査内容として改善を要する事項

・ 現任教育について

専門性を発揮するための活動基盤の中心に位置するのが現任教育である。教育環境は勤務先によるものであることから、本調査では、主に、研修受講機会の有無を現在の所属組織で問う設問としたが、回答の中には現在の所属組織ではなく保健師としてのこれまでの経験全てに照らして選択したと見られるものもあり、若干の誤差が生じていると考えられる。また、機会がなかった者の理由は把握できていない。現任教育については、新任保健師研修制度等検討課題は大きい。更に詳細な調査が必要である。

・ 業務内容

保健師が携わっている業務が従来から今回の結果のようであったか否かは不明であるが、今後継続的に推移を見る必要がある。また、本調査で回答者から最も多くコメントを頂いたのが業務に関することであり、相当数の保健師が本調査で尋ねた2種よりも複数の業務を担当している現状が述べられていた。実態を反映する調査項目を工夫したい。

・ 配置

本調査の実施を動機づけた課題の1つが、保健師の分散配置である。1人配置ではOJTが機能しないなどの問題は大きいとされている。調査結果では、保健師全体としては、回答者の8人に1人が「保健師1人のみの職場」に働いていた。しかし、所属組織別では市町村で8.5%と多くはなかった。これは、「市としては保健師が25人いるが、自分は〇〇課に1人で配属されている保健師」が「1人のみの職場」と回答しなかったとも考えられる。今後配置に関して調査する場合は設問を改善する必要がある。

・ 離職

本調査の動機となった課題には、保健師の早期離職の懸念があった。保健師は従来他の看護職と比べ転職は少ないと認識されてきた。しかし、近年就職後1～2年の比較的早い時期に退職する保健師が増加していると指摘がある。本調査では、転職回数等は把握できたが、転職の内容や時期、理由等は把握できなかった。設問構成等十分検討する必要がある。

◇調査方法として改善を要する事項

今回の調査は、初の保健師全数を対象とした個人調査であり、かつインターネットを用いた Web 調査であった。Web 調査の利点としては、①住所や勤務先が把握できない対象者に対しても調査を実施することができた、②回答時のエラー表示により形式的な誤答をなくすことができた、③調査票からの回答データ入力省略で大量データの集計作業が効率的にできた、④対象者数に比して費用が比較的小額で済んだ等の多大な利点があった。一方、課題として①実施側・回答者側ともに不慣れであった、②インターネットにアクセスできない場合への対応が不十分であった等に加え、質問構成等は大いに改善の余地がある。特に画面設定や Web 上の手順については、回答者の意見を踏まえて改善したい。

また、周知方法についても、どのようにすれば今回の調査では回答に到らなかった保健師（特に離職中等職場経由での伝達が難しい者）まで情報伝達できるのか、検討する必要がある。加えて、保健師 1 人 1 人に必要な情報が届けられ、相互支援のネットワークに資することを目指すべきである。

4 今後の取り組みに向けて

保健師の活動環境は、業務内容等、制度改革とともに保健師の働きが変化する状況から、推移を見ることが重要である。

また、本調査結果から、保健師の現任教育は充実しているとは言えない現状であった。そして、統括者が計画的に育成されているとは言えない現状でもあった。さらに、行政分野以外の活動領域・所属組織の保健師の実態把握はまだ不十分である。

したがって、専門性を発揮できるための基盤を整えるための調査は継続するべきである。

IV. 単純集計・クロス集計結果

調査概要

- (1) 調査名
「保健師の活動基盤に関する基礎調査」
- (2) 調査目的
 ①保健師が抱える就労条件や労働環境の問題や課題を明らかにする。
 ②保健師の現任教育や研修体制の実態を明らかにする。
 ③保健師の専門性の発揮を旨とした支援体制の方向性を明らかにする。
- (3) 調査期間
平成21年8月10日(月)～平成21年11月9日(月)
- (4) 調査方法
インターネットのホームページ上で質問に回答(全45問)
- (5) 調査対象
保健師として活動している(または活動しようと思っている)全国の保健師
- (6) 回答状況

- ・ 全回答件数 : 24,107件
- ・ 有効回答件数 : 23,054件

	会員	非会員
日本看護協会会員／非会員	12,060人(52.3%)	10,994人(47.7%)

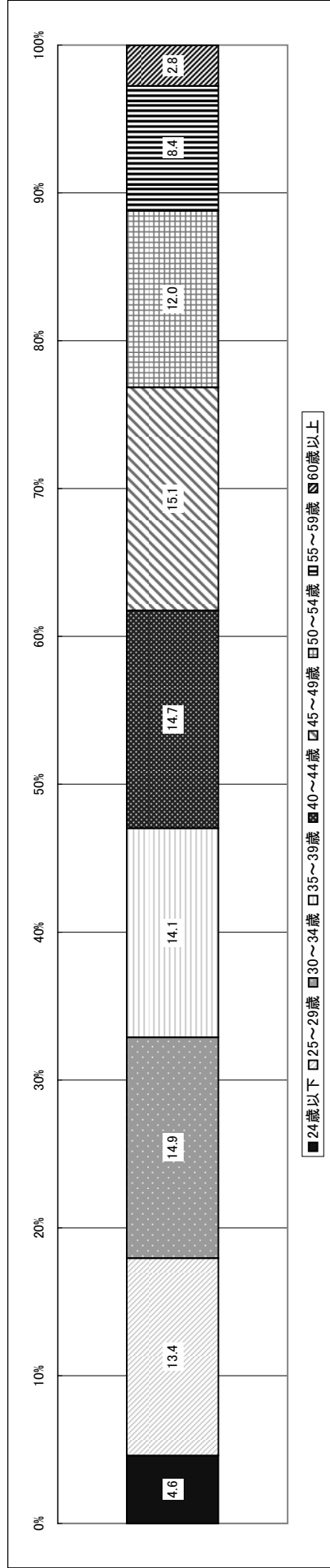
	女性	男性
性別	22,679人(98.4%)	375人(1.6%)

Q3 あなたの年齢をお答えください。([]歳)

- ・回答者の平均年齢は40.7歳となっている。
- ・最も多かったのは40代後半(15.1%)となっている。
- ・20代後半から50代前半までは各々14%前後の構成比でほぼ均等に分布しているが、それ以外は比較的少ない。

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	23,054	23,054	938,688	40.7	10.55	84	21	41

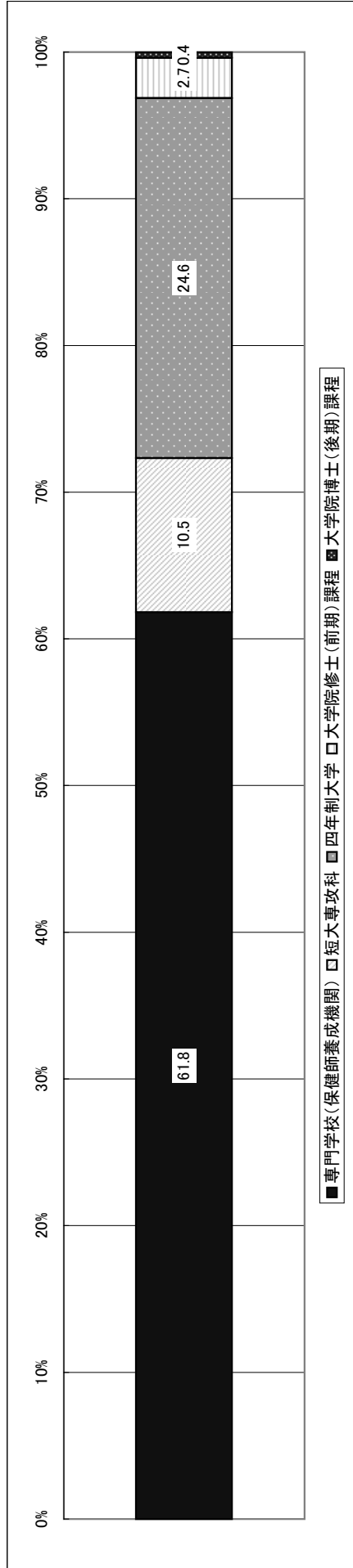
	度数	%
全体	23,054	100.0
1 24歳以下	1,062	4.6
2 25～29歳	3,079	13.4
3 30～34歳	3,444	14.9
4 35～39歳	3,258	14.1
5 40～44歳	3,398	14.7
6 45～49歳	3,478	15.1
7 50～54歳	2,755	12.0
8 55～59歳	1,946	8.4
9 60歳以上	634	2.8



Q4 あなたの最終学歴をお答えください。

・全体の6割程度を「専門学校（保健師養成機関）」が占めており、次いで「四年制大学」が約1/4となっている。

	度数	%
全体		
1 専門学校（保健師養成機関）	23,054	100.0
2 短大専攻科	14,253	61.8
3 四年制大学	2,423	10.5
4 大学院修士（前期）課程	5,660	24.6
5 大学院博士（後期）課程	631	2.7
	87	0.4

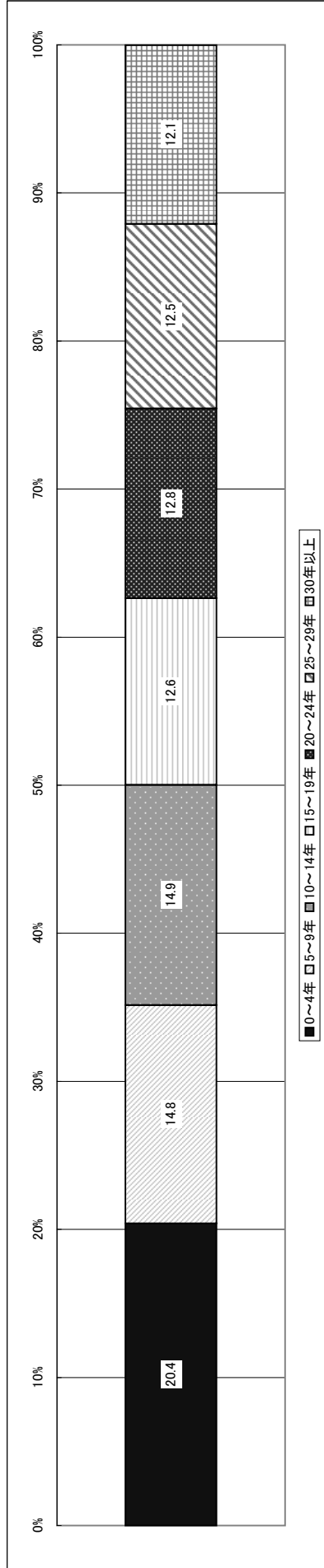


Q5 あなたの保健師としての通算経験年数をお教えください。

- ・ 回答者の平均通算経験年数は約16年（190.3ヶ月）となっている。
- ・ 年齢の分布では24歳以下の割合が比較的少なかった（4.6%）のに対して経験年数では4年以下が最も多数派（20.4%）となっていることや、30代以上が比較的多数を占めているのに対して経験年数は14年以下が比較的多数となっていることから、年齢は高め・経験年数は短かめという偏りが見られる。

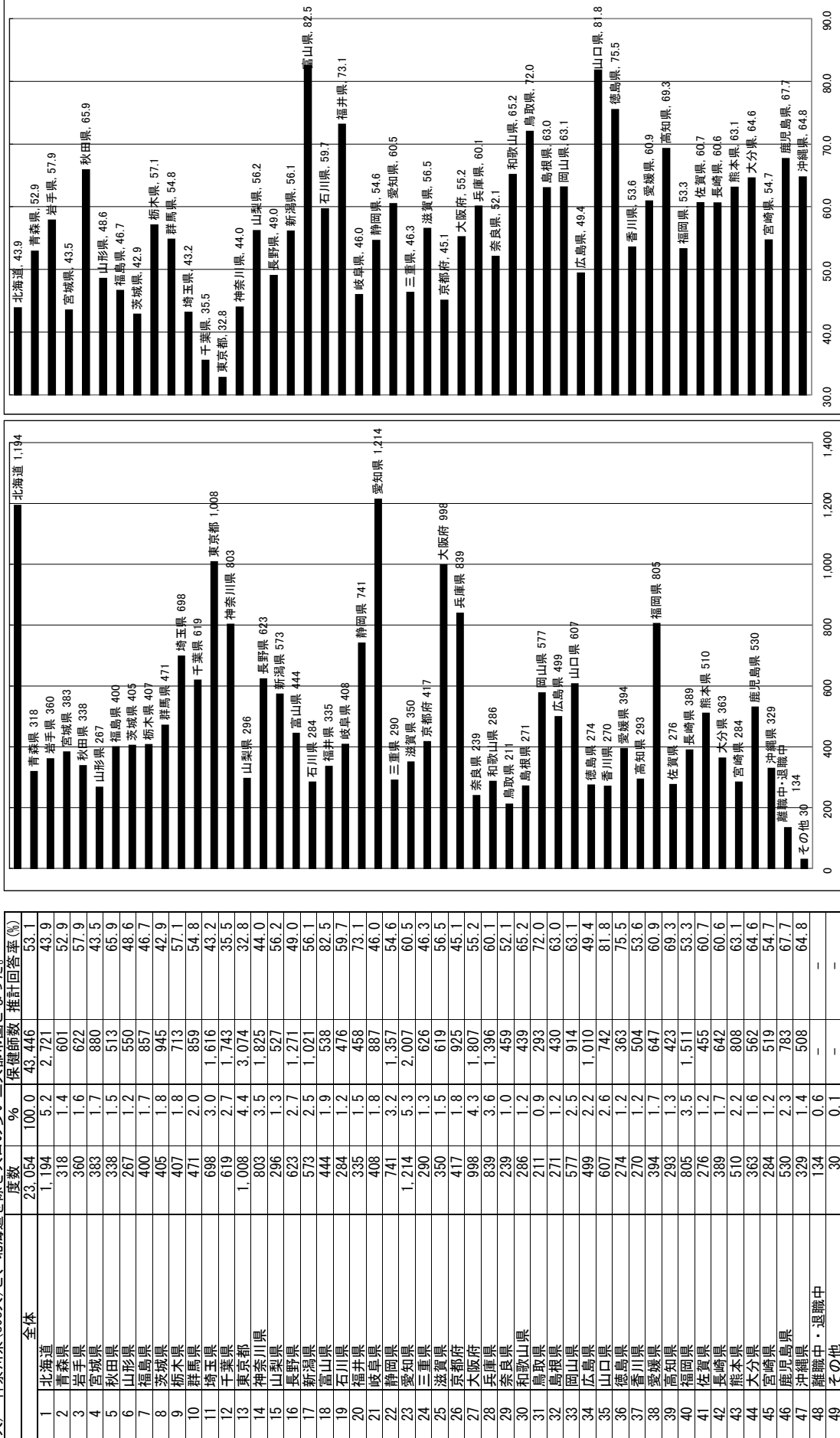
(※通算経験月数)								
	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	23,054	23,054	4,387,862	190.3	128.54	717	0	178

	度数	%
全体	23054	100.0
1 0～4年	4707	20.4
2 5～9年	3401	14.8
3 10～14年	3426	14.9
4 15～19年	2907	12.6
5 20～24年	2953	12.8
6 25～29年	2877	12.5
7 30年以上	2783	12.1



06 あなたの勤務地をお答えください。

・他の設問同様、実際の保健師の地域的な分布を示すものではないが、回答者が多かった勤務地の都道府県は、愛知県(1,214人)・北海道(1,194人)・東京都(1,008人)・大阪府(998人)・兵庫県(839人)・福岡県(805人)・神奈川県(803人)と、北海道を除き人口の多い三大都市圏となった。

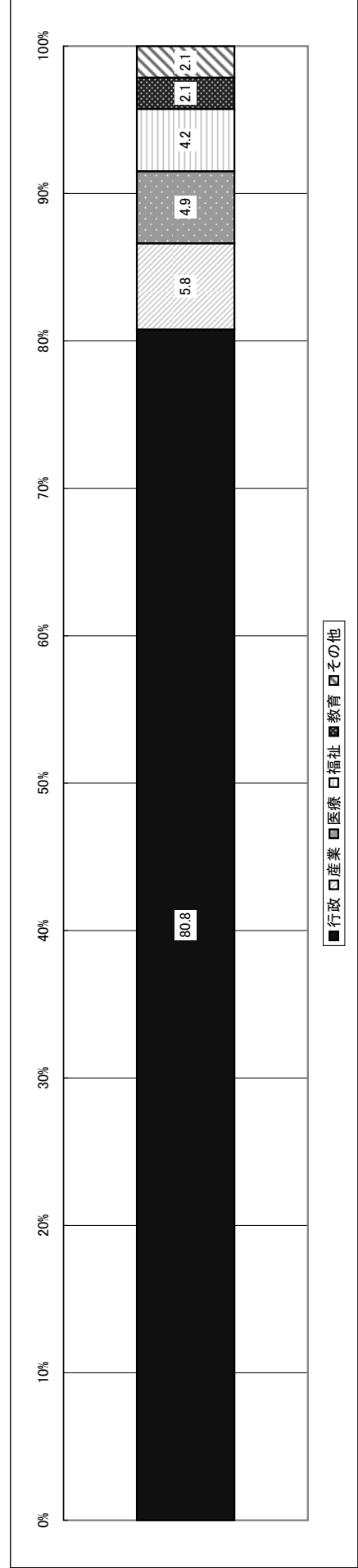
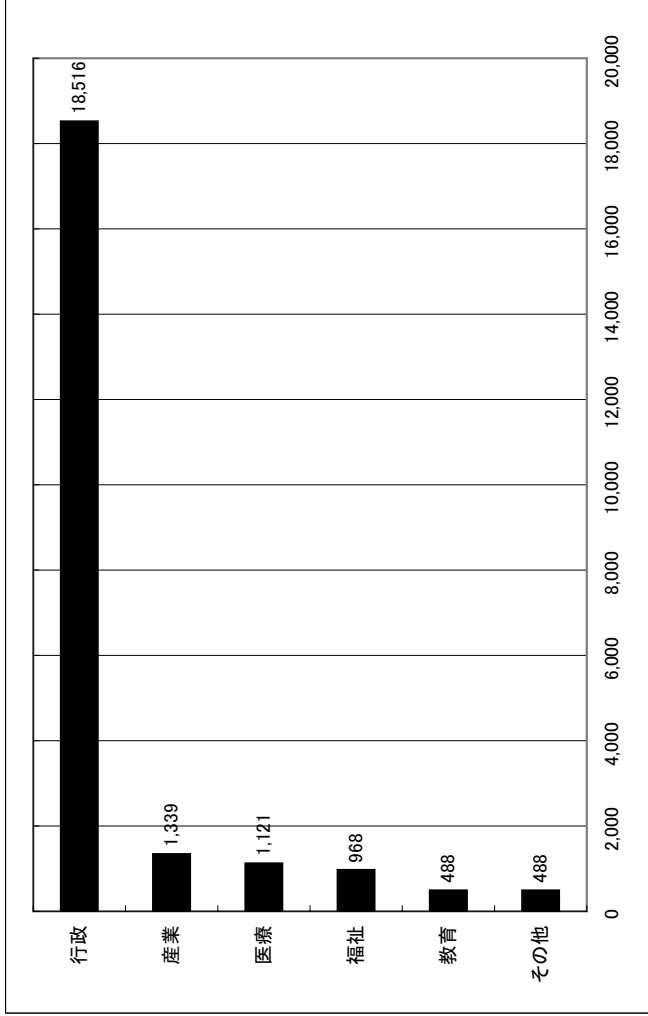


※保健師数は「平成20年保健・衛生行政業務報告」統計表1の実人数を使用。

Q7 保健師としての活動領域として、最もあてはまるものを1つお選びください。

・全体の約8割が「行政」分野を活動領域としている。

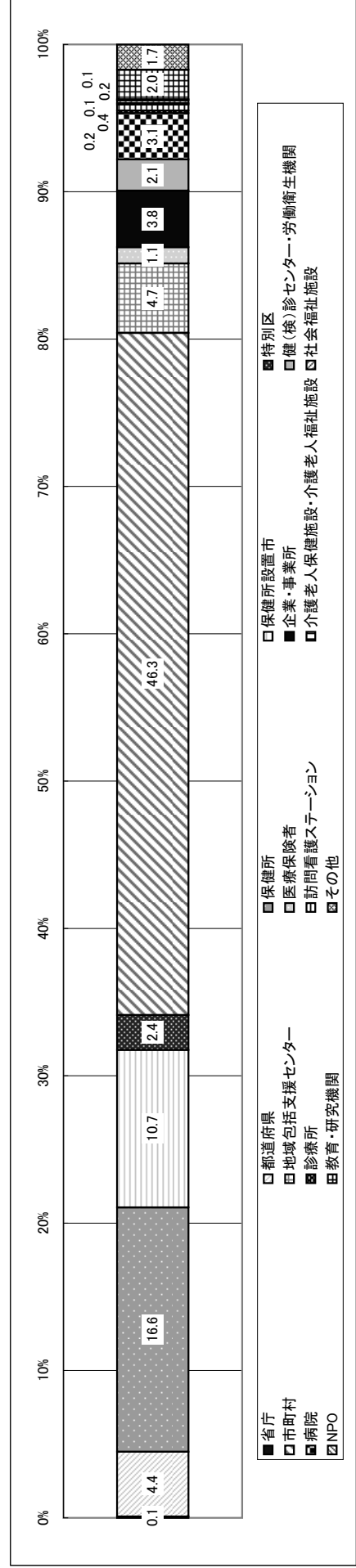
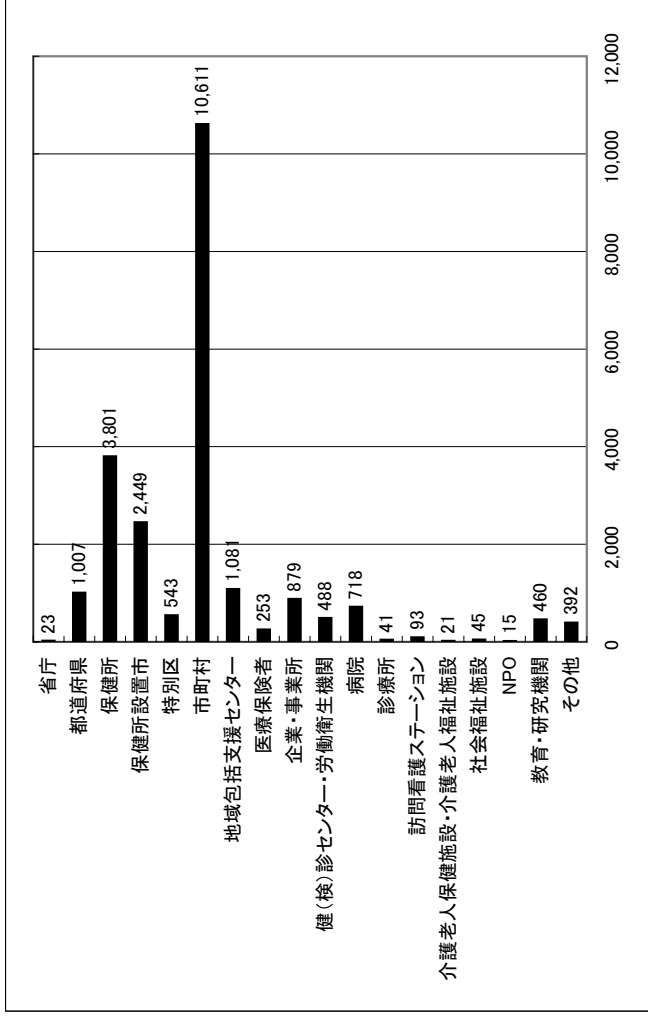
	度数	%
全体		
1 行政	22,920	100.0
2 産業	18,516	80.8
3 医療	1,339	5.8
4 福祉	1,121	4.9
5 教育	968	4.2
6 その他	488	2.1
	488	2.1



Q8 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。

・全体の約6割が市町村、2割が都道府県に所属している。

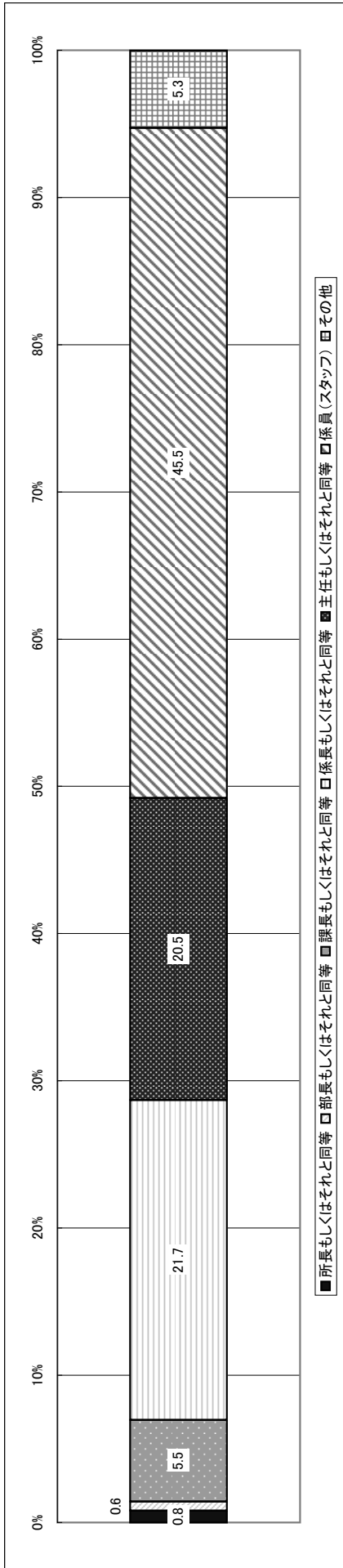
	度数	%
全体	22,920	100.0
1 省庁	23	0.1
2 都道府県	1,007	4.4
3 保健所	3,801	16.6
4 保健所設置市	2,449	10.7
5 特別区	543	2.4
6 市町村	10,611	46.3
7 地域包括支援センター	1,081	4.7
8 医療保険者	253	1.1
9 企業・事業所	879	3.8
10 健(検)診センター・労働衛生機関	488	2.1
11 病院	718	3.1
12 診療所	41	0.2
13 訪問看護ステーション	93	0.4
14 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21	0.1
15 社会福祉施設	45	0.2
16 NPO	15	0.1
17 教育・研究機関	460	2.0
18 その他	392	1.7



Q9 現在の職場での職位に最もあてはまるものを1つお選びください。

- ・ 経験年数(20～29年が1/4、30年以上が1/8)や年齢(50代が2割)から見ても課長以上は約7%に過ぎないことから、年齢や経験年数が長くなると職位が上がるといった、職位と年齢・経験年数との関係性はあまり強くないと考えられる。
- ・ 経験年数が長い者は、専門職として係長・主任レベルで処遇される割合が多く、ラインの管理職になっているケースは少ないと考えられる。

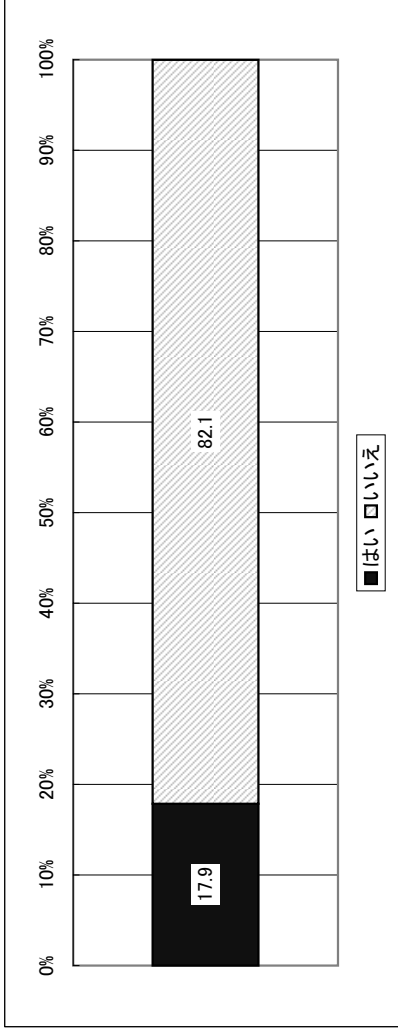
	度数	%
全体		
1 所長もしくはそれと同等	22,920	100.0
2 部長もしくはそれと同等	186	0.8
3 課長もしくはそれと同等	144	0.6
4 係長もしくはそれと同等	1,271	5.5
5 主任もしくはそれと同等	4,980	21.7
6 係員(スタッフ)	4,703	20.5
7 その他	10,432	45.5
	1,204	5.3



Q10 あなたは、統括的な立場の保健師ですか。

- ・統括的役割を担っている保健師の割合は17.9%と全体の2割未満にとどまっている。
- ・09で課長職以上の割合が全体の7%程度であったことから、統括的役割を担っている者はラインの管理職とは別であると考えられる。

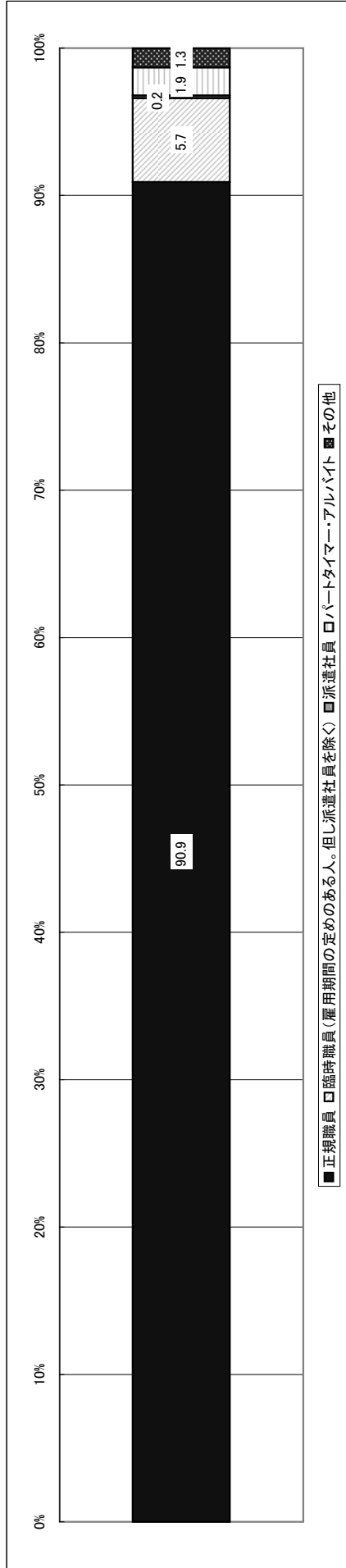
	度数	%
全体	22,920	100.0
1 はい	4,095	17.9
2 いいえ	18,825	82.1



Q11 現在の雇用形態についてあてはまるものを1つお選びください。

・9割が「正規職員」となっており、臨時職員等の非正規雇用職員の占める割合は全体の1割未満にとどまっている。

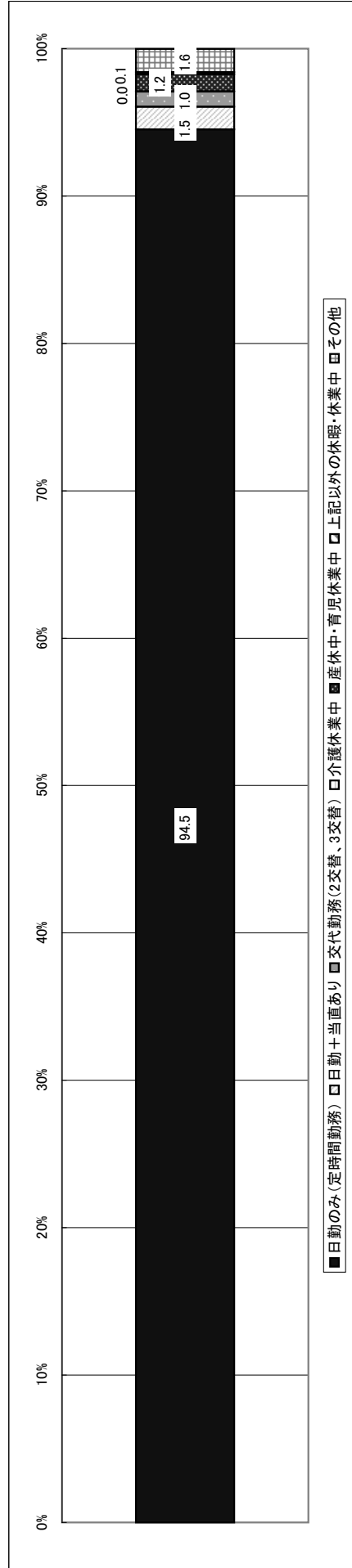
	度数	%
全体		
1 正規職員	22,920	100.0
2 臨時職員(雇用期間の定めのある人。但し派遣社員を除く)	20,836	90.9
3 派遣社員	1,307	5.7
4 パートタイマー・アルバイト	41	0.2
5 その他	438	1.9
	298	1.3



Q12 現在の勤務形態についてあてはまるものを1つお選びください。

- ・「日勤のみ(定時間勤務)」の割合が94.5%となっており、保健師の勤務形態として当直や交代勤務がある割合は極めて少ない(全体の3%未満)。
- ・Q11と合わせ、保健師の雇用・勤務形態としては、ほとんどが正規雇用で日勤のみであると考えると考えられる。
- ・休業中の回答者が少ないことから、休業中のためにアンケートの案内や回答依頼が伝わっていない可能性があると考えられる。

	度数	%
全体		
1 日勤のみ(定時間勤務)	22,920	100.0
2 日勤+当直あり	21,666	94.5
3 交代勤務(2交替、3交替)	353	1.5
4 介護休業中	239	1.0
5 産休中・育児休業中	1	0.0
6 上記以外の休暇・休業中	266	1.2
7 その他	33	0.1
	362	1.6

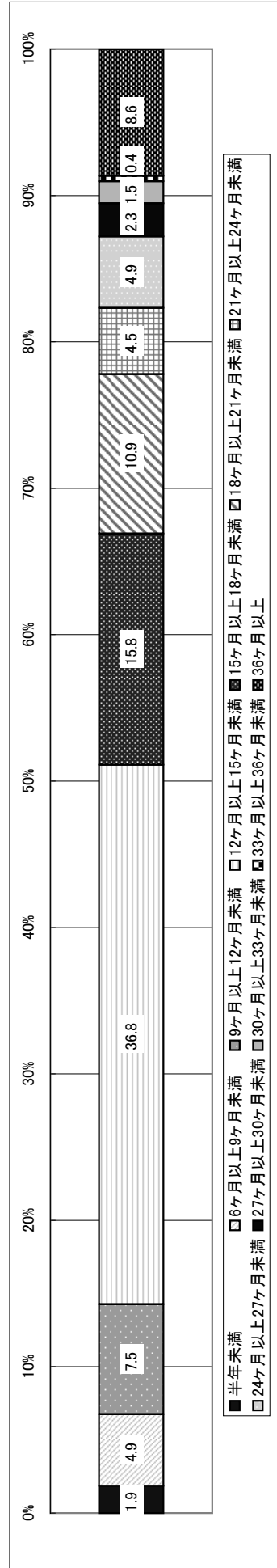
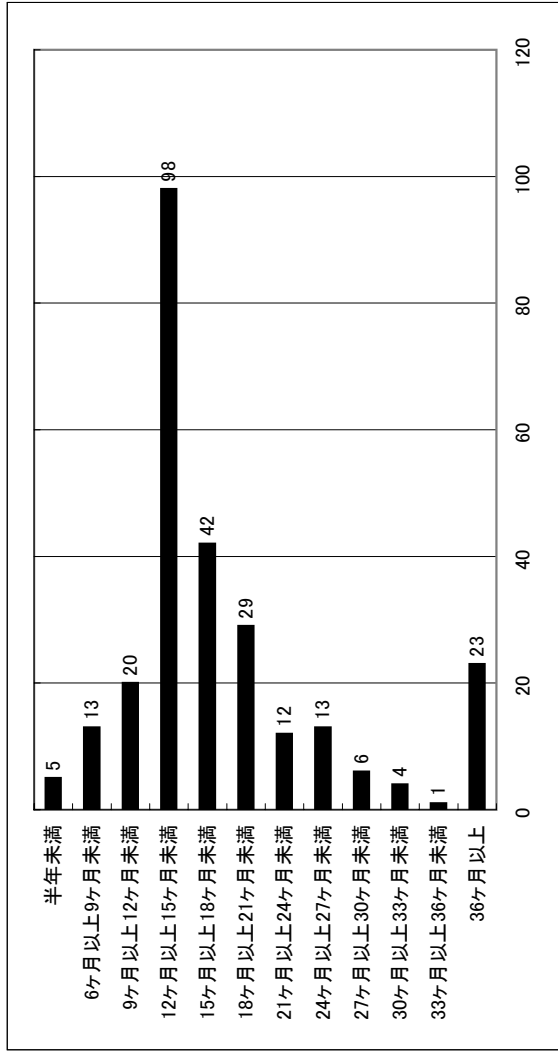


Q13 産休・育児休暇の取得予定期間をお答えください。([]カ月)

- ・平均取得予定期間は17ヶ月となっている。
- ・3カ月毎の区分で見ると、12ヶ月以上15ヶ月未満の割合が最多の36.8%となっている。
- ・15ヶ月以上18ヶ月未満(15.8%)と合わせて見ると、1年～1年半程度を産休・育休予定期間としている者が全体の半数以上となっている。

全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
266	266.0	4,524	17.0	8.4	52	1	14

	度数	%
全体	266	100.0
1 半年未満	5	1.9
2 6ヶ月以上9ヶ月未満	13	4.9
3 9ヶ月以上12ヶ月未満	20	7.5
4 12ヶ月以上15ヶ月未満	98	36.8
5 15ヶ月以上18ヶ月未満	42	15.8
6 18ヶ月以上21ヶ月未満	29	10.9
7 21ヶ月以上24ヶ月未満	12	4.5
8 24ヶ月以上27ヶ月未満	13	4.9
9 27ヶ月以上30ヶ月未満	6	2.3
10 30ヶ月以上33ヶ月未満	4	1.5
11 33ヶ月以上36ヶ月未満	1	0.4
12 36ヶ月以上	23	8.6



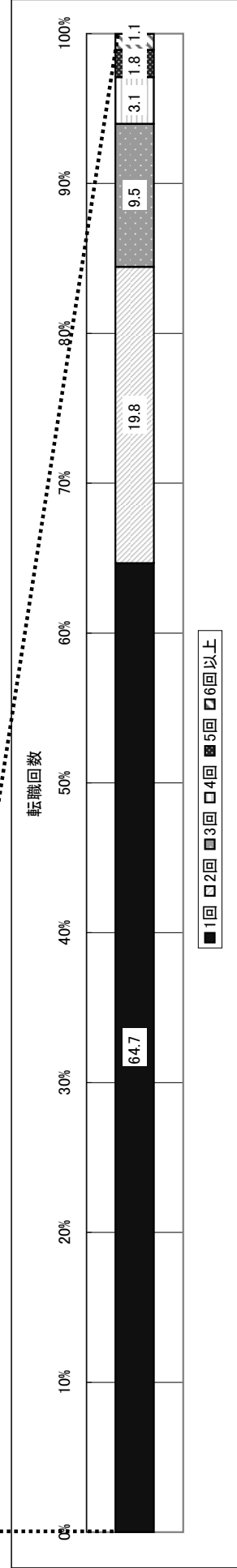
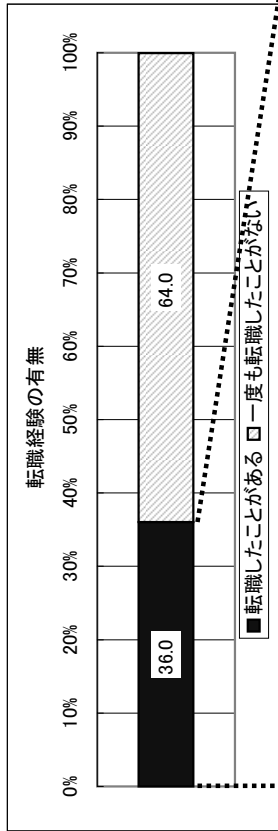
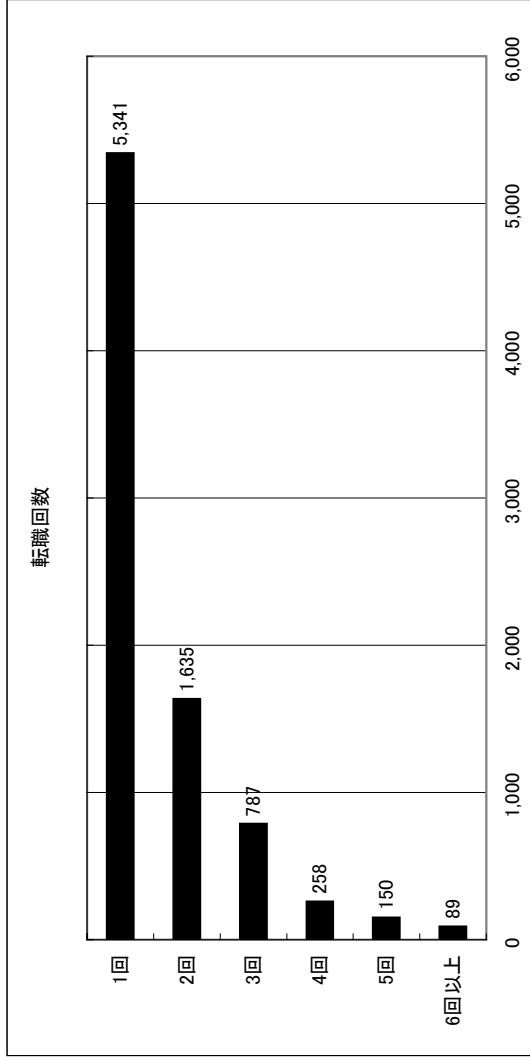
Q14 あなたは保健師として転職をしたことがありますか。ある方は保健師としての転職回数もお答えください。（他業種や看護師等からの転職も含む）

- ・約2/3が「一度も転職したことがない」と回答している。
- ・転職経験者の平均転職回数は約1.6回で、約2/3が「1回」としている。

転職経験の有無			
	度数	%	
全体	22,920	100.0	
1 転職したことがある	8,260	36.0	
2 一度も転職したことがない	14,660	64.0	

転職回数								
	統計量	母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
全体	8,260	8,260	13,358	1.6	1.07	15	1	1

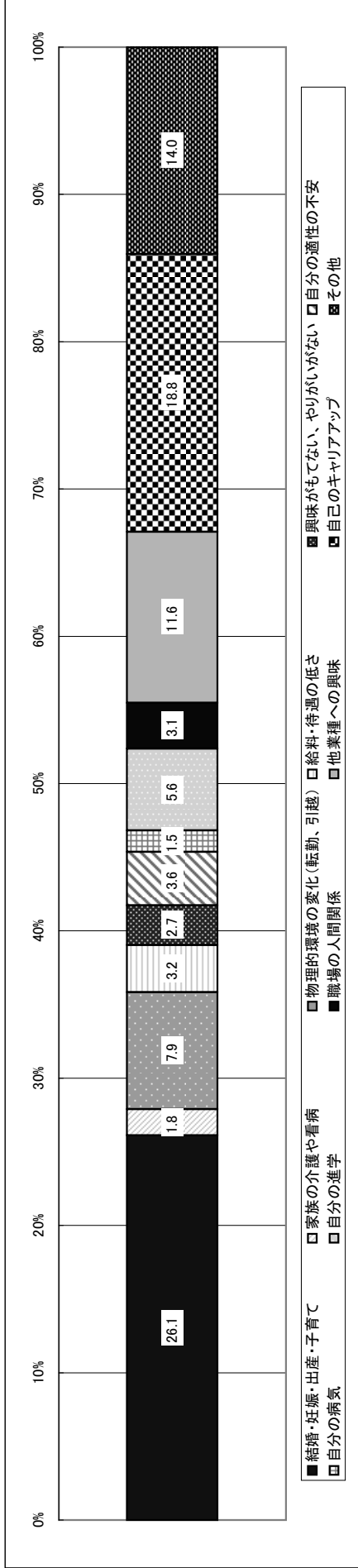
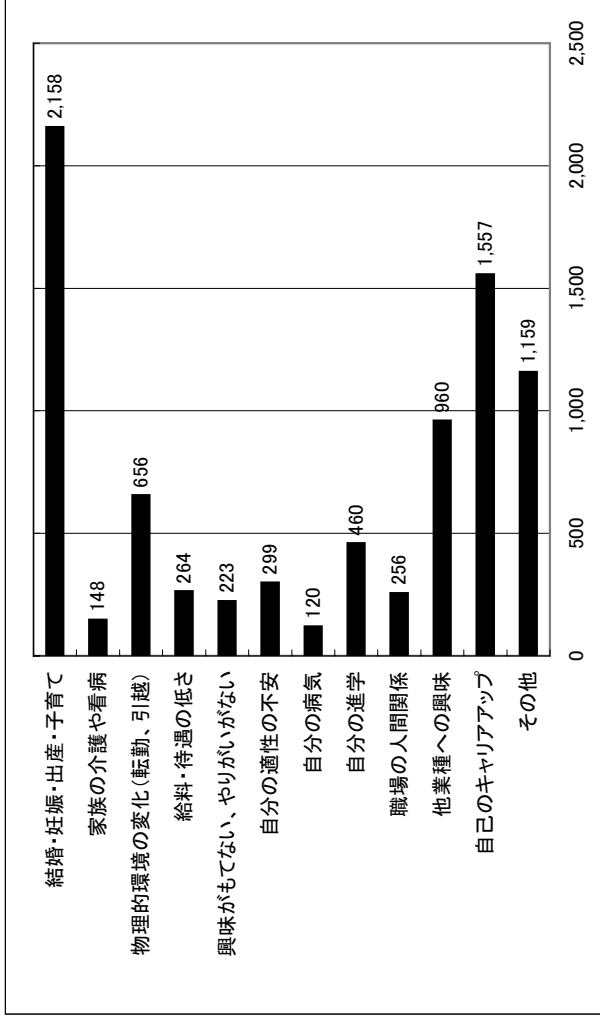
転職回数			
	度数	%	
全体	8,260	100.0	
1 1回	5,341	64.7	
2 2回	1,635	19.8	
3 3回	787	9.5	
4 4回	258	3.1	
5 5回	150	1.8	
6 6回以上	89	1.1	



Q15 保健師として転職された理由をお答えください。

- ・ 転職した理由として多いものは、「結婚・妊娠・出産・子育て」(26.1%)「自己のキャリアアップ」(18.8%)「その他」(14.0%)となっている。
- ・ 「給料・待遇の低さ」(3.2%)「興味がない、やりがいがない」(2.7%)といった否定的な理由で転職している者は少ない。

	度数	%
全体		
1 結婚・妊娠・出産・子育て	8,260	100.0
2 家族の介護や看病	2,158	26.1
3 物理的環境の変化(転勤、引越)	148	1.8
4 給料・待遇の低さ	656	7.9
5 興味がない、やりがいがない	264	3.2
6 自分の適性の不安	223	2.7
7 自分の病気	299	3.6
8 自分の進学	120	1.5
9 職場の人間関係	460	5.6
10 他業種への興味	256	3.1
11 自己のキャリアアップ	960	11.6
12 その他	1,557	18.8
	1,159	14.0

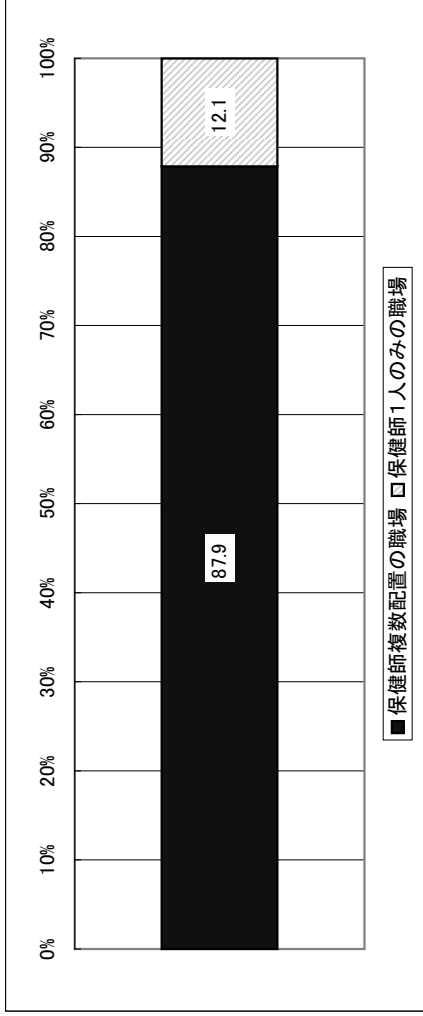


Q16(職場構成)

Q16 現在のあなたの職場構成（あなたが置かれている職場の状況）をお答えください。

・回答者のおよそ8人に1人が保健師1人のみの職場に勤務している。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 保健師複数配置の職場	20,139	87.9
2 保健師1人のみの職場	2,781	12.1

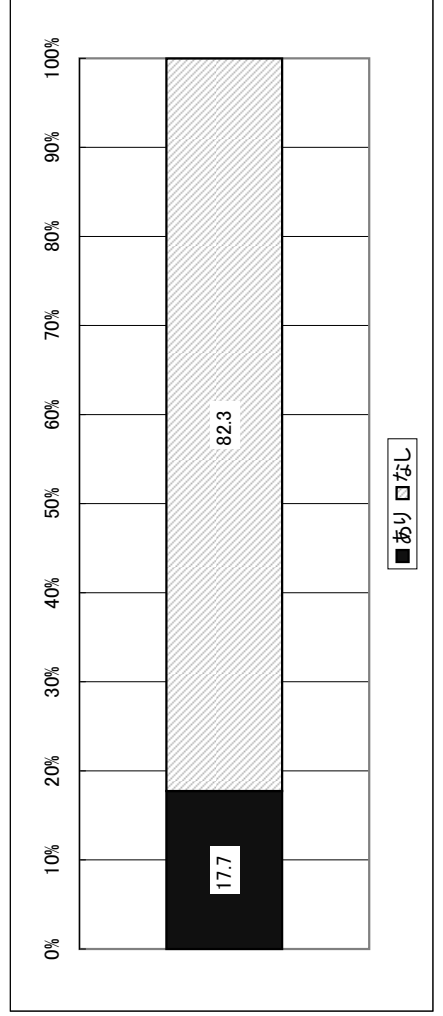


Q17(決裁権)

Q17 現在の立場での業務上での決定権（決裁の権限）をお答えください。

・業務上での決定権（決裁の権限）がある者の割合は17.7%となっており、全体の2割未満にとどまっている。
 ・Q9で課長職以上の割合が7%未満であったことから、係長以下の職位の者でも業務上の決定権を持つ者があると思われる。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 あり	4,063	17.7
2 なし	18,857	82.3

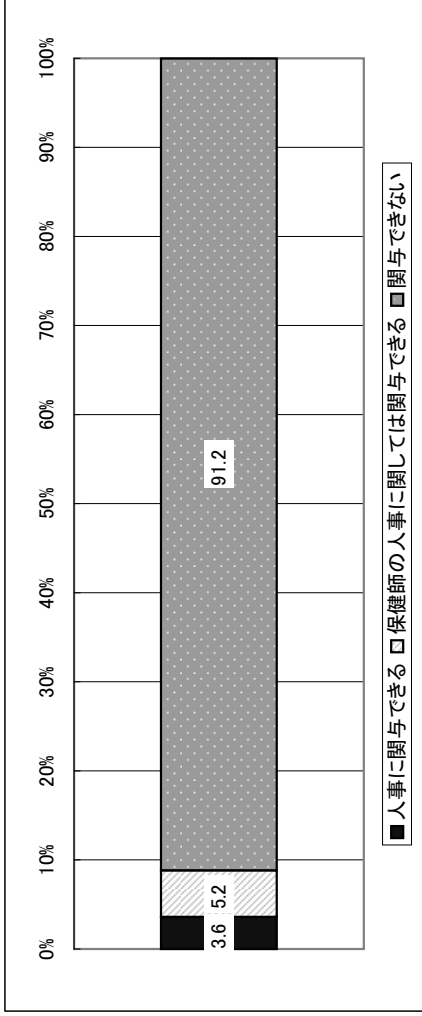


Q18(人事への関与)

Q18 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。

- ・ 人事に関与できる割合は、「人事に関与できる」(3.6%)「保健師の人事に関しては関与できる」(5.2%)を合わせても全体の1割未満にとどまっている。
- ・ Q9で課長以上の管理職が7%未満であることから、管理職以外の者で人事に関与できる者がわずかながらいると推測される。
- ・ Q10で統括的役割を持つ保健師が17%程度であったことから、統括的役割を担っている者でも保健師の人事権が多い者が多数いると思われる。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 人事に関与できる	829	3.6
2 保健師の人事に関しては関与できる	1,199	5.2
3 関与できない	20,892	91.2

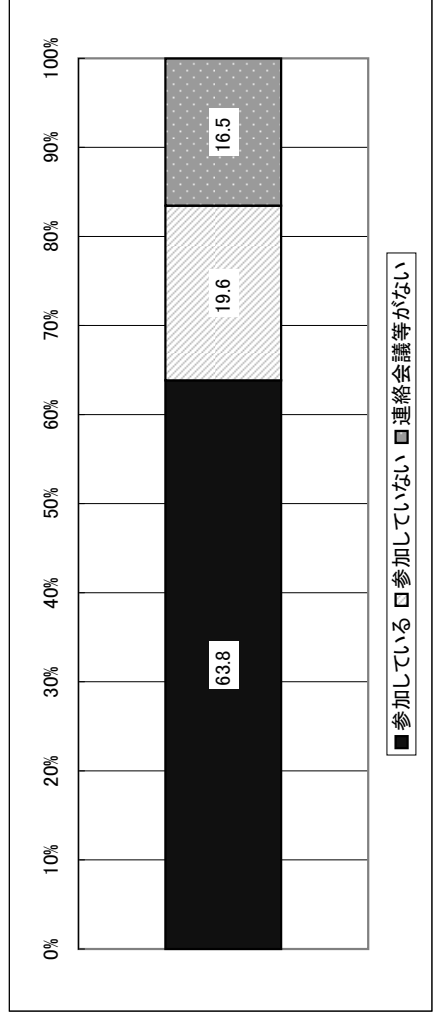


Q19(連絡会議)

Q19 連絡会議等の有無(定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワークの有無)についてあてはまるものをお答えください。

- ・ 連絡会議等に「参加している」保健師の割合は63.8%となっており、会議等はあるものの何らかの理由で参加していない者が約2割弱いる。
- ・ Q16で保健師が1人のみの職場にいる者が12%程度であったことから、複数の保健師がいる職場でも連絡会議等が無い保健師が一定程度いると思われる。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 参加している	14,632	63.8
2 参加していない	4,498	19.6
3 連絡会議等がない	3,790	16.5

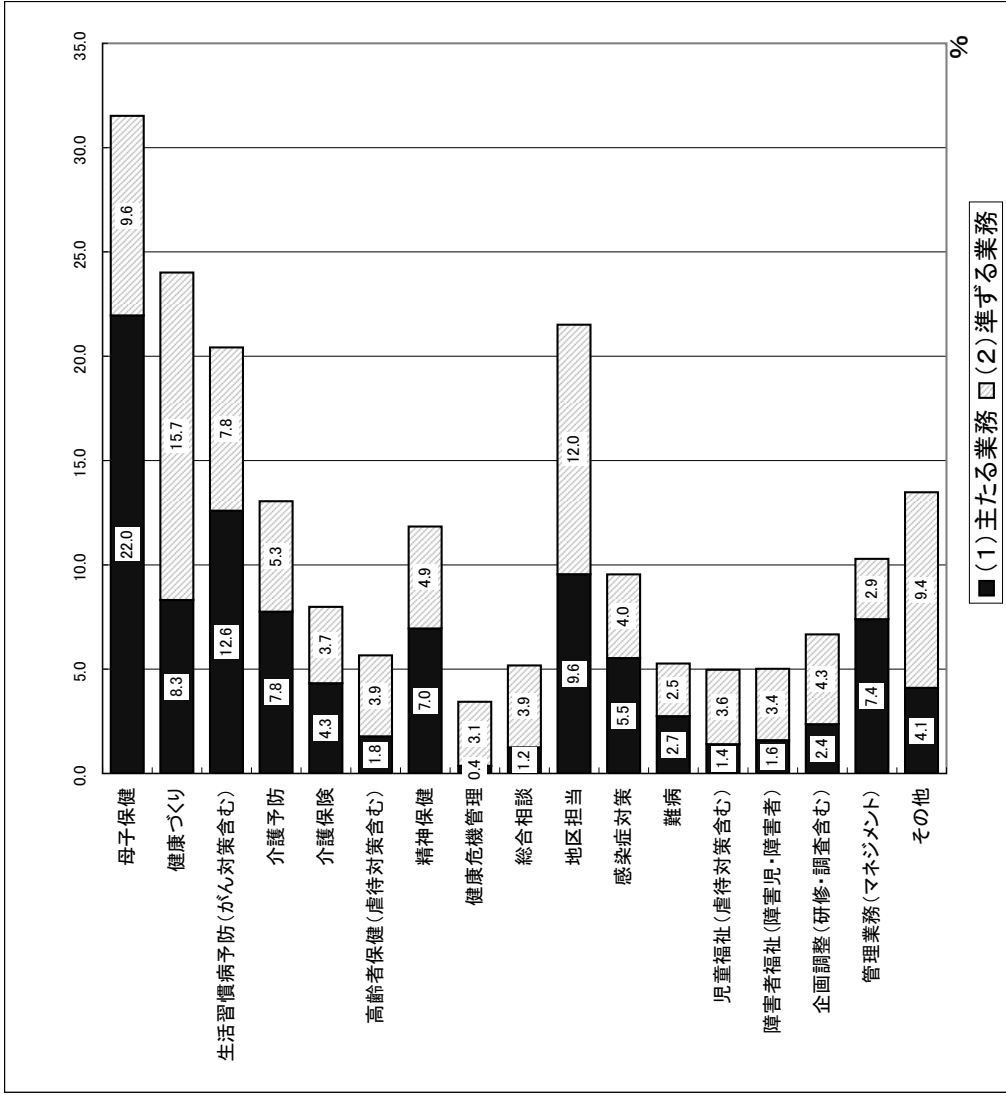


Q20 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[行政分野]

・選択肢毎に主たる業務とそれに準ずる業務を合わせると、多くの保健師(およそ5人に1人)が従事している業務としては「母子保健」(31.6%)「健康づくり」(24.0%)「地区担当」(21.6%)「生活習慣病予防」(20.4%)となっている。

(1) 主たる業務		度数	%
全体		18,516	100.0
1	母子保健	4,066	22.0
2	健康づくり	1,540	8.3
3	生活習慣病予防(がん対策含む)	2,333	12.6
4	介護予防	1,436	7.8
5	介護保険	801	4.3
6	高齢者保健(虐待対策含む)	329	1.8
7	精神保健	1,287	7.0
8	健康危機管理	68	0.4
9	総合相談	231	1.2
10	地区担当	1,769	9.6
11	感染症対策	1,024	5.5
12	難病	509	2.7
13	児童福祉(虐待対策含む)	260	1.4
14	障害者福祉(障害児・障害者)	295	1.6
15	企画調整(研修・調査含む)	438	2.4
16	管理業務(マネジメント)	1,370	7.4
17	その他	760	4.1

(2) 準ずる業務		度数	%
全体		18,516	100.0
1	母子保健	1,773	9.6
2	健康づくり	2,908	15.7
3	生活習慣病予防(がん対策含む)	1,450	7.8
4	介護予防	982	5.3
5	介護保険	679	3.7
6	高齢者保健(虐待対策含む)	721	3.9
7	精神保健	906	4.9
8	健康危機管理	570	3.1
9	総合相談	729	3.9
10	地区担当	2,215	12.0
11	感染症対策	744	4.0
12	難病	468	2.5
13	児童福祉(虐待対策含む)	662	3.6
14	障害者福祉(障害児・障害者)	636	3.4
15	企画調整(研修・調査含む)	798	4.3
16	管理業務(マネジメント)	537	2.9
17	その他	1,738	9.4

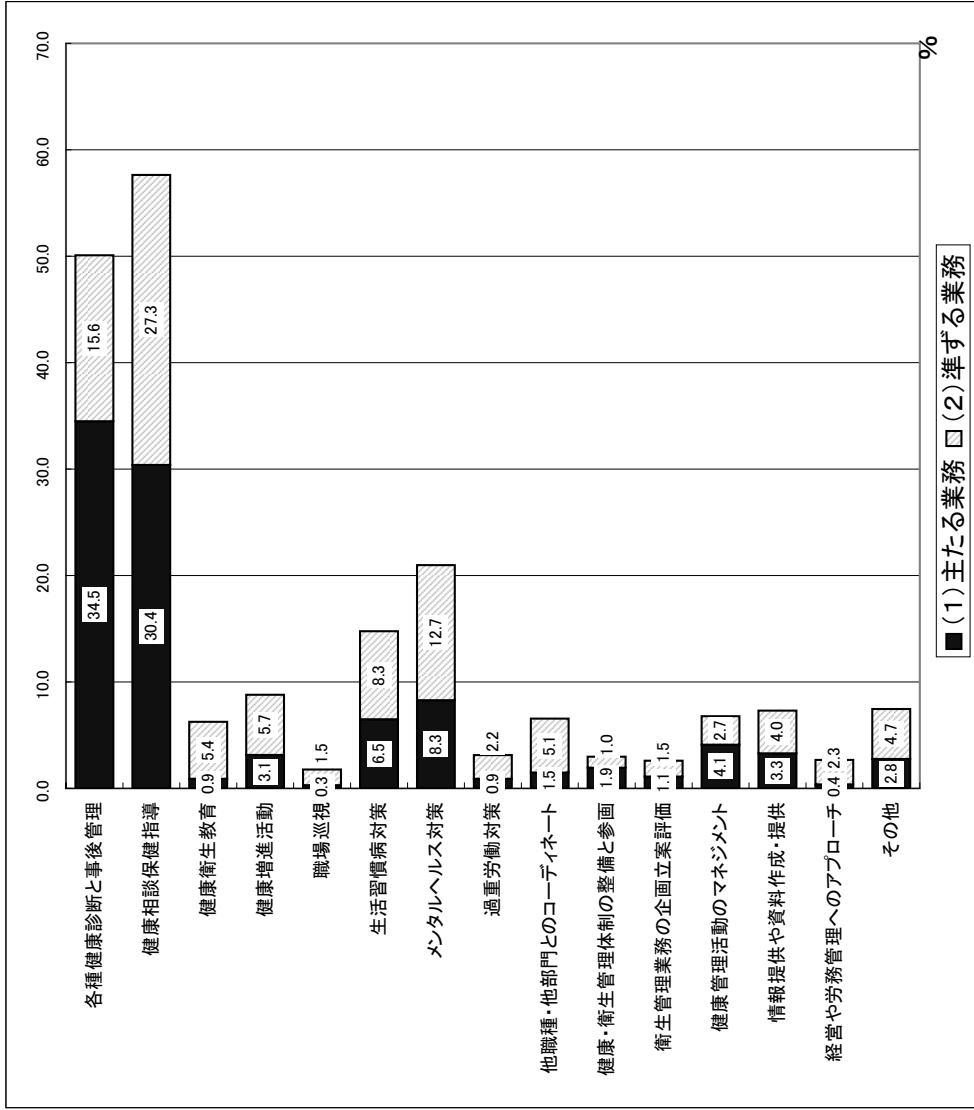


Q21 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。〔産業分野〕

・選択肢毎に主たる業務とそれに準ずる業務を合わせると、多く(約半数)の保健師が従事している業務としては、「健康相談保健指導」(57.7%)「各種健康診断と事後管理」(50.1%)となっており、これらに続くものとして「メンタルヘルス対策」(21%)「生活習慣病対策」(14.8%)となっている。

(1) 主たる業務	度数	%
全体	1,339	100.0
1 各種健康診断と事後管理	462	34.5
2 健康相談保健指導	407	30.4
3 健康衛生教育	12	0.9
4 健康増進活動	42	3.1
5 職場巡視	4	0.3
6 生活習慣病対策	87	6.5
7 メンタルヘルス対策	111	8.3
8 過重労働対策	12	0.9
9 他職種・他部門とのコーディネート	20	1.5
10 健康・衛生管理体制の整備と参画	26	1.9
11 衛生管理業務の企画立案評価	15	1.1
12 健康管理活動のマネジメント	55	4.1
13 情報提供や資料作成・提供	44	3.3
14 経営や労務管理へのアプローチ	5	0.4
15 その他	37	2.8

(2) 準ずる業務	度数	%
全体	1,339	100.0
1 各種健康診断と事後管理	209	15.6
2 健康相談保健指導	365	27.3
3 健康衛生教育	72	5.4
4 健康増進活動	76	5.7
5 職場巡視	20	1.5
6 生活習慣病対策	111	8.3
7 メンタルヘルス対策	170	12.7
8 過重労働対策	30	2.2
9 他職種・他部門とのコーディネート	68	5.1
10 健康・衛生管理体制の整備と参画	14	1.0
11 衛生管理業務の企画立案評価	20	1.5
12 健康管理活動のマネジメント	36	2.7
13 情報提供や資料作成・提供	54	4.0
14 経営や労務管理へのアプローチ	31	2.3
15 その他	63	4.7



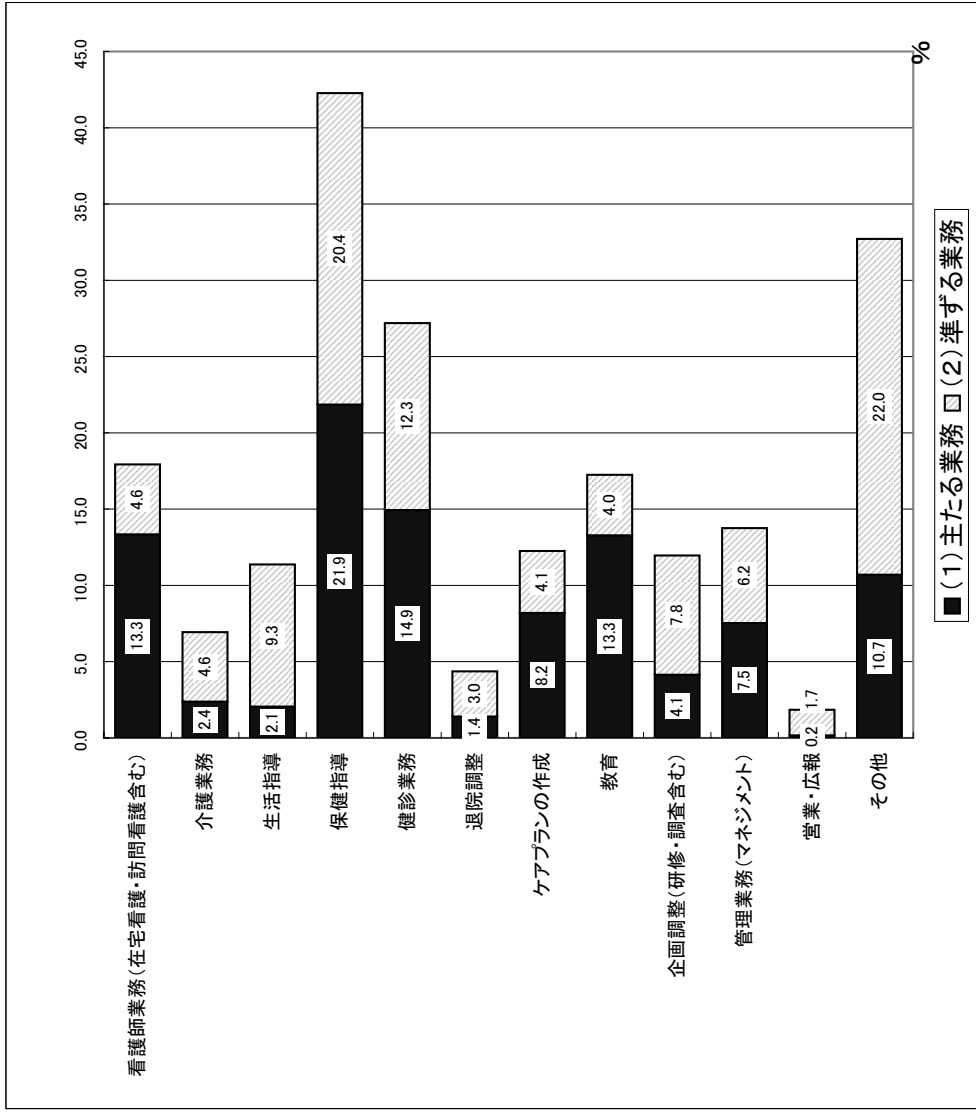
■ (1)主たる業務 □ (2)準ずる業務

Q22 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[その他の分野]

・選択肢毎に主たる業務とそれに準ずる業務を合わせると、多くの保健師が従事している業務としては、「保健指導」(42.3%)となっており、次いで「健診業務」(27.2%)となっている(「その他」は32.7%もあるが、複数の様々な業務が含まれているので除外)。

(1) 主たる業務	度数	%
全体	3,065	100.0
1 看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	409	13.3
2 介護業務	73	2.4
3 生活指導	63	2.1
4 保健指導	670	21.9
5 健診業務	458	14.9
6 退院調整	43	1.4
7 ケアプランの作成	251	8.2
8 教育	407	13.3
9 企画調整(研修・調査含む)	127	4.1
10 管理業務(マネジメント)	231	7.5
11 営業・広報	5	0.2
12 その他	328	10.7

(2) 準ずる業務	度数	%
全体	3,065	100.0
1 看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	141	4.6
2 介護業務	140	4.6
3 生活指導	286	9.3
4 保健指導	626	20.4
5 健診業務	376	12.3
6 退院調整	91	3.0
7 ケアプランの作成	125	4.1
8 教育	122	4.0
9 企画調整(研修・調査含む)	240	7.8
10 管理業務(マネジメント)	191	6.2
11 営業・広報	52	1.7
12 その他	675	22.0

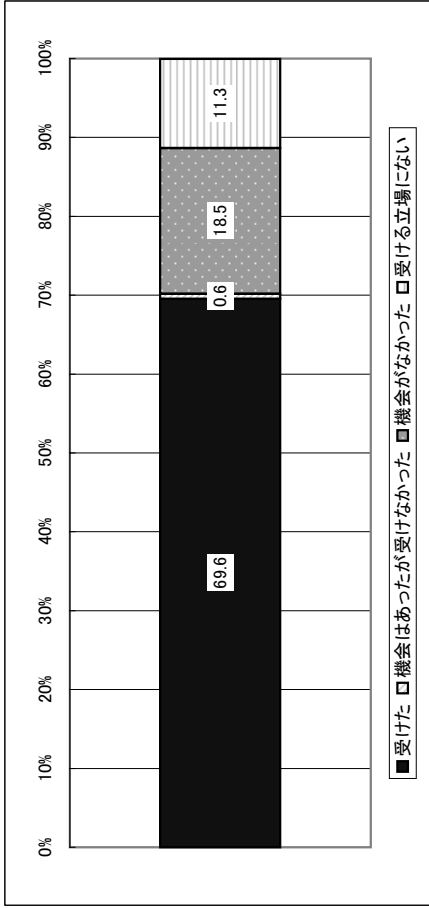


Q23(新任研修)

Q23 新任研修は受けましたか。

・新任研修を受ける機会があったが受けなかった者は0.7%と非常に少ないが、受けるべき者の約2割が機会が無かったとしている。

	度数	%	%
全体	22,920	100.0	100.0
1 受けた	15,946	69.6	78.5
2 機会があったが受けなかった	145	0.6	0.7
3 機会がなかった	4,233	18.5	20.8
4 受ける立場にない	2,596	11.3	

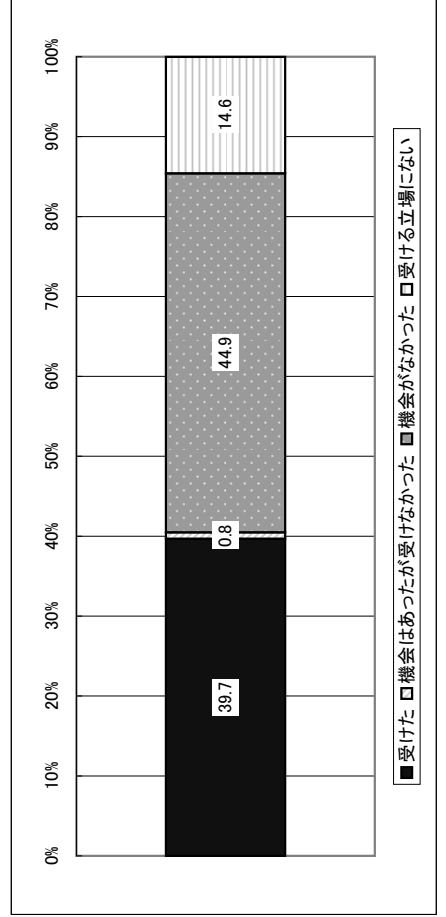


Q24(プリセプター)

Q24 プリセプター（指導保健師）による指導は受けましたか。

・プリセプターによる指導を受けた保健師の割合は、受ける立場にある（あった）と認識している者のうち半数未満にとどまっている。
 ・Q23で新任研修を受けた割合が8割程度であることから、新任研修の機会と比べプリセプターによる指導の機会は少ないようである。

	度数	%	%
全体	22,920	100.0	100.0
1 受けた	9,099	39.7	46.5
2 機会があったが受けなかった	184	0.8	0.9
3 機会がなかった	10,297	44.9	52.6
4 受ける立場にない	3,340	14.6	

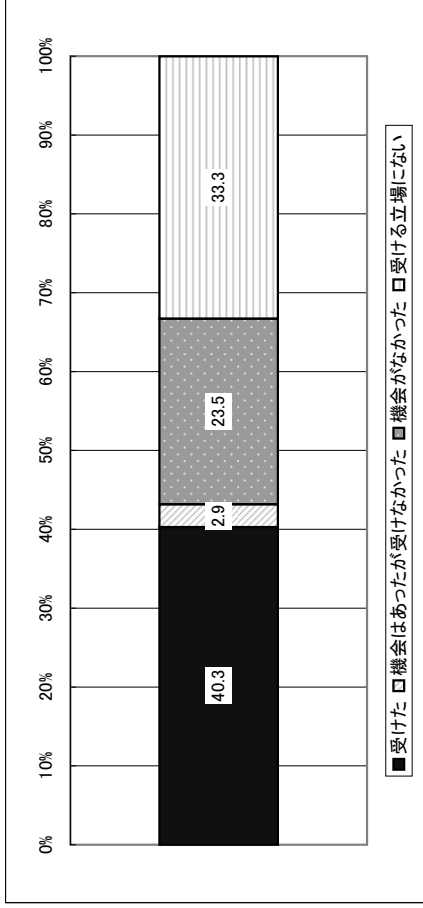


Q25(中堅研修)

Q25 中堅研修は受けましたか。

・中堅研修を受ける立場にある(あった)と認識している者のうち、実際に受けた者の割合は約65%にとどまっている。

	度数	%	%
全体	22,920	100.0	100.0
1 受けた	9,233	40.3	60.4
2 機会はあるが受けなかった	666	2.9	4.4
3 機会がなかった	5,397	23.5	35.3
4 受ける立場にない	7,624	33.3	

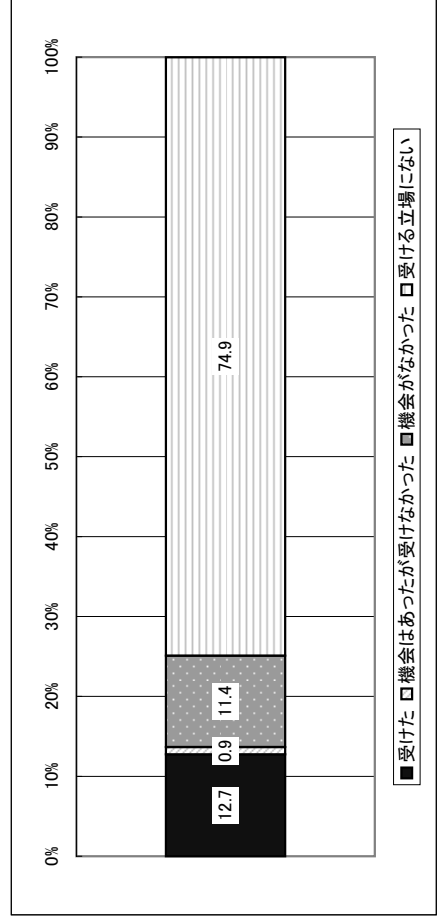


Q26(管理者研修)

Q26 管理者研修は受けましたか。

・管理者研修を受ける立場にある(あった)と認識している者は回答者の約1/4で、実際の受講者は約13%となっている。
 ・Q9で(課長職以上の)実際に管理職となっている者(約7%)は、受講者の一部のである。

	度数	%	%
全体	22,920	100.0	100.0
1 受けた	2,922	12.7	50.8
2 機会はあるが受けなかった	213	0.9	3.7
3 機会がなかった	2,621	11.4	45.5
4 受ける立場にない	17,164	74.9	

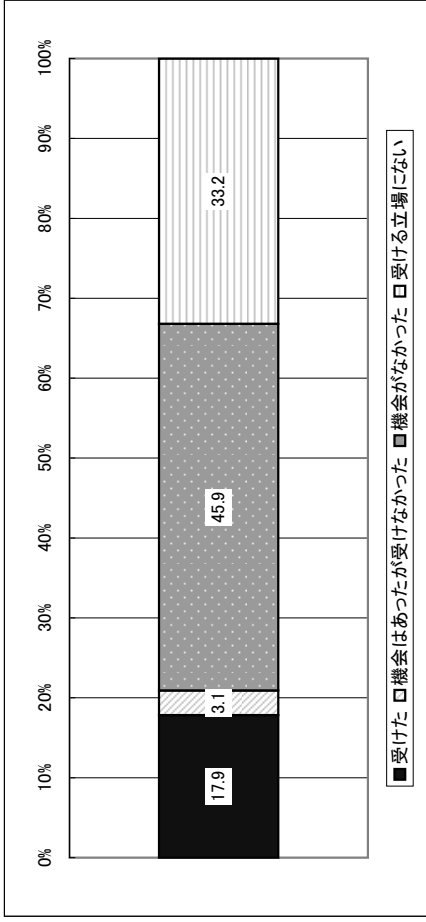


Q27(長期研修)

Q27 長期研修は受けましたか。

・長期研修を受ける立場にある(あった)と認識している者のうち、実際に受けた者は約1/4強にとどまっている。

	度数	%	%
全体	22,920	100.0	100.0
1 受けた	4,092	17.9	26.7
2 機会があったが受けなかった	704	3.1	4.6
3 機会がなかった	10,517	45.9	68.7
4 受ける立場にない	7,607	33.2	

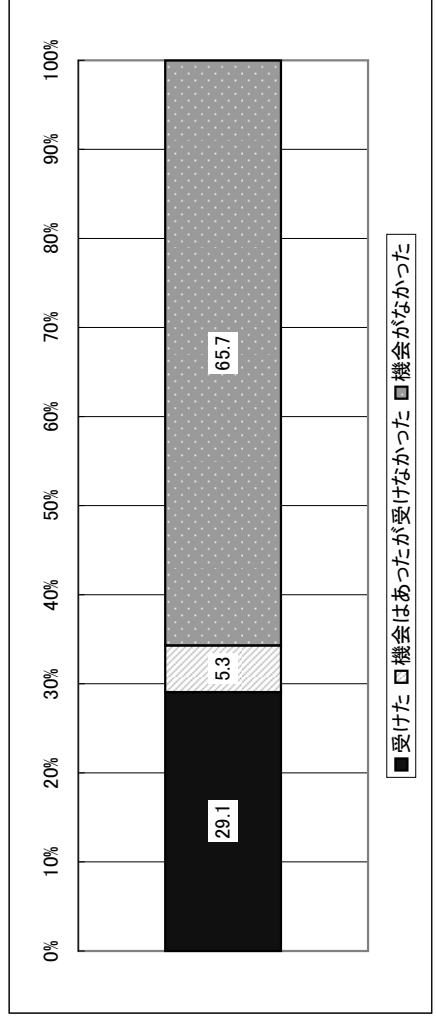


Q28(課題研修)

Q28 過去1年間に課題研修は受けましたか。

・課題研修を受けた者は全体の3割未満にとどまっている。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 受けた	6,662	29.1
2 機会があったが受けなかった	1,205	5.3
3 機会がなかった	15,053	65.7

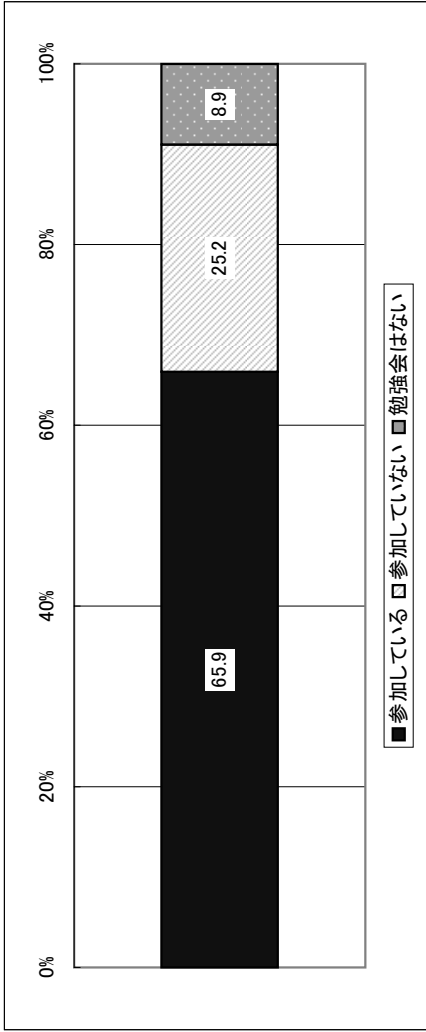


Q29(自主勉強会)

Q29 過去1年間に自主勉強会（組織内、組織外を問わず自主的な勉強会）へ参加していますか。

・自主勉強会自体の機会が無いことはあまりないが、参加している割合としては約2/3にとどまっている。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 参加している	15,109	65.9
2 参加していない	5,765	25.2
3 勉強会はない	2,046	8.9

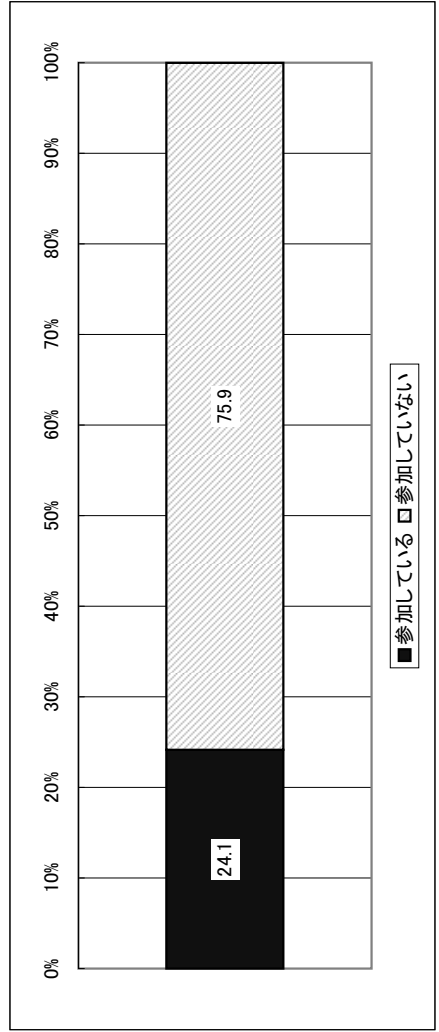


Q30(学会)

Q30 過去1年間に学会へ参加していますか。

・学会に参加している割合は約1/4にとどまっており、自主勉強会に参加している割合よりも大幅に少ない。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 参加している	5,534	24.1
2 参加していない	17,386	75.9

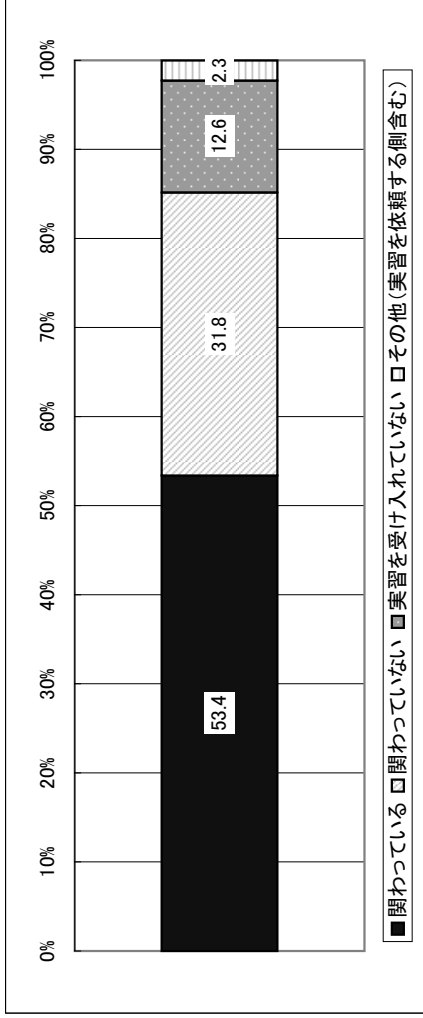


Q31(実習指導受け入れ)

Q31 過去1年間の保健師学生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか。

・回答者の約85%の勤務先で実習の受け入れを行っており、半数以上の者が受け入れに関わっている。

	度数	%
全体	22,920	100.0
1 関わっている	12,237	53.4
2 関わっていない	7,284	31.8
3 実習を受け入れていない	2,881	12.6
4 その他(実習を依頼する側含む)	518	2.3

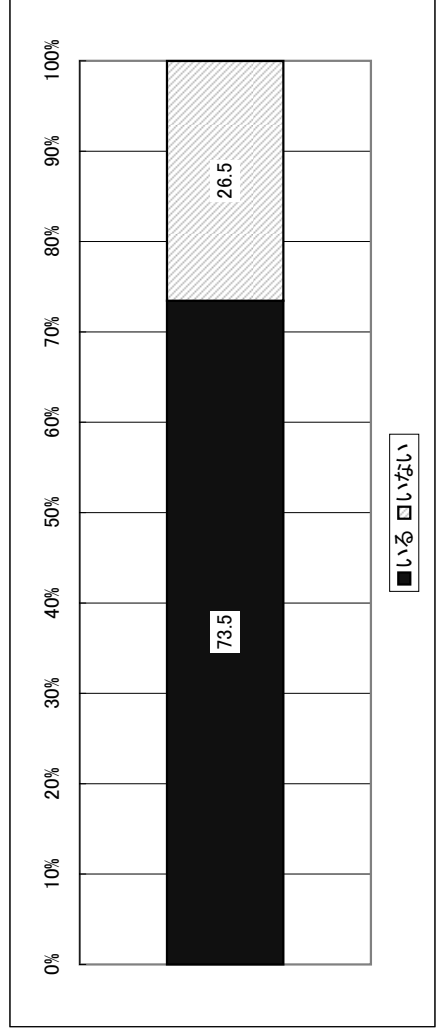


Q32(スーパーバイザー)

Q32 過去1年間にあなた自身のスーパーバイザー(業務上の相談をする人)がいますか。

・スーパーバイザーが「いる」割合は73.5%となっているが、約1/4の者には相談相手がない状況にある。

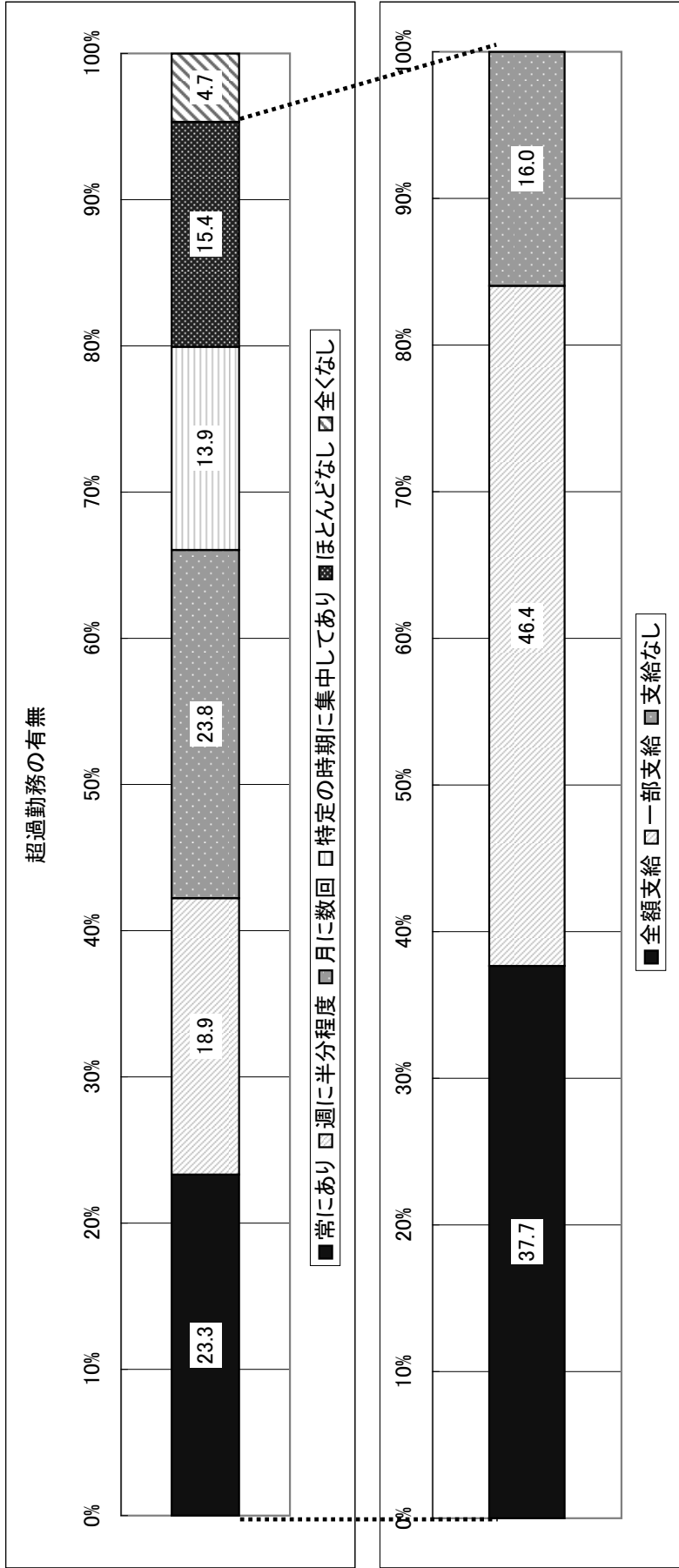
	度数	%
全体	22,920	100.0
1 いる	16,835	73.5
2 いない	6,085	26.5



Q33 超過勤務（業務の持ち帰りや残業）はありますか。
 Q34 超過勤務に対する手当はありますか。

- ・「常にあり」(23.3%)「週に半分程度」(18.9%)「月に数回」(23.8%)を合わせると、超過勤務が定期的にある保健師は全体の6割強となっている。
- ・超過勤務がある者のうち、8割以上は一部でも手当が支給されている。

Q33		Q34	
	度数	度数	%
全体			
1 常にあり	22,620	21,563	100.0
2 週に半分程度	5,276	8,121	37.7
3 月に数回	4,276	10,001	46.4
4 特定の時期に集中してあり	5,388	3,441	16.0
5 ほとんどなし	3,143		
6 全くなし	3,480		
	1,057		4.7

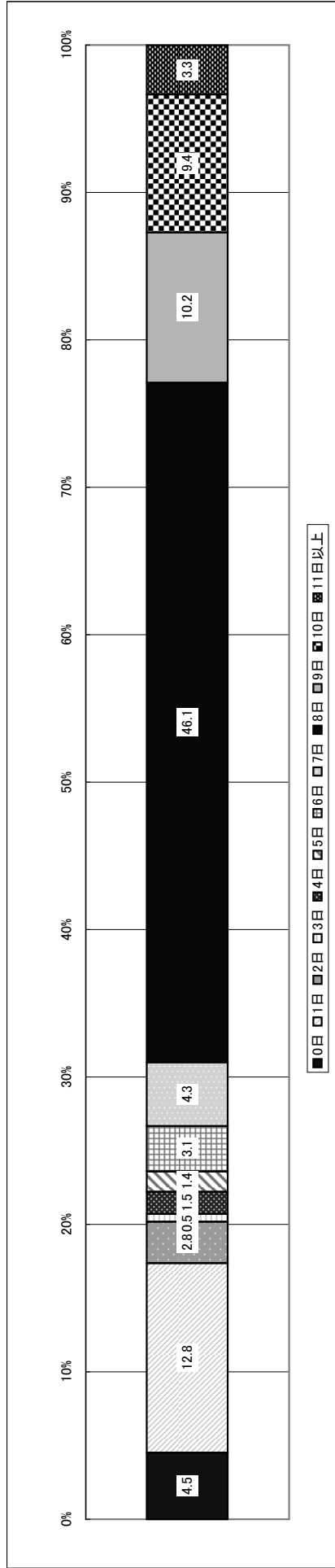


Q35 休日（所定休日）は月平均で何日程度でしたか。（月平均[]日程度）

・月平均では7日弱なので週休2日までには至っていないが、「8日」（46.1%）「9日」（10.2%）「10日」（9.4%）を合わせた割合は全体の7割弱となっており、概ね週休2日の勤務となっている。

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	22,620	22,620	155,455	6.9	3.50	20	0	8

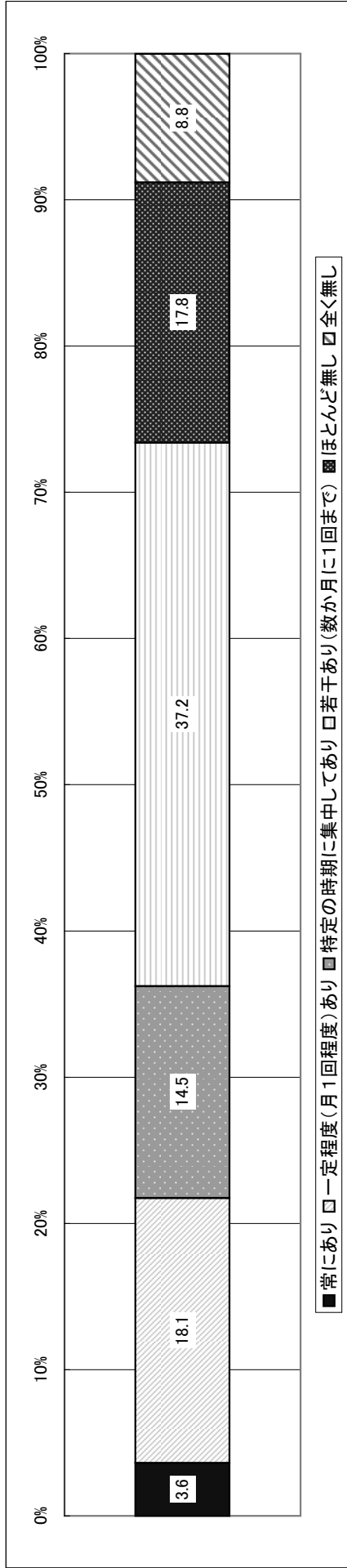
	度数	%
全体	22,620	100.0
1 0日	1,025	4.5
2 1日	2,906	12.8
3 2日	635	2.8
4 3日	120	0.5
5 4日	342	1.5
6 5日	310	1.4
7 6日	696	3.1
8 7日	978	4.3
9 8日	10,427	46.1
10 9日	2,306	10.2
11 10日	2,119	9.4
12 11日以上	756	3.3



Q36 休日出勤をすることはありますか。

- ・「常にある」(3.6%)「一定程度あり」(18.1%)を合わせると、休日出勤が定期的にある保健師は全体の2割強となっている。

	度数	%
全体		
1 常にある	22,620	100.0
2 一定程度(月1回程度)あり	820	3.6
3 特定の時期に集中してあり	4,101	18.1
4 若干あり(数か月に1回まで)	3,274	14.5
5 ほとんど無し	8,407	37.2
6 全く無し	4,027	17.8
	1,991	8.8

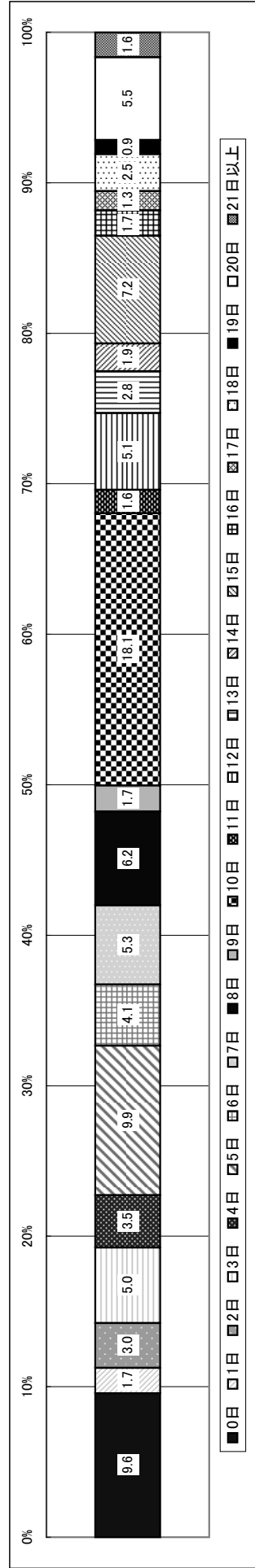


Q37 平成20年度の有給休暇取得実績をお教えください。(昨年度[]日)

- ・平均取得日数としては、約9日となっている。
- ・約2割の者が「10日」取得しているが、全体として特徴的な偏りは見られない。

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏	最大値	最小値	中央値
	22,620	22,620	205,113	9.1	6.08	60	0	10

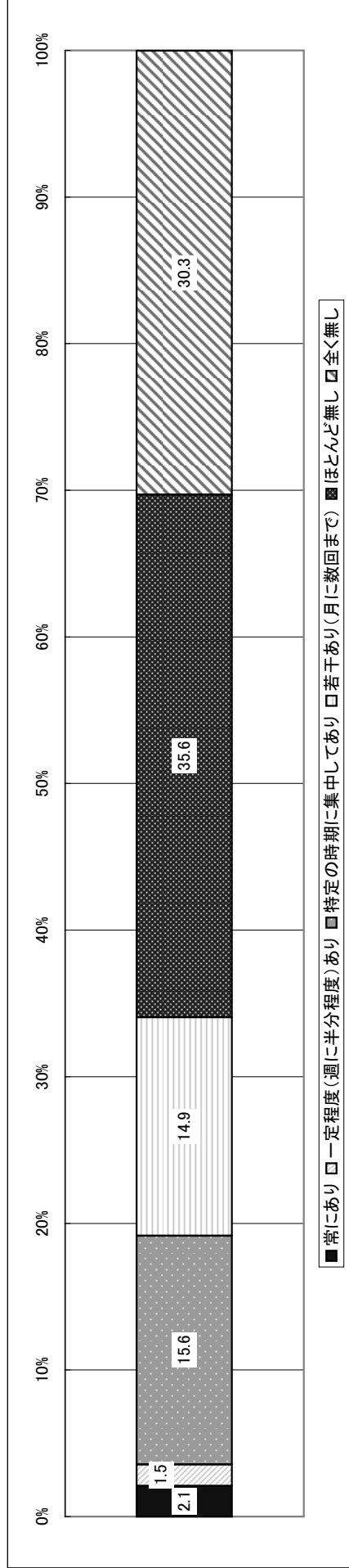
	度数	%
全体	22,620	100.0
1 0日	2,163	9.6
2 1日	384	1.7
3 2日	673	3.0
4 3日	1,139	5.0
5 4日	784	3.5
6 5日	2,248	9.9
7 6日	921	4.1
8 7日	1,189	5.3
9 8日	1,410	6.2
10 9日	392	1.7
11 10日	4,090	18.1
12 11日	354	1.6
13 12日	1,152	5.1
14 13日	627	2.8
15 14日	420	1.9
16 15日	1,622	7.2
17 16日	377	1.7
18 17日	291	1.3
19 18日	555	2.5
20 19日	213	0.9
21 20日	1,245	5.5
22 21日以上	371	1.6



Q38 過去1年間の早出・遅出出勤の頻度についてお答えください。

・約2/3の者はほとんど(全く)なく、勤務形態として定期的な早出・遅出出勤をしている保健師は4%未満と極めて少ない。

	度数	%
全体		
1 常にあり	22,620	100.0
2 一定程度(週に半分程度)あり	475	2.1
3 特定の時期に集中してあり	333	1.5
4 若干あり(月に数回まで)	3,528	15.6
5 ほとんど無し	3,373	14.9
6 全く無し	8,059	35.6
	6,852	30.3

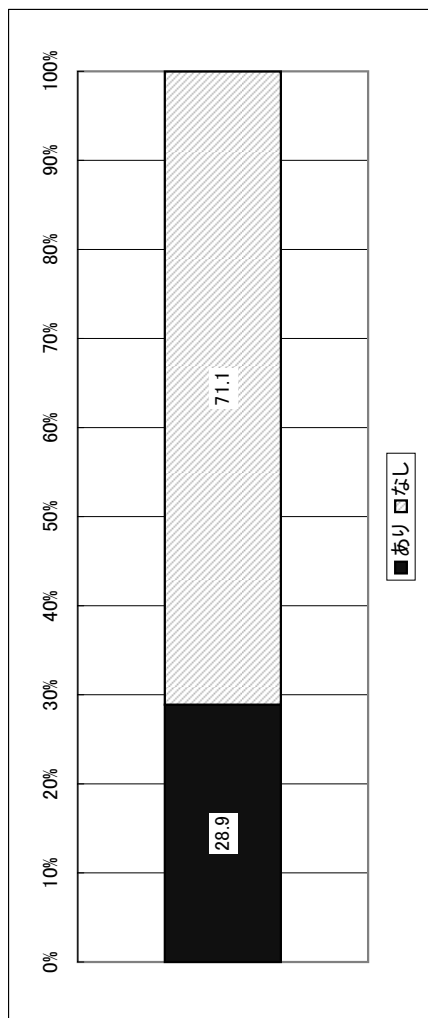


Q39 (オンコール対応)

Q39 過去1年間にオンコール対応はありましたか。

・約3割の者が過去一年間にオンコール対応があった。

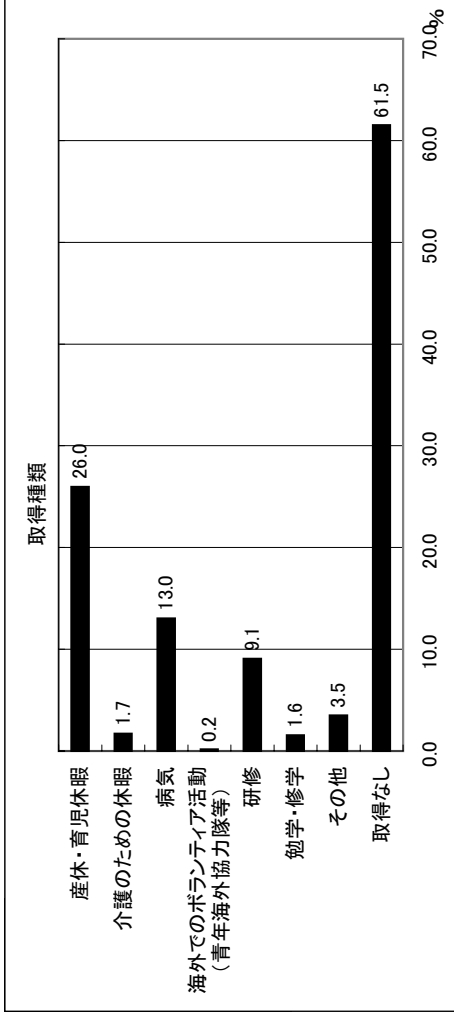
	度数	%
全体	22,620	100.0
1 あり	6,534	28.9
2 なし	16,086	71.1



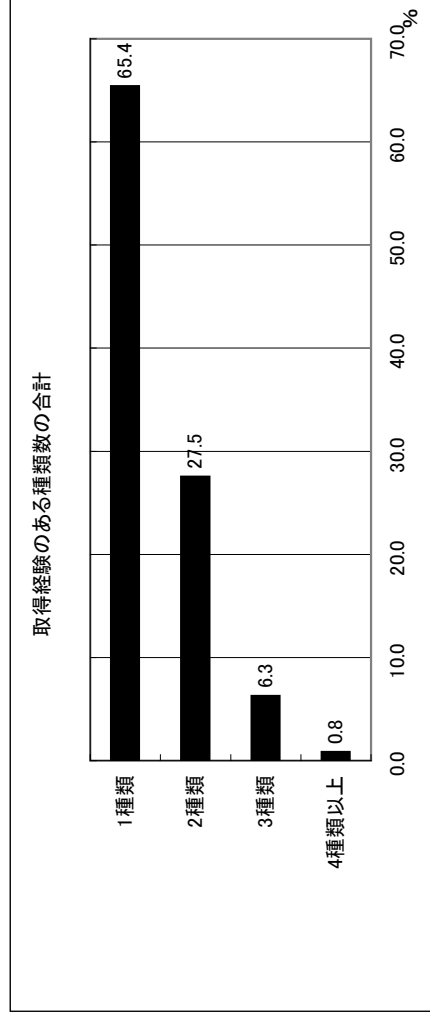
Q40 取得した経験のあるものをすべてお選びください。[複数回答]

- ・休暇の取得種類としては「取得なし」が61.5%と最多だが、取得したもので多いものは「産休・育児休暇」(26.0%)「病欠」(13.0%)「研修」(9.1%)となっている。
- ・取得経験のある休暇の種類の数としては、約2/3の取得者が「1種類」であるが、2種類の取得者も3割弱いる。

取得種類		度数	%
全体		22,620	100.0
1	産休・育児休暇	5,874	26.0
2	介護のための休暇	385	1.7
3	病欠	2,944	13.0
4	海外でのボランティア活動 (青年海外協力隊等)	35	0.2
5	研修	2,048	9.1
6	勉強・修学	351	1.6
7	その他	787	3.5
8	取得なし	13,910	61.5



取得経験のある種類数の合計		度数	%
全体		8,710	100.0
1	1種類	5,696	65.4
2	2種類	2,397	27.5
3	3種類	545	6.3
4	4種類以上	72	0.8



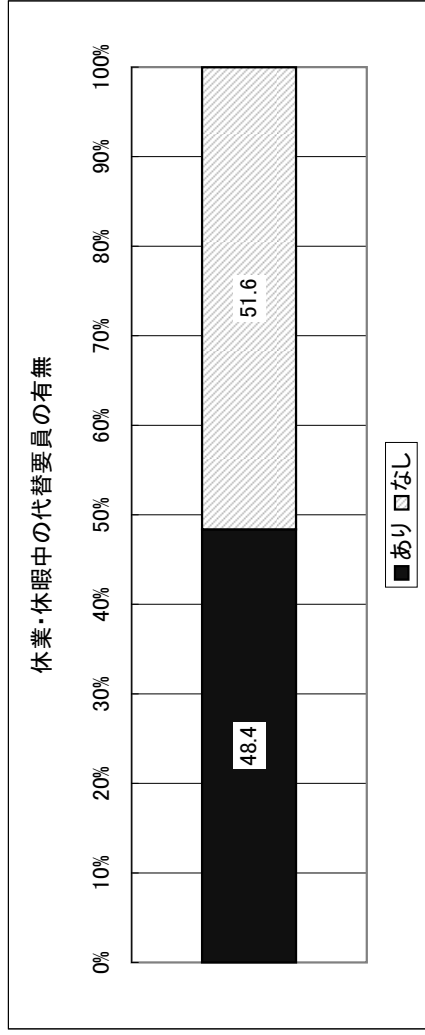
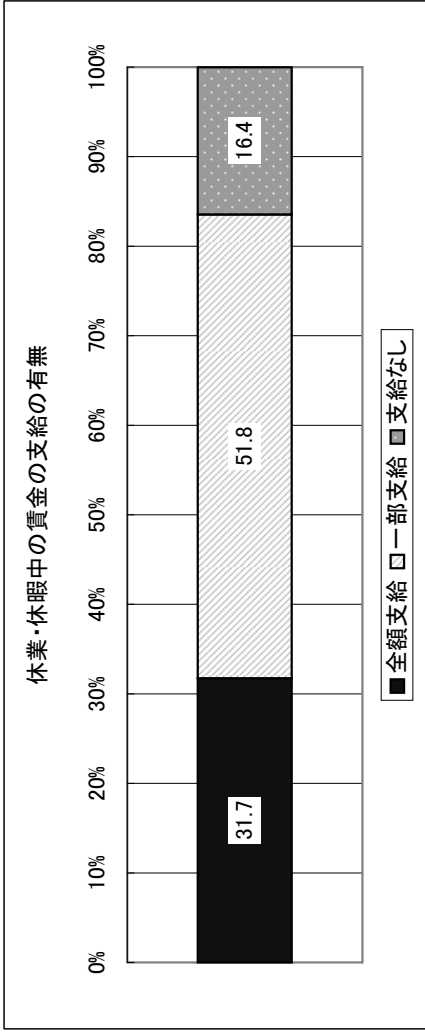
Q41(休業中の賃金)Q42(休業中の代替要員)

- Q41 休業・休暇中の賃金の支給はありましたか。
 Q42 休業・休暇中の代替要員はありましたか。

・「全額支給」(31.7%)「一部支給」(51.8%)を合わせると、休業・休暇中の賃金が支給されている割合は全体の8割以上となっている。
 ・しかし、休業・休暇中の代替要員があったのは約半数弱の取得者にとどまっている。

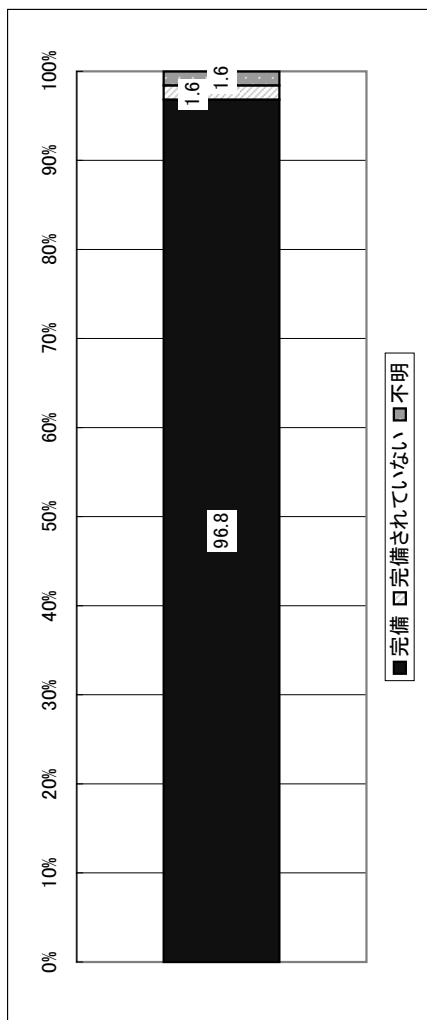
Q41		度数	%
	全体	8,710	100.0
1	全額支給	2,765	31.7
2	一部支給	4,513	51.8
3	支給なし	1,432	16.4

Q42		度数	%
	全体	8,710	100.0
1	あり	4,214	48.4
2	なし	4,496	51.6



Q43 現在の職場で社会保険は完備されていますか。(年金・医療保険等)
 ・96.8%の回答者の勤務先で社会保険が完備されている。

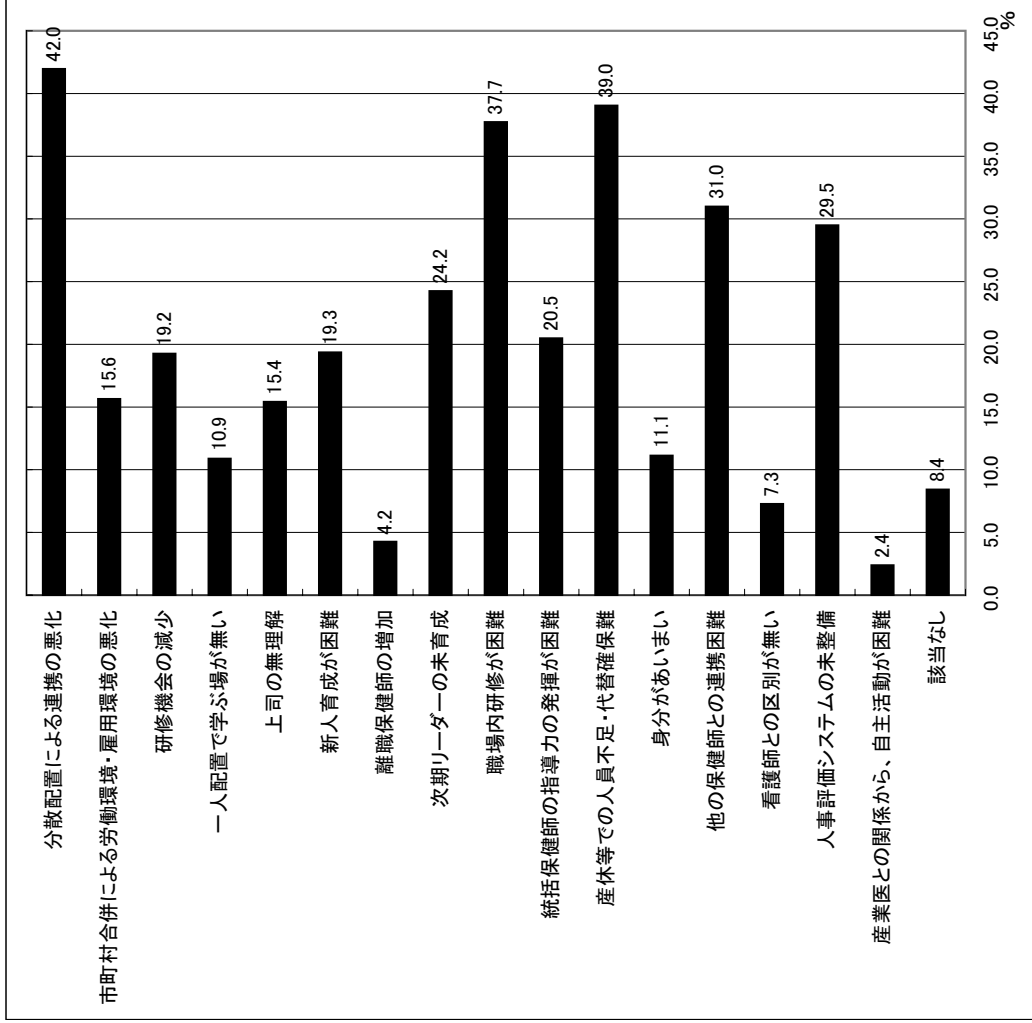
	度数	%
全体	22,920	100.0
1 完備	22,197	96.8
2 完備されていない	364	1.6
3 不明	359	1.6



Q44 あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものすべてをお選びください。[複数回答]

・現状の課題・問題としては、「分散配置による連携の悪化」を選択している割合が42.0%と最も高く、次いで「産休等での人員不足・代替確保難」(39.0%)、「職場内研修が困難」(37.7%)「他保健師との連携困難」(31.0%)「人事評価システムの未整備」(29.5%)となっている。
 ・分散配置によって、代替人員の確保や職場内研修が困難になっていたり、他の保健師との連携が困難になっていたりしているように思われる。

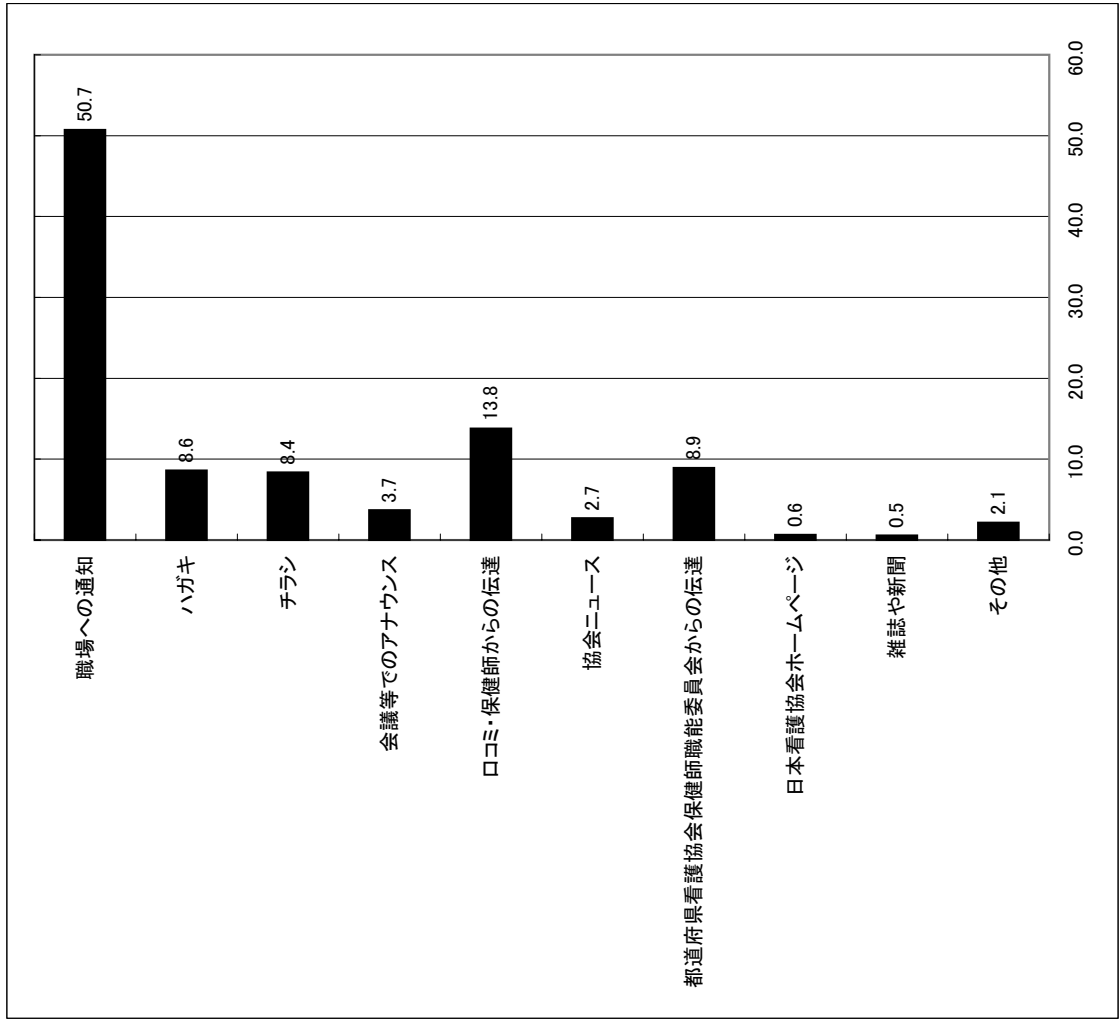
全体		度数	%
1	分散配置により、保健師間での業務の連携・協力ができなくなった	22,920	100.0
2	市町村合併で、労働環境・雇用環境の悪化がみられる(保健師の役割・職場環境・市町村格差)	9,615	42.0
3	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	3,584	15.6
4	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	4,412	19.2
5	上司が保健師でなく、理解が得られない	2,492	10.9
6	新人の人材育成ができない	3,531	15.4
7	3年未満で離職する保健師の増加	4,434	19.3
8	次期のリーダーが育っていない	974	4.2
9	業務増加により職場内研修の確保が困難	5,554	24.2
10	統括保健師のリーダーシップが発揮できていない	8,645	37.7
11	産休や育休による人員不足・代替確保が困難	4,692	20.5
12	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである	8,946	39.0
13	所属が違う保健師(外部)との連携がとれていない	2,548	11.1
14	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	7,100	31.0
15	保健師としての人事評価システムが整備されていない	1,664	7.3
16	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	6,758	29.5
17	あてはまるものは一つもない	543	2.4
		1,928	8.4



Q45 この調査を知った主な媒体を1つお選びください。

・本調査を知った主な媒体としては「職場への通知」が最多の50.7%となっている。

	度数	%
全体		
1 職場への通知	23,054	100.0
2 ハガキ	11,684	50.7
3 チラシ	1,982	8.6
4 会議等でのアナウンス	1,928	8.4
5 口コミ・保健師からの伝達	852	3.7
6 協会ニュース	3,173	13.8
7 都道府県看護協会保健師職能委員会からの伝達	617	2.7
8 日本看護協会ホームページ	2,050	8.9
9 雑誌や新聞	149	0.6
10 その他	124	0.5
	495	2.1



1. 属性

①年齢×経年数

- ・年齢と経年数との間にはある程度の相関性がある。
- ・経年数の各カテゴリを見ると、概ね経年数+25を実年齢とする者が約半数を占めている。
- ・一方で、同じ年齢層でも経年数の浅い者が（何歳になっても通算経年数の少ない者が）若干名はいる。

		NQ3: 年齢(カテゴリ)[SA]									
		全体	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60歳以上
全体		23054 100.0	1062 4.6	3079 13.4	3444 14.9	3258 14.1	3398 14.7	3478 15.1	2755 12.0	1946 8.4	634 2.8
NQ5 M001 (カテゴリ) : 通算 経年数	0~4年	4707 100.0	1062 22.6	2339 49.7	796 16.9	225 4.8	136 2.9	66 1.4	44 0.9	28 0.6	11 0.2
	5~9年	3401 100.0	0 0.0	740 21.8	1781 52.4	498 14.6	215 6.3	96 2.8	39 1.1	23 0.7	9 0.3
	10~14年	3426 100.0	0 0.0	0 0.0	867 25.3	1745 50.9	498 14.5	196 5.7	67 2.0	40 1.2	13 0.4
	15~19年	2907 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	790 27.2	1592 54.8	340 11.7	112 3.9	62 2.1	11 0.4
	20~24年	2953 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	957 32.4	1623 55.0	258 8.7	87 2.9	28 0.9
	25~29年	2877 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1157 40.2	1464 50.9	215 7.5	41 1.4
	30年以上	2783 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	771 27.7	1491 53.6	521 18.7

		NNQ5M001: 通算経年数(カテゴリ)[SA]							
		全体	0~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~24年	25~29年	30年以上
全体		23054 100.0	4707 20.4	3401 14.8	3426 14.9	2907 12.6	2953 12.8	2877 12.5	2783 12.1
NQ3 (カテゴリ) : 年齢	20~24歳	1062 100.0	1062 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	3079 100.0	0 0.0	740 24.0	1781 57.0	498 16.0	215 7.0	96 3.0	39 1.2
	30~34歳	3444 100.0	0 0.0	0 0.0	867 25.2	1745 50.4	498 14.5	196 5.7	67 2.0
	35~39歳	3258 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	790 24.2	1592 48.6	340 10.0	112 3.4
	40~44歳	3398 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	957 28.2	1623 47.8	258 7.6
	45~49歳	3478 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1157 33.3	1464 42.1
	50~54歳	2755 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	771 28.0
	55~59歳	1946 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1491 76.6
	60歳以上	634 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	521 82.2

②年齢×最終学歴

- ・年齢が若いほど（最近になるほど）、四年生大学卒の者の割合が高く、専門学校卒の割合は低くなっている。
- ・短大専攻科卒の者は特に30代に多い。
- ・大学院卒の者の割合は、20代と60歳以上を除き、年代による偏りはあまり見られない。

		04: あなたの最終学歴をお答えください。[SA]					
		全体	専門学校 (保健師養 成機関)	短大専攻 科	四年制大 学	大学院修 士(前期) 課程	大学院博 士(後期) 課程
全体		23054 100.0	14253 61.8	2423 10.5	5660 24.6	631 2.7	87 0.4
NQ3 (カテゴリ) : 年齢	20~24歳	1062 100.0	128 12.1	77 7.3	850 80.0	7 0.7	0 0.0
	25~29歳	3079 100.0	631 20.5	339 11.0	2034 66.1	75 2.4	0 0.0
	30~34歳	3444 100.0	1404 40.8	626 18.2	1306 37.9	104 3.0	4 0.1
	35~39歳	3258 100.0	2113 64.9	560 17.2	472 14.5	104 3.2	9 0.3
	40~44歳	3398 100.0	2514 74.0	434 12.8	340 10.0	95 2.8	15 0.4
	45~49歳	3478 100.0	2851 82.0	241 6.9	280 8.1	91 2.6	15 0.4
	50~54歳	2755 100.0	2359 85.6	90 3.3	213 7.7	79 2.9	14 0.5
	55~59歳	1946 100.0	1716 88.2	49 2.5	130 6.7	41 2.1	10 0.5
	60歳以上	634 100.0	537 84.7	7 1.1	35 5.5	35 5.5	20 3.2

③最終学歴×年齢×経験年数

- ・ 四年制大学卒や短大専攻科卒、大学院修士課程卒の者に通算経験年数が比較的短い者の割合が高く、専門学校（保健師養成機関）卒の者に通算経験年数の比較的長い者の割合が高い。
- ・ 大学院博士課程卒の者は、経験年数の長短による特徴的な差異はあまり見られず、また年齢の分布も大きな偏りは見られない。

		05: 通算経験年数(年) [SA]							
		全体	0~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~24年	25~29年	30年以上
全体		2305.4 100.0	4707 20.4	3401 14.8	3426 14.9	2907 12.6	2853 12.8	2877 12.5	2783 12.1
専門学校（保健師養成機関）計		14253 100.0	947 6.6	1428 10.0	2231 15.7	2181 15.3	2452 17.2	2517 17.7	2497 17.5
20~24歳		128 100.0	128 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25~29歳		631 100.0	415 65.8	216 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30~34歳		1404 100.0	183 13.0	715 50.9	506 36.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳		2113 100.0	66 3.1	261 12.4	1189 56.3	597 28.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40~44歳		2514 100.0	69 2.7	130 5.2	324 12.9	1200 47.7	791 31.5	0 0.0	0 0.0
45~49歳		2851 100.0	41 1.4	62 2.2	126 4.4	244 8.6	1355 47.5	1023 35.9	0 0.0
50~54歳		2359 100.0	18 0.8	25 1.1	47 2.0	81 3.4	212 9.0	1286 54.5	694 29.2
55~59歳		1716 100.0	20 1.2	13 0.8	30 1.7	52 3.0	73 4.3	175 10.2	1353 78.8
60歳以上		537 100.0	7 1.3	6 1.1	9 1.7	7 1.3	21 3.9	33 6.1	454 84.5
短大専攻科計		2423 100.0	529 21.9	584 24.1	563 23.2	351 14.5	227 9.4	116 4.8	82 2.6
20~24歳		77 100.0	77 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25~29歳		339 100.0	242 71.4	97 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30~34歳		626 100.0	131 20.9	334 53.4	161 25.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳		560 100.0	41 7.3	105 18.8	285 50.9	129 23.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40~44歳		454 100.0	18 4.1	41 9.4	39 20.5	193 44.5	93 21.4	0 0.0	0 0.0
45~49歳		241 100.0	7 2.9	7 2.9	22 9.1	24 10.0	120 49.8	61 25.3	0 0.0
50~54歳		90 100.0	2 2.2	0 0.0	3 3.3	3 3.0	9 10.0	45 50.0	28 31.1
55~59歳		49 100.0	2 4.1	0 0.0	3 6.1	3 4.1	3 6.1	9 18.4	30 61.2
60歳以上		7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	4 57.1
四年制大学計		5660 100.0	3072 54.3	1253 22.1	519 9.2	295 5.2	204 3.6	169 3.0	148 2.6
20~24歳		850 100.0	850 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25~29歳		2034 100.0	1617 79.5	417 20.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30~34歳		1309 100.0	444 34.0	679 52.0	183 14.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳		472 100.0	95 20.1	101 21.4	223 47.2	53 11.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40~44歳		340 100.0	33 9.7	28 7.6	67 19.7	158 46.5	56 16.5	0 0.0	0 0.0
45~49歳		280 100.0	13 4.6	16 5.7	32 11.4	57 20.4	111 39.6	51 18.2	0 0.0
50~54歳		213 100.0	16 7.5	8 3.8	10 4.7	21 9.9	30 14.1	92 43.2	36 16.9
55~59歳		138 100.0	2 1.5	6 4.6	3 2.3	7 3.8	7 5.4	21 16.2	86 66.2
60歳以上		39 100.0	2 5.7	0 0.0	1 2.9	1 2.9	0 0.0	5 14.3	26 74.3
大学院修士（前期）課程計		631 100.0	155 24.6	120 19.0	101 16.0	69 10.9	62 9.8	64 10.1	60 9.5
20~24歳		104 100.0	37 100.0	50 0.0	17 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25~29歳		75 100.0	65 86.7	10 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30~34歳		104 100.0	37 35.6	50 48.1	17 16.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳		104 100.0	21 20.2	28 26.9	45 43.3	10 9.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40~44歳		95 100.0	12 12.6	12 12.6	16 16.8	38 40.0	17 17.9	0 0.0	0 0.0
45~49歳		91 100.0	4 4.4	9 9.9	13 14.3	11 12.1	33 36.3	21 23.1	0 0.0
50~54歳		79 100.0	4 5.1	5 6.3	6 7.6	6 7.6	7 8.9	36 45.6	15 19.0
55~59歳		41 100.0	4 9.8	3 7.3	3 7.3	3 7.3	7 4.9	7 17.1	18 46.3
60歳以上		35 100.0	1 2.9	3 8.6	1 2.9	1 2.9	3 8.6	0 0.0	26 74.3
大学院博士（後期）課程計		87 100.0	13 14.9	16 18.4	12 13.8	11 12.6	8 9.2	11 12.6	16 18.4
20~24歳		0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25~29歳		0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30~34歳		4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳		9 100.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40~44歳		15 100.0	4 26.7	6 40.0	2 13.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
45~49歳		15 100.0	1 6.7	2 13.3	3 20.0	4 26.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0
50~54歳		14 100.0	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	5 35.7	2 14.3
55~59歳		10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0
60歳以上		20 100.0	11 5.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	11 55.0

04: あなたの最終学歴をお答えください。

④活動領域×年齢×最終学歴

- ・教育分野を除き、年齢が若いほど四年生大学卒の者の割合が高く、専門学校卒の割合は低い。四年生大学卒の者は産業・医療分野に比較的多い。
- ・大学院卒の者の殆どは教育分野に所属し、40・50代が多い。

		Q4: あなたの最終学歴をお答えください。[SA]					
		全体	専門学校 (保健師養成機関)	短大専攻 科	四年制大 学	大学院修 士(前期) 課程	大学院博 士(後期) 課程
	全体	23054 100.0	14253 61.8	2423 10.5	5660 24.6	631 2.7	87 0.4
N03 年齢× 活動領域として、最もあてはまるものを一つお選びください。	行政計	18516 100.0	11909 64.3	1966 10.6	4286 23.1	343 1.9	12 0.1
	20~24歳	840 100.0	104 12.4	67 8.0	663 78.9	6 0.7	0 0.0
	25~29歳	2349 100.0	481 20.5	254 10.8	1551 66.0	63 2.7	0 0.0
	30~34歳	2797 100.0	1203 43.0	515 18.4	1010 36.1	67 2.4	2 0.1
	35~39歳	2698 100.0	1820 67.7	460 17.1	350 13.0	55 2.0	3 0.1
	40~44歳	2744 100.0	2091 76.2	361 13.2	247 9.0	44 1.6	1 0.0
	45~49歳	2867 100.0	2431 84.8	189 6.6	201 7.0	45 1.6	1 0.0
	50~54歳	2322 100.0	2043 88.0	80 3.4	152 6.5	42 1.8	5 0.2
	55~59歳	1618 100.0	1469 90.8	37 2.3	98 6.1	14 0.9	0 0.0
	60歳以上	291 100.0	267 91.8	3 1.0	14 4.8	7 2.4	0 0.0
	産業計	1339 100.0	699 52.2	174 13.0	414 30.9	43 3.2	9 0.7
	20~24歳	43 100.0	4 9.3	2 4.7	37 86.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	209 100.0	38 18.2	29 13.9	140 67.0	2 1.0	0 0.0
	30~34歳	195 100.0	57 29.2	36 18.5	91 46.7	10 5.1	1 0.5
	35~39歳	198 100.0	105 53.0	38 19.2	49 24.7	6 3.0	0 0.0
	40~44歳	235 100.0	149 63.4	37 15.7	38 16.2	10 4.3	1 0.4
	45~49歳	202 100.0	134 66.3	22 10.9	35 17.3	7 3.5	4 2.0
	50~54歳	120 100.0	102 85.0	3 2.5	13 10.8	2 1.7	0 0.0
	55~59歳	91 100.0	73 80.2	4 4.4	8 8.8	5 5.5	1 1.1
	60歳以上	46 100.0	37 80.4	3 6.5	3 6.5	1 2.2	2 4.3
	医療計	1121 100.0	529 47.2	136 12.1	425 37.9	28 2.5	3 0.3
	20~24歳	95 100.0	12 12.6	7 7.4	76 80.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	281 100.0	61 21.7	40 14.2	178 63.3	2 0.7	0 0.0
	30~34歳	205 100.0	69 33.7	36 17.6	95 46.3	5 2.4	0 0.0
	35~39歳	126 100.0	67 53.2	24 19.0	26 20.6	7 5.6	2 1.6
	40~44歳	125 100.0	86 70.4	14 11.2	17 13.6	4 4.8	0 0.0
	45~49歳	135 100.0	105 77.8	9 6.7	18 13.3	3 2.2	0 0.0
50~54歳	76 100.0	60 76.9	4 5.1	10 12.9	4 5.1	0 0.0	
55~59歳	54 100.0	48 88.9	2 3.7	3 5.6	1 1.9	0 0.0	
60歳以上	22 100.0	19 86.4	0 0.0	2 9.1	0 0.0	1 4.5	
福祉計	963 100.0	586 60.5	80 8.3	273 28.2	29 3.0	0 0.0	
20~24歳	62 100.0	6 9.7	0 0.0	55 88.7	1 1.6	0 0.0	
25~29歳	130 100.0	30 23.1	9 6.9	87 66.9	4 3.1	0 0.0	
30~34歳	119 100.0	43 36.1	17 14.3	52 43.7	7 5.9	0 0.0	
35~39歳	129 100.0	81 62.8	24 18.6	22 17.1	2 1.6	0 0.0	
40~44歳	156 100.0	116 74.4	13 8.3	22 14.1	5 3.2	0 0.0	
45~49歳	134 100.0	105 78.4	13 9.7	13 9.7	3 2.2	0 0.0	
50~54歳	112 100.0	91 81.3	2 1.8	16 14.3	3 2.7	0 0.0	
55~59歳	83 100.0	74 89.2	2 2.4	4 4.8	3 3.6	0 0.0	
60歳以上	43 100.0	40 93.0	0 0.0	2 4.7	1 2.3	0 0.0	
教育計	488 100.0	126 25.8	24 4.9	115 23.6	163 33.4	60 12.3	
20~24歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	8 88.9	0 0.0	0 0.0	
25~29歳	32 100.0	4 12.5	0 0.0	27 84.4	1 3.1	0 0.0	
30~34歳	49 100.0	8 16.3	9 18.4	18 36.7	13 26.5	1 2.0	
35~39歳	70 100.0	18 25.7	7 10.0	15 21.4	26 37.1	4 5.7	
40~44歳	74 100.0	23 31.1	1 1.4	9 12.2	29 39.2	12 16.2	
45~49歳	64 100.0	14 21.9	4 6.3	8 12.5	28 43.8	10 15.6	
50~54歳	63 100.0	17 27.0	1 1.6	11 17.5	26 41.3	8 12.7	
55~59歳	52 100.0	14 26.9	1 1.9	10 19.2	19 34.6	9 17.3	
60歳以上	75 100.0	28 37.3	0 0.0	9 12.0	22 29.3	16 21.3	
その他計	488 100.0	321 65.8	34 7.0	115 23.6	15 3.1	3 0.6	
20~24歳	12 100.0	2 16.7	0 0.0	10 83.3	0 0.0	0 0.0	
25~29歳	64 100.0	12 18.8	7 10.9	43 67.2	2 3.1	0 0.0	
30~34歳	65 100.0	21 32.3	13 20.0	29 44.6	2 3.1	0 0.0	
35~39歳	32 100.0	16 50.0	5 15.6	8 25.0	3 9.4	0 0.0	
40~44歳	50 100.0	40 80.0	3 6.0	5 10.0	1 2.0	2 2.0	
45~49歳	67 100.0	58 86.6	3 4.5	4 6.0	2 3.0	0 0.0	
50~54歳	52 100.0	40 76.9	0 0.0	9 17.3	2 3.8	1 1.9	
55~59歳	39 100.0	32 82.1	3 7.7	3 10.3	0 0.0	0 0.0	
60歳以上	107 100.0	100 93.5	0 0.0	3 2.8	3 2.8	1 0.9	

⑤勤務地×最終学歴

- ・大学院博士課程卒(87名)の分布としては、11名が東京で勤務、それ以外ではあまり偏りなく各地域に分散している。
- ・大学院修士課程卒(631名)の分布としては、東京都(51名)、神奈川県(40名)、愛知(39名)、福岡(30名)、大阪(27名)など比較的大都市に集中している。

	全体	Q4: あなたの最終学歴をお答えください。[SA]				
		専門学校 (保健師養成機関)	短大専攻 科	四年制大 学	大学院修 士(前期) 課程	大学院博 士(後期) 課程
全体	2305 100.0	1425 61.8	2423 10.5	5660 24.6	631 2.7	87 0.4
北海道	1194 100.0	844 70.7	96 8.0	227 19.0	24 2.0	3 0.3
青森県	318 100.0	261 82.1	12 3.8	35 11.0	9 2.8	1 0.3
岩手県	360 100.0	290 80.6	22 6.1	45 12.5	3 0.8	0 0.0
宮城県	383 100.0	278 72.6	26 6.8	72 18.8	6 1.6	1 0.3
秋田県	338 100.0	279 82.5	14 4.1	42 12.4	3 0.9	0 0.0
山形県	267 100.0	196 73.4	15 5.6	45 16.9	8 3.0	3 1.1
福島県	400 100.0	309 77.3	15 3.8	70 17.5	5 1.3	1 0.3
茨城県	405 100.0	301 74.3	22 5.4	73 18.0	8 2.0	1 0.2
栃木県	407 100.0	305 74.9	17 4.2	77 18.9	7 1.7	1 0.2
群馬県	471 100.0	290 61.6	72 15.3	95 20.2	12 2.5	2 0.4
埼玉県	698 100.0	219 31.4	272 39.0	184 26.4	17 2.4	6 0.9
千葉県	619 100.0	363 58.6	72 11.6	164 26.5	17 2.7	3 0.5
東京都	1008 100.0	416 41.3	159 15.8	371 36.8	51 5.1	11 1.1
神奈川県	803 100.0	344 42.8	126 15.7	288 35.9	40 5.0	5 0.6
山梨県	296 100.0	221 74.7	12 4.1	57 19.3	5 1.7	1 0.3
長野県	623 100.0	433 69.5	40 6.4	142 22.8	7 1.1	1 0.2
新潟県	573 100.0	380 66.3	104 18.2	78 13.6	11 1.9	0 0.0
富山県	444 100.0	281 63.3	29 6.5	115 25.9	19 4.3	0 0.0
石川県	284 100.0	178 62.7	22 7.7	67 23.6	14 4.9	3 1.1
福井県	335 100.0	108 32.2	99 29.6	107 31.9	21 6.3	0 0.0
岐阜県	403 100.0	253 62.0	48 11.8	95 23.3	8 2.0	4 1.0
静岡県	741 100.0	383 51.7	55 7.4	286 38.6	16 2.2	1 0.1
愛知県	1214 100.0	630 51.9	132 10.9	409 33.7	39 3.2	4 0.3
三重県	290 100.0	110 37.9	101 34.8	66 22.8	12 4.1	1 0.3
滋賀県	350 100.0	222 63.4	32 9.1	90 25.7	5 1.4	1 0.3
京都府	417 100.0	229 54.9	64 15.3	115 27.6	7 1.7	2 0.5
大阪府	998 100.0	591 59.2	114 11.4	261 26.2	27 2.7	5 0.5
兵庫県	839 100.0	567 67.6	49 5.8	204 24.3	16 1.9	3 0.4
奈良県	239 100.0	182 76.2	9 3.8	41 17.2	7 2.9	0 0.0
和歌山県	286 100.0	225 78.7	17 5.9	43 15.0	0 0.0	1 0.3
鳥取県	211 100.0	155 73.5	11 5.2	39 18.5	4 1.9	2 0.9
島根県	271 100.0	187 69.0	32 11.8	39 14.4	10 3.7	3 1.1
岡山県	577 100.0	371 64.3	49 8.5	139 24.1	16 2.8	2 0.3
広島県	499 100.0	347 69.5	19 3.8	121 24.2	12 2.4	0 0.0
山口県	607 100.0	437 72.0	40 6.6	117 19.3	10 1.6	3 0.5
徳島県	274 100.0	205 74.8	20 7.3	43 15.7	6 2.2	0 0.0
香川県	270 100.0	176 65.2	14 5.2	62 23.0	18 6.7	0 0.0
愛媛県	394 100.0	234 59.4	68 16.8	84 21.3	6 1.5	4 1.0
高知県	293 100.0	194 66.2	5 1.7	85 29.0	9 3.1	0 0.0
福岡県	805 100.0	419 52.0	122 15.2	232 28.8	30 3.7	2 0.2
佐賀県	276 100.0	203 73.6	8 2.9	64 23.2	1 0.4	0 0.0
長崎県	389 100.0	256 65.8	27 6.9	100 25.7	6 1.5	0 0.0
熊本県	510 100.0	369 72.4	34 6.7	93 18.2	12 2.4	2 0.4
大分県	363 100.0	259 71.3	16 4.4	77 21.2	10 2.8	1 0.3
宮崎県	284 100.0	163 57.4	14 4.9	93 32.7	13 4.6	1 0.4
鹿児島県	530 100.0	345 65.1	63 11.9	112 21.1	9 1.7	1 0.2
沖縄県	329 100.0	146 44.4	5 1.5	157 47.7	20 6.1	0 0.3
離職中・退職中	134 100.0	83 61.9	9 6.7	32 23.9	10 7.5	0 0.0
その他	30 100.0	16 53.3	2 6.7	7 23.3	5 16.7	0 0.0

Q6: あなたの勤務地をお答えください。

⑥活動領域・所属組織×年齢

(回答者の約8割が行政分野であることから、回答者全体としての年齢構成が行政分野寄りになるのは否めないが)
 ・領域別では医療分野で若年層(34歳以下)の割合が高く、逆に教育分野では高齢層(50代以上)の割合が高い。
 ・所属組織をみると、若年層の多い医療分野は、健(検)診センター・労働衛生機関、病院で20代後半から30代前半の割合が高い一方、医療分野でも訪問看護ステーションは40代以上の比率が高い。
 ・領域では自立的な活動が多かったものの、所属組織で見ると、行政の中でも省庁と都道府県は40代以上の割合が比較的高い。
 ・また、福祉関係も高齢層が多く、介護老人保健施設・介護老人福祉施設で50代以上、社会福祉施設で40代の割合が高い。
 ・その他、NPO、教育・研究機関で60歳以上の割合が高い。

		Q3: あなたの年齢をお答えください。(1) [歳] [F/A]				N03: 年齢 (カテゴリ) [SA]										
		全体	平均	最大値	最小値	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60歳以上		
全体		23054 100.0	40.7	84	21	1062 4.6	3079 13.4	3444 14.9	3258 14.1	3398 14.7	3478 15.1	2755 12.0	1946 8.4	634 2.8		
Q 7: 保健師としての活動領域を1つお選びください。	行政	18516 100.0	40.7	80	21	840 4.5	2349 12.7	2797 15.1	2688 14.5	2744 14.8	2867 15.5	2322 12.5	1618 8.7	291 1.6		
	産業	1339 100.0	40.3	79	22	43 3.2	209 15.6	195 14.6	198 14.8	235 17.6	202 15.1	120 9.0	91 6.8	46 3.4		
	医療	1121 100.0	36.6	76	21	95 8.5	281 25.1	205 18.3	126 11.2	125 11.2	135 12.0	78 7.0	54 4.8	22 2.0		
	福祉	968 100.0	40.9	77	22	62 6.4	130 13.4	119 12.3	129 13.3	156 16.1	134 13.8	112 11.6	83 8.6	43 4.4		
	教育	488 100.0	45.9	77	22	9 1.8	32 6.6	49 10.0	70 14.3	74 15.2	64 13.1	63 12.9	52 10.7	39 15.4		
	その他	488 100.0	45.7	82	22	12 2.5	64 13.1	65 13.3	32 6.6	50 10.2	67 13.7	52 10.7	39 8.0	107 21.9		
	省庁	23 100.0	43.7	58	29	0 0.0	1 4.3	2 8.7	4 17.4	6 26.1	5 21.7	3 13.0	2 8.7	0 0.0		
都道府県	1007 100.0	45.3	80	22	7 0.7	66 6.6	66 6.6	92 9.1	200 19.9	228 22.6	187 18.6	135 13.4	26 2.6			
保健所	3801 100.0	43.2	80	22	183 4.8	391 10.3	347 9.1	408 10.7	567 14.9	674 17.7	618 16.3	513 13.5	100 2.6			
保健所設置市	2449 100.0	39.9	68	21	132 5.4	358 14.6	388 15.8	345 14.1	327 13.4	390 15.9	285 11.6	195 8.0	29 1.2			
特別区	543 100.0	41.0	63	22	28 5.2	63 11.6	56 10.3	82 15.1	123 22.7	68 12.5	64 11.8	50 9.2	9 1.7			
市町村	10611 100.0	39.2	75	21	563 5.3	1510 14.2	1920 18.1	1736 16.4	1482 14.0	1444 13.6	1107 10.4	727 6.9	122 1.1			
地域包括支援センター	1081 100.0	41.2	71	22	23 2.1	132 12.2	165 15.3	156 14.4	180 16.7	175 16.2	147 13.6	79 7.3	24 2.2			
医療保険者	253 100.0	43.6	67	22	3 1.2	25 9.9	27 10.7	39 15.4	41 16.2	40 15.8	34 13.4	23 9.1	21 8.3			
企業・事業所	879 100.0	40.0	82	22	26 3.0	140 15.9	139 15.8	128 14.6	156 17.7	134 15.2	73 8.3	58 6.6	25 2.8			
健(検)診センター・労働衛生機関	488 100.0	36.4	79	22	24 4.9	131 26.8	111 22.7	50 10.2	59 12.1	58 11.9	24 4.9	20 4.1	11 2.3			
病院	718 100.0	36.0	69	21	64 8.9	198 27.6	123 17.1	82 11.4	79 11.0	82 11.4	51 7.1	27 3.8	12 1.7			
診療所	41 100.0	40.3	65	24	1 2.4	4 9.8	7 17.1	10 24.4	7 17.1	5 12.2	4 9.8	2 4.9	2 2.4			
訪問看護ステーション	93 100.0	45.7	76	27	0 0.0	5 5.4	8 8.6	11 11.8	19 20.4	18 19.4	15 16.1	10 10.8	7 7.5			
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21 100.0	53.2	67	34	0 0.0	0 0.0	4 4.8	0 0.0	3 14.3	3 14.3	5 23.8	2 9.5	7 33.3			
社会福祉施設	45 100.0	48.0	77	29	0 0.0	2 2.2	8 8.9	9 8.9	22 22.2	20 20.0	13 13.3	11 11.1	3 13.3			
NPO	15 100.0	60.9	70	36	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	1 7.3			
教育・研究機関	480 100.0	46.9	77	24	1 0.2	19 4.1	46 10.0	67 14.6	75 16.3	65 14.1	64 13.9	47 10.2	76 16.5			
その他	392 100.0	49.7	82	22	6 1.5	21 5.4	20 5.1	28 7.1	50 12.8	70 17.9	59 15.1	41 10.5	97 24.7			

		Q7: 保健師としての活動領域として、最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]						
		全体	行政	産業	医療	福祉	教育	その他
全体		22920 100.0	18516 80.8	1339 5.8	1121 4.9	968 4.2	488 2.1	488 2.1
N 0 3 : 年齢 (カテゴリ)	20~24歳	1061 100.0	840 79.2	43 4.1	95 9.0	62 5.8	9 0.8	12 1.1
	25~29歳	3065 100.0	2349 76.6	209 6.8	281 9.2	130 4.2	32 1.0	64 2.1
	30~34歳	3430 100.0	2797 81.5	195 5.7	205 6.0	119 3.5	49 1.4	65 1.9
	35~39歳	3243 100.0	2688 82.9	198 6.1	126 3.9	129 4.0	70 2.2	32 1.0
	40~44歳	3384 100.0	2744 81.1	235 6.9	125 3.7	156 4.6	74 2.2	50 1.5
	45~49歳	3469 100.0	2867 82.6	202 5.8	135 3.9	134 3.9	64 1.8	67 1.9
	50~54歳	2747 100.0	2322 84.5	120 4.4	78 2.8	112 4.1	63 2.3	52 1.9
55~59歳	1937 100.0	1618 83.5	91 4.7	54 2.8	83 4.3	52 2.7	39 2.0	
60歳以上	584 100.0	291 49.8	46 7.9	22 3.8	43 7.4	75 12.8	107 18.3	

		Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]																			
		全体	省庁	都道府県	保健所	保健所設置市	特別区	市町村	地域包括支援センター	医療保険者	企業・事業所	健(検)診センター・労働衛生機関	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	社会福祉施設	NPO	教育・研究機関	その他	
全体		22920 100.0	23 0.1	1007 4.4	3801 16.6	2449 10.7	543 2.4	10611 46.3	1081 4.7	253 1.1	879 3.8	488 2.1	718 3.1	41 0.2	93 0.4	21 0.1	45 0.2	15 0.1	460 2.0	392 1.7	
N 0 3 : 年齢 (カテゴリ)	20~24歳	1061 100.0	0 0.0	7 0.7	183 17.2	132 12.4	28 2.6	563 53.1	23 2.2	3 0.3	28 2.5	24 2.3	64 6.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	6 0.6	
	25~29歳	3065 100.0	0 0.0	66 2.2	391 12.8	358 11.7	63 2.1	1510 49.3	132 4.3	25 0.8	140 4.6	131 4.3	198 6.5	4 0.1	5 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 0.6	21 0.7	
	30~34歳	3430 100.0	0 0.0	66 1.9	347 10.1	388 11.3	56 1.6	1920 56.0	165 4.8	27 0.8	139 4.1	111 3.2	123 3.6	7 0.2	8 0.2	1 0.0	4 0.1	4 0.1	0 0.0	46 1.3	20 0.6
	35~39歳	3243 100.0	0 0.0	92 2.8	408 12.6	345 10.6	82 2.5	1736 53.5	156 4.8	39 1.2	128 3.9	128 1.5	50 2.5	82 0.3	10 0.3	0 0.0	0 0.1	4 0.1	0 0.0	67 2.1	28 0.9
	40~44歳	3384 100.0	6 0.2	200 5.9	567 16.8	327 9.7	123 3.6	1482 43.8	180 5.3	41 1.2	156 4.6	59 1.7	79 2.3	7 0.2	19 0.6	3 0.1	3 0.1	10 0.3	0 0.0	75 2.2	50 1.5
	45~49歳	3469 100.0	5 0.1	228 6.6	674 19.4	390 11.2	68 2.0	1444 41.6	175 5.0	40 1.2	134 3.9	58 1.7	82 2.4	5 0.1	18 0.5	3 0.1	3 0.1	9 0.3	0 0.0	65 1.9	70 2.0
	50~54歳	2747 100.0	3 0.1	187 6.8	618 22.5	285 10.4	64 2.3	1107 40.3	147 5.4	34 1.2	73 2.7	24 0.9	51 1.9	4 0.1	15 0.5	5 0.2	6 0.2	6 0.2	1 0.0	64 2.3	59 2.1
55~59歳	1937 100.0	2 0.1	135 7.0	513 26.5	195 10.1	50 2.6	727 37.5	79 4.1	23 1.2	58 3.0	20 1.0	27 1.4	2 0.1	10 0.5	2 0.1	5 0.3	5 0.1	0 0.0	47 2.4	41 2.1	
60歳以上	584 100.0	0 0.0	26 4.5	100 17.1	29 5.0	9 1.5	122 20.9	24 4.1	21 3.6	25 4.3	11 1.9	12 2.1	1 0.2	7 1.2	7 1.2	6 1.0	6 1.9	11 1.9	76 13.0	97 16.6	

⑦活動領域・所属組織×最終学歴

- ・大学院修士課程卒のうち、およそ4人に1人が教育分野、教育・研究機関に所属している。
- ・大学院博士課程卒のうち、およそ7割が教育分野、教育・研究機関に所属している。

		07: 保健師としての活動領域として、最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]						
		全体	行政	産業	医療	福祉	教育	その他
全体		22920 100.0	18516 80.8	1339 5.8	1121 4.9	968 4.2	488 2.1	488 2.1
0 を お 答 え な く た だ さ 最 終 学 歴	専門学校（保健師養成機関）	14170 100.0	11909 84.0	699 4.9	529 3.7	586 4.1	126 0.9	321 2.3
	短大専攻科	2414 100.0	1966 81.4	174 7.2	136 5.6	80 3.3	24 1.0	34 1.4
	四年制大学	5628 100.0	4286 76.2	414 7.4	425 7.6	273 4.9	115 2.0	115 2.0
	大学院修士（前期）課程	621 100.0	343 55.2	43 6.9	28 4.5	29 4.7	163 26.2	15 2.4
	大学院博士（後期）課程	87 100.0	12 13.8	9 10.3	3 3.4	0 0.0	60 69.0	3 3.4

		08: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]																		
		全体	省庁	都道府県	保健所	保健所設置市	特別区	市町村	地域包括支援センター	医療保険者	企業・事業所	健（株）診センター・労働衛生機関	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	社会福祉施設	NPO	教育・研究機関	その他
全体		22920 100.0	23 0.1	1007 4.4	3801 16.6	2449 10.7	543 2.4	10611 46.3	1081 4.7	253 1.1	879 3.8	488 2.1	718 3.1	41 0.2	93 0.4	21 0.1	45 0.2	15 0.1	460 2.0	392 1.7
0 を お 答 え な く た だ さ 最 終 学 歴	専門学校（保健師養成機関）	14170 100.0	13 0.1	720 5.1	2519 17.8	1432 10.1	251 1.8	6776 47.8	733 5.2	166 1.2	430 3.0	233 1.6	339 2.4	22 0.2	62 0.4	14 0.1	33 0.2	14 0.1	122 0.9	291 2.1
	短大専攻科	2414 100.0	0 0.0	77 3.2	331 13.7	247 10.2	85 3.5	1213 50.2	102 4.2	23 1.0	122 5.1	71 2.9	84 3.5	6 0.2	7 0.3	3 0.1	3 0.1	0 0.0	19 0.8	21 0.9
	四年制大学	5628 100.0	7 0.1	164 2.9	859 15.3	707 12.6	187 3.3	2486 44.2	224 4.0	60 1.1	289 5.1	174 3.1	279 5.0	12 0.2	20 0.4	2 0.0	9 0.2	0 0.0	90 1.6	59 1.0
	大学院修士（前期）課程	621 100.0	3 0.5	43 6.9	90 14.5	63 10.1	18 2.9	131 21.1	22 3.5	4 0.6	32 5.2	9 1.4	14 2.3	1 0.2	4 0.6	2 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.2	166 26.7
	大学院博士（後期）課程	87 100.0	0 0.0	3 3.4	2 2.3	0 0.0	2 2.3	5 5.7	0 0.0	0 0.0	6 6.9	1 1.1	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	63 72.4

⑧ 職位×年齢・経験年数

- ・課長職以上の平均年齢は50代半ば、平均経験年数は20年後半となっているが、最年少は30歳前後となっており、職場によっては抜擢人事もあるようである。
- ・60代以上を除き（定年退職しているからか）、年齢や経験年数が上がるにつれて課長職以上の者の割合が増加している。
- ・所長職の平均年齢・経験年数は部長職のそれらよりも低くなっており、所長職は年功序列以外の基準で処遇されている例が比較的多いと考えられる。

	全体	Q3: あなたの年齢をお答えください。[]歳[F]A						Q5M001: あなたの保健師としての通算経験年数をお答えください。[]年[F]A								
		統計数母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値	統計数母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値	
全体	23054	23054	938688	40.7	10.55	84	21	41	23054	365430	15.5	10.71	59	0	14	
Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものをお選びください。	所長もしくはそれと同等	186	186	10028	53.9	8.39	77	30	54	186	4866	26.2	10.87	50	0	23
	部長もしくはそれと同等	144	144	8180	56.8	6.31	77	32	57.9	144	4242	29.5	10.45	47	2	33
	課長もしくはそれと同等	1271	1271	68804	54.1	4.73	75	27	55	1271	37276	29.3	6.95	46	0	31
	係長もしくはそれと同等	4980	4980	242451	48.9	5.40	80	29	49	4980	123321	24.6	6.03	50	0	23
	主任もしくはそれと同等	4703	4703	194864	41.4	6.62	82	24	41	4703	79265	16.9	6.94	59	0	16
	係員（スタッフ）	10432	10432	351892	33.7	8.50	80	21	32	10432	96128	8.3	7.71	59	0	6
	その他	1204	1204	54868	45.6	13.02	82	22	45	1204	18827	15.6	13.27	50	0	12

	全体	NQ3: 年齢（カテゴリ）[SA]									NNG5M001: 通算経験年数（カテゴリ）[SA]						
		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
全体	23054	1062	3079	3444	3258	3398	3478	2755	1946	634	4707	3401	3426	2907	2953	2877	2783
Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものをお選びください。	所長もしくはそれと同等	186	0	0	2	9	14	25	44	54	38	11	9	16	22	33	86
	部長もしくはそれと同等	144	0	0	1	2	3	13	13	72	40	2	13	5	6	9	101
	課長もしくはそれと同等	1271	0	1	3	7	42	121	412	615	70	23	12	22	50	91	301
	係長もしくはそれと同等	4980	0	1	20	206	817	1629	1501	761	45	23	47	210	583	1312	1716
	主任もしくはそれと同等	4703	2	76	653	1188	1312	940	366	140	26	114	529	1235	1183	956	488
	係員（スタッフ）	10432	1013	2856	2623	1722	1039	599	279	154	147	4169	2584	1791	949	469	247
	その他	1204	46	131	128	109	157	142	132	141	218	329	188	140	119	90	77

	全体	Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものをお選びください。[SA]							
		所長もしくはそれと同等	部長もしくはそれと同等	課長もしくはそれと同等	係長もしくはそれと同等	主任もしくはそれと同等	係員（スタッフ）	その他	
全体	22920	186	144	1271	4980	4703	10432	1204	
NQ3: 年齢（カテゴリ）	20～24歳	1061	0	0	0	0	2	1013	46
	25～29歳	3065	0	0	1	1	76	2856	131
	30～34歳	3430	2	1	3	20	653	2623	128
	35～39歳	3243	9	2	7	206	1188	1722	109
	40～44歳	3384	14	3	42	817	1312	1039	157
	45～49歳	3469	25	13	121	1629	940	599	142
	50～54歳	2747	44	13	412	1501	366	279	132
	55～59歳	1937	54	72	615	761	140	154	141
	60歳以上	584	38	40	70	45	26	147	218
	NQ5M001: 通算経験年数	0～4年	4671	11	2	23	23	114	4169
5～9年		3382	9	13	12	47	529	2584	188
10～14年		3412	9	5	22	210	1235	1791	140
15～19年		2906	16	6	50	583	1183	949	119
20～24年		2945	22	9	91	1312	956	469	90
25～29年		2870	33	8	301	1716	488	247	77
30年以上		2730	86	101	772	1089	198	223	261
その他		1204	46	131	128	109	157	142	132

⑨ 職位×最終学歴

- ・高学歴であれば職位が高いという関係は見られないが、結果として、部長職は他の職位よりも比較的大学院卒の割合が高い。

	全体	Q4: あなたの最終学歴をお答えください。[SA]					
		専門学校（保健師養成機関）	短大専攻科	四年制大学	大学院修士（前期）課程	大学院博士（後期）課程	
全体	23054	14253	2423	5660	631	87	
Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものをお選びください。	所長もしくはそれと同等	186	147	10	18	9	2
	部長もしくはそれと同等	144	104	4	12	17	7
	課長もしくはそれと同等	1271	1063	50	89	44	25
	係長もしくはそれと同等	4980	4167	327	367	110	9
	主任もしくはそれと同等	4703	3419	595	582	103	4
	係員（スタッフ）	10432	4526	1334	4286	266	10
	その他	1204	744	94	264	72	30

⑩ 職位×所属組織

- ・都道府県・保健所・特別区では主任・係長が比較的多く、係員が少ない。また、都道府県や保健所では課長が他よりも多い。
- ・医療保険者、企業・事業所、健（検）診センター・労働衛生機関、病院、診療所では係員の割合が高い（医療分野は若年層が比較的多いこと関係するか？）。
- ・訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設等では、係員が比較的小さく、所長職や部長職が比較的多い。

		Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]							
		全体	所長もしくは はそれと同等	部長もしくは はそれと同等	課長もしくは はそれと同等	係長もしくは はそれと同等	主任もしくは はそれと同等	係員(スタッフ)	その他
全体		22920 100.0	186 0.8	144 0.6	1271 5.5	4980 21.7	4703 20.5	10432 45.5	1204 5.3
Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	23 100.0	1 4.3	0 0.0	1 4.3	1 26.1	6 21.7	5 21.7	5 21.7
	都道府県	1007 100.0	8 0.8	7 0.7	101 10.0	371 36.8	264 26.2	215 21.4	41 4.1
	保健所	3801 100.0	7 0.2	34 0.9	354 9.3	1098 28.9	845 22.2	1317 34.6	146 3.8
	保健所設置市	2443 100.0	9 0.4	5 0.2	133 5.4	591 24.1	469 19.2	1140 46.5	102 4.2
	特別区	543 100.0	0 0.0	1 0.2	3 0.6	158 29.1	147 27.1	205 37.8	29 5.3
	市町村	10611 100.0	32 0.3	21 0.2	401 3.8	2243 21.1	2345 22.1	5098 48.0	471 4.4
	地域包括支援センター	1081 100.0	44 4.1	2 0.2	47 4.3	219 20.3	243 22.5	498 46.1	28 2.6
	医療保険者	253 100.0	0 0.0	1 0.4	18 7.1	24 9.5	23 9.1	155 61.3	32 12.6
	企業・事業所	879 100.0	4 0.5	9 1.0	21 2.4	53 6.0	106 12.1	609 69.3	77 8.8
	健(検)診センター・労働衛生機関	488 100.0	0 0.0	7 1.4	43 8.8	33 6.8	58 11.9	324 66.4	23 4.7
	病院	718 100.0	2 0.3	8 1.1	53 7.4	54 7.5	87 12.1	491 68.4	23 3.2
	診療所	41 100.0	0 0.0	3 7.3	1 2.4	3 7.3	6 14.6	23 56.1	5 12.2
	訪問看護ステーション	93 100.0	41 44.1	3 3.2	7 7.5	3 3.2	7 7.5	31 33.3	1 1.1
	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21 100.0	4 19.0	5 23.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	6 28.6	2 9.5
	社会福祉施設	45 100.0	3 6.7	2 4.4	2 4.4	10 22.2	8 17.8	17 37.8	3 6.7
	NPO	15 100.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	11 73.3	2 13.3
	教育・研究機関	460 100.0	10 2.2	22 4.8	57 12.4	54 11.7	48 10.4	174 37.8	95 20.7
	その他	392 100.0	20 5.1	14 3.6	27 6.9	58 14.8	41 10.5	113 28.8	119 30.4

⑪ 職位×決裁権限×人事への関与

- ・決裁権限を持ち、かつ人事へ関与できる者は、所長職53.8%、部長職63.2%、課長職24.9%となっている。
- ・職位から決裁権限はあれど、人事に関与できない場合が少なくない（係長以上の2割以上）。
- ・逆に主任以下でもわずかながら（1-2%）決裁権限を持つ者や人事へ関与できる者もいるようである。

		Q18: 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。[SA]			Q19: 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。[SA]（当該職位の全人数に占める割合を示したもの）			
		全体	人事に関与できる	保健師の人事に関しては関与できる	関与できない	人事に関与できる	保健師の人事に関しては関与できる	関与できない
全体		22920 100.0	829 3.6	1199 5.2	20892 91.2	829 3.6	1199 5.2	20892 91.2
Q17: 現在の立場での業務上での決定権（決裁の権限）をお答えください。	所長もしくはそれと同等計	186 100.0	102 54.8	21 11.3	63 33.9	102 54.8	21 11.3	63 33.9
	あり	161 100.0	100 62.1	18 11.2	43 26.7	100 53.8	18 9.7	43 23.1
	なし	25 100.0	2 8.0	3 12.0	20 80.0	2 1.1	3 1.6	20 10.8
	部長もしくはそれと同等計	144 100.0	92 63.9	31 21.5	21 14.6	92 63.9	31 21.5	21 14.6
	あり	132 100.0	91 68.9	26 19.7	15 11.4	91 63.2	26 18.1	15 10.4
	なし	12 100.0	1 8.3	5 41.7	6 50.0	1 0.7	5 3.5	6 4.2
	課長もしくはそれと同等計	1271 100.0	335 26.4	346 27.2	590 46.4	335 26.4	346 27.2	590 46.4
	あり	954 100.0	317 33.2	292 30.6	345 36.2	317 24.9	292 23.0	345 27.1
	なし	317 100.0	18 5.7	54 17.0	245 77.3	18 1.4	54 4.2	245 19.3
	係長もしくはそれと同等計	4980 100.0	114 2.3	519 10.4	4347 87.3	114 2.3	519 10.4	4347 87.3
	あり	1502 100.0	85 5.7	362 24.1	1055 70.2	85 1.7	362 7.3	1055 21.2
	なし	3478 100.0	29 0.8	157 4.5	3292 94.7	29 0.6	157 3.2	3292 66.1
	主任もしくはそれと同等計	4703 100.0	32 0.7	103 2.2	4568 97.1	32 0.7	103 2.2	4568 97.1
	あり	381 100.0	17 4.5	52 13.6	312 81.9	17 0.4	52 1.1	312 6.6
	なし	4322 100.0	15 0.3	51 1.2	4256 98.5	15 0.3	51 1.1	4256 90.5
	係員(スタッフ)計	10432 100.0	102 1.0	142 1.4	10188 97.7	102 1.0	142 1.4	10188 97.7
	あり	794 100.0	50 6.3	56 7.1	688 86.6	50 0.5	56 0.5	688 6.6
	なし	9638 100.0	52 0.5	86 0.9	9500 98.6	52 0.5	86 0.8	9500 91.1
	その他計	1204 100.0	52 4.3	37 3.1	1115 92.6	52 4.3	37 3.1	1115 92.6
あり	139 100.0	38 27.3	20 14.4	81 58.3	38 3.2	20 1.7	81 6.7	
なし	1065 100.0	14 1.3	17 1.6	1034 97.1	14 1.2	17 1.4	1034 85.9	

⑦統括的役割×年齢・経験年数

- ・統括的役割を持つ保健師の平均年齢は49歳、平均経験年数は約24年となっている。
- ・統括的役割を持つ保健師とそうでない保健師との、平均年齢や平均経験年数の差は、約10年強となっている。
- ・60歳以上を除き、年齢や経験年数が上がるにつれて統括的な役割を持つ保健師の割合が増加している。

	全体	Q3: あなたの年齢をお答えください。[]歳[FA]							Q5M001: あなたの保健師としての通算経験年数をお答えください。[]年[FA]							
		統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値	
全体	23054	23054	938688	40.7	10.55	84	21	41	23054	356430	15.5	10.71	59	0	14	
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	4095	4095	201161	49.1	8.50	80	21	51	4095	99872	24.4	9.27	50	0	26
	いいえ	18825	18825	730926	38.8	9.98	82	21	38	18825	254053	13.5	9.95	59	0	12

	全体	NQ3: 年齢(カテゴリ)[SA]									NNG5M001: 通算経験年数(カテゴリ)[SA]							
		20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60歳以上	0~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~24年	25~29年	30年以上	
全体	23054 100.0	1062 4.6	3079 13.4	3444 14.9	3258 14.1	3398 14.7	3478 15.1	2755 12.0	1946 8.4	634 2.8	4707 20.4	3401 14.8	3426 14.9	2907 12.6	2953 12.8	2877 12.5	2783 12.1	
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	4095 100.0	39 1.0	116 2.8	149 3.6	233 5.7	438 10.7	832 20.3	1103 26.9	1012 24.7	173 4.2	209 5.1	175 4.3	243 5.9	355 8.7	678 16.6	1051 25.7	1384 33.8
	いいえ	18825 100.0	1022 5.4	2949 15.7	3281 17.4	3010 16.0	2946 15.6	2637 14.0	1644 8.7	925 4.9	411 2.2	4462 23.7	3207 17.0	3169 16.8	2551 13.6	2271 12.1	1819 9.7	1346 7.2

	全体	Q10: あなたは、統括的な立場の保健師ですか。[SA]		
		はい	いいえ	
全体	22920 100.0	4095 17.9	18825 82.1	
N O 3 : 年齢(カテゴリ)	20~24歳	1061 100.0	39 3.7	1022 96.3
	25~29歳	3065 100.0	116 3.8	2949 96.2
	30~34歳	3430 100.0	149 4.3	3281 95.7
	35~39歳	3243 100.0	233 7.2	3010 92.8
	40~44歳	3384 100.0	438 12.9	2946 87.1
	45~49歳	3489 100.0	832 24.0	2637 76.0
	50~54歳	2747 100.0	1103 40.2	1644 59.8
	55~59歳	1937 100.0	1012 52.2	925 47.8
	60歳以上	584 100.0	173 29.6	411 70.4
	N N O 5 M (カテゴリ) 通算経験年数	0~4年	4671 100.0	209 4.5
5~9年		3382 100.0	175 5.2	3207 94.8
10~14年		3412 100.0	243 7.1	3169 92.9
15~19年		2906 100.0	355 12.2	2551 87.8
20~24年		2949 100.0	678 23.0	2271 77.0
25~29年		2870 100.0	1051 36.6	1819 63.4
30年以上		2730 100.0	1384 50.7	1346 49.3

③統括的役割×活動領域・所属組織

- ・福祉分野のみ統括的役割を持つ保健師の割合が低い。介護老人保健施設・介護老人福祉施設、社会福祉施設では統括的な役割を担う者が多い。
- ・行政分野の中でも所属組織によって統括的役割を持つ保健師の割合に差異があり、省庁・都道府県・保健所では市町村に比べ割合が高い。
- ・医療分野では、病院・診療所の割合が低い一方で、訪問看護ステーションでは統括的な役割を担う者が多い。

		Q10. あなたは、統括的な立場の保健師ですか。[SA]			
		全体	はい	いいえ	
全体		22920 100.0	4095 17.9	18825 82.1	
Q7: 1つお選びください。最もあてはまるものを1つお選びください。	行政	18516 100.0	3374 18.2	15142 81.8	
	産業	1339 100.0	255 19.0	1084 81.0	
	医療	1121 100.0	159 14.2	962 85.8	
	福祉	966 100.0	126 13.0	840 87.0	
	教育	493 100.0	93 19.1	399 80.9	
	その他	488 100.0	88 18.0	400 82.0	
	Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	23 100.0	6 26.1	17 73.9
		都道府県	1007 100.0	240 23.8	767 76.2
		保健所	3801 100.0	795 20.9	3006 79.1
		保健所設置市	2449 100.0	392 16.0	2057 84.0
特別区		543 100.0	63 11.6	480 88.4	
市町村		10611 100.0	1798 16.9	8813 83.1	
地域包括支援センター		1081 100.0	204 18.9	877 81.1	
医療保険者		253 100.0	54 21.3	199 78.7	
企業・事業所		879 100.0	170 19.3	709 80.7	
健(検)診センター・労働衛生機関		488 100.0	85 17.4	403 82.6	
病院		718 100.0	80 11.1	638 88.9	
診療所		41 100.0	5 12.2	36 87.8	
訪問看護ステーション		93 100.0	23 24.7	70 75.3	
介護老人保健施設・介護老人福祉施設		21 100.0	8 38.1	13 61.9	
社会福祉施設		45 100.0	11 24.4	34 75.6	
NPO		15 100.0	1 6.7	14 93.3	
教育・研究機関		460 100.0	91 19.8	369 80.2	
その他		392 100.0	69 17.6	323 82.4	

④統括的役割×職位

- ・統括的役割を持つ保健師は、必ずしも職位が高くなるとその割合が増えるものではなく、職位の高低との密接な関係はない。
- ・統括的役割を持つ保健師である割合が高いのは、係長クラス (46.8%)・次いで課長クラス (21.3%) となっている。

		Q9: 現在の職場での職位に最もあてはまるものを1つお選びください。[SA]						
		全体	所長もしくは 部長もしくは それと同等	課長もしくは それと同等	係長もしくは それと同等	主任もしくは それと同等	係員(スタッフ)	その他
全体		22920 100.0	186 0.8	144 0.6	1271 5.5	4980 21.7	4703 20.5	10432 45.5
Q10: あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	4095 100.0	119 2.9	113 2.8	874 21.3	1915 46.8	510 12.5	467 11.4
	いいえ	18825 100.0	67 0.4	31 0.2	397 2.1	3065 16.3	4193 22.3	9965 52.9

⑤統括的役割×決裁権限×人事への関与

- ・④にあるように、統括的役割を持つ保健師と職位は必ずしもリンクしないこと、またこれらの役割は職位によって与えられるものから、統括的役割を持つ保健師 (課長・係長クラスが多い) で決裁権限のある者とならない者はおおよそ半々、人事へ関与できる者は3割に過ぎない。
- ・統括的役割を持つ保健師のうち、決裁権限を持ち、かつ人事へ関与ができる者の割合は約1割となっている。

		Q18: 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。[SA]				Q18: 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。[SA] 当該立場にある(orない)全人数に占める割合を示した(もの)			
		全体	人事に関与できる	保健師の人事に関与は関与できない	関与できない	人事に関与できる	保健師の人事に関与は関与できない	関与できない	
全体		22920 100.0	829 3.6	1199 5.2	20892 91.2	829 3.6	1199 5.2	20892 91.2	
Q10: あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい計	4095 100.0	475 11.6	833 20.3	2787 68.1	475 11.6	833 20.3	2787 68.1	
	あり	2034 100.0	433 21.3	637 31.3	964 47.4	433 10.6	637 15.6	964 23.5	
	なし	2061 100.0	42 2.0	196 9.5	1823 88.5	42 1.0	196 4.8	1823 44.5	
Q17: 現在の立場での業務上での決裁権(決裁の権限)をお答えください。	はい計	18825 100.0	354 1.9	366 1.9	18105 96.2	354 1.9	366 1.9	18105 96.2	
	あり	2029 100.0	265 13.1	189 9.3	1575 77.6	265 1.4	189 1.0	1575 8.4	
	なし	16796 100.0	89 0.5	177 1.1	16530 98.4	89 0.5	177 0.9	16530 87.3	

2. 保健師の活動環境

(1) 年齢・経験年数別の転職経験の有無・回数、転職理由 (年齢・経験年数×転職経験の有無・回数、転職理由)

- ・経験年数が長くなる(30年以上を除く)につれて転職経験者の割合が減少している。
- ・年齢の高低と転職経験の有無とは直接的な相関性は見えない(年齢が高くと低く(低く)なるに連れて経験者の割合が増える(減る)等はない)。
- ・年齢の高低と転職経験の有無とは直接的な相関性は見えない(年齢が高くと低く(低く)なるに連れて経験者の割合が増える(減る)等はない)。
- ・転職回数に関しては、年齢では40代後半がピーク(必ず一旦定年退職する60歳以上を除き)となっているが、経験年数とシクロスでは特徴的な結果は得られなかった。
- ・年齢と関係性のある転職理由は、「結婚・妊娠・出産・子育て」「年齢と共に増加」、「給料」「興味・やりがい」「自分の適性」「他業種への興味」(20代後半から30代が多い)。

年齢(カテゴリー)	N	O	O	O	M	カテゴリー)	通算経験年数	Q14: あなたは保健師として転職をしたことがありますか。ある方は保健師として転職回数をお答えください。(他業種や看護師等を含む) - 転職したことがある(1回) [FA]										Q15: 保健師として転職された理由をお答えください。 [SA]									
								最大値	最小値	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	結婚・妊娠・出産・子育て	家族の介護や看病	物理的環境の変化(転勤、引越し)	興味がない、やりがいがない	自分の適性の不安	自分の病气	自分の進学	職場の人間関係	他業種への興味	自己のキャリアアップ(知識や技能を身につけた)	その他	
全体	22920	8260	14660	1.6	15	1	5341	1635	787	258	268	150	89	2158	148	656	264	223	299	120	460	256	960	1159			
20~24歳	100.0	106	955	1.0	2	1	101	5	0	0	0	0	0	5	1	11	3	7	5	4	12	27	19	11			
25~29歳	100.0	10.0	90.0	1.0	4	1	1016	230	70	14	0	0	0	144	11	74	72	69	29	36	60	292	295	211			
30~34歳	100.0	43.4	56.6	1.3	4	1	76.4	17.3	5.3	1.1	0.0	0.0	0.0	10.8	0.8	5.6	5.4	2.8	2.2	2.7	4.5	22.0	22.2	15.9			
35~39歳	100.0	39.7	60.3	1.5	8	1	923	255	133	30	12	7	255	10	78	57	54	69	23	87	37	204	305	181			
40~44歳	100.0	324.3	1157	1.5	8	1	762	244	90	43	11	7	260	14	60	48	29	41	12	105	39	127	255	167			
45~49歳	100.0	338.4	1283	1.7	9	1	804	249	123	56	34	17	374	25	114	33	42	44	15	92	38	118	234	154			
50~54歳	100.0	346.9	1095	1.9	10	1	611	224	152	48	36	24	403	34	127	23	18	29	14	56	27	76	157	131			
55~59歳	100.0	274.7	868	1.8	15	1	514	187	100	23	32	12	321	24	100	11	18	27	12	41	20	57	126	111			
60歳以上	100.0	193.7	716	1.7	9	1	450	152	69	20	11	14	306	19	66	5	15	11	7	25	16	45	107	94			
0~4年	100.0	584	345	2.1	10	1	160	89	50	24	14	8	90	10	36	4	7	2	3	14	7	14	59	99			
5~9年	100.0	467.1	2115	1.4	8	1	1495	389	168	41	18	4	26.1	2.9	10.4	1.2	2.0	0.6	0.9	4.1	2.0	4.1	17.1	28.7			
10~14年	100.0	338.2	1464	1.7	9	1	70.7	18.4	7.9	1.9	0.9	0.2	4	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
15~19年	100.0	341.2	1272	1.6	8	1	61.3	21.4	10.2	4.4	1.7	1.0	14	1.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
20~24年	100.0	290.6	1064	1.8	10	1	651	205	105	45	41	17	17	3.9	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6			
25~29年	100.0	287.0	690	1.6	15	1	450	142	66	9	15	8	8	2.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2			
30年以上	100.0	273.0	807	1.6	10	1	65.3	20.1	8.3	3.2	1.5	1.6	13	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6			

(2) 最終学歴別の転職経験の有無・回数、転職理由 (最終学歴×転職経験の有無・回数、転職理由)

- ・最終学歴が高くなるにつれて転職経験者の割合が増加している。
- ・大学院修士・博士卒の者は転職回数が多い。
- ・最終学歴が高くなるにつれ「結婚・出産・子育て」を理由とする者が減少している。また、大学院修士・博士卒の者は、「自分の進学」を転職理由に挙げている割合が高い。

Q4 お答えください の最終学歴	全体	Q14: あなたは保健師として転職をしたことがありますか、ある方は保健師としての転職回数もお答えください。(他業種や看護師等からの転職も含む)[FA]		Q14.1 FA: あなたは保健師として転職をしたことがありますか、ある方は保健師としての転職回数もお答えください。(他業種や看護師等からの転職も含む)[SA]		Q15: 保健師として転職された理由をお答えください。[SA]																		
		転職したことがある	一度も転職していない	平均	最大値	最小値	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	結婚・出産・子育て	家族の介護や看病	物理的環境の変化(転勤、引越し)	給料・待遇の低さ	興味がない、やりがいい	自分の適性の不安	自分の病气	自分の進学	職場の人間関係	他業種への興味	自己のキャリアアップ(知識や技能を身につけたい)	その他
全体	22920 100.0	8260 36.0	14660 64.0	1.6	15	1	5341 64.7	1635 19.8	787 9.5	258 3.1	150 1.8	89 1.1	2158 26.1	148 1.8	656 7.9	264 3.2	223 2.7	209 3.6	120 1.5	460 5.6	256 3.1	960 11.6	1557 18.8	1159 14.0
専門学校(保健師養成機関)	14170 100.0	4620 32.6	9550 67.4	1.6	15	1	2988 64.7	885 19.2	439 9.5	156 3.4	98 2.1	54 1.2	1478 32.0	101 2.2	418 9.0	109 2.4	115 2.5	154 3.3	49 1.1	259 5.6	135 2.9	372 8.1	737 16.0	693 15.0
短大専攻科	2414 100.0	916 37.9	1498 62.1	1.6	6	1	588 65.3	189 20.6	88 9.6	24 2.6	13 1.4	4 0.4	190 20.7	12 1.3	57 6.2	32 3.5	35 3.8	31 3.4	15 1.6	67 7.3	30 3.3	120 13.1	204 22.3	123 13.4
四年制大学	5628 100.0	2278 40.5	3350 59.5	1.5	10	1	1564 68.2	445 19.5	191 8.4	48 2.1	23 1.0	17 0.7	442 19.4	26 1.1	150 6.6	113 5.0	62 2.7	110 4.8	52 2.3	86 2.9	81 3.6	441 19.4	457 20.1	278 12.2
大学院修士(前期)課程	621 100.0	375 60.4	246 39.6	2.0	8	1	174 46.4	99 26.4	57 15.2	23 6.1	13 3.5	9 2.4	43 11.5	4 1.1	26 6.9	9 2.4	9 2.4	4 1.1	4 1.1	56 14.9	10 2.7	24 6.4	130 34.7	56 14.9
大学院博士(後期)課程	87 100.0	71 81.6	16 18.4	2.4	8	1	27 38.0	17 23.9	12 16.9	7 9.9	3 4.2	5 7.0	5 7.0	5 7.0	5 7.0	1 1.4	2 2.8	0 0.0	0 0.0	12 16.9	0 0.0	3 4.2	29 40.8	9 12.7

(3) 活動領域・所属組織別の雇用・勤務形態、職場構成、決裁権限の有無、人事への関与、連絡会議等の有無、産休・育休予定期間

①雇用・勤務形態、職場構成、決裁権限の有無、人事への関与、連絡会議等の有無

雇用形態を領域別にみた場合、全体の8割を占める行政分野のみならず、産業・その他を除き正規職員が9割程度という同様の結果となっている。
 ・雇用形態を組織別に見た場合、医療保険者や企業・事業所で臨時職員やパートタイマー・アルバイトの割合が、診療所や訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設で「日勤+当直あり」や「交代勤務」の割合が高い。
 ・勤務形態はほとんどが日勤のみであるが、領域別では医療分野、組織別では病院、訪問看護ステーション、健（検）診センター、労働衛生機関で「日勤+当直あり」や「交代勤務」の割合が高い。
 ・職場構成としては、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、社会福祉施設で一人職場の割合が特に高く、省庁や都道府県、地域包括支援センター、企業・事業所などで一人職場の割合が高い。
 ・決裁権限を持つ者の割合は、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設などで特に割合が高く、企業・事業所や教育・研究機関を除き、一人職場の割合が比較的高いところでもあることから、権限も含め一人での業務を完結させているものと推察される。
 ・報道府県、健（検）診センター・労働衛生機関、病院、介護老人保健施設・介護老人福祉施設、社会福祉施設、教育・研究機関などで連絡会議等がない、あるいは参加していない割合が高い。

とQとして 1: 保健 お最優 選も師 びとあ くたは だてま さい。 も編 を	とQとして 8: 所属 組織と して、 最も あては まるも のを一 つお選 びくださ い。	Q11: 現在の雇用形態についてあてはまるものをお選びください。[SA]										Q12: 現在の勤務形態についてあてはまるものをお選びください。[SA]			Q16: 現在のあなたの職務構成(あなたが置かれている職務の状況)をお答えください。[SA]			Q17: 現在の立場での業務上の決裁権(決裁の権限)をお答えください。[SA]			Q18: 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。[SA]			Q19: 連絡会議等の有無(定例的な業務連絡や検討会の実施等関係者同士のネットワークの有無)についてあてはまるものをお答えください。[SA]		
		臨時職員(雇用期間の定めのある人、但し派遣社員を除く)	派遣社員	パートタイマー・アルバイト	その他	日勤のみ(定時間勤務)	日勤+当直(交代勤務あり)	交代勤務(2交代3交代)	介護休業中	産休中(育児休業中)	上記以外の休業中	その他	保健師・看護師の配置の状況	保健師1人のみの職場	あり	なし	人事に関する関与が可能なもの	保健師の人事に関する関与が可能なもの	関与できないもの	参加している	参加していない	参加していない等がない				
全体	22920	20836	1307	41	438	298	21666	353	239	1	266	33	362	20139	2781	4063	18857	829	1199	20892	14632	4498	3790			
行政	18516	17201	940	19	254	102	17914	170	23	1	208	18	182	763	244	186	821	48	52	907	499	184	324			
産業	100.0	92.9	5.1	0.1	1.4	0.6	96.7	0.9	0.1	0.0	1.1	0.1	1.0	75.8	24.2	18.5	81.5	4.8	5.2	90.1	49.6	18.3	32.2			
医療	1339	1013	160	17	65	84	1289	9	0	0	10	3	28	3664	137	551	3250	91	111	3599	2589	546	666			
福祉	100.0	75.7	11.9	1.3	4.9	6.3	96.3	0.7	0.0	0.0	0.7	0.2	2.1	96.4	3.6	14.5	85.5	2.4	2.9	94.7	68.1	14.4	17.5			
教育	1121	1017	41	1	52	10	727	144	190	0	33	7	20	2295	194	371	2078	63	88	2298	1671	467	311			
その他	100.0	87.7	7.8	0.0	1.0	3.5	88.3	0.4	0.8	0.0	1.0	0.4	9.0	93.7	6.3	15.1	84.9	2.6	3.6	93.8	68.2	19.1	12.7			
省庁	23	18	1	0	2	2	21	1	0	0	0	0	1	17	6	3	20	2	1	20	14	4	5			
都道府県	1007	945	51	0	7	4	973	16	7	0	5	0	6	763	244	186	821	48	52	907	499	184	324			
保健所	3801	3553	174	1	54	19	3704	20	7	0	27	5	37	3664	137	551	3250	91	111	3599	2589	546	666			
保健師設置市	2449	2290	113	0	29	17	2383	13	0	0	32	0	20	2295	194	371	2078	63	88	2298	1671	467	311			
特別区	543	497	23	4	12	7	534	0	2	0	2	0	5	482	61	99	444	7	27	509	389	120	34			
市町村	10611	9797	593	14	146	61	10204	125	11	0	142	16	113	9711	900	1697	8914	109	563	9849	7330	1956	1325			
地域包括支援センター	100.0	92.3	5.6	0.1	1.4	0.6	96.2	1.2	0.1	0.0	1.3	0.2	1.1	91.5	8.5	16.0	84.0	1.9	5.3	92.8	69.1	18.4	12.5			
医療保険者	100.0	64.8	18.6	1.2	9.9	5.5	96.4	0.4	0.0	0.0	0.8	0.8	1.6	77.5	22.5	22.9	77.1	3.6	13.8	82.6	64.0	20.6	15.4			
企業・事業所	879	670	96	12	38	63	865	2	0	0	5	1	16	603	276	215	664	115	101	663	589	155	135			
健(検)診センター・労働衛生機関	488	419	30	1	32	6	433	26	3	0	8	5	13	420	68	125	363	20	52	416	181	169	138			
病院	718	676	11	1	27	3	381	109	196	0	26	1	5	487	231	156	582	31	54	633	148	283	287			
診療所	41	34	0	1	4	2	35	1	0	0	1	0	2	18	23	15	26	6	6	29	14	18	9			
訪問看護ステーション	93	77	6	0	6	4	66	18	0	0	2	2	6	35	58	52	41	43	2	48	23	52	18			
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21	18	0	0	3	0	20	1	0	0	0	0	0	3	18	13	8	11	2	2	51.6	24.7	55.9			
社会福祉施設	45	42	1	0	1	1	40	1	3	0	0	0	1	11	34	10	35	4	2	39	17	14	14			
NPO	15	3	1	0	2	2	8	2	6.7	0.0	0.0	0.0	7	10	5	4	11	3	0	12	9	4	2			
教育・研究機関	460	409	32	0	4	15	407	2	0	0	6	1	43	374	86	162	298	77	34	349	202	119	139			
その他	392	235	57	1	35	64	304	6	1	0	1.3	0.2	9.3	81.3	18.7	35.2	64.8	16.7	7.4	75.9	43.9	25.9	30.2			

②産休・育休予定期間

・領域別には、行政分野が平均より少し長め、医療・教育分野が平均より短めの傾向にある。
 ・所属組織では、都道府県、保健所設置市、地域包括支援センターで特に平均より長め、健（検）診センター・労働衛生機関で短めの傾向にある。

	全体	Q13:産休・育休予定期間(月)IF-A)				N013:産休・育休予定期間 [SA]											
		平均	最大値	最小値	か	半年未満 9ヶ月未満	9ヶ月以上 12ヶ月未満	12ヶ月以上 15ヶ月未満	15ヶ月以上 18ヶ月未満	18ヶ月以上 21ヶ月未満	21ヶ月以上 24ヶ月未満	24ヶ月以上 27ヶ月未満	27ヶ月以上 30ヶ月未満	30ヶ月以上 33ヶ月未満	33ヶ月以上 36ヶ月未満	36ヶ月以上	
どQ し7 つて、保 お最健 選も師 びあと びくとして だはは さいる。ま さい。ま の領 を域	266 100.0	17.0	52	1		5 1.9	13 4.9	20 7.5	29 10.9	42 15.8	42 15.8	12 4.5	13 4.9	6 2.3	4 1.5	1 0.4	23 8.6
行政	208 100.0	18.3	52	1		4 1.9	7 3.4	12 5.8	29 13.9	36 17.3	36 17.3	12 5.8	11 5.3	6 2.9	4 1.9	0.5	10.6
産業	10 100.0	12.3	16	10		0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療	33 100.0	12.7	36	6		0 0.0	4 12.1	6 18.2	19 57.6	3 9.1	3 9.1	0 0.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.0
福祉	8 100.0	13.9	17	12		0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 37.5	3 22.5	3 22.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育	5 100.0	9.4	12	6		0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	2 100.0	9.0	16	2		1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
省庁	0 100.0	0.0	0	0		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県	5 100.0	18.6	36	11		0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20.0
保健所	27 100.0	17.5	36	1		1 3.7	1 3.7	10 37.0	3 11.1	3 11.1	4 14.8	1 3.7	2 7.4	0 0.0	1 3.7	1 3.7	7.4
保健所設置市	32 100.0	19.4	46	6		0 0.0	2 6.3	2 6.3	9 28.1	2 6.3	4 12.5	6 18.8	2 6.3	3 9.4	0 0.0	0 0.0	6.3
特別区	2 100.0	12.0	19	5		1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
市町村	142 100.0	18.0	52	2		2 1.4	5 3.5	8 5.6	52 36.6	24 16.9	15 10.6	7 4.9	7 4.9	3 2.1	3 2.1	0 0.0	11.3
地域包括支援センター	7 100.0	19.1	36	12		0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14.3
医療保険者	2 100.0	14.0	16	12		0 0.0	0 0.0	0 0.0	50 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
企業・事業所	5 100.0	12.2	13	12		0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健(検)診センター・労働衛生機関	8 100.0	9.6	12	2		1 12.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
病院	26 100.0	13.0	36	6		0 0.0	2 7.7	4 15.4	17 65.4	1 3.8	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.8
診療所	1 100.0	24.0	24	24		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	100 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
訪問看護ステーション	2 100.0	12.0	12	12		0 0.0	0 0.0	0 0.0	100 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0 100.0	0.0	0	0		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
社会福祉施設	0 100.0	0.0	0	0		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
NPO	0 100.0	0.0	0	0		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育・研究機関	6 100.0	9.8	12	6		0 0.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 100.0	16.0	16	16		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(6) 職場構成別の産休・育休予定期間、連絡会議等の有無 (職場構成×産休・育休予定期間、連絡会議等の有無)

・対象者が少ないことから精査が必要であるが、一人職場での産休・育休取得者(19名)では、産休・育休予定期間が全体平均や複数配置職場よりも若干短めの傾向にある。その一方で全体平均や複数配置職場よりも長い休暇を取得できている者もいる。
 ・一人職場では、連絡会議等が無い割合が複数配置職場よりも高く、また連絡会議があっても参加していない割合が高い。

	Q13:産休・育休予定期間(月)(FCA)		NQ13:産休・育休予定期間 [SA]												Q19:連絡会議等の有無(定例的な業務連絡や後援会の実施等保母師同士のネットワークの有無)についてあてはまるものをお答えください。[SA]			
	平均	最大値	最小値	半年未満	6ヶ月以上 9ヶ月未満	9ヶ月以上 12ヶ月未満	12ヶ月以上 15ヶ月未満	15ヶ月以上 18ヶ月未満	18ヶ月以上 21ヶ月未満	21ヶ月以上 24ヶ月未満	24ヶ月以上 27ヶ月未満	27ヶ月以上 30ヶ月未満	30ヶ月以上 33ヶ月未満	33ヶ月以上 36ヶ月未満	36ヶ月以上	参加している	参加していない	
全体	266 100.0	52	1	5 1.9	13 4.9	20 7.5	98 36.8	42 15.8	29 10.9	12 4.5	13 4.9	6 2.3	4 1.5	1 0.4	23 8.6	14632 63.8	4498 19.6	3790 16.5
あなたの職場構成(あなたが属している職場の状況)をお答え下さい	247 100.0	52	1	5 2.0	13 5.3	17 6.9	90 36.4	39 15.8	28 11.3	11 4.5	11 4.5	6 2.4	4 1.6	1 0.4	22 8.9	13259 65.8	3843 19.1	3037 15.1
保健師専攻配置の職場	19 100.0	36	10	0 0.0	0 0.0	3 15.8	8 42.1	3 15.8	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	1373 49.4	655 23.6	753 27.1

(7) 転職理由で「興味もてない・やりがいがない」を選択した者(223名)について

- ・主に20代後半から30代前半で経験年数が10年未満の者が中心。
- ・最終学歴は専門学校が大半であるが、四年制大学も少なくない。

Q3 あなたの年齢をお答えください。([]歳)[FA]

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	223	223	8691	39.0	10.00	67	24	37

NQ3 年齢(カテゴリ)[SA]

			全体の集計結果	
全体			度数	%
			223	100.0
1	20～24歳		3	1.3
2	25～29歳		37	16.6
3	30～34歳		54	24.2
4	35～39歳		29	13.0
5	40～44歳		42	18.8
6	45～49歳		18	8.1
7	50～54歳		18	8.1
8	55～59歳		15	6.7
9	60歳以上		7	3.1

Q4 あなたの最終学歴をお答えください。[SA]

			全体の集計結果	
全体			度数	%
			223	100.0
1	専門学校(保健師養成機関)		115	51.6
2	短大専攻科		35	15.7
3	四年制大学		62	27.8
4	大学院修士(前期)課程		9	4.0
5	大学院博士(後期)課程		2	0.9

Q5M003 あなたの保健師としての通算経験年数をお教えてください。 - 通算[]カ月(月数換算)[FA]

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	223	223	35836	160.7	121.64	484	0	126

NNQ5M001 通算経験年数(カテゴリ)[SA]

			全体の集計結果	
全体			度数	%
			223	100.0
1	0～4年		57	25.6
2	5～9年		50	22.4
3	10～14年		28	12.6
4	15～19年		29	13.0
5	20～24年		21	9.4
6	25～29年		18	8.1
7	30年以上		20	9.0

(8) 転職理由で「自分の適正の不安」を選択した者(299名)について

- ・主に20代後半から30代前半で経験年数が15年未満の者が中心。
- ・最終学歴は専門学校が大半であるが、四年制大学も少なくない。

Q3 あなたの年齢をお答えください。([]歳)[FA]

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	299	299	11116	37.2	9.23	62	23	35

NQ3 年齢(カテゴリ)[SA]

			全体の集計結果	
			度数	%
全体			299	100.0
1	20～24歳	7	2.3	1062
2	25～29歳	69	23.1	3079
3	30～34歳	69	23.1	3444
4	35～39歳	41	13.7	3258
5	40～44歳	44	14.7	3398
6	45～49歳	29	9.7	3478
7	50～54歳	27	9.0	2755
8	55～59歳	11	3.7	1946
9	60歳以上	2	0.7	634

Q4 あなたの最終学歴をお答えください。[SA]

			全体の集計結果	
			度数	%
全体			299	100.0
1	専門学校(保健師養成機関)	154	51.5	14253
2	短大専攻科	31	10.4	2423
3	四年制大学	110	36.8	5660
4	大学院修士(前期)課程	4	1.3	631
5	大学院博士(後期)課程	0	0.0	87

Q5M003 あなたの保健師としての通算経験年数をお教えてください。- 通算[]カ月(月数換算)[FA]

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
	299	299	40542	135.6	112.48	458	0	113

NNQ5M001 通算経験年数(カテゴリ)[SA]

			全体の集計結果	
			度数	%
全体			299	100.0
1	0～4年	101	33.8	4707
2	5～9年	56	18.7	3401
3	10～14年	52	17.4	3426
4	15～19年	31	10.4	2907
5	20～24年	23	7.7	2953
6	25～29年	19	6.4	2877
7	30年以上	17	5.7	2783

(9) 行政分野及び市町村に所属する保健師の、勤務地別での雇用・勤務形態、連絡会議等の有無（勤務地×雇用・勤務形態、連絡会議等の有無）

①行政分野

- ・正規職員が9割を占め、都道府県間で特に大きな差異はないが、若干の差を見ると、九州では正規職員が少なく、臨時職員が多い傾向にある（特に鹿児島県・沖縄県）。
- ・派遣社員やパートタイマー・アルバイトは全般的に少ない中で、派遣社員は香川県、パートタイマー・アルバイトは鹿児島県、愛知県、長野県などの割合が高い。
- ・勤務形態も日勤のみが殆どを占める中で都道府県間での大きな差異はないが、長野県、滋賀県などでは日勤+当直の割合が、群馬県では交代勤務の割合が、それぞれ比較的高い。
- ・連絡会議の参加率が高いのは山梨・長野・大阪・兵庫・和歌山・大分、参加率が低いのは愛知・静岡、連絡会議等がそもそもないのは秋田・福島など

	全体	Q11: 現在の雇用形態についてあてはまるものを1つお選びください。[SA]					Q12: 現在の勤務形態についてあてはまるものを1つお選びください。[SA]								Q19: 連絡会議等の有無(定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワークの有無)についてあてはまるものをお答えください。[SA]		
		正規職員	臨時職員(雇用期間の定めのある人。但し派遣社員を除く)	派遣社員	パートタイマー・アルバイト	その他	日勤のみ(定時労働)	日勤+当直あり	交代勤務(2交替、3交替)	介護休業中	産休中・育児休業中	上記以外の休暇・休業中	その他	参加している	参加していない	連絡会議等がない	
全体	22920	20836	1307	41	438	298	21666	353	239	1	266	33	362	14632	4498	3790	
行政計	18516	17201	940	19	254	102	17914	170	23	1	208	18	182	12552	3275	2689	
北海道	984	917	50	2	8	7	973	1	0	0	5	1	4	631	214	139	
青森県	285	276	5	0	1	3	281	0	0	0	1	0	3	165	45	75	
岩手県	303	273	20	1	7	2	293	5	0	0	1	0	4	175	67	61	
宮城県	332	317	12	0	1	2	322	4	0	0	2	0	4	214	75	43	
秋田県	254	244	4	0	0	6	249	3	0	0	1	0	1	93	56	105	
山形県	231	229	1	0	1	0	226	2	0	0	1	1	1	144	28	59	
福島県	337	335	1	0	0	1	331	3	0	0	2	0	1	177	51	109	
茨城県	328	314	8	1	3	2	325	0	0	0	1	1	1	246	49	33	
栃木県	318	297	19	0	0	2	304	5	0	0	6	0	3	216	71	31	
群馬県	393	375	15	0	1	2	369	7	9	0	4	1	3	219	86	88	
埼玉県	609	579	24	0	6	0	595	6	1	0	5	1	1	361	119	129	
千葉県	528	501	20	0	6	1	512	6	0	0	4	0	6	411	81	36	
東京都	721	661	36	3	13	8	711	0	3	0	1	2	4	536	141	44	
神奈川県	598	560	26	1	8	3	585	5	1	0	4	0	3	436	107	55	
山梨県	232	224	7	0	1	0	220	6	0	0	3	0	3	186	34	12	
長野県	511	450	40	0	19	2	468	22	3	0	9	0	9	406	77	28	
新潟県	500	483	13	0	3	1	481	3	1	0	9	0	6	320	93	87	
富山県	318	306	8	0	3	1	307	1	0	0	8	0	2	205	72	41	
石川県	240	232	7	0	1	0	229	6	1	0	3	0	1	161	32	47	
福井県	234	215	12	1	5	1	222	3	1	0	3	0	5	127	43	64	
岐阜県	342	325	11	0	6	0	328	7	0	0	3	0	4	218	68	56	
静岡県	614	560	38	0	13	3	598	0	0	0	6	0	10	367	156	91	
愛知県	942	828	71	0	40	3	888	8	1	0	18	2	25	652	218	72	
三重県	234	226	4	0	4	0	219	6	0	0	7	0	2	145	43	46	
滋賀県	292	275	15	0	2	0	279	11	0	0	1	1	0	184	62	46	
京都府	343	328	8	0	5	2	336	2	0	0	1	0	4	231	40	72	
大阪府	777	733	32	0	10	2	767	2	0	1	3	0	4	625	99	53	
兵庫県	697	638	33	0	20	6	675	3	0	0	4	1	14	552	85	60	
奈良県	211	200	8	0	1	2	203	3	0	0	4	0	1	103	48	60	
和歌山県	242	238	3	0	0	1	236	5	0	0	1	0	0	195	30	17	
鳥取県	185	178	7	0	0	0	181	2	0	0	2	0	0	110	24	51	
島根県	224	206	10	0	5	1	216	1	0	0	5	0	2	179	26	19	
岡山県	480	448	24	0	4	4	454	10	0	0	9	0	6	333	93	54	
広島県	366	333	27	0	3	3	353	1	0	0	3	2	7	244	58	64	
山口県	430	389	36	0	3	2	415	0	0	0	11	1	3	240	82	108	
徳島県	234	224	10	0	0	0	227	2	0	0	4	0	1	184	28	22	
香川県	217	201	9	7	0	0	211	3	0	0	3	0	0	176	27	14	
愛媛県	328	308	11	1	6	2	315	2	0	0	4	1	6	267	26	35	
高知県	246	233	10	1	0	2	241	2	0	0	3	0	0	155	47	44	
福岡県	637	554	65	0	7	11	613	1	1	0	12	1	9	457	120	60	
佐賀県	230	211	15	0	3	1	223	1	0	0	5	1	0	133	49	48	
長崎県	329	298	25	0	3	3	322	0	0	0	3	0	4	213	54	62	
熊本県	427	415	10	0	2	0	419	4	0	0	3	0	1	308	53	66	
大分県	305	286	17	0	2	0	296	0	0	0	9	0	0	256	33	16	
宮崎県	217	195	21	0	0	1	213	0	0	0	2	0	2	120	41	56	
鹿児島県	433	350	54	1	23	5	414	2	1	0	7	0	9	288	78	67	
沖縄県	275	231	37	0	3	4	267	4	0	0	2	0	2	187	44	44	
離職中・退職中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	3	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	

Q6: あなたの勤務地をお答えください。
NO7: 活動領域(行政)

②市町村

・正規職員が9割を占め、都道府県間で特に大きな差異はないが、若干の差を見ると、九州では正規職員が少なく、臨時職員が多い傾向にある(特に鹿児島県・沖縄県・福岡県。他に広島県も比較的多い)
 ・行政分野と同様に、派遣社員は香川県、パート・タイマー・アルバイトは鹿児島県、愛知県、長野県(他に兵庫県)が、それぞれ占める割合が高い。

・日勤+当直ありが占める割合が高い地域は、行政分野と同様に長野県となっているが、滋賀県はそれほど高くはない。
 ・市町村の勤務形態において交代勤務が占める割合は、どの地域でも1%未満となっている。

・連絡会議等がない割合が高い地域は、行政分野と同様に秋田県、福島県のほか、青森県、奈良県、山口県の割合も高い。
 ・連絡会議等はあるが参加していない割合が高い地域は、行政分野と異なり、富山県、佐賀県、青森県、福岡県、栃木県など。

	全体	Q11: 現在の雇用形態についてあてはまるものを1つお選びください。[SA]					Q12: 現在の勤務形態についてあてはまるものを1つお選びください。[SA]								Q19: 連絡会議等の有無(定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワークの有無)についてあてはまるものをお答えください。[SA]		
		正規職員	臨時職員(雇用期間の定めのある人、但し派遣社員を除く)	派遣社員	パート・タイマー・アルバイト	その他	日勤のみ(定時勤務)	日勤+当直あり	交代勤務(2交替、3交替)	介護休業中	産休中・育児休業中	上記以外の休暇・休業中	その他	参加している	参加していない	連絡会議等がない	
全体	22920	20836	1307	41	438	298	21666	353	239	1	266	33	362	14632	4498	3790	
市町村計	10611	9797	593	14	146	61	10204	125	11	0	142	16	113	7330	1956	1325	
北海道	625	580	32	2	5	6	615	1	0	0	3	1	5	376	162	87	
青森県	186	179	4	0	1	2	182	0	0	0	1	0	3	98	38	50	
岩手県	193	175	11	1	2	4	185	4	0	0	1	0	3	121	39	33	
宮城県	176	167	7	0	1	1	165	6	0	0	2	0	3	104	42	30	
秋田県	148	144	1	0	0	3	143	2	1	0	2	0	0	75	32	41	
山形県	175	174	0	0	1	0	170	2	0	0	1	1	1	110	21	40	
福島県	222	221	1	0	0	0	218	1	0	0	1	0	2	140	24	58	
茨城県	235	227	4	0	2	2	233	0	0	0	1	1	0	178	37	20	
栃木県	203	188	12	0	0	3	192	2	0	0	5	0	4	137	49	17	
群馬県	272	262	7	0	1	2	261	6	1	0	2	0	2	164	57	51	
埼玉県	423	398	22	0	3	0	413	2	0	0	5	2	1	259	84	80	
千葉県	315	301	10	0	4	0	303	5	0	0	3	0	4	250	52	13	
東京都	74	68	6	0	0	0	73	0	0	0	0	1	0	64	7	3	
神奈川県	221	197	17	1	5	1	216	2	0	0	1	0	2	159	44	18	
山梨県	178	170	7	0	1	0	165	6	1	0	3	0	3	147	26	5	
長野県	369	326	27	0	15	1	337	18	3	0	5	0	6	300	50	19	
新潟県	321	309	8	0	3	1	309	1	0	0	6	0	5	204	63	54	
富山県	186	184	1	0	1	0	179	0	0	0	7	0	0	111	50	25	
石川県	136	129	6	0	1	0	130	4	0	0	1	0	1	93	22	21	
福井県	150	139	8	0	2	1	142	2	1	0	1	0	4	91	29	30	
岐阜県	217	203	10	0	4	0	205	7	0	0	3	0	2	141	47	29	
静岡県	419	375	32	0	9	3	409	0	0	0	2	0	8	246	115	58	
愛知県	559	493	43	0	21	2	522	8	1	0	14	2	12	398	128	33	
三重県	167	161	2	0	4	0	156	5	0	0	5	0	1	114	27	26	
滋賀県	197	183	12	0	2	0	191	5	0	0	1	0	0	124	45	28	
京都府	109	103	4	0	2	0	109	0	0	0	0	0	0	77	17	15	
大阪府	326	301	19	0	5	1	322	0	0	0	2	0	2	246	50	30	
兵庫県	352	315	21	0	14	2	335	2	0	0	3	1	11	293	38	21	
奈良県	98	93	5	0	0	0	93	2	0	0	2	0	1	54	18	26	
和歌山県	153	152	1	0	0	0	148	5	0	0	0	0	0	138	12	3	
鳥取県	120	114	6	0	0	0	117	1	0	0	2	0	0	83	13	24	
島根県	153	141	8	0	3	1	149	0	0	0	3	0	1	124	20	9	
岡山県	229	206	19	0	2	2	210	9	0	0	6	1	3	160	44	25	
広島県	192	166	21	1	3	1	183	0	0	0	3	2	4	138	34	20	
山口県	289	262	25	0	1	1	277	0	2	0	8	1	1	157	56	76	
徳島県	164	157	7	0	0	0	158	1	0	0	4	0	1	133	24	7	
香川県	108	99	3	0	0	0	103	3	0	0	2	0	0	90	14	4	
愛媛県	217	207	6	1	1	2	210	1	0	0	2	1	3	193	16	8	
高知県	124	113	7	1	0	3	120	2	0	0	2	0	0	100	14	10	
福岡県	282	236	41	0	2	3	270	0	1	0	8	1	2	197	72	13	
佐賀県	157	142	11	0	3	1	151	1	0	0	4	1	0	88	41	28	
長崎県	188	168	15	0	2	3	181	1	0	0	2	0	4	128	33	27	
熊本県	297	288	8	0	1	0	291	4	0	0	2	0	0	236	34	27	
大分県	160	153	7	0	0	0	154	0	0	0	6	0	0	138	18	4	
宮崎県	96	88	7	0	0	1	95	0	0	0	0	0	1	59	19	18	
鹿児島県	234	187	27	1	15	4	224	0	0	0	4	0	6	159	40	35	
沖縄県	194	153	34	0	3	4	188	4	0	0	1	0	1	134	34	26	
離職中・退職中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	

N08: 所属組織(市町村) ×
 06: あなたの勤務地をお答えください。

3. 業務内容

※各表の上段が「主たる業務」とのクロス集計、下段が「それに準ずる業務」とのクロス集計の結果となっている。分析は主に「主たる業務」とのクロス集計の結果を見る。

(1) 経験年数別の業務内容 (経験年数×業務内容)

①行政分野

- ・経験年数が上がるにつれて、最も多くの回答者が主たる業務としている母子保健も、主たる業務とする者の割合が減少する。地区担当についても同様の傾向をたどる。
- ・介護分野にベテランの保健師が配置されているという傾向は特に見られない。
- ・一方で、経験年数が上がるにつれて管理業務の割合が増加しているが、経験年数30年以上の回答者でも管理的業務が主となっている者は3割程度にとどまっている。
- ・企画調整は経験年数が20年以上の者が主に担当するようである。

		Q20M01: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																	
		全体	母子保健	健康づくり	生活習慣病予防(がん対策含む)	介護予防	介護保険	高齢者保健(虐待対策含む)	精神保健	健康危機管理	総合相談	地区担当	感染症対策	難病	児童福祉(虐待対策含む)	障害者福祉(障害児・障害者)	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	その他
全体 (主たる業務)		18516 100.0	4066 22.0	1540 8.3	2333 12.6	1436 7.8	801 4.3	329 1.8	1287 7.0	68 0.4	231 1.2	1769 9.6	1024 5.5	509 2.7	260 1.4	295 1.6	438 2.4	1370 7.4	760 4.1
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリ)	0~4年	3313 100.0	1164 35.1	265 8.0	388 11.7	242 7.3	80 2.4	43 1.3	155 4.7	2 0.1	26 0.8	503 15.2	164 5.0	102 3.1	21 0.6	42 1.3	20 0.6	5 0.2	91 2.7
	5~9年	2694 100.0	744 27.6	237 8.8	433 16.1	207 7.7	102 3.8	34 1.3	150 5.6	7 0.3	21 0.8	327 12.1	135 5.0	70 2.6	36 1.3	51 1.9	36 1.3	5 0.2	99 3.7
	10~14年	2890 100.0	679 23.6	254 8.8	471 16.4	281 9.8	129 4.5	62 2.2	167 5.8	5 0.2	36 1.3	320 11.1	147 5.1	53 1.8	35 1.2	58 2.0	44 1.5	15 0.5	124 4.3
	15~19年	2363 100.0	465 19.7	222 9.4	342 14.5	207 8.8	112 4.7	53 2.2	181 7.7	8 0.3	27 1.1	250 10.6	146 6.2	77 3.3	37 1.6	37 1.6	63 2.7	54 2.3	82 3.5
	20~24年	2495 100.0	426 17.1	210 8.4	303 12.1	198 7.9	143 5.7	46 1.8	253 10.1	6 0.2	34 1.4	161 6.5	172 6.9	88 3.5	52 2.1	46 1.8	100 4.0	151 6.1	106 4.2
	25~29年	2520 100.0	348 13.8	218 8.7	252 10.0	181 7.2	136 5.2	55 2.2	233 9.2	19 0.8	42 1.7	128 5.1	140 5.6	60 2.4	47 1.9	42 1.7	93 3.7	401 15.9	125 5.0
	30年以上	2251 100.0	240 10.7	134 6.0	144 6.4	120 5.3	99 4.4	36 1.6	148 6.6	21 0.9	45 2.0	80 3.6	120 5.3	59 2.6	32 1.4	19 0.8	82 3.6	73 3.2	133 5.9
全体 (準ずる業務)		18516 100.0	1773 9.6	2908 15.7	1450 7.8	982 5.3	679 3.7	721 3.9	906 4.9	570 3.1	729 3.9	2215 12.0	744 4.0	468 2.5	662 3.6	636 3.4	798 4.3	537 2.9	1738 9.4
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリ)	0~4年	3313 100.0	439 13.3	649 19.6	282 8.5	127 3.8	103 3.1	85 2.6	147 4.4	33 1.0	137 4.1	610 18.4	122 3.7	80 2.4	135 4.1	89 2.7	41 1.2	19 0.6	215 6.5
	5~9年	2694 100.0	292 10.8	496 18.4	239 8.9	138 5.1	97 3.6	98 3.6	126 4.7	52 1.9	115 4.3	415 15.4	95 3.5	68 2.5	108 4.0	94 3.5	56 2.1	19 0.7	186 6.9
	10~14年	2890 100.0	296 10.3	533 18.5	264 9.2	147 5.1	115 4.9	132 4.6	44 1.5	44 1.5	114 4.0	417 14.5	98 3.4	50 1.7	99 3.4	78 2.7	73 2.5	33 1.1	247 8.6
	15~19年	2363 100.0	230 9.7	339 14.3	197 8.3	157 6.6	79 3.3	104 4.4	121 5.1	81 3.4	79 3.3	291 12.3	88 3.7	66 2.8	95 4.0	90 3.8	74 3.1	44 1.9	228 9.6
	20~24年	2495 100.0	191 7.7	347 13.9	185 7.4	161 6.5	110 4.4	117 4.7	139 5.6	92 3.7	93 3.7	223 8.9	119 4.8	67 2.7	78 3.1	92 3.7	134 5.4	94 3.8	253 10.1
	25~29年	2520 100.0	182 7.2	318 12.6	162 6.4	154 6.1	90 3.6	112 4.4	149 5.9	120 4.8	88 3.5	151 6.0	99 3.9	85 3.4	82 3.3	113 4.5	177 7.0	161 6.4	277 11.0
	30年以上	2251 100.0	143 6.4	226 10.0	121 5.4	98 4.4	60 2.7	90 4.0	92 4.1	148 6.6	103 4.6	108 4.8	123 5.5	52 2.3	65 2.9	80 3.6	243 10.8	167 7.4	332 14.7

②産業分野

- ・経験年数が上がるにつれて、最も多くの回答者が主たる業務としている各種健康診断と事後管理も、主たる業務とする者の割合が減少する。
- ・一方で、経験年数が上がるにつれて、健康管理活動のマネジメント、健康・衛生管理体制の整備と参画の割合が増加している。
- ・どの経験年数でも担当しているメンタルヘルス対策だが、どちらかと言えば、経験年数の長い者がより多く担当している。

		Q21M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																
		全体	各種健康診断と事後管理	健康相談 保健指導	健康衛生教育	健康増進活動	職場巡視	生活習慣病対策	メンタルヘルス対策	過重労働対策	他職種・他部門との コーディネート (連絡・連携・調整)	健康・衛生管理体制の 整備と参画	衛生管理業務の 企画立案 評価	健康管理活動の マネジメント	情報提供 や資料作成・提供	経営や労務管理への アプローチ	その他	
全体 (主たる業務)		1339 100.0	462 34.5	407 30.4	12 0.9	42 3.1	4 0.3	87 6.5	111 8.3	12 0.9	20 1.5	26 1.9	15 1.1	55 4.1	44 3.3	5 0.4	37 2.8	
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリ)	0~4年	362 100.0	144 39.8	112 30.9	5 1.4	10 2.8	1 0.3	24 6.6	25 6.9	6 1.7	7 1.9	2 0.6	2 0.6	4 1.1	12 3.3	1 0.3	7 1.9	
	5~9年	199 100.0	75 37.7	59 29.6	0 0.0	7 3.5	0 0.0	12 6.0	15 7.5	2 1.0	1 0.5	3 1.5	3 1.5	5 2.5	11 5.5	0 0.0	6 3.0	
	10~14年	203 100.0	77 37.9	68 33.5	2 1.0	7 3.4	0 0.0	13 6.4	14 6.9	1 0.5	2 1.0	3 1.5	3 1.5	5 2.5	4 2.0	0 0.0	4 2.0	
	15~19年	210 100.0	73 34.8	66 31.4	1 0.5	5 2.4	1 0.5	11 5.2	21 10.0	1 0.5	4 1.9	5 2.4	2 1.0	9 4.3	5 2.4	2 1.0	4 1.9	
	20~24年	163 100.0	51 31.3	45 27.6	3 1.8	6 3.7	1 0.6	14 8.6	13 8.0	1 0.6	3 1.8	5 3.1	1 0.6	8 4.9	5 3.1	0 0.0	7 4.3	
	25~29年	110 100.0	28 25.5	35 31.8	0 0.0	3 2.7	0 0.0	8 7.3	13 11.8	1 0.9	3 2.7	4 3.6	4 3.6	6 5.5	1 0.9	0 0.0	4 3.6	
	30年以上	92 100.0	14 15.2	22 23.9	1 1.1	4 4.3	1 1.1	5 5.4	10 10.9	0 0.0	0 0.0	4 4.3	0 0.0	18 19.6	6 6.5	2 2.2	5 5.4	
全体 (準ずる業務)		1339 100.0	209 15.6	365 27.3	72 5.4	76 5.7	20 1.5	111 8.3	170 12.7	30 2.2	68 5.1	14 1.0	20 1.5	36 2.7	54 4.0	31 2.3	63 4.7	
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリ)	0~4年	362 100.0	66 18.2	115 31.8	21 5.8	23 6.4	10 2.8	28 7.7	33 9.1	6 1.7	12 3.3	3 0.8	3 0.6	2 0.6	18 5.0	4 1.1	18 5.0	
	5~9年	199 100.0	22 11.1	54 27.1	7 3.5	15 7.5	3 1.5	22 11.1	28 14.1	7 3.5	9 4.5	1 0.5	3 1.5	4 2.0	10 5.0	5 2.5	9 4.5	
	10~14年	203 100.0	37 18.2	55 27.1	13 6.4	15 7.4	2 1.0	15 7.4	21 10.3	6 3.0	8 3.9	2 1.0	2 1.0	5 2.5	8 3.9	2 1.0	12 5.9	
	15~19年	210 100.0	33 15.7	58 27.6	5 2.4	14 6.8	1 0.9	17 8.1	31 14.8	2 1.0	16 7.6	3 1.4	2 1.0	10 4.8	7 3.3	4 1.9	8 3.8	
	20~24年	163 100.0	25 15.3	43 26.4	7 4.3	10 6.1	0 0.0	14 8.6	23 14.1	6 3.7	10 6.1	2 1.2	6 3.7	6 3.7	2 1.2	4 2.5	5 3.1	
	25~29年	110 100.0	17 15.5	23 20.9	11 10.0	2 1.8	1 0.9	10 9.1	24 21.8	3 2.7	3 2.7	2 1.8	2 1.8	4 3.6	3 2.7	2 1.8	7 6.4	
	30年以上	92 100.0	9 9.8	17 18.5	8 8.7	1 1.1	0 0.0	5 5.4	10 10.9	0 0.0	10 10.9	1 1.1	2 2.2	5 5.4	6 6.5	10 10.9	8 8.7	

③その他の分野

- ・その他ということで様々な業務が混在しているが、経験年数が上がる（30年以上を除く）につれて、企画調整、管理業務の割合が増加している。
- ・ケアプランの作成はどの経験年数でも従事しているが、特に経験10～19年の者が中心になっているようである。
- ・経験年数が10年未満の者で看護師業務の割合が、他の年代よりも高い。

		Q22M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]												
		全体	看護師業務 (在宅看護・訪問看護含む)	介護業務	生活指導	保健指導	健診業務	退院調整	ケアプラン の作成	教育	企画調整 (研修・調査含む)	管理業務 (マネジメント)	営業・広報	その他
全体（主たる業務）		3065 100.0	409 13.3	73 2.4	63 2.1	670 21.9	458 14.9	43 1.4	251 8.2	407 13.3	127 4.1	231 7.5	5 0.2	328 10.7
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリー)	0～4年	996 100.0	241 24.2	11 1.1	18 1.8	251 25.2	219 22.0	8 0.8	82 8.2	80 8.0	15 1.5	15 1.5	1 0.1	55 5.5
	5～9年	489 100.0	83 17.0	13 2.7	7 1.4	122 24.9	91 18.6	5 1.0	30 6.1	86 17.6	11 2.2	12 2.5	0 0.0	29 5.9
	10～14年	329 100.0	31 9.4	7 2.1	11 3.3	74 22.5	31 9.4	7 2.1	40 12.2	43 13.1	12 3.6	21 6.4	1 0.3	51 15.5
	15～19年	333 100.0	22 6.6	12 3.6	7 2.1	61 18.3	37 11.1	2 0.6	40 12.0	49 14.7	18 5.4	29 8.7	1 0.3	55 16.5
	20～24年	291 100.0	15 5.2	10 3.4	9 3.1	62 21.3	35 12.0	8 2.7	24 8.2	39 13.4	20 6.9	28 9.6	0 0.0	41 14.1
	25～29年	240 100.0	7 2.9	10 4.2	4 1.7	46 19.2	25 10.4	6 2.5	20 8.3	34 14.2	20 8.3	41 17.1	1 0.4	26 10.8
	30年以上	387 100.0	10 2.6	10 2.6	7 1.8	54 14.0	20 5.2	7 1.8	15 3.9	76 19.6	31 8.0	85 22.0	1 0.3	71 18.3
	全体（準ずる業務）	3065 100.0	141 4.6	140 4.6	286 9.3	626 20.4	376 12.3	91 3.0	125 4.1	122 4.0	240 7.8	191 6.2	52 1.7	675 22.0
NNQ5M001: 通算経験年数(カテゴリー)	0～4年	996 100.0	46 4.6	81 8.1	126 12.7	281 28.2	159 16.0	26 2.6	27 2.7	33 3.3	40 4.0	18 1.8	15 1.5	144 14.5
	5～9年	489 100.0	24 4.9	16 3.3	52 10.6	109 22.3	74 15.1	14 2.9	13 2.7	11 2.2	32 6.5	18 3.7	10 2.0	116 23.7
	10～14年	329 100.0	23 7.0	13 4.0	24 7.3	63 19.1	44 13.4	14 4.3	16 4.9	11 3.3	31 9.4	21 6.4	2 0.6	67 20.4
	15～19年	333 100.0	13 3.9	5 1.5	28 8.4	53 15.9	26 7.8	13 3.9	23 6.9	21 6.3	32 9.6	27 8.1	4 1.2	88 26.4
	20～24年	291 100.0	10 3.4	6 2.1	18 6.2	57 19.6	37 12.7	13 4.5	16 5.5	10 3.4	31 10.7	30 10.3	7 2.4	56 19.2
	25～29年	240 100.0	12 5.0	6 2.5	16 6.7	28 11.7	18 7.5	6 2.5	15 6.3	8 3.3	28 11.7	25 10.4	6 2.5	70 29.0
	30年以上	387 100.0	13 3.4	13 3.4	22 5.7	35 9.0	18 4.7	5 1.3	15 3.9	28 7.2	46 11.9	52 13.4	8 2.1	132 34.1

(2) 所属組織別での各活動領域の業務内容 (所属組織×各活動領域の業務内容)

①行政分野

- ・業務によって主に担当している所属組織が異なるという特徴が現れている。
- ・全体として約5人に1人が担当している母子保健や、約8人に1人が担当している生活習慣病予防は市区町村がほとんどで、特に保健所設置市や市町村での割合が高い。
- ・精神保健は都道府県、地区担当は保健所設置市や特別区、感染症対策は省庁や保健所が他と比較して高くなっている。
- ・介護保険等介護や高齢者福祉は地域包括支援センターがほとんどである。

		Q20M01: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																		
		全体	母子保健	健康づくり	生活習慣病予防(がん対策含む)	介護予防	介護保険	高齢者保健(虐待対策含む)	精神保健	健康危機管理	総合相談	地区担当	感染症対策	難病	児童福祉(虐待対策含む)	障害者福祉(障害児・障害者)	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	その他	
全体 (主たる業務)		18516 100.0	4066 22.0	1540 8.3	2333 12.6	1436 7.8	801 4.3	329 1.8	1287 7.0	68 0.4	231 1.2	1769 9.6	1024 5.5	509 2.7	260 1.4	295 1.6	438 2.4	1370 7.4	760 4.1	
Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	17 100.0	1 5.9	3 17.6	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	5 29.4	0 0.0	1 5.9	
	都道府県	864 100.0	78 9.0	63 7.3	72 8.3	19 2.2	58 6.7	13 1.5	128 14.8	7 0.8	8 0.9	5 0.6	55 6.4	41 4.7	22 2.5	16 1.9	69 8.0	70 8.1	140 16.2	
	保健所	3715 100.0	639 17.2	169 4.5	109 2.9	29 0.8	51 1.4	39 1.0	609 16.4	35 0.9	20 0.5	196 5.3	646 17.4	378 10.2	23 0.6	24 0.6	215 5.8	406 10.9	127 3.4	
	保健所設置市	2361 100.0	557 23.6	193 8.2	186 7.9	98 4.2	60 2.5	51 2.2	152 6.4	4 0.2	24 1.0	449 19.0	121 5.1	49 2.1	60 2.5	41 1.7	51 2.2	190 8.0	75 3.2	
	特別区	517 100.0	83 16.1	26 5.0	25 4.8	24 4.6	6 1.2	24 4.6	48 9.3	0 0.0	12 2.3	165 31.9	21 4.1	4 0.8	12 2.3	12 2.3	4 0.8	39 7.5	12 2.3	
	市町村	10072 100.0	2888 26.7	1070 10.6	1907 18.9	796 7.9	466 4.6	155 1.5	318 3.2	18 0.2	120 1.2	943 9.4	176 1.7	32 0.3	127 1.3	195 1.9	84 0.8	631 6.3	348 3.5	
	地域包括支援センター	760 100.0	1 0.1	2 0.3	1 0.1	468 61.6	148 19.5	46 6.1	0 0.0	0 0.0	43 5.7	8 1.1	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	2 0.3	26 3.4	14 1.8	
	医療保険者	20 100.0	0 0.0	2 10.0	13 65.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0
	企業・事業所	11 100.0	0 0.0	0 0.0	5 45.5	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 36.4
	健(検)診センター・労働衛生機関	12 100.0	2 16.7	2 16.7	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	病院	17 100.0	2 11.8	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	5 29.4
	診療所	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	訪問看護ステーション	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	100.0
	社会福祉施設	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	30.0
	NPO	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	50.0
	教育・研究機関	23 100.0	1 4.3	3 13.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0	1 4.3	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	69.6
	その他	108 100.0	17 15.7	9 8.3	2 1.9	2 1.9	6 5.6	0 0.0	24 21.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.8	0 0.0	3 2.8	15 13.9	4 3.7	5 4.6	4 3.7	11 10.2
	全体 (準ずる業務)		18516 100.0	1773 9.6	2908 15.7	1450 7.8	982 5.3	679 3.7	721 3.9	906 4.9	570 3.1	729 3.9	2215 12.0	744 4.0	468 2.5	662 3.6	636 3.4	798 4.3	537 2.9	1738 9.4
	Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	17 100.0	0 0.0	1 5.9	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	3 17.6	0 0.0	4 23.5
都道府県		864 100.0	26 3.0	68 7.9	60 6.9	38 4.4	20 2.3	25 2.9	46 5.3	45 5.2	26 3.0	20 2.3	26 3.0	20 2.3	30 3.5	57 6.6	120 13.9	41 4.7	196 22.7	
保健所		3715 100.0	276 7.4	302 8.1	139 3.7	79 2.1	50 1.3	51 1.4	229 6.2	342 9.2	117 3.1	354 9.5	325 8.7	320 8.6	148 4.0	218 5.9	202 5.4	99 2.7	464 12.5	
保健所設置市		2361 100.0	285 12.1	409 17.3	141 6.0	114 4.8	39 1.7	72 3.0	94 4.0	74 3.1	87 3.7	306 13.0	72 3.0	55 2.3	109 4.6	64 2.7	128 5.4	100 4.2	212 9.0	
特別区		517 100.0	97 18.8	52 10.1	31 6.0	27 5.2	9 1.7	19 3.7	66 12.8	9 1.7	31 6.0	63 12.2	10 1.9	20 3.9	8 1.5	15 2.9	16 3.1	12 2.3	32 6.2	
市町村		10072 100.0	1076 10.7	2047 20.3	1060 10.5	548 5.4	313 3.1	397 3.9	465 4.6	94 0.9	340 3.4	1450 14.4	310 3.1	52 0.5	361 3.6	255 2.5	300 3.0	249 2.5	755 7.5	
地域包括支援センター		760 100.0	1 0.1	6 0.8	2 0.3	164 21.6	244 32.1	156 20.5	2 0.3	0 0.0	119 15.7	16 2.1	0 0.0	0 0.0	1 0.1	2 0.3	1.2 1.2	9 2.9	22 2.9	
医療保険者		20 100.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	
企業・事業所		11 100.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	27.3	
健(検)診センター・労働衛生機関		12 100.0	0 0.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
病院		17 100.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	17.6 17.6	7 41.2	
診療所		2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
訪問看護ステーション		4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
介護老人保健施設・介護老人福祉施設		1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
社会福祉施設		10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	
NPO		2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
教育・研究機関		23 100.0	1 4.3	3 13.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.7	3 13.0	0 0.0	
その他		108 100.0	10 9.3	7 6.5	10 9.3	4 3.7	2 1.9	1 0.9	3 2.8	1 0.9	3 2.8	2 1.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	19 17.6	12 11.1	5 4.6	27 25.0	

※Q20(業務内容:行政)は、Q7(活動領域)において行政分野を選択した者のみ回答可能な制御がかかっているが、Q7とQ8(所属組織)あるいはQ8とQ20との間で制御をかけていないため、上記集計表にて行政分野にもかかわらず、都道府県や市町村等以外の項目にも選択者がいる(例えば市民病院勤務者は、Q7で行政分野を選択しつつ、Q8で病院を選択している可能性が高い)。

②産業分野

・産業分野の業務はほとんどが「各種健康診断と事後管理」か「健康相談保健指導」、その他に「メンタルヘルス対策」となっているが、所属組織によって異なる特徴を示す傾向はない（特に産業分野の過半を占める企業・事業所はほぼ一致）
 ・医療保険者では、他の組織よりも「健康相談保健指導」「生活習慣病対策」の従事者の割合が高くなっている。

		Q21M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																
		全体	各種健康診断と事後管理	健康相談保健指導	健康衛生教育	健康増進活動	職場巡視	生活習慣病対策	メンタルヘルス対策	過重労働対策	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	健康・衛生管理体制の整備と参画	衛生管理業務の企画立案評価	健康管理活動のマネジメント	情報提供や資料作成・提供	経営や労務管理へのアプローチ	その他	
全体 (主たる業務)		1339 100.0	462 34.5	407 30.4	12 0.9	42 3.1	4 0.3	87 6.5	111 8.3	12 0.9	20 1.5	26 1.9	15 1.1	55 4.1	44 3.3	5 0.4	37 2.8	
Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	3 100.0	0 0.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	都道府県	57 100.0	17 29.8	9 15.8	0 0.0	3 5.3	1 1.8	4 7.0	11 19.3	2 3.5	0 0.0	2 1.8	1 3.5	0 0.0	3 5.3	1 1.8	0 0.0	3 5.3
	保健所	1 100.0	0 0.0	0 0.0	100.0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	保健所設置市	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 11.1	1 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11.1 0.0	0 0.0	0 0.0
	特別区	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市町村	32 100.0	13 40.6	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 21.9	7 3.1	0 0.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1	1 3.1	2 6.3	0 0.0	2 6.3
	地球包括支援センター	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療保険者	182 100.0	28 15.4	84 46.2	1 0.5	5 2.7	1 1.1	2 18.7	34 1.1	2 0.0	0 0.0	3 1.6	4 2.2	1 0.5	7 3.8	4 4.4	1 0.5	6 3.3
	企業・事業所	840 100.0	326 38.8	231 27.5	5 0.6	34 4.0	0 0.0	0 4.5	38 9.2	77 9.2	1 1.1	13 1.5	15 1.8	12 1.4	37 4.4	30 3.6	1 0.1	12 1.4
	健(検)診センター・労働衛生機関	125 100.0	45 36.0	48 38.4	2 1.6	1 0.8	0 0.0	0 4.8	6 1.6	2 0.0	0 0.0	3 2.4	2 1.6	0 0.0	4 3.2	1 0.8	3 2.4	8 6.4
	病院	25 100.0	12 48.0	6 24.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0
	診療所	13 100.0	5 38.5	5 38.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 7.7	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	訪問看護ステーション	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	社会福祉施設	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	NPO	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	教育・研究機関	14 100.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 35.7
その他	36 100.0	9 25.0	19 52.8	2 5.6	2 5.6	0 0.0	2 5.6	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
全体 (準ずる業務)		1339 100.0	209 15.6	365 27.3	72 5.4	76 5.7	20 1.5	111 8.3	170 12.7	30 2.2	68 5.1	14 1.0	20 1.5	36 2.7	54 4.0	31 2.3	63 4.7	
Q8: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	
	都道府県	57 100.0	7 12.3	15 26.3	2 3.5	1 1.8	0 0.0	7 12.3	10 17.5	5 8.8	2 3.5	0 0.0	2 3.5	2 3.5	0 0.0	1 1.8	3 5.3	
	保健所	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	保健所設置市	9 100.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	特別区	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	市町村	32 100.0	1 3.1	8 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	9 28.1	4 12.5	1 3.1	1 3.1	0 0.0	1 3.1	2 6.3	3 9.4	0 0.0	
	地球包括支援センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	100.0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	医療保険者	182 100.0	23 12.6	41 22.5	16 8.8	16 8.8	0 0.0	31 17.0	5 2.7	0 0.0	0 0.0	11 6.0	2 1.1	2 1.1	8 4.4	16 8.8	3 1.6	8 4.4
	企業・事業所	840 100.0	139 16.5	243 28.9	38 4.5	48 5.7	16 1.9	52 6.2	131 15.6	17 2.0	17 4.9	41 1.2	10 1.5	13 2.3	19 2.5	21 2.5	21 2.5	31 3.7
	健(検)診センター・労働衛生機関	125 100.0	23 18.4	36 28.8	8 6.4	8 6.4	4 3.2	8 6.4	2 1.6	0 0.0	0 0.0	7 5.6	0 0.0	0 0.0	3 2.4	14 11.2	1 0.8	11 8.8
	病院	25 100.0	5 20.0	10 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0
	診療所	13 100.0	3 23.1	4 30.8	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 7.7	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	
	訪問看護ステーション	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	社会福祉施設	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	NPO	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	教育・研究機関	14 100.0	0 0.0	2 14.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	4 28.6
その他	36 100.0	3 8.3	5 13.9	3 8.3	3 8.3	1 2.8	0 0.0	9 25.0	9 25.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	2 5.6	3 8.3	

※Q20(業務内容:産業)は、Q7(活動領域)において産業分野を選択した者のみ回答可能な制御がかかっているが、Q7とQ8(所属組織)あるいはQ8とQ20との間で制御をかけていないため、上記集計表にて産業分野にもかかわらず、都道府県や市町村等の項目にも選択者がいる(例えば企業立の病院の勤務者は、Q7で産業分野を選択しつつ、Q8で病院を選択している可能性が高い)。

③その他の分野

- ・病院や診療所ではやはり看護業務（在宅看護・訪問看護含む）や保健指導、健診業務の割合が高い。
- ・訪問看護ステーション、介護老人保健施設・介護老人福祉施設では、課長職以上や統括的役割を持つ者の割合が多い影響からか、管理業務（マネジメント）の割合が高くなっている。

		Q22M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]													
		全体	看護師業務 (在宅看護・訪問看護 含む)	介護業務	生活指導	保健指導	健診業務	退院調整	ケアプラン の作成	教育	企画調整 (研修・調 査含む)	管理業務 (マネジ メント)	営業・広報	その他	
全体 (主たる業務)		3065 100.0	409 13.3	73 2.4	63 2.1	21.9	14.9	4.3 1.4	251 8.2	407 13.3	127 4.1	231 7.5	5 0.2	328 10.7	
Q8 : 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	都道府県	86 100.0	2 2.3	2 2.3	2 2.3	12 14.0	4 4.7	0 0.0	0 0.0	18 20.9	14 16.3	10 11.6	0 0.0	22 25.6	
	保健所	85 100.0	3 3.5	4 4.7	4 4.7	46 54.1	8 9.4	1 1.2	0 0.0	0 0.0	5 5.9	2 2.4	0 0.0	12 14.1	
	保健所設置市	79 100.0	1 1.3	4 5.1	4 5.1	29 36.7	10 12.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 5.1	7 8.9	0 0.0	20 25.3	
	特別区	25 100.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	7 28.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	6 24.0	0 0.0	6 24.0	
	市町村	507 100.0	18 3.6	35 6.9	18 3.6	169 33.3	71 14.0	3 0.6	24 4.7	11 2.2	24 4.7	35 6.9	1 0.2	98 19.3	
	地域包括支援センター	320 100.0	1 0.3	22 6.9	5 1.6	17 5.3	0 0.0	1 0.3	195 60.9	4 1.3	8 2.5	40 12.5	0 0.3	26 8.1	
	医療保険者	51 100.0	1 2.0	0 0.0	2 2.0	1 54.9	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 13.7	10 19.6	0 0.0	3 5.9	
	企業・事業所	28 100.0	1 3.6	0 0.0	1 3.6	8 28.6	3 10.7	0 0.0	4 14.3	2 7.1	3 10.7	2 7.1	0 0.0	4 14.3	
	健(検)診センター・労働衛生機関	351 100.0	5 1.4	0 0.0	1 1.7	158 45.0	163 46.4	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 2.8	0 0.0	8 2.3	
	病院	676 100.0	290 42.9	0 0.0	8 1.2	106 15.7	171 25.3	36 5.3	3 0.4	10 1.5	7 1.0	24 3.6	0 0.0	21 3.1	
	診療所	26 100.0	10 38.5	1 3.8	1 3.8	3 11.5	2 26.9	0 0.0	0 0.0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0	1 3.8	
	訪問看護ステーション	89 100.0	60 67.4	0 0.0	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	3 3.4	0 0.0	1 1.1	22 24.7	0 0.0	1 1.1	
	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	20 100.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 30.0	0 0.0	0 0.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0	
	社会福祉施設	35 100.0	2 5.7	3 8.6	2 5.7	13 37.1	0 0.0	0 0.0	2 5.7	0 0.0	0 0.0	4 11.4	0 0.0	9 25.7	
	NPO	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0	6 46.2	
	教育・研究機関	423 100.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	28 6.6	9 2.1	0 0.0	1 0.2	349 82.5	5 1.2	12 2.8	0 0.0	18 4.3	
	その他	248 100.0	10 4.0	1 0.4	8 3.2	41 16.5	7 2.8	1 0.4	12 4.8	10 4.0	47 19.0	35 14.1	3 1.2	73 29.4	
	全体 (準ずる業務)		3065 100.0	141 4.6	140 4.6	286 9.3	626 20.4	376 12.3	91 3.0	125 4.1	122 4.0	240 7.8	191 6.2	52 1.7	675 22.0
	Q8 : 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。	省庁	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
都道府県		86 100.0	1 1.2	1 1.2	10 11.6	10 11.6	4 4.7	1 1.2	0 0.0	6 7.0	15 17.4	9 10.5	1 1.2	28 32.6	
保健所		85 100.0	2 2.4	0 0.0	15 17.6	11 12.9	12 14.1	2 2.4	0 0.0	5 5.9	14 16.5	2 2.4	0 0.0	22 25.9	
保健所設置市		79 100.0	1 1.3	2 2.5	7 8.9	18 22.8	12 15.2	1 1.3	0 0.0	5 6.3	5 6.3	4 5.1	0 0.0	24 30.4	
特別区		25 100.0	0 0.0	0 0.0	4 16.0	6 24.0	3 12.0	1 4.0	0 0.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	3 12.0	
市町村		507 100.0	7 1.4	26 5.1	57 11.2	107 21.1	107 21.1	14 2.8	20 3.9	9 1.8	26 5.1	30 5.9	6 1.2	98 19.3	
地域包括支援センター		320 100.0	2 0.6	19 5.9	35 10.9	56 17.5	5 1.6	14 4.4	65 20.3	11 3.4	23 7.2	18 5.6	12 3.8	60 18.8	
医療保険者		51 100.0	1 2.0	0 0.0	14 27.5	7 13.7	4 7.8	0 0.0	0 0.0	4 7.8	10 19.6	2 3.9	2 0.0	8 15.7	
企業・事業所		28 100.0	1 3.6	1 3.6	3 10.7	4 14.3	3 10.7	0 0.0	0 0.0	1 3.6	3 10.7	3 10.7	2 7.1	7 25.0	
健(検)診センター・労働衛生機関		351 100.0	19 5.4	0 0.0	14 4.0	143 40.7	110 31.3	1 0.3	0 0.0	6 1.7	10 2.8	16 4.6	4 1.1	28 8.0	
病院		676 100.0	54 8.0	73 10.8	91 13.5	197 29.1	74 10.9	45 6.7	12 1.8	31 4.6	10 1.5	16 2.4	4 0.6	69 10.2	
診療所		26 100.0	2 7.7	1 3.8	2 7.7	9 34.6	5 19.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	2 7.7	1 3.8	2 7.7	
訪問看護ステーション		89 100.0	13 14.6	7 7.9	9 10.1	3 3.4	1 1.1	9 10.1	16 18.0	3 3.4	4 4.5	16 18.0	3 3.4	5 5.6	
介護老人保健施設・介護老人福祉施設		20 100.0	3 15.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	
社会福祉施設		35 100.0	5 14.3	2 5.7	9 25.7	3 8.6	1 2.9	2 5.7	7 20.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	5 14.3	
NPO		13 100.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	5 38.5	
教育・研究機関		423 100.0	24 5.7	1 0.2	7 1.7	22 5.2	21 5.0	0 0.0	0 0.0	17 4.0	79 18.7	49 11.6	9 2.1	194 45.9	
その他		248 100.0	6 2.4	1 0.4	6 2.4	24 9.7	14 5.6	1 0.4	3 1.2	19 7.7	31 12.5	21 8.5	9 3.6	113 45.6	

※Q20(業務内容：その他)は、Q7(活動領域)において行政や産業以外の分野を選択した者のみ回答可能な制御がかかっているが、Q7とQ8(所属組織)あるいはQ8とQ20との間で制御をかけていないため、上記集計表にてその他分野にもかかわらず、都道府県や市町村等の項目にも選択者がいる。

(3) 職位別での各活動領域の業務内容 (職位×各活動領域の業務内容)

①行政分野

- ・殆どの業務は、係長以下 (あるいは主任以下) で実施されており、業務による大きな差異はない。
- ・課長職以上の保健師の6割前後が管理業務 (マネジメント) を主たる業務としている。

		Q20M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																			
		全体	母子保健	健康づくり	生活習慣病予防(がん対策含む)	介護予防	介護保険	高齢者保健(虐待対策含む)	精神保健	健康危機管理	総合相談	地区担当	感染症対策	難病	児童福祉(虐待対策含む)	障害者福祉(障害児、障害者)	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	その他		
全体 (主たる業務)		18516 100.0	4066 22.0	1540 8.3	2333 12.6	1436 7.8	801 4.3	329 1.8	1287 7.0	68 0.4	231 1.2	1769 9.6	1024 5.5	509 2.7	260 1.4	295 1.6	438 2.4	1370 7.4	760 4.1		
Q9: 現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	81 100.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	10 12.3	8 9.9	2 2.5	1 1.2	0 0.0	1 1.2	1 1.2	3 3.7	0 0.0	1 1.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	47 29.9	3 1.9	
	部長もしくはそれと同等	67 100.0	2 3.0	2 3.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5	1 1.5	3 4.5	1 1.5	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	3 4.5	3 4.5	43 29.9	7 4.9	
	課長もしくはそれと同等	997 100.0	48 4.8	30 3.0	31 3.1	25 2.5	35 3.5	14 1.4	44 4.4	6 0.6	14 1.4	3 0.3	38 3.8	11 1.1	12 1.2	6 0.6	34 3.4	57 5.7	68 6.8	578 31.2	68 6.8
	係長もしくはそれと同等	4533 100.0	631 13.9	429 8.5	474 10.5	334 7.4	239 5.3	90 2.0	414 9.1	39 0.9	73 1.6	199 4.4	279 6.2	120 2.6	76 1.7	64 1.4	207 4.6	642 14.2	223 4.9	642 14.2	223 4.9
	主任もしくはそれと同等	4132 100.0	823 19.9	350 8.5	605 14.6	355 8.6	216 5.2	89 2.2	363 8.8	10 0.2	50 1.2	449 10.9	257 6.2	133 3.2	73 1.8	76 1.8	92 2.2	21 0.5	170 4.1	21 0.5	170 4.1
	係員 (スタッフ)	7928 100.0	2271 28.6	672 8.5	1134 14.3	652 8.2	269 3.4	125 1.6	442 5.6	9 0.1	68 0.9	1085 13.7	421 5.3	228 2.9	88 1.1	141 1.8	95 2.2	14 0.4	214 2.7	75 0.9	214 2.7
	その他	778 100.0	290 37.3	56 7.2	88 11.3	59 7.6	33 4.2	8 1.0	20 2.6	3 0.4	25 3.2	31 4.0	26 3.3	17 2.2	9 1.2	7 0.9	6 0.8	25 0.9	5 0.7	9 1.2	164 9.4
	全体 (準ずる業務)	18516 100.0	1773 9.6	2908 15.7	1450 7.8	982 5.3	679 3.7	721 3.9	906 4.9	570 3.1	729 3.9	2215 12.0	744 4.0	468 2.5	662 3.6	636 3.4	798 4.3	537 2.9	1738 9.4	1738 9.4	
Q9: 現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	81 100.0	4 4.9	8 9.9	1 1.2	10 12.3	8 9.9	6 7.4	1 1.2	3 3.7	6 7.4	0 0.0	2 2.5	0 0.0	2 2.5	1 1.2	14 14.8	8 8.0	12 8.0	5 3.7	12 8.0
	部長もしくはそれと同等	67 100.0	3 4.5	2 3.0	0 0.0	2 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 14.9	3 4.5	0 0.0	4 6.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5	10 14.9	8 11.9	8 11.9	20 29.9	
	課長もしくはそれと同等	997 100.0	34 3.4	88 8.8	39 3.9	42 4.2	24 2.4	23 2.3	34 3.4	102 10.2	30 3.0	11 1.1	60 6.0	26 2.6	26 2.6	26 2.6	164 16.4	96 9.6	172 17.3	172 17.3	
	係長もしくはそれと同等	4533 100.0	329 7.3	582 12.8	310 6.8	268 5.9	151 3.3	205 4.5	261 5.8	199 4.4	172 3.8	291 6.4	206 4.5	126 2.8	141 3.1	187 4.1	321 7.1	319 7.1	465 10.3	465 10.3	
	主任もしくはそれと同等	4132 100.0	401 9.7	642 15.5	319 7.7	249 6.0	160 3.9	178 4.3	206 5.0	113 2.7	151 3.7	573 13.9	175 4.2	127 3.1	137 3.3	162 3.9	134 3.2	43 1.0	362 8.6	43 1.0	362 8.6
	係員 (スタッフ)	7928 100.0	913 11.5	1465 18.5	692 8.7	371 4.7	308 3.9	273 3.4	380 4.8	137 1.7	325 4.1	1284 16.2	283 3.6	180 2.3	331 4.2	242 3.1	144 1.8	57 0.7	543 6.8	57 0.7	543 6.8
	その他	778 100.0	89 11.4	121 15.6	89 11.4	40 5.1	26 3.3	36 4.6	24 3.1	6 0.8	42 5.4	56 7.2	14 1.8	8 1.0	24 3.1	17 2.2	13 1.7	9 1.2	164 21.1		

②産業分野

- ・殆どの業務は、主に係長以下 (あるいは主任以下) で実施されているが、「各種健康診断と事後管理」「健康相談保健指導」については部長も従事している場合が少なくない。
- ・逆に、所長職を除く係長以上の者で「健康管理活動のマネジメント」や「健康増進活動」を主たる業務としている者の割合が比較的高くなっている。関連して、管理職は他職種・部門との調整や経営・労務管理等管理的な業務に携わる者の割合が高くなっている。

		Q21M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]															
		全体	各種健康診断と事後管理	健康相談保健指導	健康衛生教育	健康増進活動	職場巡視	生活習慣病対策	メンタルヘルス対策	過重労働対策	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	健康・衛生管理体制の整備と参画	衛生管理業務の企画立案評価	健康管理活動のマネジメント	情報提供や資料作成・提供	経営や労務管理へのアプローチ	その他
全体 (主たる業務)		1339 100.0	462 34.5	407 30.4	12 0.9	42 3.1	4 0.3	87 6.5	111 8.3	12 0.9	20 1.5	26 1.9	15 1.1	55 4.1	44 3.3	5 0.4	37 2.8
Q9: 現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	部長もしくはそれと同等	16 100.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 25.0	0 0.0	12.5 12.5	2 12.5
	課長もしくはそれと同等	43 100.0	5 11.6	16 37.2	0 0.0	2 4.7	0 0.0	3 7.0	3 7.0	0 0.0	2 4.7	2 4.7	2 4.7	5 11.6	1 2.3	1 2.3	1 2.3
	係長もしくはそれと同等	117 100.0	33 28.2	22 18.8	0 0.0	4 3.4	1 0.9	3 2.6	14 12.0	1 0.9	1 0.9	8 6.8	2 1.7	18 15.4	6 5.1	1 0.9	3 2.6
	主任もしくはそれと同等	169 100.0	48 28.4	52 30.8	1 0.6	7 4.1	0 0.0	9 4.7	19 11.2	2 1.2	1 0.6	6 3.6	2 1.2	9 5.3	9 6.0	0 0.0	6 3.6
	係員 (スタッフ)	866 100.0	333 38.5	276 31.9	9 1.0	25 2.9	2 0.2	61 7.0	62 7.2	7 0.8	14 1.6	8 0.9	8 0.9	17 2.0	26 3.0	1 0.1	17 2.0
	その他	124 100.0	41 33.1	41 33.1	0 0.8	3 2.4	1 0.8	11 8.9	10 8.1	2 1.6	1 0.8	2 1.6	1 0.8	2 1.6	3 2.4	0 0.0	5 4.0
	全体 (準ずる業務)	1339 100.0	209 15.6	365 27.3	72 5.4	76 5.7	20 1.5	111 8.3	170 12.7	30 2.2	68 5.1	14 1.0	20 1.5	36 2.7	54 4.0	31 2.3	63 4.7
Q9: 現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	部長もしくはそれと同等	16 100.0	0 0.0	2 12.5	6 6.3	3 6.3	0 0.0	0 6.3	0 6.3	0 0.0	0 25.0	0 12.5	0 6.3	6 6.3	18 18.8	3 6.3	6 6.3
	課長もしくはそれと同等	43 100.0	5 11.6	10 23.3	2 4.7	0 0.0	0 0.0	3 7.0	2 4.7	0 0.0	6 14.0	0 0.0	2 4.7	6 14.0	2 4.7	2 4.7	3 7.0
	係長もしくはそれと同等	117 100.0	16 13.7	19 16.2	8 6.8	7 6.0	2 1.7	23 19.7	5 4.3	5 4.3	7 6.0	2 1.7	7 6.0	7 6.0	2 1.7	3 2.6	4 3.4
	主任もしくはそれと同等	169 100.0	28 16.6	47 27.8	6 3.6	8 4.7	2 1.2	4 3.4	25 14.8	4 2.4	11 6.5	2 1.2	3 1.8	8 4.7	9 5.3	4 2.4	8 4.7
	係員 (スタッフ)	866 100.0	136 15.7	255 29.4	48 5.5	57 6.6	1 1.8	85 9.8	102 11.8	16 1.8	34 3.9	8 0.9	8 0.9	12 1.4	36 4.2	16 1.8	37 4.3
	その他	124 100.0	23 18.5	32 25.8	7 5.6	3 2.4	0 0.0	14 11.3	18 14.5	5 4.0	5 4.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	4 3.2	1 0.8	10 8.1

③その他の分野

・所長・部長職の5割以上、課長職のおよそ4人に1人が管理業務（マネジメント）を主たる業務としている。それ以外では、部長・課長職で教育を主たる業務としている者の割合も比較的高くなっている。

		Q22M001: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]												
		全体	看護師業務(在宅指導・訪問指導含む)	介護業務	生活指導	保健指導	健診業務	退院調整	ケアプランの作成	教育	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	営業・広報	その他
全体(主たる業務)		3065 100.0	409 13.3	73 2.4	63 2.1	670 21.9	458 14.9	43 1.4	251 8.2	407 13.3	127 4.1	231 7.5	5 0.2	328 10.7
Q9:現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	101 100.0	20 19.8	2 2.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	7 6.9	5 5.0	2 2.0	56 55.4	1 1.0	7 6.9
	部長もしくはそれと同等	61 100.0	4 6.6	0 0.0	0 0.0	2 3.3	1 1.6	0 0.0	0 0.0	16 26.2	2 3.3	33 54.1	0 0.0	3 4.9
	課長もしくはそれと同等	231 100.0	15 6.5	0 0.0	2 0.9	25 10.8	24 10.4	9 3.9	8 3.5	54 23.4	15 6.5	62 26.8	1 0.4	16 6.9
	係長もしくはそれと同等	330 100.0	9 2.7	17 5.2	7 2.1	52 15.8	33 10.0	12 3.6	28 8.5	52 15.8	30 9.1	38 11.5	1 0.3	51 15.5
	主任もしくはそれと同等	402 100.0	31 7.7	20 5.0	13 3.2	99 24.6	51 12.7	10 2.5	44 10.9	43 10.7	20 5.0	15 3.7	0 0.0	56 13.9
	係員(スタッフ)	1638 100.0	309 18.9	30 1.8	31 1.9	441 26.9	318 19.4	12 0.7	160 9.8	148 9.0	45 2.7	18 1.1	0 0.0	126 7.7
	その他	302 100.0	21 7.0	4 1.3	10 3.3	50 16.6	31 10.3	0 0.0	4 1.3	89 29.5	13 4.3	9 3.0	2 0.7	69 22.8
	全体(準ずる業務)	3065 100.0	141 4.6	140 4.6	286 9.3	626 20.4	376 12.3	91 3.0	125 4.1	122 4.0	240 7.8	191 6.2	52 1.7	675 22.0
Q9:現在の職場で最もあてはまるものを1つお選びください。	所長もしくはそれと同等	101 100.0	13 12.9	5 5.0	0 0.0	6 5.9	0 0.0	4 4.0	15 14.9	9 8.9	11 10.9	20 19.8	4 4.0	14 13.9
	部長もしくはそれと同等	61 100.0	3 4.9	1 1.6	2 3.3	4 6.6	2 3.3	2 3.3	1 1.6	9 14.8	10 16.4	14 23.0	1 1.6	12 19.7
	課長もしくはそれと同等	231 100.0	12 5.2	2 0.9	5 2.2	29 12.6	18 7.8	8 3.5	9 3.9	19 8.2	38 16.5	56 24.2	3 1.3	32 13.9
	係長もしくはそれと同等	330 100.0	9 2.7	9 2.7	23 7.0	56 17.0	20 6.1	13 3.9	15 4.5	13 3.9	34 10.3	50 15.2	2 0.6	86 26.1
	主任もしくはそれと同等	402 100.0	21 5.2	10 2.5	36 9.0	65 16.2	46 11.4	15 3.7	25 6.2	22 5.5	43 10.7	19 4.7	8 2.0	92 22.9
	係員(スタッフ)	1638 100.0	74 4.5	107 6.5	203 12.4	429 26.2	272 16.6	46 2.7	55 3.4	39 2.4	80 4.9	17 1.0	27 1.6	290 17.7
	その他	302 100.0	9 3.0	6 2.0	17 5.6	37 12.3	18 6.0	4 1.3	5 1.7	11 3.6	24 7.9	15 5.0	7 2.3	149 49.3

(4) 統括的役割の有無別での各活動領域の業務内容 (統括的役割の有無 × 各活動領域の業務内容)

①行政分野

- ・統括的役割を持つか否かによって、業務への従事状況が異なっており、統括的役割を持たない保健師は殆どの業務で主担当の割合が高い。
- ・統括的役割を持つ者は係長・課長が大半であることから、3割以上が管理業務(マネジメント)を主たる業務としているほか、企画調整に従事する割合も比較的高い。

		Q20M01: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																	
		全体	母子保健	健康づくり	生活習慣病予防(がん対策含む)	介護予防	介護保険	高齢者保健(虐待対策含む)	精神保健	健康危機管理	総合相談	地区担当	感染症対策	難病	児童福祉(虐待対策含む)	障害者福祉(障害児・障害者)	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	その他
全体(主たる業務)		18516 100.0	4066 22.0	1540 8.3	2333 12.6	1436 7.8	801 4.3	329 1.8	1287 7.0	68 0.4	231 1.2	1769 9.6	1024 5.5	509 2.7	260 1.4	295 1.6	438 2.4	1370 7.4	760 4.1
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	3374 100.0	413 12.2	309 9.2	321 9.5	213 6.3	77 2.3	64 1.9	168 5.0	31 0.9	49 1.5	129 3.8	145 4.3	41 1.2	39 1.2	19 0.6	142 4.2	1071 31.7	143 4.2
	いいえ	15142 100.0	3653 24.1	1231 8.1	2012 13.3	1223 8.1	724 4.8	265 1.8	1119 7.4	37 0.2	182 1.2	1640 10.8	879 5.8	468 3.1	221 1.5	276 1.8	296 2.0	299 2.0	617 4.1
全体(準ずる業務)		18516 100.0	1773 9.6	2908 15.7	1450 7.8	982 5.3	679 3.7	721 3.9	906 4.9	570 3.1	729 3.9	2215 12.0	744 4.0	468 2.5	662 3.6	636 3.4	798 4.3	537 2.9	1738 9.4
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	3374 100.0	247 7.3	444 13.2	222 6.6	151 4.5	105 3.1	121 3.6	161 4.8	201 6.0	114 3.4	162 4.8	170 5.0	60 1.8	100 3.0	89 2.6	409 12.1	282 8.4	336 10.0
	いいえ	15142 100.0	1526 10.1	2464 16.3	1228 8.1	831 5.5	574 3.8	600 4.0	745 4.9	369 2.4	615 4.1	2053 13.6	574 3.8	408 2.7	562 3.7	547 3.6	389 2.6	255 1.7	1402 9.3

②産業分野

- ・統括的役割を持つ保健師は、現実的な業務よりも管理的な業務(他職種・他部門との連絡調整、健康・衛生管理体制整備、衛生管理業務の企画立案評価、健康管理活動のマネジメント、情報提供や資料作成・提供、経営や労務管理へのアプローチ)を主たる業務としている割合が比較的高い。

		Q21M01: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]																
		全体	各種健康診断と事後管理	健康相談 保健指導	健康衛生教育	健康増進活動	職場巡回	生活習慣病対策	メンタルヘルス対策	過重労働対策	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	健康・衛生管理体制の整備と参画	衛生管理業務の企画立案評価	健康管理活動のマネジメント	情報提供や資料作成・提供	経営や労務管理へのアプローチ	その他	
全体(主たる業務)		1339 100.0	462 34.5	407 30.4	12 0.9	42 3.1	4 0.3	87 6.5	111 8.3	12 0.9	20 1.5	26 1.9	15 1.1	55 4.1	44 3.3	5 0.4	37 2.8	
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	255 100.0	60 23.5	63 24.7	2 0.8	8 3.1	0 0.0	14 5.5	24 9.4	1 0.4	5 2.0	15 5.9	6 2.4	36 14.1	9 3.5	4 1.6	8 3.1	
	いいえ	1084 100.0	402 37.1	344 31.7	10 0.9	34 3.1	4 0.4	73 8.0	87 8.0	11 1.0	15 1.4	11 1.0	9 0.8	19 1.8	35 3.2	1 0.1	29 2.7	
全体(準ずる業務)		1339 100.0	209 15.6	365 27.3	72 5.4	76 5.7	20 1.5	617 8.3	170 12.7	30 2.2	68 5.1	14 1.0	20 1.5	36 2.7	54 4.0	31 2.3	63 4.7	
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	255 100.0	37 14.5	56 22.0	14 5.5	12 4.7	1 0.4	13 5.1	29 11.4	3 1.2	25 9.8	6 2.4	11 4.3	18 7.1	9 3.5	13 5.1	8 3.1	
	いいえ	1084 100.0	172 15.9	309 28.5	58 5.4	64 5.9	19 1.8	98 9.0	141 13.0	27 2.5	43 4.0	8 0.7	9 0.8	18 1.7	45 4.2	18 1.7	55 5.1	

③その他の分野

- ・統括的役割を持つ保健師のうち、3割弱が管理業務(マネジメント)を主たる業務としている。
- ・また、教育や企画調整に従事する割合も(統括的立場にない者に比べて)比較的高い。

		Q22M01: 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。[SA]												
		全体	看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	介護業務	生活指導	保健指導	健診業務	退院調整	ケアプランの作成	教育	企画調整(研修・調査含む)	管理業務(マネジメント)	営業・広報	その他
全体(主たる業務)		3065 100.0	409 13.3	73 2.4	63 2.1	670 21.9	458 14.9	43 1.4	251 8.2	407 13.3	127 4.1	231 7.5	5 0.2	328 10.7
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	466 100.0	24 5.2	9 1.9	4 0.9	77 16.5	56 12.0	9 1.9	27 5.8	77 16.5	31 6.7	127 27.3	3 0.6	22 4.7
	いいえ	2599 100.0	385 14.8	64 2.5	59 2.3	593 22.8	402 15.5	34 1.3	224 8.6	330 12.7	96 3.7	104 4.0	2 0.1	306 11.8
全体(準ずる業務)		3065 100.0	141 4.6	140 4.6	286 9.3	626 20.4	376 12.3	91 3.0	125 4.1	122 4.0	240 7.8	191 6.2	52 1.7	675 22.0
Q10:あなたは、統括的な立場の保健師ですか。	はい	466 100.0	22 4.7	15 3.2	15 3.2	82 17.6	33 7.1	8 1.7	31 6.7	39 8.4	62 13.3	82 17.6	10 2.1	67 14.4
	いいえ	2599 100.0	119 4.6	125 4.8	271 10.4	544 20.9	343 13.2	83 3.2	94 3.6	83 3.2	178 6.8	109 4.2	42 1.6	608 23.4

(2) 最終学歴別の学会参加率 (最終学歴×学会参加率)

	全体	Q30: 過去1年間に学会へ参加していますか。[SA]		
		参加している	参加していない	
全体	22920	5534 24.1	17386 75.9	
Q4: あなたの最終学歴をお答えください。	専門学校 (保健師養成機関)	14170	3302 23.3	10868 76.7
	短大専攻科	2414	498 20.6	1916 79.4
	四年制大学	5623	1250 22.2	4373 77.8
	大学院修士 (前期) 課程	621	404 65.1	217 34.9
	大学院博士 (後期) 課程	87	80 92.0	7 8.0

・大学院修士課程・博士課程卒の者は、学会参加率が高い (在学時から学会に慣れているから)。
 ・大学院以外では学歴が高低による学会参加率の差異は見られない (概ね2割程度)。

(3) 勤務地別の自主勉強・学会参加率、スーパーバイザーの有無 (勤務地×自主勉強・学会参加率、スーパーバイザーの有無)

	全体	Q29: 過去1年間に自主勉強会 (組織内、組織外を問わず自主的な勉強会)へ参加していますか。[SA]				Q30: 過去1年間に学会へ参加していますか。[SA]		Q32: 過去1年間にあなたの自身のスーパーバイザー (業務上の相談をする人)がいますか。[SA]	
		参加している	参加していない	勉強会はない	勉強会はない	参加している	参加していない	いる	いない
全体	22920	15109 65.9	5765 25.2	2046 8.9	5534 24.1	17386 75.9	16835 73.5	6085 26.5	
北海道	1194	856 71.7	214 17.9	124 10.4	267 22.4	927 77.6	871 72.9	323 27.1	
青森県	318	181 56.9	102 32.1	35 11.0	70 22.0	248 78.0	231 72.6	87 27.4	
岩手県	360	256 71.1	79 21.9	25 6.9	90 25.0	270 75.0	263 73.1	97 26.9	
宮城県	383	261 68.1	92 24.0	30 7.8	69 18.0	314 82.0	296 77.3	87 22.7	
秋田県	338	177 52.4	114 33.7	47 13.9	70 20.7	268 79.3	260 76.9	78 23.1	
山形県	267	176 65.9	63 23.6	28 10.5	79 29.6	188 70.4	199 74.5	68 25.5	
福島県	400	242 60.5	116 29.0	42 10.5	81 20.3	319 79.8	267 66.8	133 33.3	
茨城県	405	246 60.7	116 28.6	43 10.6	68 16.8	337 83.2	271 66.9	134 33.1	
栃木県	407	241 59.2	112 27.5	54 13.3	104 25.6	303 74.4	305 74.9	102 25.1	
群馬県	471	264 56.1	133 28.2	74 15.7	83 17.6	388 82.4	348 73.9	123 26.1	
埼玉県	698	415 59.5	198 28.4	85 12.2	99 14.2	599 85.8	499 71.5	199 28.5	
千葉県	619	409 66.1	164 26.5	46 7.4	147 23.7	472 76.3	466 75.3	153 24.7	
東京都	1008	645 64.0	266 26.4	97 9.6	266 26.4	742 73.6	747 74.1	261 25.9	
神奈川県	803	483 60.1	243 30.3	77 9.6	203 25.3	600 74.7	538 67.0	265 33.0	
山梨県	296	180 60.8	96 32.4	20 6.8	64 21.6	232 78.4	216 73.0	80 27.0	
長野県	623	464 74.5	137 22.0	22 3.5	129 20.7	494 79.3	472 75.8	151 24.2	
新潟県	573	365 63.7	154 26.9	54 9.4	74 12.9	499 87.1	422 73.6	151 26.4	
富山県	444	262 59.0	115 25.9	67 15.1	130 29.3	314 70.7	344 77.5	100 22.5	
石川県	284	214 75.4	56 19.7	14 4.9	75 26.4	209 73.6	219 77.1	65 22.9	
福井県	335	221 66.0	77 23.0	37 11.0	91 27.2	244 72.8	237 70.7	98 29.3	
岐阜県	408	257 63.0	103 25.2	48 11.8	61 15.0	347 85.0	302 74.0	106 26.0	
静岡県	741	460 62.1	216 29.1	65 8.8	104 14.0	637 86.0	548 74.0	193 26.0	
愛知県	1214	681 56.1	392 32.3	141 11.6	256 21.1	958 78.9	858 70.7	356 29.3	
三重県	289	179 61.7	72 24.8	39 13.4	78 26.2	214 73.8	200 69.0	89 31.0	
滋賀県	350	230 65.7	83 23.7	37 10.6	96 27.4	254 72.6	244 69.7	106 30.3	
京都府	417	266 63.8	110 26.4	41 9.8	105 25.2	312 74.8	297 71.2	120 28.8	
大阪府	998	690 69.1	248 24.6	60 6.2	324 32.5	674 67.5	761 76.3	237 23.7	
兵庫県	839	568 67.7	204 24.3	67 8.0	180 21.5	659 78.5	644 76.8	195 23.2	
奈良県	239	137 57.3	77 32.2	25 10.5	74 31.0	165 69.0	159 66.5	80 33.5	
和歌山県	286	177 61.9	77 26.9	32 11.2	75 26.2	211 73.8	221 77.3	65 22.7	
鳥取県	211	143 67.8	49 23.2	19 9.0	58 27.5	153 72.5	154 73.0	57 27.0	
島根県	271	212 78.2	47 17.3	12 4.4	73 26.9	198 73.1	194 71.6	77 28.4	
岡山県	577	424 73.5	135 23.4	18 3.1	152 26.3	425 73.7	464 80.4	113 19.6	
広島県	499	365 73.1	104 20.8	30 6.0	112 22.4	387 77.6	369 73.9	130 26.1	
山口県	607	434 71.5	118 19.4	55 9.1	183 30.1	424 69.9	443 73.0	164 27.0	
徳島県	274	203 74.1	53 19.3	18 6.6	62 22.6	212 77.4	212 77.4	62 22.6	
香川県	270	168 62.2	82 30.4	20 7.4	77 28.5	193 71.5	206 76.3	64 23.7	
愛媛県	394	279 70.8	92 23.4	23 5.8	107 27.2	287 72.8	297 75.4	97 24.6	
高知県	293	205 70.0	67 22.9	21 7.2	73 24.9	220 75.1	201 68.6	92 31.4	
福岡県	805	593 73.7	164 20.4	48 6.0	273 33.9	532 66.1	591 73.4	214 26.6	
佐賀県	276	214 77.5	46 16.7	16 5.8	138 50.0	138 50.0	203 73.6	73 26.4	
長崎県	389	250 64.3	104 26.7	35 9.0	70 18.0	319 82.0	264 67.9	125 32.1	
熊本県	510	391 76.7	98 19.2	21 4.1	122 23.9	388 76.1	394 77.3	116 22.7	
大分県	363	241 66.4	107 29.5	15 4.1	174 47.9	189 52.1	272 74.9	91 25.1	
宮崎県	284	194 68.3	66 23.2	24 8.5	57 20.1	227 79.9	203 71.5	81 28.5	
鹿児島県	530	341 64.3	124 23.4	65 12.3	124 23.4	406 76.6	391 73.8	139 26.2	
沖縄県	329	228 69.3	79 24.0	22 6.7	106 32.2	223 67.8	257 78.1	72 21.9	
離職中・退職中	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	30	21 70.0	3 10.0	6 20.0	9 30.0	21 70.0	15 50.0	15 50.0	

・自主勉強会は地域的な偏り・特徴は見られなかった。勉強会がない割合が高い地域は、秋田・栃木・群馬・富山・愛知 (13~15%)、勉強会はあると不参加率が高い地域は、青森・福島・神奈川・山梨・奈良・香川・大分 (約3割)。

・学会参加率についても地域的な偏り・特徴は見られなかった。参加率の高い地域は山形・富山・大阪・奈良・山口・福岡・佐賀・大分・沖縄 (以上の県は3割以上。佐賀・大分は5割)、低い地域は埼玉・新潟・岐阜・静岡・鹿児島 (85%以上)。

・スーパーバイザーがいない割合が高い地域は、福島・茨城・神奈川・三重・滋賀・奈良・高知・長崎 (3割以上)。

Q6: あなたの勤務地をお答えください。

【「受ける立場にない」を省いた場合の集計結果】

と り て い る 部 門	NNO23: 新任研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]		NNO24: ワークロー(指導員)による指導は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]		NNO25: 中堅研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]		NNO26: 管理研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]		NNO27: 基幹研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]		
	受けた	受けていない	受けた	受けていない	受けた	受けていない	受けた	受けていない	受けた	受けていない	
全体	2292	1596	909	184	1029	52	668	539	282	704	1057
行政	180	132	78	0	127	0	67	0	26	4	68
保健	130	84	55	0	47	0	30	0	10	0	29
医療	1121	465	318	8	581	0	212	13	110	9	241
福祉	986	628	333	0	449	0	293	27	104	8	144
子育て支援	488	200	313	0	215	0	105	2	52	2	88
教育	100	58	31	0	67	0	42	2	34	1	64
その他	100	58	31	0	67	0	42	2	34	1	64
都道府県	1007	671	369	9	450	0	316	33	210	9	269
保健所	380	273	187	35	142	0	197	100	586	716	32
保健所設置市	249	190	142	17	723	0	175	57	445	16	177
特別区	52	47	35	0	32	0	26	3	21	0	24
市町村	1001	802	87	1671	5316	0	423	416	2471	1039	116
地域包括支援センター	1081	736	12	245	621	0	382	32	356	105	12
医療従事者	25	117	41	0	121	0	39	1	102	15	0
企業・事業所	100	52	40	0	59	0	24	0	71	19	0
県(狭)診センター労働衛生機関	405	223	162	0	267	0	76	4	198	47	2
病院	100	50	37	0	61	0	28	4	70	29	1
診療所	100	48	35	0	64	0	35	1	63	29	2
訪問看護ステーション	100	38	22	0	77	0	6	0	18	3	0
介護老人保健施設(介護老人福祉施設)	100	34	27	0	51	0	24	2	40	32	3
介護老人保健施設(介護老人福祉施設)	100	45	30	0	75	0	38	3	60	59	5
社会福祉施設	100	45	30	0	75	0	20	10	70	41	8
NPO	100	50	30	0	61	0	6	0	18	6	0
教育・研究機関	100	177	84	0	144	0	92	6	144	43	1
その他	100	58	31	0	67	0	38	2	59	25	0
	100	61	37	0	62	0	45	3	53	34	1

(5) 職位別の各種学習機会の有無 (職位×各種学習機会の有無)

- ・ 部長職以上の職位の専任で中堅研修を受けていない者は2期から4期前後、管理者研修を受けていない者は2期から3期前後の。
- ・ 一方、自主勉強会や学会への参加率は、部長職以上の者が高い。
- ・ スーパーバイザーの有無に関する情報は、職位が上がるにつれてスーパーバイザーがいる者の割合が減少している (職位が上がると相違するよりも相違される方になっているため)。

職位	025. 中堅研修は受けましたか、[SA]		026. 管理研修は受けましたか、[SA]		027. 長期研修は受けましたか、[SA]		028. 過去1年間に課題研修は受けましたか、[SA]		029. 過去1年間に自主勉強会(組内、組織内)を関係する自主的な研修へ参加しましたか、[SA]		030. 過去1年間に学業に参加していませんか、[SA]		031. 過去1年間の後援研修生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか、[SA]		032. 過去1年間に自分のスーパーバイザー(業務上の相違する人)がいますか、[SA]	
	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	参加している	参加していない	関わっている	関わっていない	いる	いない
全体	2202	909	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
所長もしくはそれと同	100.0	18.6	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
部長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
課長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
主任もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
係長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
主任(スタフ)	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
その他	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085

(「上受ける立場にない」を省いた場合の集計結果)

職位	025. 中堅研修は受けましたか、[SA]		026. 管理研修は受けましたか、[SA]		027. 長期研修は受けましたか、[SA]		028. 過去1年間に課題研修は受けましたか、[SA]		029. 過去1年間に自主勉強会(組内、組織内)を関係する自主的な研修へ参加しましたか、[SA]		030. 過去1年間に学業に参加していませんか、[SA]		031. 過去1年間の後援研修生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか、[SA]		032. 過去1年間に自分のスーパーバイザー(業務上の相違する人)がいますか、[SA]	
	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	参加している	参加していない	関わっている	関わっていない	いる	いない
全体	2202	909	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
所長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
部長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
課長もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
主任もしくはそれと同	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
主任(スタフ)	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
その他	100.0	0.0	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085

(6) 統括的役割の有無別の各種学習機会の有無 (統括的役割の有無×各種学習機会の有無)

- ・ スーパーバイザーの有無以外の項目の全てで、統括的役割を持っている者はそうでないよりも受検率が高い。

職位	025. 中堅研修は受けましたか、[SA]		026. 管理研修は受けましたか、[SA]		027. 長期研修は受けましたか、[SA]		028. 過去1年間に課題研修は受けましたか、[SA]		029. 過去1年間に自主勉強会(組内、組織内)を関係する自主的な研修へ参加しましたか、[SA]		030. 過去1年間に学業に参加していませんか、[SA]		031. 過去1年間の後援研修生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか、[SA]		032. 過去1年間に自分のスーパーバイザー(業務上の相違する人)がいますか、[SA]	
	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	参加している	参加していない	関わっている	関わっていない	いる	いない
全体	2202	909	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
はい	409	238	87	983	687	1678	1165	1338	277	2433	3088	761	248	1408	2697	2647
いいえ	1895	689	579	441	683	1244	104	1648	1562	2927	511	8352	7035	4176	14696	6436
その他	100.0	36.6	3.1	23.4	36.8	84.1	15.5	2.7	44.4	37.4	28.3	21.9	78.1	34.2	12.7	2.2

(「上受ける立場にない」を省いた場合の集計結果)

職位	025. 中堅研修は受けましたか、[SA]		026. 管理研修は受けましたか、[SA]		027. 長期研修は受けましたか、[SA]		028. 過去1年間に課題研修は受けましたか、[SA]		029. 過去1年間に自主勉強会(組内、組織内)を関係する自主的な研修へ参加しましたか、[SA]		030. 過去1年間に学業に参加していませんか、[SA]		031. 過去1年間の後援研修生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか、[SA]		032. 過去1年間に自分のスーパーバイザー(業務上の相違する人)がいますか、[SA]	
	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	受けた	受けたがなかった	参加している	参加していない	関わっている	関わっていない	いる	いない
全体	2202	909	923	666	762	1716	4092	1205	1509	5165	2046	7284	2881	518	16835	6085
はい	409	238	87	983	687	1678	1165	1338	277	2433	3088	761	248	1408	2697	2647
いいえ	1895	689	579	441	683	1244	104	1648	1562	2927	511	8352	7035	4176	14696	6436
その他	100.0	58.0	4.9	31.1	41.5	3.5	55.0	41.5	24.8	4.3	70.6	24.8	4.3	70.6	24.8	4.3

(9) 業務別の長編研修・課題研修の受講率、自主勉強会への参加率 (業務×長編研修・課題研修の受講率、自主勉強会への参加率)

① 行数分節

・長編研修後の受講総数が多い業務は、企画調整、精神保健、精神保健、健康管理、業務、感染症対策 (いずれも受けるべき者の4割前後)。企画調整や管理業務は管理職の受講状況を反映しているものと考えられる。

・課題研修後の受講総数が多い業務は、地区担当、精神保健、健康管理、業務、感染症対策など。

・自主勉強会への参加率が高い業務は、管理業務、健康危機管理、児童福祉など。

業務	027: 長編研修は受けましたか、[SA]			028: 過去1年間に課題研修は受けたか、[SA]			029: 過去1年間に自主勉強会(横断的)に参加しましたか、[SA]		
	受けた	参加しなかった	不明	受けた	参加しなかった	不明	参加した	参加しなかった	不明
全体	22920	4092	704	10517	7607	704	10517	7607	2046
母子保健	100.0	17.9	3.1	45.9	33.2	4.6	68.7	29.1	8.9
健康づくり	4098	592	111	189	186	11	189	186	339
生活習慣病予防(がん対策含む)	1540	133	62	79	46	7	79	46	32
介護予防	100.0	14.4	4.0	51.4	30.1	20.6	5.8	30.6	8.4
高齢者保健(虐待対策含む)	2233	262	58	1202	811	262	58	1202	591
精神保健	100.0	11.2	2.5	51.5	34.8	17.2	3.8	79.0	9.1
健康危機管理	1488	130	44	769	403	130	44	769	169
総合相談	801	101	25	441	294	101	25	441	115
地区担当	100.0	17.8	3.1	55.3	29.2	17.8	4.4	71.8	14.4
感染症対策	100.0	20.1	1.8	49.5	28.6	28.1	2.6	69.4	10.5
業務	1293	403	51	561	272	403	51	561	95
児童福祉	100.0	31.3	4.0	43.6	21.1	39.7	5.0	55.3	7.2
健康危機管理	166	19	5	33	11	19	5	33	6
総合相談	231	40	7	111	73	40	7	111	24
地区担当	100.0	17.3	3.0	48.1	31.6	25.3	4.4	70.3	10.4
感染症対策	100.0	10.9	60	708	82	319	408	63	145
業務	100.0	29.3	4.5	41.2	29.4	28.3	4.9	41.2	9.1
児童福祉	50	14.5	29	191	144	145	29	191	42
健康危機管理	100.0	28.5	5.7	37.5	28.3	39.7	7.9	52.3	8.4
総合相談	284	63	7	128	62	63	7	128	19
地区担当	100.0	4.3	2.7	49.2	23.8	31.8	3.5	64.6	7.3
感染症対策	293	43	8	159	85	43	8	159	34
業務	100.0	14.8	2.0	53.8	28.3	20.3	3.8	71.8	11.5
児童福祉	100.0	38.6	6.6	42.5	12.9	44.0	7.6	48.4	7.5
健康危機管理	1376	509	74	705	322	509	74	705	85
総合相談	100.0	37.2	5.4	51.5	6.0	39.5	5.7	54.7	6.1
地区担当	766	170	21	316	253	170	21	316	81
感染症対策	100.0	27.4	2.8	41.6	33.8	4.1	62.3	22.4	10.7
業務	1778	312	62	782	617	312	62	782	141
児童福祉	100.0	17.6	3.5	44.1	34.8	27.0	5.4	67.6	8.3
健康づくり	100.0	15.6	103	152	127	103	152	127	84
生活習慣病予防(がん対策含む)	1462	173	45	690	553	173	45	690	141
介護予防	100.0	11.9	3.1	46.9	38.1	19.2	5.0	75.8	9.7
高齢者保健(虐待対策含む)	982	140	24	499	318	140	24	499	92
精神保健	100.0	14.3	2.4	50.8	32.5	21.1	3.6	75.3	9.5
健康危機管理	674	64	17	371	227	64	17	371	85
総合相談	100.0	9.4	2.5	54.6	33.4	14.2	3.8	82.1	12.5
地区担当	2719	101	25	388	201	101	25	388	89
感染症対策	100.0	13.0	3.5	42.8	24.7	30.8	4.9	64.6	11.4
業務	575	214	31	240	155	214	31	240	35
児童福祉	100.0	37.5	5.4	42.1	14.9	44.1	6.4	49.5	6.1
健康危機管理	724	131	26	298	214	131	26	298	76
総合相談	100.0	18.0	3.6	40.9	37.6	28.8	5.7	65.5	10.4
地区担当	2219	344	53	1022	799	344	53	1022	176
感染症対策	100.0	15.3	2.4	46.1	35.9	24.2	3.7	72.0	7.3
業務	100.0	23.1	3.2	47.0	26.7	31.5	4.4	64.2	10.4
児童福祉	468	141	19	189	118	141	19	189	46
健康危機管理	100.0	30.1	4.1	40.4	25.4	40.4	5.4	54.2	9.8
総合相談	662	124	21	307	210	124	21	307	48
地区担当	100.0	18.7	3.2	46.4	31.7	27.4	4.6	67.9	7.3
感染症対策	688	162	27	302	145	162	27	302	48
業務	100.0	25.9	4.2	47.5	22.8	38.0	5.5	61.5	7.5
児童福祉	98	26	39	116	26	39	116	26	52
健康危機管理	100.0	32.1	2.9	50.8	14.3	35.5	2.7	29.9	9.3
総合相談	533	145	21	208	143	145	21	208	41
地区担当	100.0	28.9	5.0	53.6	12.5	33.0	5.7	61.3	6.5
感染症対策	1788	368	57	748	566	368	57	748	175
業務	100.0	21.2	3.3	42.9	32.6	31.5	4.9	63.7	10.7

②事業分野

・長期研修の受講修業者が多い事業は「母集団が小さい事業を合わせた」、経営や労務管理へのアプローチ、情報提供や資料作成、健康推進活動など
 ・短期研修の受講修業者が多い事業は「母集団が小さい事業を合わせた」、経営や労務管理へのアプローチ、健康推進活動、生活習慣病予防、健康経営活動のマネジメントなど
 ・自主研修修業者が多い事業は「母集団が小さい事業を合わせた」、健康推進活動、健康経営活動のマネジメント、衛生管理業務の企画立案評価、健康・衛生管理体制の整備と参画など。

事業分野	027.長期研修は受けましたか、[SA]		027.長期研修は受けましたか、「(受ける立場にない)任意参加型」[SA]		028.過去1年間に健康研修は受けましたか、[SA]		028.過去1年間に健康研修は受けましたか、[SA]	
	受けた	受けていない	受けた	受けていない	受けた	受けていない	受けた	受けていない
全体	229/2100.0	40/2100.0	105/7607.0	40/2100.0	70/4057.7	151/1019.5	57/316.7	20/111.1
各種健康診断と事後管理	46/2100.0	17/2100.0	22/183.3	40/2100.0	12/227.3	37/2100.0	63/2100.0	29/2100.0
健康相談・健康指導	40/2100.0	8/2100.0	39/614.3	4/2100.0	81/414.3	80/2100.0	13/61.5	6/2100.0
健康増進教育	10/2100.0	11/2100.0	44/2100.0	19/2100.0	79/2100.0	84/2100.0	11/2100.0	3/2100.0
健康推進活動	12/2100.0	8/2100.0	16/2100.0	10/2100.0	90/2100.0	75/2100.0	8/2100.0	16/2100.0
職場環境	4/2100.0	0/2100.0	23/109.1	9/2100.0	23/109.1	23/109.1	3/2100.0	6/2100.0
生活習慣病対策	8/2100.0	15/2100.0	38/357.1	15/2100.0	36/357.1	44/2100.0	70/2100.0	11/2100.0
メンタルヘルス対策	100/2100.0	17/2100.0	41/407.2	28/2100.0	19/69.2	50/2100.0	80/2100.0	12/2100.0
運動労働対策	3/2100.0	2/2100.0	6/42.9	2/2100.0	6/42.9	7/2100.0	9/2100.0	2/2100.0
他職種・他部門との連携(横断的・縦断的)	21/2100.0	4/2100.0	12/42.9	4/2100.0	12/42.9	15/142.9	14/128.6	6/2100.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	24/2100.0	4/2100.0	17/57.1	4/2100.0	17/57.1	16/228.6	22/2100.0	2/2100.0
衛生管理業務の企画立案評価	15/2100.0	6/2100.0	65/414.3	19/2100.0	81/414.3	61/290.5	7/2100.0	7/2100.0
健康経営活動のマネジメント	100/2100.0	10/2100.0	39/2100.0	10/2100.0	92/2100.0	66/2100.0	13/2100.0	0/2100.0
情報提供や資料作成・提供	14/2100.0	9/2100.0	21/142.9	9/2100.0	21/142.9	33/2100.0	10/2100.0	3/2100.0
経営や労務管理へのアプローチ	5/2100.0	2/2100.0	2/71.4	2/2100.0	2/71.4	4/2100.0	1/2100.0	0/2100.0
その他	3/2100.0	7/2100.0	16/228.6	20/2100.0	50/2100.0	80/2100.0	20/2100.0	20/2100.0
各種健康診断と事後管理	100/2100.0	7/2100.0	43/2100.0	54/2100.0	94/2100.0	78/2100.0	16/2100.0	10/2100.0
健康相談・健康指導	38/2100.0	10/2100.0	168/1557.1	38/2100.0	168/1557.1	249/2290.5	40/2100.0	26/2100.0
健康増進教育	7/2100.0	10/2100.0	33/228.6	10/2100.0	33/228.6	41/2100.0	65/2100.0	5/2100.0
健康推進活動	100/2100.0	10/2100.0	51/364.3	16/2100.0	21/142.9	65/2100.0	9/2100.0	6/2100.0
職場環境	11/2100.0	15/2100.0	44/2100.0	16/2100.0	44/2100.0	63/2100.0	10/2100.0	2/2100.0
生活習慣病対策	17/2100.0	2/2100.0	92/514.3	17/2100.0	92/514.3	86/2100.0	9/2100.0	4/2100.0
メンタルヘルス対策	100/2100.0	10/2100.0	54/2100.0	34/2100.0	153/2100.0	84/2100.0	8/2100.0	6/2100.0
運動労働対策	3/2100.0	4/2100.0	11/71.4	4/2100.0	11/71.4	20/2100.0	8/2100.0	2/2100.0
他職種・他部門との連携(横断的・縦断的)	81/2100.0	10/2100.0	42/2100.0	19/2100.0	42/2100.0	48/2100.0	9/2100.0	1/2100.0
健康経営活動のマネジメント	100/2100.0	3/2100.0	61/271.4	3/2100.0	85/2100.0	70/2100.0	11/2100.0	1/2100.0
衛生管理業務の企画立案評価	100/2100.0	14/2100.0	42/2100.0	26/2100.0	60/2100.0	50/2100.0	7/2100.0	0/2100.0
健康増進教育	25/2100.0	5/2100.0	16/2100.0	3/2100.0	16/2100.0	17/2100.0	3/2100.0	0/2100.0
健康推進活動	34/2100.0	7/2100.0	20/2100.0	7/2100.0	20/2100.0	18/2100.0	7/2100.0	7/2100.0
職場環境	5/2100.0	4/2100.0	55/2100.0	3/2100.0	55/2100.0	28/2100.0	7/2100.0	4/2100.0
生活習慣病対策	19/2100.0	4/2100.0	22/2100.0	25/2100.0	3/2100.0	18/2100.0	7/2100.0	2/2100.0
メンタルヘルス対策	5/2100.0	4/2100.0	27/2100.0	4/2100.0	27/2100.0	42/2100.0	11/2100.0	1/2100.0
情報提供や資料作成・提供	100/2100.0	7/2100.0	50/2100.0	12/2100.0	31/84.4	77/2100.0	20/2100.0	1/2100.0
経営や労務管理へのアプローチ	100/2100.0	3/2100.0	48/2100.0	20/2100.0	5/2100.0	58/2100.0	9/2100.0	6/2100.0
その他	65/2100.0	11/2100.0	44/2100.0	44/2100.0	20/2100.0	66/2100.0	23/89.5	9/2100.0

⑤その他の分野

・長期研修の受講経験者が多い業務は「母集団が小さい業務」(広報を除く)と「教育と管理業務」
 ・課題研修の受講経験者が多い業務は「管理業務」(研修推進、企画調整など)と「企業研修」(母集団が小さいが)、教育、健康業務など。
 ・自主研修への参加率が高い業務は「管理業務、企画調整、企画調整(母集団が小さいが)、教育、健康業務」など。

業種	027: 長期研修は受けましたか、(「受ける立場にない」を除く) [SA]				028: 過去1年間に課題研修は受けましたか、[SA]				029: 選手権型に自主研修(個人・組織)を併行する自主的な活動(参加)へ参加していますか、[SA]				
	全体	受けた	参加しなかった	受ける立場にない	受けた	参加しなかった	参加しなかった	参加しなかった	受けた	参加しなかった	参加しなかった	参加しなかった	
全体	22926	4092	704	10517	7607	4092	704	10517	6862	1205	15109	5765	2049
看護業務(在宅看護・訪問看護含む)	400	23	5	197	224	23	5	197	80	11	318	288	68
介護業務	1000	5	1	38	54	12	4	84	19	2	77	65	17
生活指導	1000	8	2	33	29	8	2	30	12	7	34	41	23
保健指導	1000	9	2	32	35	14	4	39	14	9	74	56	31
健康指導	1000	9	3	31	34	6	3	37	15	9	49	42	12
健康業務	676	68	14	295	293	68	14	295	223	28	419	491	127
健康業務	1000	10	2	44	43	18	3	78	33	4	62	73	19
健康業務	484	27	3	214	214	27	3	214	128	10	320	352	66
健康業務	1000	5	0	46	46	11	1	87	27	2	69	76	14
健康業務	43	8	2	18	17	8	2	16	7	2	34	34	5
健康業務	1000	18	4	37	35	30	7	61	16	3	79	78	11
健康業務	1000	5	2	32	31	8	3	31	15	4	44	44	9
健康業務	1000	5	2	36	37	8	3	30	15	4	75	65	20
健康業務	40	104	5	118	178	104	5	118	84	17	308	318	148
健康業務	12	22	1	55	48	22	1	55	40	9	78	102	17
健康業務	1000	17	3	43	38	28	2	70	31	5	61	80	13
健康業務	23	69	1	96	65	69	1	96	82	6	143	187	31
健康業務	1000	29	0	41	28	41	0	57	35	2	61	81	15
健康業務	1000	20	0	20	60	0	0	50	20	0	80	60	20
健康業務	32	51	0	128	141	51	0	128	63	18	248	198	81
健康業務	1000	15	2	39	43	27	3	68	19	2	49	75	24
健康業務	14	25	0	54	62	25	0	54	38	5	98	123	9
健康業務	1000	17	0	38	44	31	0	68	27	0	69	87	6
健康業務	144	5	2	58	75	5	2	58	27	4	106	81	33
健康業務	1000	3	1	41	53	7	3	89	19	3	77	57	23
健康業務	289	30	5	105	148	30	5	105	82	16	188	188	62
健康業務	1000	10	1	36	33	21	3	76	28	7	65	85	21
健康業務	1000	8	1	45	45	14	1	83	28	3	69	75	14
健康業務	376	31	7	173	165	31	7	173	108	19	248	273	75
健康業務	1000	8	2	19	43	14	3	82	28	7	66	72	19
健康業務	1000	7	3	51	30	7	3	51	19	4	68	67	13
健康業務	122	18	1	65	41	18	1	65	39	6	80	95	20
健康業務	1000	14	0	52	32	21	4	77	31	2	64	76	15
健康業務	12	4	2	38	38	2	2	63	24	6	57	68	15
健康業務	1000	20	5	39	30	32	2	63	60	13	107	102	35
健康業務	1000	21	1	32	44	38	2	59	25	0	54	69	75
健康業務	19	54	5	92	40	54	5	92	51	10	130	155	26
健康業務	1000	28	3	48	20	35	3	60	26	7	52	81	13
健康業務	52	7	1	20	24	7	1	20	16	2	34	41	9
健康業務	1000	15	1	35	46	25	0	36	30	8	38	65	17
健康業務	674	94	10	282	309	94	10	282	128	16	501	438	138
健康業務	1000	13	1	38	45	25	1	71	19	0	24	75	64

(10) 行政分野及び都道府県(保健師含む)及び市町村に所属する保健師の、勤務地別の各種学習機会の有無(行政分野・都道府県+保健師・市町村×勤務地×各種学習機会の有無)

①行政分野

- ・新研修の機会がない職場(多い地域(都道府県)は、福井県、福島県、愛媛県など。)
- ・プリセプターによる指導を受ける機会がなかった職場(多い地域(都道府県)は、沖縄県、愛媛県など(6割以上)とする四国・九州を中心に多数の県が該当)。
- ・中堅研修の機会がない職場(多い地域(都道府県)は、福井県、山梨県、福島県、宮崎県など。)
- ・管理者研修の機会がない職場(多い地域(都道府県)は、福井県、徳島県など。)
- ・長期研修の機会がない職場(多い地域(都道府県)は、和歌山県、山形県など。)
- ・過去3年以内に課題研修に参加していない職場(多い地域(都道府県)は、福井県、愛媛県、福島県、鹿児島県、高知県など。)
- ・実習指導を受入れていない職場(多い地域(都道府県)は、長野県、鹿児島県、高知県など。)

	Q23: 新研修は受けましたか。[SA]			Q24: プリセプター(指導保健師)による指導は受けましたか。[SA]			Q25: 中堅研修は受けましたか。[SA]			Q26: 管理者研修は受けましたか。[SA]			Q27: 長期研修は受けましたか。[SA]			Q28: 過去1年間に課題研修は受けましたか。[SA]			Q31: 過去1年間の保健師学生の実習指導の受け入れ状況は変わっていますか。[SA]								
	全体	受けた	機会があつたが受けていなかった	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けていなかった	受ける立場にない	その他(実習を除く)を入れている割合		
行政計	18516	13821	127	7833	1671	8329	607	3893	5887	2492	183	14055	3536	642	8573	5765	12001	11294	5466	1059	12001	11294	5466	1059	12001		
北海道	994	782	8	98	95	318	4	541	121	40	6	151	698	154	17	523	296	296	296	56	632	520	340	119	5		
青森県	285	195	3	47	48	117	0	119	48	141	24	45	75	48	3	26	208	70	91	14	160	208	67	7	0.5		
岩手県	303	200	2	75	26	100	0	41	17.2	49.5	8.4	15.8	26.3	16.8	1.1	9.1	73.0	4.2	55.8	24.6	31.9	4.9	63.2	73.0	23.5	2.5	
宮城県	332	252	3	44	33	93	4	186	49	174	36	42	86	60	4	28	248	91	17	162	104	20	208	226	26.7	3.3	
秋田県	284	172	1	62	19	96	2	129	31	115	11	62	66	36	6	32	188	38	12	134	70	44	18	192	174	69	9
山形県	231	161	0	58	12	90	2	125	14	103	4	77	47	37	1	33	160	34	7	152	38	79	5	147	176	47	1
福島県	337	217	3	99	18	96	4	205	32	117	3	137	80	32	3	46	256	50	9	192	86	68	13	256	176	125	35
茨城県	328	272	3	38	15	121	3	140	24	81	83	26	4	42	256	41	10	171	106	80	13	235	201	90	35	2	
栃木県	318	229	4	54	31	150	4	128	36	139	18	53	108	58	2	25	233	86	13	136	83	95	44	179	232	72	11
群馬県	393	309	4	51	28	160	2	183	48	233	6	38	116	44	1	28	320	52	7	185	149	94	8	291	251	118	21
埼玉県	608	505	6	53	45	303	9	229	68	376	26	39	168	147	20	20	472	98	29	266	218	244	60	305	392	176	34
千葉県	578	444	8	48	29	254	4	227	12	69	175	70	5	346	309	5	346	110	12	221	193	166	17	245	317	180	27
東京都	721	587	2	69	63	530	11	117	63	332	9	143	237	104	14	53	358	288	11	222	200	263	69	388	460	200	94
神奈川県	598	499	5	30	64	405	8	114	71	333	18	55	192	85	4	39	470	167	31	222	178	216	27	355	417	147	30
山梨県	232	177	2	29	24	68	2	138	24	75	5	101	51	23	3	30	176	44	20	110	58	85	23	124	138	67	23
長野県	511	359	4	83	65	178	3	254	76	151	10	149	207	45	4	67	395	74	12	240	185	135	30	346	205	216	84
新潟県	500	410	3	41	46	252	4	187	57	327	13	38	122	65	6	51	378	89	7	230	174	140	16	344	315	165	18
富山県	318	254	0	35	29	123	3	154	39	149	3	55	111	54	5	16	243	72	5	134	107	113	8	197	185	109	23
石川県	240	162	1	61	16	73	2	136	28	72	1	87	80	27	1	32	188	51	8	119	62	61	10	168	156	73	10
福井県	234	114	0	66	34	65	0	126	43	47	2	106	79	15	0	38	193	33	3	127	71	40	5	168	140	64	28
岐阜県	342	246	3	59	34	141	1	193	18	49	13	80	106	28	0	32	292	166	10	138	123	99	8	238	172	141	28
静岡県	614	489	2	100	53	284	3	245	82	243	12	134	225	70	4	43	497	86	12	287	229	171	25	418	339	210	59
愛知県	942	746	4	88	104	490	11	302	139	343	97	0	65	780	183	43	368	348	275	40	627	526	342	64	10		
三重県	234	171	1	34	28	60	2	134	38	119	8	27	80	35	7	16	176	44	12	100	78	75	20	139	137	73	21
	100.0	73.1	0.4	14.5	12.0	25.6	0.9	57.3	16.2	34.2	3.4	11.5	34.2	15.0	3.0	6.8	75.2	18.8	5.1	42.7	33.3	32.1	8.5	59.4	58.5	31.2	9.0

06. あなたの勤務地をお書きください。

②行政分野（「受ける立場にない」を省いた場合の集計結果）

行政分野	Q23. 新任研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]				Q24. 7ヶ月ター（指導係研修）による研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]				Q25. 中堅研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]				Q26. 管理研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]				Q27. 長期研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合) [SA]					
	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない		
全体	22020	15946	145	1027	4233	9099	666	5397	9233	2922	213	2621	2092	704	10517	4092	704	10517	4092	704	10517	
行政計	18516	13221	127	2765	3763	167	8189	2402	103	1776	3536	642	8573	5536	642	8573	5536	642	8573	5536	642	8573
北海道	394	782	8	99	318	4	541	407	27	284	194	17	523	27	5.0	67.2	194	17	523	27	5.0	67.2
青森県	285	195	3	47	36.8	0.5	62.7	59.2	3.9	36.9	45.1	2.1	92.8	22.2	2.4	75.4	22.2	2.4	75.4	22.2	2.4	75.4
岩手県	303	200	2	75	49.6	0.0	90.4	67.1	11.4	21.4	62.3	3.9	33.8	20.5	5.6	74.0	20.5	5.6	74.0	20.5	5.6	74.0
宮城県	332	252	3	44	83	4	186	174	36	42	52.2	1.1	46.7	19.2	5.4	75.4	19.2	5.4	75.4	19.2	5.4	75.4
秋田県	254	172	1	62	32.9	1.0	14.7	69.0	14.3	16.7	65.2	4.3	30.4	22.2	7.4	70.4	22.2	7.4	70.4	22.2	7.4	70.4
山形県	231	161	0	58	43.0	0.9	56.1	61.2	5.9	33.0	48.6	8.1	43.2	20.7	6.5	72.8	20.7	6.5	72.8	20.7	6.5	72.8
福島県	337	217	3	99	96	4	205	117	3	137	56.0	2.2	41.8	17.6	3.6	78.8	17.6	3.6	78.8	17.6	3.6	78.8
茨城県	328	272	3	38	31.5	1.3	67.2	45.5	1.2	53.3	39.5	3.7	56.8	19.9	3.6	76.5	19.9	3.6	76.5	19.9	3.6	76.5
栃木県	318	228	4	54	40.7	1.7	57.6	57.1	9.8	33.1	36.1	5.6	58.3	18.5	4.5	77.0	18.5	4.5	77.0	18.5	4.5	77.0
群馬県	382	309	4	51	160	2	183	233	6	38	84.1	2.2	13.7	21.3	2.9	75.8	21.3	2.9	75.8	21.3	2.9	75.8
埼玉県	609	505	6	53	303	9	229	376	26	39	147	20	20	98	29	266	98	29	266	98	29	266
千葉県	528	444	4	48	254	4	227	272	12	69	79	5	46	110	12	221	110	12	221	110	12	221
東京都	721	587	2	69	52.4	0.8	46.8	77.1	3.4	19.5	60.8	3.8	35.4	32.1	3.5	64.4	32.1	3.5	64.4	32.1	3.5	64.4
神奈川県	598	499	5	30	80.5	1.7	17.8	88.6	1.9	29.5	60.8	8.2	31.0	55.3	2.1	42.6	55.3	2.1	42.6	55.3	2.1	42.6
山梨県	232	177	2	29	68	2	138	75	5	101	23	3	30	44	20	110	44	20	110	44	20	110
長野県	511	359	4	83	178	3	254	151	10	149	41.4	2.8	55.8	25.3	11.5	63.2	25.3	11.5	63.2	25.3	11.5	63.2
新潟県	500	410	3	41	252	4	197	327	13	39	38.8	3.4	57.8	22.7	3.7	73.6	22.7	3.7	73.6	22.7	3.7	73.6
富山県	318	254	0	35	56.9	0.9	42.2	86.5	3.4	10.1	53.3	4.9	41.8	27.3	2.1	70.6	27.3	2.1	70.6	27.3	2.1	70.6
石川県	240	162	1	61	43.7	1.1	35.2	72.0	1.4	26.6	72.0	6.7	21.3	34.1	2.4	63.5	34.1	2.4	63.5	34.1	2.4	63.5
福井県	234	114	0	86	65	0	126	47	0	106	45.0	0.6	54.4	28.7	4.5	66.9	28.7	4.5	66.9	28.7	4.5	66.9
岐阜県	342	246	3	59	34.0	0.0	66.0	30.3	1.3	68.4	27.8	0.0	72.2	20.2	1.8	77.9	20.2	1.8	77.9	20.2	1.8	77.9
静岡県	614	459	2	100	47.8	0.3	51.9	61.6	5.4	33.1	46.7	0.0	53.3	30.8	4.7	64.5	30.8	4.7	64.5	30.8	4.7	64.5
愛知県	942	746	4	88	53.4	0.6	46.1	62.5	3.1	34.4	59.8	3.4	36.8	22.3	3.1	74.5	22.3	3.1	74.5	22.3	3.1	74.5
三重県	234	171	1	34	61.0	1.4	37.6	75.0	2.0	23.0	59.9	0.0	40.1	30.8	7.2	62.0	30.8	7.2	62.0	30.8	7.2	62.0
	100.0	83.0	0.5	16.5	30.6	1.0	68.4	77.3	5.2	17.5	60.3	12.1	27.6	28.2	7.7	64.1	28.2	7.7	64.1	28.2	7.7	64.1

0 : あなたのお勤め先を省いた場合の集計結果

	Q23. 新任研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q24. プリセプター(指導係)による指導は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q25. 中堅研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q26. 管理研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q27. 基礎研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]			
	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない
全体	22920	15946	145	4233	9099	666	537	33	9233	666	537	33	2922	213	2621	4032	704	10517		
滋賀県	292	215	3	44	107	4	144		129	10	67		35	30		59	15	133		
京都府	343	270	1	41	188	1.6	56.5		62.6	4.9	32.5		51.5	4.4	44.1	25.3	7.6	67.2		
大阪府	777	624	4	51	63.5	0.3	36.1		64.1	4.2	31.6		56.6	8.4	34.9	27.6	5.5	66.9		
兵庫県	697	538	5	91	448	1.5	30.6		68.2	3.4	28.4		156	4	50	176	38	326		
奈良県	211	158	0	28	417	0.3	32.0		56.0	3.1	40.8		114	2	64	127	31	335		
和歌山県	242	170	3	61	78	4	104		126	14	30		32	4	23	39	8	113		
鳥取県	185	129	1	41	78	7	125		112	14	55		22	4	29	24	10	132		
島根県	224	132	1	52	37.1	3.3	59.5		61.9	7.7	30.4		40.0	7.3	52.7	14.5	6.0	79.5		
岡山県	480	350	3	69	56	3	54		56	3	54		14	1	16	30	2	97		
広島県	366	265	1	69	35.6	0.6	63.8		49.6	2.7	47.8		22	3	23	23.3	1.6	75.2		
山口県	438	327	0	56	28.4	2.2	69.4		48.7	5.2	46.1		45.8	6.3	47.9	25.5	5.5	69.1		
徳島県	234	162	2	52	171	4	229		275	29	42		85	10	24	100	27	205		
香川県	217	144	1	50	42	1.0	56.7		79.5	8.4	12.1		71.4	8.4	20.2	30.1	8.1	61.7		
愛媛県	328	208	5	93	173	0	151		196	3	92		51	1	42	121	8	146		
高知県	246	180	2	39	164	7	202		228	16	57		60	7	35	44.0	2.9	53.1		
福岡県	637	478	4	86	44.0	1.9	54.2		75.8	5.3	18.9		58.8	6.9	34.3	23.3	7.2	69.5		
佐賀県	230	147	3	51	83	3	119		70	9	98		19	4	46	43	12	121		
長崎県	329	238	5	53	40.5	1.5	86.0		39.5	5.1	55.4		27.5	5.8	66.7	24.4	6.8	88.8		
熊本県	427	302	3	83	58	1	133		92	3	59		30	3	28	51	5	97		
大分県	308	241	2	36	30.2	0.5	69.3		59.7	1.9	38.3		49.2	4.9	45.9	33.3	3.3	63.4		
宮崎県	217	133	0	46	79	2	210		122	9	109		42	1	47	71	13	160		
鹿児島県	433	301	5	58	27.1	0.7	72.2		50.8	3.8	45.4		46.7	1.1	52.2	29.1	5.3	65.6		
沖縄県	275	187	5	60	69	0	137		84	6	75		33	3	16	45	5	133		
離職中・退職中	0	0	0	0	33.5	0.0	66.5		50.9	3.6	45.5		63.5	5.8	30.8	24.6	2.7	72.7		
その他	3	0	0	0	267	5	270		239	27	141		77	3	57	105	39	295		
	100.0	0.0	0.0	0.0	48.3	0.9	49.8		58.7	6.6	34.6		56.2	2.2	41.6	24.5	9.1	66.4		
	230	147	3	51	61	0	131		100	3	48		30	0	24	42	4	115		
	100.0	73.1	1.5	25.4	31.8	0.0	68.2		66.2	2.0	31.8		55.6	0.0	44.4	26.1	2.5	71.4		
	100.0	80.4	1.7	17.9	90	3	192		155	26	50		32	7	37	52	15	152		
	100.0	77.8	0.8	21.4	31.6	1.1	67.4		67.1	11.3	21.6		42.1	9.2	48.7	23.7	6.8	69.4		
	100.0	86.4	0.7	12.9	148	9	216		221	39	66		61	13	43	75	12	228		
	100.0	77.8	0.8	21.4	30.7	2.4	57.9		67.8	12.0	20.2		52.1	11.1	36.8	23.8	3.8	72.4		
	100.0	86.4	0.7	12.9	103	0	189		109	18	42		40	1	24	60	5	143		
	100.0	74.3	0.0	25.7	37.9	0.0	82.1		74.8	6.6	18.6		61.5	1.5	36.9	28.8	2.4	88.8		
	100.0	74.3	0.0	25.7	44	3	129		68	1	70		23	4	28	38	2	105		
	100.0	82.7	1.4	15.9	25.0	1.7	73.3		48.9	0.7	50.4		41.8	7.3	50.9	26.2	1.4	72.4		
	100.0	82.7	1.4	15.9	55.5	0.6	43.9		142	4	123		51	3	32	61	5	193		
	100.0	74.2	2.0	23.8	60	1	181		118	26	37		25	1	27	23.6	1.9	74.5		
	100.0	0.0	0.0	0.0	24.8	0.4	74.8		85.2	14.4	20.4		47.2	1.9	50.9	28.9	6.7	64.4		
	100.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0		
	100.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0		
	100.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0		

06 : あなたが勤務地をお答えください。

④ 郵道府県十歳層所（「受ける立場にない」を省いた場合の集計結果）

	Q23. 新任研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）【SA】				Q24. プリセプター（指導保母）による指導は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）【SA】				Q25. 中級研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）【SA】				Q26. 管理研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）【SA】				Q27. 最終研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）【SA】			
	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない
全体	22920	15946	145	4233	9008	184	1027	5397	9233	666	5397	2922	213	2621	4092	704	10517	4092	704	10517
100.0	78.5	0.7	20.8	46.5	0.9	52.6	35.3	56.8	60.4	4.4	35.3	56.8	3.7	45.5	26.7	4.6	68.7	26.7	4.6	68.7
4608	3400	21	876	2066	44	192	793	2521	125	231	352	596	41	352	1656	241	1817	1656	241	1817
100.0	82.9	0.5	16.5	51.4	1.1	47.5	31.3	73.3	3.6	23.1	26.7	70.2	3.1	26.7	44.6	6.5	48.9	44.6	6.5	48.9
100.0	86.0	1.3	12.7	32.6	0.9	66.5	48.8	77.9	4.1	17.9	22.9	75.9	1.2	22.9	44.2	2.4	53.4	44.2	2.4	53.4
100.0	74.5	0.0	25.5	45.8	0.0	54.2	40.0	39.2	4.1	16.3	4.0	81.0	0.0	19.0	49.2	6.6	44.3	49.2	6.6	44.3
100.0	84.9	0.0	15.1	74.1	0.0	25.9	40.0	31.0	0.0	15.0	8.0	42.1	0.0	57.9	50.0	2.1	47.9	50.0	2.1	47.9
100.0	82.2	0.0	17.8	66.7	21.7	11.6	66.7	21.7	11.6	11.6	59.7	78.1	0.0	21.9	29.2	11.1	59.7	29.2	11.1	59.7
100.0	82.2	0.0	17.8	53.0	5.0	6.7	88.3	5.0	6.7	6.7	23.0	76.7	0.0	23.3	35.5	3.2	61.3	35.5	3.2	61.3
100.0	89.4	0.0	10.6	27.1	2.1	70.2	77.1	0.0	22.9	8.0	11.0	73.3	0.0	26.7	48.8	0.0	51.2	48.8	0.0	51.2
100.0	72.2	0.0	27.8	37.9	3.0	59.1	71.4	0.0	28.6	16.0	16.0	64.7	5.9	29.4	36.4	6.1	57.6	36.4	6.1	57.6
100.0	70.1	0.0	29.9	56.7	1.5	41.8	73.2	5.4	21.4	12.0	13.0	65.0	0.0	35.0	39.0	5.1	55.9	39.0	5.1	55.9
100.0	82.9	0.0	17.1	51.9	3.9	44.2	69.5	11.9	18.6	7.0	14.0	76.7	0.0	23.3	52.2	6.0	41.8	52.2	6.0	41.8
100.0	81.1	0.9	17.9	69.1	1.0	32.0	67.0	0.0	32.0	8.0	8.0	86.5	7.7	5.8	35.8	11.6	52.6	35.8	11.6	52.6
100.0	85.0	0.8	14.2	48.1	0.8	61.4	78.4	7.2	14.4	15.0	15.0	57.8	8.9	33.3	47.1	1.9	51.0	47.1	1.9	51.0
100.0	91.5	0.0	8.5	83.5	2.8	31.1	66.0	2.8	31.1	10.0	10.0	73.8	4.8	21.4	65.8	2.6	31.6	65.8	2.6	31.6
100.0	92.8	0.0	7.2	76.2	0.8	23.0	85.3	5.5	9.2	10.0	10.0	62.1	3.4	34.5	44.2	10.0	45.8	44.2	10.0	45.8
100.0	88.9	0.0	11.1	26.7	0.0	73.3	46.7	2.2	51.1	23.0	23.0	46.2	0.0	53.8	49.0	14.3	36.7	49.0	14.3	36.7
100.0	81.4	0.0	18.6	42.0	1.4	56.5	75.0	0.0	25.0	12.0	12.0	52.4	0.0	47.6	50.9	3.5	45.6	50.9	3.5	45.6
100.0	88.7	0.0	11.3	54.3	0.0	45.7	85.7	0.0	14.3	9.0	9.0	61.8	2.8	35.2	51.4	2.9	45.7	51.4	2.9	45.7
100.0	87.1	0.0	12.9	43.5	3.2	53.2	70.0	2.0	28.0	4.0	4.0	87.0	8.7	4.3	57.1	3.6	39.3	57.1	3.6	39.3
100.0	70.4	0.0	29.6	39.2	0.0	60.8	65.7	0.0	34.3	7.0	7.0	53.3	0.0	46.7	50.0	4.2	45.8	50.0	4.2	45.8
100.0	38.6	0.0	61.4	52.4	0.0	47.6	26.8	0.0	73.2	30.0	30.0	60.0	0.0	40.0	37.8	2.2	60.0	37.8	2.2	60.0
100.0	74.6	0.0	25.4	54.5	0.0	45.5	75.0	0.0	25.0	12.0	12.0	77.8	0.0	22.2	59.3	5.1	35.6	59.3	5.1	35.6
100.0	82.4	2.0	15.7	39.4	0.0	60.6	60.8	2.5	36.7	8.0	8.0	60.0	13.3	26.7	36.9	4.8	58.3	36.9	4.8	58.3
100.0	87.0	0.9	12.2	66.8	0.4	32.8	79.7	0.0	20.3	35.0	35.0	62.0	0.0	38.0	38.8	11.7	49.5	38.8	11.7	49.5
100.0	75.5	2.0	22.4	36.0	0.0	64.0	83.7	8.2	8.2	4.0	4.0	79.3	10.3	10.3	52.8	0.0	47.2	52.8	0.0	47.2

0 : あなたのお答えにくく、
N : 郵道府県十歳層所
M : 郵道府県十歳層所
N : 郵道府県十歳層所
N : 郵道府県十歳層所
0 : 郵道府県十歳層所

⑥市町村分野（「受ける立場にない」を省いた場合の集計結果）

	Q23. 新任研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q23. 新任研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q24. プリゼンター（指導係講師）による指導は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q24. プリゼンター（指導係講師）による指導は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q25. 中級研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q25. 中級研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q26. 管理研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]				Q26. 管理研修は受けましたか。（「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]			
	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会があつたがなかった	機会がなかった	受ける立場にない
全体	22926	15946	145	4233	9008	666	5397	9233	666	5397	9233	666	5397	2922	213	2621	2922	213	2621	2922	213	2621	2922	213	2621	4092	704	10517	4092	704	10517	
市町村計	100.0	78.5	0.7	20.8	46.5	4.4	35.3	60.4	4.4	35.3	60.4	4.4	35.3	16.7	1.6	23.1	16.7	1.6	23.1	16.7	1.6	23.1	16.7	1.6	23.1	18.3	5.5	84.2	18.3	5.5	84.2	
北海道	100.0	82.3	0.9	17.1	39.6	3.6	34.6	59.7	5.8	34.5	59.7	5.8	34.5	21.0	2.0	18.1	21.0	2.0	18.1	21.0	2.0	18.1	21.0	2.0	18.1	36	10	346	36	10	346	
青森県	100.0	89.3	0.7	10.0	37.6	0.4	62.0	52.1	4.8	43.1	52.1	4.8	43.1	90	24	31	90	24	31	90	24	31	90	24	31	12	8	119	12	8	119	
岩手県	100.0	78.9	1.7	19.4	48.5	0.0	51.5	65	6.9	3	57	65	6.9	3	57	65	6.9	3	57	65	6.9	3	57	65	6.9	3	57	65	6.9	3	57	
宮城県	100.0	122	2	53	37.1	2.3	60.6	47	106	141	2	23	47	106	141	2	23	47	106	141	2	23	47	106	141	2	23	47	106	141	2	23
秋田県	100.0	84.9	1.2	13.9	30.5	0.6	68.8	49	88.9	11.4	19.7	49	88.9	11.4	19.7	49	88.9	11.4	19.7	49	88.9	11.4	19.7	49	88.9	11.4	19.7	49	88.9	11.4	19.7	
山形県	100.0	96	1	43	45	2	82	34.9	1.6	63.6	74	4	64	73	1	91	73	1	91	73	1	91	73	1	91	24	1	25	24	1	25	
福島県	100.0	71.9	0.0	28.1	44.2	0.6	55.2	66	2	140	55	3	112	66	2	140	55	3	112	66	2	140	55	3	112	12	1	37	12	1	37	
茨城県	100.0	65.7	1.4	32.9	31.7	1.0	67.3	79	18	135	93	21	64	79	18	135	93	21	64	79	18	135	93	21	64	12	4	32	12	4	32	
栃木県	100.0	91.7	0.9	7.5	36.2	1.8	61.9	85	13	38	52.2	11.8	38.0	85	13	38	52.2	11.8	38.0	85	13	38	52.2	11.8	38.0	25.0	8.3	66.7	25.0	8.3	66.7	
群馬県	100.0	143	3	41	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	46.4	0.5	53.0	56.5	4.3	39.1	56.5	4.3	39.1	
埼玉県	100.0	76.5	1.6	21.9	99	2	140	83.2	2.2	14.6	154	4	27	83.2	2.2	14.6	154	4	27	83.2	2.2	14.6	154	4	27	27	0	19	27	0	19	
千葉県	100.0	85.6	1.2	13.2	41.1	0.8	98.1	195	5	180	256	16	26	41.1	0.8	98.1	195	5	180	256	16	26	41.1	0.8	98.1	81	16	13	81	16	13	
東京都	100.0	89.4	1.3	9.3	51.3	1.3	47.4	164	2	125	158	4	45	51.3	1.3	47.4	164	2	125	158	4	45	51.3	1.3	47.4	73.6	14.5	11.8	73.6	14.5	11.8	
神奈川県	100.0	91.7	0.7	7.7	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	56.4	0.7	43.0	58.3	2.8	38.9	58.3	2.8	38.9	
山梨県	100.0	86.4	1.5	12.1	125	3	62	125	3	62	125	3	62	125	3	62	125	3	62	125	3	62	125	3	62	45.5	0.0	54.5	45.5	0.0	54.5	
長野県	100.0	92.3	1.0	6.7	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	65.8	1.6	32.6	58.5	2.4	39.0	58.5	2.4	39.0	
新潟県	100.0	138	1	23	31.1	1.2	67.7	51	2	111	52	4	79	31.1	1.2	67.7	51	2	111	52	4	79	51	2	111	40.9	2.3	56.8	40.9	2.3	56.8	
長野県	100.0	85.2	0.6	14.2	135	2	178	135	2	178	135	2	178	135	2	178	135	2	178	135	2	178	135	2	178	38.5	3.0	58.5	38.5	3.0	58.5	
新潟県	100.0	81.1	1.2	17.6	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	42.9	0.6	56.5	39.7	3.7	56.5	39.7	3.7	56.5	
富山県	100.0	275	2	26	167	4	124	167	4	124	167	4	124	167	4	124	167	4	124	167	4	124	167	4	124	85.5	4.8	9.7	85.5	4.8	9.7	
石川県	100.0	156	0	18	65	1	97	65	1	97	65	1	97	65	1	97	65	1	97	65	1	97	65	1	97	83	2	33	83	2	33	
福井県	100.0	89.7	0.0	10.3	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	39.9	0.6	99.5	70.3	1.7	28.0	70.3	1.7	28.0	
岐阜県	100.0	95	1	30	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	32.5	0.9	66.7	35.2	1.1	63.7	35.2	1.1	63.7	
静岡県	100.0	89	0	50	41	0	92	41	0	92	41	0	92	41	0	92	41	0	92	41	0	92	41	0	92	32	2	69	32	2	69	
愛知県	100.0	158	3	39	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	68	0.0	69.2	30.8	0.0	69.2	30.8	0.0	69.2	
三重県	100.0	79.0	1.5	19.5	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	35.6	0.5	63.9	52.9	5.8	41.3	52.9	5.8	41.3	
愛知県	100.0	314	0	74	202	2	163	202	2	163	202	2	163	202	2	163	202	2	163	202	2	163	202	2	163	156	7	94	156	7	94	
三重県	100.0	80.9	0.0	19.1	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	55.0	0.5	44.4	60.7	2.7	36.6	60.7	2.7	36.6	
三重県	100.0	455	2	50	270	7	199	270	7	199	270	7	199	270	7	199	270	7	199	270	7	199	270	7	199	259	10	78	259	10	78	
三重県	100.0	89.7	0.4	9.9	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	56.7	1.5	41.8	74.6	2.9	22.5	74.6	2.9	22.5	
三重県	100.0	135	0	22	167	135	0	22	167	135	0	22	167	135	0	22	167	135	0	22	167	135	0	22	167	80	3	23	80	3	23	
三重県	100.0	86.0	0.0	14.0	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	29.5	1.3	69.1	75.5	2.8	21.7	75.5	2.8	21.7	

0 : あなたの勤務地をお答えなくともよい。

	Q23. 新任研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q24. プリセプター(指導係)による指導は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q25. 中堅研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q26. 管理系研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]				Q27. 長期研修は受けましたか。(「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]			
	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けていなかった	機会はなかった	受ける立場にない
全体	22920	15946	145	4233	9099	184	1027		9233	666	537		2922	213	2621		4032	704	10517	
滋賀県	100.0	78.5	0.7	20.8	46.5	0.9	52.6		60.4	4.4	4.4		50.8	3.7	45.5		26.7	4.6	68.7	
京都府	100.0	80.3	1.1	18.5	38.5	1.7	59.8		59.7	3.1	37.2		52.6	2.6	44.7		19.2	4.8	76.0	
大阪府	100.0	74.7	0.0	25.3	39.8	0.0	60.2		54.5	5.2	40.3		31.8	4.5	63.6		14.5	5.3	80.3	
兵庫県	100.0	86.3	0.3	13.4	17.8	0.2	100		62.5	4.0	33.5		59.9	3.6	36.9		19.8	3.4	76.8	
奈良県	100.0	85.3	0.9	13.8	17.6	0.0	137		43.9	4.9	51.1		45.7	2.9	51.4		16.5	6.0	77.5	
和歌山県	100.0	84.1	0.0	15.9	35	3	50		67.6	13.5	18.9		33.3	16.7	50.0		14.7	5.9	79.4	
鳥取県	100.0	79.5	1.3	19.2	45	2.3	82		61.8	10.9	27.3		28.1	9.4	62.5		9.3	9.3	81.4	
島根県	100.0	76.3	0.0	23.7	33	1.1	76		37	1.1	38		5	10	69		17	2	69	
岡山県	100.0	69.6	0.7	29.6	35	4	93		48.7	1.3	50.0		31.3	6.3	62.5		19.3	2.3	78.4	
広島県	100.0	85.8	0.5	13.7	26.5	3.0	70.5		44.9	5.6	49.5		44.4	3.7	51.9		16.1	5.4	78.6	
山口県	100.0	76.6	0.6	22.9	32.1	1.5	66.3		74.0	12.1	13.9		65.4	7.7	26.9		12.6	10.1	77.4	
徳島県	100.0	84.8	0.0	15.2	83	0	90		85	3	54		17	1	92		45	4.6	60.8	
香川県	100.0	74.5	1.3	24.2	48.0	0.0	52.0		59.9	2.1	38.0		42.5	2.5	55.0		34.6	4.6	60.8	
愛媛県	100.0	81.5	0.0	18.5	115	6	132		73.7	6.9	19.7		62.3	4.9	32.9		16.5	5.9	77.7	
高知県	100.0	74.5	1.3	24.2	63	2	81		45	5.8	56.7		19.1	8.5	72.3		8	7	97	
福岡県	100.0	82.5	1.2	16.3	35	1	62		40	1	31		12	0	15		14	1	56	
佐賀県	100.0	75.5	1.0	23.5	35.7	1.0	63.3		55.6	1.4	43.1		44.4	0.0	55.6		19.7	1.4	78.9	
長崎県	100.0	60.8	2.0	37.3	40	1	150		65	6	82		26	1	38		20	9	124	
熊本県	100.0	87.6	0.9	11.5	43	0	62		42.5	3.9	53.6		40.0	1.5	58.5		13.1	5.9	81.0	
大分県	100.0	82.5	1.2	16.3	41.0	0.0	59.0		37	4	29		10	2	6		13	4	57	
宮崎県	100.0	76.6	0.6	22.9	85	0	144		71	7	83		55.6	11.1	33.3		17.6	5.4	77.0	
鹿児島県	100.0	82.5	1.2	16.3	37.1	0.0	62.9		44.1	4.3	51.6		34.6	1.9	63.5		16.5	4.0	79.5	
沖縄県	100.0	69.0	1.4	29.6	36	0	97		60.2	3.1	36.7		16	0	19		10.2	2.0	87.8	
離島中・退職中	100.0	78.6	3.0	18.5	44	0	118		84	20	28		13	7	21		14	8	95	
その他	100.0	80.8	0.7	18.5	101	7	102		63.6	15.2	21.2		31.7	17.1	51.2		12.0	6.8	81.2	
	100.0	80.8	0.7	18.5	37.4	2.6	60.0		67.7	14.7	17.7		30	9	31		15.4	2.3	82.2	
	100.0	83.9	1.3	14.8	49	0	102		88	13	22		42.9	12.9	44.3		16	5	87	
	100.0	70.2	0.0	29.8	32.5	0.0	67.5		71.0	10.5	18.5		41.9	3.2	54.8		14.8	4.6	80.6	
	100.0	80.3	1.1	18.5	16	1	65		42.9	1.6	55.6		4	3	15		8.6	1.7	89.7	
	100.0	74.7	0.0	25.3	83	2	108		57	2	71		19	2	15		13	1	112	
	100.0	86.3	0.3	13.4	43	1.0	56.0		43.8	1.5	54.6		52.8	5.6	41.7		10.3	0.8	88.9	
	100.0	83.7	1.7	14.6	43	2	127		63	25	25		15	2	20		16	5	86	
	100.0	80.8	0.7	18.5	25.0	0.0	73.8		55.8	22.1	22.1		40.5	5.4	54.1		15.0	4.7	80.4	
	100.0	80.8	0.7	18.5	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
	100.0	80.8	0.7	18.5	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
	100.0	80.8	0.7	18.5	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
	100.0	80.8	0.7	18.5	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	

0 : あなたが勤務する地域をお答えください。

(11) 行政分野の業務内容別・職場構成別でのスーパーバイザーの有無(業務内容(行政)×職場構成×スーパーバイザーの有無)

・特に介護保険、総合相談、児童福祉、障害者福祉の業務で、一人職場でかつスーパーバイザーがいない者の割合が高い。

	全体	Q32: 過去1年間にあなた自身のスーパーバイザー(業務上の相談をする人)がいますか。[SA]		Q32: 過去1年間にあなた自身のスーパーバイザー(業務上の相談をする人)がいますか。[SA](当該職位の全人数に占める割合を示したもの)	
		いる	いない	いる	いない
全体	22920 100.0	16835 73.5	6085 26.5	16835 73.5	6085 26.5
母子保健計	4066 100.0	3300 81.2	766 18.8	3300 81.2	766 18.8
保健師複数配置の職場	4006 100.0	3265 81.5	741 18.5	3265 80.3	741 18.2
保健師1人のみの職場	60 100.0	35 58.3	25 41.7	35 0.9	25 0.6
健康づくり計	1540 100.0	1158 75.2	382 24.8	1158 75.2	382 24.8
保健師複数配置の職場	1461 100.0	1107 75.8	354 24.2	1107 71.9	354 23.0
保健師1人のみの職場	79 100.0	51 64.6	28 35.4	51 3.3	28 1.8
生活習慣病予防(がん対策含む)計	2333 100.0	1758 75.4	575 24.6	1758 75.4	575 24.6
保健師複数配置の職場	2225 100.0	1705 76.6	520 23.4	1705 73.1	520 22.3
保健師1人のみの職場	108 100.0	53 49.1	55 50.9	53 2.3	55 2.4
介護予防計	1436 100.0	1039 72.4	397 27.6	1039 72.4	397 27.6
保健師複数配置の職場	1265 100.0	953 75.3	312 24.7	953 66.4	312 21.7
保健師1人のみの職場	171 100.0	86 50.3	85 49.7	86 6.0	85 5.9
介護保険計	801 100.0	503 62.8	298 37.2	503 62.8	298 37.2
保健師複数配置の職場	601 100.0	401 66.7	200 33.3	401 50.1	200 25.0
保健師1人のみの職場	200 100.0	102 51.0	98 49.0	102 12.7	98 12.2
高齢者保健(虐待対策含む)計	329 100.0	229 69.6	100 30.4	229 69.6	100 30.4
保健師複数配置の職場	295 100.0	207 70.2	88 29.8	207 62.9	88 26.7
保健師1人のみの職場	34 100.0	22 64.7	12 35.3	22 6.7	12 3.6
精神保健計	1287 100.0	1065 82.8	222 17.2	1065 82.8	222 17.2
保健師複数配置の職場	1184 100.0	1003 84.7	181 15.3	1003 77.9	181 14.1
保健師1人のみの職場	103 100.0	62 60.2	41 39.8	62 4.8	41 3.2
健康危機管理計	68 100.0	41 60.3	27 39.7	41 60.3	27 39.7
保健師複数配置の職場	58 100.0	34 58.6	24 41.4	34 50.0	24 35.3
保健師1人のみの職場	10 100.0	7 70.0	3 30.0	7 10.3	3 4.4
総合相談計	231 100.0	142 61.5	89 38.5	142 61.5	89 38.5
保健師複数配置の職場	173 100.0	115 66.5	58 33.5	115 49.8	58 25.1
保健師1人のみの職場	58 100.0	27 46.6	31 53.4	27 11.7	31 13.4
地区担当計	1769 100.0	1512 85.5	257 14.5	1512 85.5	257 14.5
保健師複数配置の職場	1672 100.0	1458 87.2	214 12.8	1458 82.4	214 12.1
保健師1人のみの職場	97 100.0	54 55.7	43 44.3	54 3.1	43 2.4
感染症対策計	1024 100.0	792 77.3	232 22.7	792 77.3	232 22.7
保健師複数配置の職場	989 100.0	771 78.0	218 22.0	771 75.3	218 21.3
保健師1人のみの職場	35 100.0	21 60.0	14 40.0	21 2.1	14 1.4
難病計	509 100.0	421 82.7	88 17.3	421 82.7	88 17.3
保健師複数配置の職場	494 100.0	411 83.2	83 16.8	411 80.7	83 16.3
保健師1人のみの職場	15 100.0	10 66.7	5 33.3	10 2.0	5 1.0
児童福祉(虐待対策含む)計	260 100.0	175 67.3	85 32.7	175 67.3	85 32.7
保健師複数配置の職場	162 100.0	121 74.7	41 25.3	121 46.5	41 15.8
保健師1人のみの職場	98 100.0	54 55.1	44 44.9	54 20.8	44 16.9
障害者福祉(障害児・障害者)計	295 100.0	181 61.4	114 38.6	181 61.4	114 38.6
保健師複数配置の職場	190 100.0	134 70.5	56 29.5	134 45.4	56 19.0
保健師1人のみの職場	105 100.0	47 44.8	58 55.2	47 15.9	58 19.7
企画調整(研修・調査含む)計	438 100.0	306 69.9	132 30.1	306 69.9	132 30.1
保健師複数配置の職場	369 100.0	266 72.1	103 27.9	266 60.7	103 23.5
保健師1人のみの職場	69 100.0	40 58.0	29 42.0	40 9.1	29 6.6
管理業務(マネジメント)計	1370 100.0	834 60.9	536 39.1	834 60.9	536 39.1
保健師複数配置の職場	1328 100.0	808 60.8	520 39.2	808 59.0	520 38.0
保健師1人のみの職場	42 100.0	26 61.9	16 38.1	26 1.9	16 1.2
その他計	760 100.0	472 62.1	288 37.9	472 62.1	288 37.9
保健師複数配置の職場	551 100.0	383 69.5	168 30.5	383 50.4	168 22.1
保健師1人のみの職場	209 100.0	89 42.6	120 57.4	89 11.7	120 15.8

Q16: 現在のあなたの職場構成(あなたが置かれている職場の状況)をお答えください。

(12) 所属組織別・業務内容(産業分野:主たる業務のみ)別の新任研修(所属組織×業務内容(産業)×新任研修)

・産業分野は新任研修の受講率が行政分野に比べ低いが、これを所属組織別・主担当業務別に要因分析してみると、医療保険者では健康相談保健指導、生活習慣病対策の従事者で、企業・事業所では各種健康診断と事後管理、健康相談保健指導の従事者で、それぞれ機会がなかった者の割合が高い。

(訪問看護ステーション、介護老人保健・福祉施設、社会福祉施設、NPOについては、該当者がいないため省略)

	全体	Q23: 新任研修は受けましたか。[SA]			Q23: 新任研修は受けましたか。 [「受ける立場にない」を省いた場合][SA]			
		受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	
全体	22920 100.0	15946 69.6	145 0.6	4233 18.5	2596 11.3	15946 78.5	145 0.7	4233 20.8
省庁計	23 100.0	17 73.9	0 0.0	3 13.0	3 13.0	17 85.0	0 0.0	3 15.0
各種健康診断と事後管理	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康相談保健指導	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
都道府県計	1007 100.0	677 67.2	2 0.2	174 17.3	154 15.3	677 79.4	2 0.2	174 20.4
各種健康診断と事後管理	17 100.0	8 47.1	0 0.0	7 41.2	2 11.8	8 53.3	0 0.0	7 46.7
健康相談保健指導	9 100.0	6 66.7	0 0.0	1 11.1	2 22.2	6 85.7	0 0.0	1 14.3
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
職場巡視	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
メンタルヘルス対策	11 100.0	8 72.7	0 0.0	1 9.1	2 18.2	8 88.9	0 0.0	1 11.1
過重労働対策	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
情報提供や資料作成・提供	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 50.0	0 0.0	1 50.0
保健所計	3801 100.0	2723 71.6	19 0.5	504 13.3	555 14.6	2723 83.9	19 0.6	504 15.5
各種健康診断と事後管理	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康相談保健指導	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	全体	Q23: 新任研修は受けましたか。[SA]				Q23: 新任研修は受けましたか。 （「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]		
		受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった
全体	22920 100.0	15946 69.6	145 0.6	4233 18.5	2596 11.3	15946 78.5	145 0.7	4233 20.8
保健所設置市計	2449 100.0	1903 77.7	7 0.3	302 12.3	237 9.7	1903 86.0	7 0.3	302 13.7
各種健康診断と事後管理	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
健康相談保健指導	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	3 50.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特別区計	543 100.0	437 80.5	2 0.4	50 9.2	54 9.9	437 89.4	2 0.4	50 10.2
各種健康診断と事後管理	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康相談保健指導	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
市町村計	10611 100.0	8023 75.6	87 0.8	1671 15.7	830 7.8	8023 82.0	87 0.9	1671 17.1
各種健康診断と事後管理	13 100.0	7 53.8	0 0.0	2 15.4	4 30.8	7 77.8	0 0.0	2 22.2
健康相談保健指導	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	7 100.0	3 42.9	0 0.0	1 14.3	3 42.9	3 75.0	0 0.0	1 25.0
過重労働対策	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
他職種・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
衛生管理業務の企画立案評価	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

	全体	Q23: 新任研修は受けましたか。[SA]				Q23: 新任研修は受けましたか。 [「受ける立場にない」を省いた場合][SA]		
		受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった
全体	22920 100.0	15946 69.6	145 0.6	4233 18.5	2596 11.3	15946 78.5	145 0.7	4233 20.8
地域包括支援センター計	1081 100.0	736 68.1	12 1.1	245 22.7	88 8.1	736 74.1	12 1.2	245 24.7
各種健康診断と事後管理	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康相談保健指導	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート (連絡・連携・調整)	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
医療保険者計	253 100.0	117 46.2	3 1.2	102 40.3	31 12.3	117 52.7	3 1.4	102 45.9
各種健康診断と事後管理	28 100.0	16 57.1	0 0.0	10 35.7	2 7.1	16 61.5	0 0.0	10 38.5
健康相談保健指導	84 100.0	35 41.7	2 2.4	40 47.6	7 8.3	35 45.5	2 2.6	40 51.9
健康衛生教育	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	34 100.0	21 61.8	0 0.0	11 32.4	2 5.9	21 65.6	0 0.0	11 34.4
メンタルヘルス対策	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート (連絡・連携・調整)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 100.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0
衛生管理業務の企画立案評価	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
健康管理活動のマネジメント	7 100.0	3 42.9	0 0.0	3 42.9	1 14.3	3 50.0	0 0.0	3 50.0
情報提供や資料作成・提供	8 100.0	5 62.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	5 62.5	0 0.0	3 37.5
経営や労務管理へのアプローチ	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他	6 100.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 25.0	0 0.0	3 75.0
企業・事業所計	879 100.0	420 47.8	1 0.1	349 39.7	109 12.4	420 54.5	1 0.1	349 45.3
各種健康診断と事後管理	326 100.0	156 47.9	0 0.0	139 42.6	31 9.5	156 52.9	0 0.0	139 47.1
健康相談保健指導	231 100.0	98 42.4	0 0.0	95 41.1	38 16.5	98 50.8	0 0.0	95 49.2
健康衛生教育	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0
健康増進活動	34 100.0	22 64.7	1 2.9	11 32.4	0 0.0	22 64.7	1 2.9	11 32.4
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	38 100.0	20 52.6	0 0.0	12 31.6	6 15.8	20 62.5	0 0.0	12 37.5
メンタルヘルス対策	77 100.0	42 54.5	0 0.0	27 35.1	8 10.4	42 60.9	0 0.0	27 39.1
過重労働対策	9 100.0	2 22.2	0 0.0	5 55.6	2 22.2	2 28.6	0 0.0	5 71.4
他職種・他部門とのコーディネート (連絡・連携・調整)	13 100.0	6 46.2	0 0.0	7 53.8	0 0.0	6 46.2	0 0.0	7 53.8
健康・衛生管理体制の整備と参画	15 100.0	11 73.3	0 0.0	4 26.7	0 0.0	11 73.3	0 0.0	4 26.7
衛生管理業務の企画立案評価	12 100.0	7 58.3	0 0.0	4 33.3	1 8.3	7 63.6	0 0.0	4 36.4
健康管理活動のマネジメント	37 100.0	21 56.8	0 0.0	12 32.4	4 10.8	21 63.6	0 0.0	12 36.4
情報提供や資料作成・提供	30 100.0	16 53.3	0 0.0	12 40.0	2 6.7	16 57.1	0 0.0	12 42.9
経営や労務管理へのアプローチ	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
その他	12 100.0	3 25.0	0 0.0	6 50.0	3 25.0	3 33.3	0 0.0	6 66.7

Q9: 所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。
x
Q21M001: 主たる業務

	全体	Q23: 新任研修は受けましたか。[SA]				Q23: 新任研修は受けましたか。 (「受ける立場にない」を省いた場合)[SA]		
		受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった
全体	22920 100.0	15946 69.6	145 0.6	4233 18.5	2596 11.3	15946 78.5	145 0.7	4233 20.8
健(検)診センター・労働衛生機関計	488 100.0	223 45.7	3 0.6	214 43.9	48 9.8	223 50.7	3 0.7	214 48.6
各種健康診断と事後管理	45 100.0	21 46.7	1 2.2	19 42.2	4 8.9	21 51.2	1 2.4	19 46.3
健康相談保健指導	48 100.0	29 60.4	0 0.0	17 35.4	2 4.2	29 63.0	0 0.0	17 37.0
健康衛生教育	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
健康増進活動	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	6 100.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3
メンタルヘルス対策	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
情報提供や資料作成・提供	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
経営や労務管理へのアプローチ	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 50.0	0 0.0	1 50.0
その他	8 100.0	2 25.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	2 28.6	0 0.0	5 71.4
病院計	718 100.0	289 40.3	0 0.0	307 42.8	122 17.0	289 48.5	0 0.0	307 51.5
各種健康診断と事後管理	12 100.0	6 50.0	0 0.0	5 41.7	1 8.3	6 54.5	0 0.0	5 45.5
健康相談保健指導	6 100.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 25.0	0 0.0	3 75.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
生活習慣病対策	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
診療所計	41 100.0	13 31.7	0 0.0	21 51.2	7 17.1	13 38.2	0 0.0	21 61.8
各種健康診断と事後管理	5 100.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
健康相談保健指導	5 100.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0
健康衛生教育	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	全体	Q23: 新任研修は受けましたか。[SA]				Q23: 新任研修は受けましたか。 （「受ける立場にない」を省いた場合）[SA]		
		受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった	受ける立場にない	受けた	機会はあつたが受けなかった	機会がなかった
全体	22920 100.0	15946 69.6	145 0.6	4233 18.5	2596 11.3	15946 78.5	145 0.7	4233 20.8
教育・研究機関計	460 100.0	177 38.5	3 0.7	137 29.8	143 31.1	177 55.8	3 0.9	137 43.2
各種健康診断と事後管理	6 100.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	1 16.7	1 20.0	0 0.0	4 80.0
健康相談保健指導	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康衛生教育	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康増進活動	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
メンタルヘルス対策	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
その他計	392 100.0	138 35.2	0 0.0	87 22.2	167 42.6	138 61.3	0 0.0	87 38.7
各種健康診断と事後管理	9 100.0	3 33.3	0 0.0	3 33.3	3 33.3	3 50.0	0 0.0	3 50.0
健康相談保健指導	19 100.0	11 57.9	0 0.0	2 10.5	6 31.6	11 84.6	0 0.0	2 15.4
健康衛生教育	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
健康増進活動	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
職場巡視	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活習慣病対策	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
メンタルヘルス対策	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
過重労働対策	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
他職種・他部門とのコーディネート（連絡・連携・調整）	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康・衛生管理体制の整備と参画	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
衛生管理業務の企画立案評価	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
健康管理活動のマネジメント	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
情報提供や資料作成・提供	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営や労務管理へのアプローチ	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

5. 就労条件

(1) 年齢・経歴年数別の超過勤務・休日出勤の頻度、取得経歴のある休暇の種類、取得経歴のある休暇の種類、有給取得日数

- ・超過勤務は、30代前半から50代後半にかけて増加。
- ・取得経歴のある休暇は、20代は「取得なし」が全体に比べて多く、また「産休・育児休暇」の割合が低く、「研修」の割合が高い。産休・育児は30代後半をピークに30～40代が主な回答者層となった。
- ・休日出勤の頻度は経歴年数が増えるにつれて増加するが、15年から24年にかけて反転減少する傾向が見られる。
- ・有給取得実績は経歴年数が増えるにつれて増加するが、15年から24年にかけて反転減少する傾向が見られる。

全体	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]				Q40: 取得した経歴のあるものをすべてお選びください。[MA]				取得なし				
	常にあり	週に半分程度あり	月に数回定期的に集中してあり	ほとんどなし	産休・育児休暇	介護のための休暇	病欠	海外でのボランティア活動(青年海外協力隊等)		研修	勉学・修学	その他	
全体	226/20 100.0	52/76 23.3	53/88 23.8	34/80 15.4	105/7 15.4	105/7 15.4	4/7 1.7	29/44 13.0	0/2 0.0	20/48 9.1	35/1 1.6	78/7 3.5	139/10 61.5
20～24歳	105/5 100.0	21/3 20.1	24/5 23.1	12/3 11.6	18/2 18.2	5/0 5.0	2/0 0.0	9/3 9.3	0/0 0.0	17/8 16.8	15/1 1.4	5/2 5.2	73/1 73.1
25～29歳	300/2 100.0	6/1 2.0	6/29 21.0	4/15 13.8	5/19 17.3	13/7 4.6	12/4 5.4	32/7 10.9	3/0 0.1	37/6 12.5	47/1 4.2	12/7 1.6	21/73 72.4
30～34歳	329/1 100.0	5/86 1.7	6/30 19.1	8/9 15.7	5/4 17.7	5/0 5.0	30/4 30.4	99/9 12.5	6/0 0.2	33/3 10.1	53/1 4.2	138/5 55.2	181/5 164.8
35～39歳	317/6 100.0	6/73 2.2	5/32 16.8	8/12 14.3	5/3 17.4	4/8 4.8	15/2 18.8	12/35 38.9	7/0 0.2	23/3 7.3	47/1 3.2	102/5 51.9	164/8 164.8
40～44歳	335/7 100.0	7/95 2.3	6/33 18.8	8/7 13.9	4/6 14.6	4/0 4.0	35/2 45.3	118/6 15.8	6/0 0.2	24/6 7.3	44/1 2.9	97/5 55.6	187/1 187.1
45～49歳	346/5 100.0	9/78 2.8	7/99 20.5	8/20 12.2	4/22 18.2	9/2 6.6	105/2 14.5	46/1 6.3	6/0 0.2	22/7 6.3	51/5 2.7	95/8 61.8	214/0 179.2
50～54歳	274/3 100.0	8/31 3.0	5/18 23.3	3/8 13.8	10/8 10.8	3/0 3.0	25/3 31.3	69/3 14.5	3/0 0.1	18/5 6.7	42/1 1.5	75/3 65.3	179/2 179.2
55～59歳	193/5 100.0	5/65 2.6	3/39 17.5	4/15 15.1	2/2 14.1	7/3 3.8	44/7 14.1	27/2 14.1	4/0 0.2	17/1 8.8	25/3 3.3	64/3 67.5	130/7 130.7
60歳以上	58/2 100.0	8/4 14.4	4/1 7.0	5/3 9.1	15/1 25.9	16/3 29.0	98/8 16.8	84/4 14.4	0/0 0.0	99/7 17.0	27/4 4.6	34/5 5.8	390/0 67.0

全体	Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]				NN037: 平成20年度有給休暇取得実績 [SA]										
	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(毎月1回程度)あり	ほとんど無し	全く無し	0～2日	3～5日	6～8日	9～11日	12～14日	15～17日	18～20日	21日以上	
全体	226/20 100.0	82/0 3.6	41/0 18.1	32/4 37.2	84/7 17.8	40/7 8.8	32/20 14.2	41/71 18.4	15/6 13.3	35/20 15.6	21/99 21.4	21/99 9.7	22/90 10.1	20/13 8.9	37/1 1.6
0～4年	45/9 100.0	1/45 3.2	7/22 17.0	4/9 31.1	21/5 16.5	7/5 7.5	15/30 33.3	22/5 44.0	13/3 44.0	17/3 17.3	7/4 5.2	5/2 4.2	4/2 3.8	1/7 0.5	22/2 2.2
5～9年	326/0 100.0	9/9 3.0	5/95 18.3	4/27 35.5	18/3 11.8	3/6 6.0	49/1 15.1	20/3 40.0	14/5 28.0	47/4 22.0	71/8 7.2	23/6 10.2	33/1 8.9	289/0 1.8	60/0 1.8
10～14年	337/8 100.0	7/79 2.4	5/78 17.4	4/33 14.5	12/31 38.8	7/8 19.2	33/8 41.0	52/9 65.0	45/9 56.3	75/1 93.8	22/6 27.5	10/5 12.5	39/4 48.8	433/5 13.0	75/2 2.3
15～19年	289/0 100.0	10/1 3.5	5/47 18.9	3/78 40.1	17/5 21.3	20/7 25.0	20/7 25.0	39/7 48.8	42/4 52.5	66/7 82.5	35/6 43.8	39/0 48.8	382/0 48.8	67/0 8.6	2.3
20～24年	294/8 100.0	10/5 3.6	5/39 18.3	5/15 41.0	45/7 15.5	4/2 5.0	17/1 21.3	45/9 56.3	46/6 57.5	69/3 86.3	37/1 46.3	23/5 29.4	39/0 48.8	54/0 6.8	1.8
25～29年	286/8 100.0	13/6 4.7	5/96 20.8	4/26 18.3	11/5 38.5	8/0 2.8	19/8 23.8	54/9 67.5	54/9 67.5	65/8 81.3	35/6 44.5	31/1 38.9	210/0 26.3	39/0 4.9	1.4
30年以上	272/6 100.0	15/5 5.7	4/44 17.0	4/16 38.8	15/2 45.2	6/8 17.0	28/5 35.0	54/3 67.9	54/3 67.9	55/5 69.4	28/6 35.8	27/2 33.8	192/0 24.0	53/0 6.8	1.9

②所定休日数、有給取得実績

と7 つて、 お運も くはて ださい い。も のを	N035: 平成20年度所定休日平均日数(カネゴリ) [SA]											N037: 平成20年度有給休暇取得実績 [SA]										
	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上	0~2日	3~5日	6~8日	9~11日	12~14日	15~17日	18~20日	21日以上		
全体	22620	1025	2906	635	120	342	696	978	10427	2306	2119	756	3220	4171	3520	4836	2199	2290	2013	371		
行政	18289	828	2598	535	97	262	474	772	8613	1788	1605	531	2328	3354	2953	3962	1844	1926	1641	281		
産業	1326	59	106	35	2	13	9	39	614	171	164	61	202	163	164	261	120	157	211	48		
医療	1081	31	44	13	4	14	28	91	93	422	141	185	240	273	185	220	66	54	57	16		
福祉	958	37	105	28	5	11	15	24	41	424	128	110	161	183	124	218	97	95	63	18		
教育	481	24	49	13	8	31	19	40	17	194	32	41	120	114	72	98	26	29	19	3		
その他	484	46	44	11	4	11	13	28	22	160	46	44	169	84	52	77	46	29	22	5		
市庁	23	1	3	0	0	1	1	0	1	11	2	2	4	4	3	10	1	1	0	0		
都道府県	1002	64	172	30	7	29	12	28	33	431	79	84	226	176	238	118	87	71	8	8		
保健所	3768	144	640	137	11	61	32	62	86	1781	371	346	522	554	844	483	530	429	60	60		
保健所設置市	2471	110	282	69	7	27	21	57	76	1207	280	209	72	277	423	358	512	219	305	278		
特別区	541	21	63	19	3	4	6	3	7	268	67	51	58	66	47	96	58	75	122	19		
市町村	10453	476	1384	284	70	142	136	315	558	4894	975	912	307	1596	2105	1768	2221	963	923	728		
地域包括支援センター	1074	33	126	22	3	12	31	31	41	489	149	118	19	158	194	175	256	106	95	76		
医療保険者	248	18	24	8	0	2	5	2	1	95	27	32	59	28	38	57	16	20	24	7		
企業・事業所	873	40	74	25	1	4	13	12	416	127	117	40	117	98	99	150	77	126	168	38		
健(後)診センター・労働衛生機関	475	13	11	4	2	11	13	63	55	199	48	37	19	100	102	57	101	52	26	30		
病院	691	23	23	10	3	6	14	52	59	264	96	115	26	148	180	124	132	31	28	37		
診療所	40	3	1	1	0	0	0	4	5	13	5	3	7	6	3	12	4	4	3	1		
訪問看護ステーション	90	1	5	0	0	3	8	8	27	10	16	4	22	23	8	19	6	8	3	1		
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21	0	2	0	0	0	0	0	2	5	3	3	3	7	2	3	1	5	0	0		
社会福祉施設	45	2	5	1	1	0	0	0	3	20	7	4	2	7	6	16	6	6	2	0		
NPO	15	6	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	12	0	0	1	0	1	1	0		
教育・研究機関	453	25	46	11	7	33	20	36	19	182	28	35	111	115	62	94	24	25	20	2		
その他	390	45	44	14	5	6	19	11	123	31	34	52	122	65	40	74	34	25	21	9		
	100.0	11.5	11.3	3.6	1.3	1.5	4.9	2.8	31.5	7.9	8.7	13.3	31.3	16.7	10.3	19.0	8.7	6.4	5.4	2.3		

(3) 職位別の超過勤務・手当の有無、休日出勤の頻度、オンコール対応

- ・課長職以上の者は超過勤務の頻度が多く、かつ超過手当が支給されない割合がかなり高い。
- ・休日出勤に関しても、課長職以上の者は休日出勤の頻度が高い。
- ・また、職位が高くなるにつれてオンコール対応があった者の割合も増加している。

職位	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]										Q34: 超過勤務に対する手当はありますか。[SA]				Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]				Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]	
	全体	常にあり	週に半分程度	月に数回してあり	特定の時期に集中してあり	ほとんどなし	全くなし	全額支給	一部支給	支給なし	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(数か月1回まで)	ほとんどなし	全く無し	あり	なし		
全体	22620	5276	4276	5388	3143	3480	1057	8121	10001	3441	820	4101	3274	8407	4027	1991	6534	16086		
Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]	100.0	23.3	18.9	23.8	13.9	15.4	4.7	37.7	46.4	16.0	3.6	18.1	14.5	37.2	17.8	8.8	28.9	71.1		
所長もしくはそれと同等	185	75	33	28	20	21	8	30	41	106	26	57	21	55	20	6	105	80		
部長もしくはそれと同等	142	43	31	27	21	17	3	11	16	112	21	24	23	50	20	4	72	70		
課長もしくはそれと同等	1269	465	226	265	184	113	16	236	305	712	111	281	230	465	155	27	681	588		
主任もしくはそれと同等	100.0	36.6	17.8	20.9	14.5	8.9	1.3	18.8	24.3	56.8	8.7	22.1	18.1	36.6	12.2	2.1	53.7	46.3		
係長もしくはそれと同等	4968	1537	1108	1219	639	443	23	1929	2496	521	222	1032	835	2031	701	48	2101	2868		
主任もしくはそれと同等	4644	1049	898	1273	716	644	64	1892	2316	372	129	902	699	2000	759	155	1370	3274		
主任もしくはそれと同等	100.0	22.6	19.3	27.4	15.4	13.9	1.4	41.3	50.6	8.1	2.8	19.4	15.1	43.1	16.3	3.3	29.5	70.5		
係員(スタッフ)	10216	1958	1909	2447	1464	1921	517	3816	4675	1208	267	1723	1277	3618	2153	1178	2108	8108		
その他	100.0	19.2	18.7	24.0	14.3	18.8	5.1	39.3	48.2	12.5	2.6	16.9	12.5	35.4	21.1	11.5	20.6	79.4		
その他	1195	149	71	129	99	321	426	207	152	410	44	82	89	188	219	573	97	1088		
その他	100.0	12.5	5.9	10.8	8.3	26.9	35.6	26.9	19.8	53.3	3.7	6.9	7.4	15.7	18.3	47.9	8.1	91.9		

(4) 統括的役割の有無別の超過勤務・手当の有無、休日出勤の頻度、オンコール対応

- ・統括的役割を持つ保健師はそうでない者よりも超過勤務の頻度、休日出勤の頻度、オンコール対応の割合が高い。
- ・超過手当も、職位とのクロス同様、統括的役割を持つ保健師は支給されない割合が高い。

職位	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]										Q34: 超過勤務に対する手当はありますか。[SA]				Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]				Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]	
	全体	常にあり	週に半分程度	月に数回してあり	特定の時期に集中してあり	ほとんどなし	全くなし	全額支給	一部支給	支給なし	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(数か月1回まで)	ほとんどなし	全く無し	あり	なし		
全体	22620	5276	4276	5388	3143	3480	1057	8121	10001	3441	820	4101	3274	8407	4027	1991	6534	16086		
Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]	100.0	23.3	18.9	23.8	13.9	15.4	4.7	37.7	46.4	16.0	3.6	18.1	14.5	37.2	17.8	8.8	28.9	71.1		
はい	4071	1353	866	899	531	359	63	1248	1712	1048	257	894	761	1470	548	141	1751	2320		
いいえ	18549	3923	3410	4489	2612	3121	994	6873	8289	2393	563	3207	2513	6937	3479	1850	4783	13766		
その他	100.0	21.1	18.4	24.2	14.1	16.8	5.4	39.2	47.2	13.6	3.0	17.3	13.5	37.4	18.8	10.0	25.8	74.2		

(5) 休日出勤の頻度別の有給取得実績

- ・休日出勤が「全く無し」の者を除けば、8日以下の取得実績では休日出勤が多い者ほど取得率が高くなる傾向にあるが、9日以上の有給取得実績の割合は、休日出勤が多い者ほど少なくなる。

職位	Q37: 平成20年度有給取得実績										Q37: 平成20年度有給取得実績[SA]													
	全体	平均	最大値	最小値	0~2日	3~5日	6~8日	9~11日	12~14日	15~17日	18~20日	21日以上	全体	平均	最大値	最小値	0~2日	3~5日	6~8日	9~11日	12~14日	15~17日	18~20日	21日以上
全体	22620	9.1	60	0	3220	4171	3520	4636	2199	2290	2013	371	22620	9.1	60	0	3220	4171	3520	4636	2199	2290	2013	371
Q37: 平成20年度有給取得実績	100.0	9.1	60	0	14.2	18.4	15.6	21.4	9.7	10.1	8.9	1.6	100.0	9.1	60	0	14.2	18.4	15.6	21.4	9.7	10.1	8.9	1.6
常にあり	820	6.5	40	0	181	248	140	141	46	34	25	5	820	6.5	40	0	181	248	140	141	46	34	25	5
一定程度(月1回程度)あり	4101	8.1	60	0	611	937	725	878	364	342	206	38	4101	8.1	60	0	611	937	725	878	364	342	206	38
特定の時期に集中してあり	3274	8.9	40	0	357	717	578	707	337	303	231	44	3274	8.9	40	0	357	717	578	707	337	303	231	44
若干あり(数か月1回まで)	8407	9.7	60	0	841	1440	1363	1903	937	957	817	149	8407	9.7	60	0	841	1440	1363	1903	937	957	817	149
ほとんど無し	4027	10.1	60	0	535	586	525	848	396	519	535	83	4027	10.1	60	0	535	586	525	848	396	519	535	83
全く無し	1991	7.6	60	0	695	243	189	359	119	135	199	52	1991	7.6	60	0	695	243	189	359	119	135	199	52
その他	100.0	7.6	60	0	34.9	12.2	9.5	18.0	6.0	6.8	10.0	2.6	100.0	7.6	60	0	34.9	12.2	9.5	18.0	6.0	6.8	10.0	2.6

(6) 業務別の超過勤務・休日出勤の頻度、オンコール対応 (業務×超過勤務、休日出勤の頻度、オンコール対応)

①行政分野

- ・超過勤務の頻度が高い業務内容は、管理業務、感染症対策、健康危機管理、障害者福祉(障害児・障害者)、高齢者保健など。
- ・休日出勤の頻度が高い業務内容は、健康危機管理、管理業務、健康づくりなど。
- ・過去1年間のオンコール対応の割合が多い業務内容は、健康危機管理、感染症対策、管理業務、精神保健、難病、企画調整など。

	全体	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]						Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]						Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]			
		常にあり	週に半分程度	月に数回	特定の時期に集中してあり	ほとんどなし	全くなし	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(数か月に1回まで)	ほとんど無し	全く無し	あり	なし		
全体	22620 100.0	5276 23.3	4276 18.9	5388 23.8	3143 13.9	3480 15.4	1057 4.7	820 3.6	4101 18.1	3274 14.5	8407 37.2	4027 17.8	1991 8.8	6534 28.9	16086 71.1		
Q20M001: 主たる業務	母子保健	4009 100.0	773 19.3	740 18.5	998 24.9	507 12.6	694 17.3	297 7.4	73 1.8	781 19.5	479 11.9	1650 41.2	617 15.4	409 10.2	903 22.5	3106 77.5	
	健康づくり	1518 100.0	328 21.6	273 18.0	383 25.2	255 16.8	226 14.9	53 3.5	60 4.0	351 23.1	304 20.0	580 38.2	161 10.6	62 4.1	380 25.0	1138 75.0	
	生活習慣病予防(がん対策含む)	2308 100.0	498 21.6	423 18.3	528 22.9	470 20.4	292 12.7	97 4.2	68 2.9	521 22.6	534 23.1	802 34.7	279 12.1	104 4.5	454 19.7	1854 80.3	
	介護予防	1419 100.0	303 21.4	292 20.6	390 27.5	186 13.1	196 13.8	52 3.7	38 2.7	274 19.3	156 11.0	628 44.3	240 16.9	83 5.8	356 25.1	1063 74.9	
	介護保険	795 100.0	215 27.0	166 20.9	185 23.3	84 10.6	120 15.1	25 3.1	32 4.0	111 14.0	84 10.6	302 38.0	212 26.7	54 6.8	187 23.5	608 76.5	
	高齢者保健(虐待対策含む)	328 100.0	80 24.4	83 25.3	91 27.7	18 5.5	48 14.6	8 2.4	8 2.4	50 15.2	35 10.7	138 42.1	78 23.8	19 5.8	107 32.6	221 67.4	
	精神保健	1279 100.0	300 23.5	283 22.1	389 30.4	117 9.1	176 13.8	14 1.1	41 3.2	239 18.7	174 13.6	543 42.5	235 18.4	47 3.7	703 55.0	576 45.0	
	健康危機管理	67 100.0	21 31.3	11 16.4	18 26.9	8 11.9	7 10.4	2 3.0	1 1.5	16 23.9	17 25.4	25 37.3	4 6.0	4 6.0	4 70.1	20 29.9	
	総合相談	231 100.0	56 24.2	27 11.7	50 21.6	27 11.7	46 19.9	25 10.8	6 2.6	42 18.2	24 10.4	76 32.9	50 21.6	33 14.3	72 31.2	159 68.8	
	地区担当	1739 100.0	267 15.4	335 19.3	566 32.5	203 11.7	323 18.6	45 2.6	22 1.3	278 16.0	199 11.4	863 49.6	290 16.7	87 5.0	404 23.2	1335 76.8	
	感染症対策	1014 100.0	324 32.0	224 22.1	218 21.5	150 14.8	77 7.6	21 2.1	35 3.5	183 18.0	273 26.9	346 34.1	134 13.2	43 4.2	693 68.3	321 31.7	
	難病	503 100.0	97 19.3	78 15.5	106 21.1	129 25.6	69 13.7	24 4.8	8 1.6	54 10.7	101 20.1	205 40.8	109 21.7	26 5.2	269 53.5	234 46.5	
	児童福祉(虐待対策含む)	256 100.0	70 27.3	41 16.0	73 28.5	29 11.3	41 16.0	2 0.8	6 2.3	38 14.8	30 11.7	112 43.8	54 21.1	16 6.3	97 37.9	159 62.1	
	障害者福祉(障害児・障害者)	291 100.0	91 31.3	66 22.7	67 23.0	30 10.3	28 9.6	9 3.1	6 2.1	55 18.9	34 11.7	129 44.3	54 18.6	13 4.5	56 19.2	235 80.8	
	企画調整(研修・調査含む)	437 100.0	108 24.7	98 22.4	100 22.9	71 16.2	53 12.1	7 1.6	9 2.1	59 13.5	80 18.3	181 41.4	96 22.0	12 2.7	185 42.3	252 57.7	
	管理業務(マネジメント)	1370 100.0	444 32.4	305 22.3	325 23.7	188 13.7	99 7.2	9 0.7	78 5.7	327 23.9	298 21.8	543 39.6	121 8.8	3 0.2	792 57.8	578 42.2	
	その他	725 100.0	202 27.9	116 16.0	114 15.7	125 17.2	105 14.5	63 8.7	39 5.4	122 16.8	104 14.3	254 35.0	136 18.8	70 9.7	180 24.8	545 75.2	
	Q20M002: それに準ずる業務	母子保健	1752 100.0	314 17.9	322 18.4	463 26.4	255 14.6	302 17.2	96 5.5	41 2.3	331 18.9	251 14.3	725 41.4	293 16.7	111 6.3	455 26.0	1297 74.0
		健康づくり	2868 100.0	577 20.1	547 19.1	735 25.6	462 16.1	416 14.5	131 4.6	65 2.3	615 21.4	507 17.7	1132 39.5	380 13.2	169 5.9	659 23.0	2209 77.0
		生活習慣病予防(がん対策含む)	1428 100.0	288 20.2	238 16.7	328 23.0	266 18.6	230 16.1	78 5.5	36 2.5	301 21.1	248 17.4	593 41.5	155 10.9	95 6.7	319 22.3	1109 77.7
介護予防		972 100.0	236 24.3	186 19.1	251 25.8	119 12.2	132 13.6	48 4.9	31 3.2	167 17.2	133 13.7	400 41.2	171 17.6	70 7.2	275 28.3	697 71.7	
介護保険		667 100.0	138 20.7	144 21.6	176 26.4	91 13.6	81 12.1	37 5.5	21 3.1	112 16.8	72 10.8	276 41.4	137 20.5	49 7.3	194 29.1	473 70.9	
高齢者保健(虐待対策含む)		715 100.0	163 22.8	139 19.4	194 27.1	91 12.7	105 14.7	23 3.2	12 1.7	136 19.0	74 10.3	325 45.5	132 18.5	36 5.0	188 26.3	527 73.7	
精神保健		901 100.0	199 22.1	202 22.4	228 25.3	117 13.0	121 13.4	34 3.8	20 2.2	157 17.4	131 14.5	378 42.0	156 17.3	59 6.5	325 36.1	576 63.9	
健康危機管理		570 100.0	163 28.6	135 23.7	149 26.1	82 14.4	33 5.8	8 1.4	27 4.7	100 17.5	161 28.2	196 34.4	76 13.3	10 1.8	408 71.6	162 28.4	
総合相談		721 100.0	131 18.2	136 18.9	177 24.5	105 14.6	130 18.0	42 5.8	18 2.5	118 16.4	79 11.0	288 39.9	149 20.7	69 9.6	198 27.5	523 72.5	
地区担当		2183 100.0	465 21.3	447 20.5	580 26.6	301 13.8	347 15.9	43 2.0	46 2.1	449 20.6	338 15.5	951 43.6	318 14.6	81 3.7	598 27.4	1585 72.6	
感染症対策		736 100.0	175 23.8	165 22.4	201 27.3	100 13.6	81 11.0	14 1.9	24 3.3	143 19.4	182 24.7	280 38.0	84 11.4	23 3.1	389 52.9	347 47.1	
難病		466 100.0	129 27.7	81 17.4	114 24.5	69 14.8	62 13.3	11 2.4	20 4.3	63 13.5	91 19.5	180 38.6	90 19.3	22 4.7	271 58.2	195 41.8	
児童福祉(虐待対策含む)		651 100.0	137 21.0	127 19.5	181 27.8	86 13.2	97 14.9	23 3.5	10 1.5	127 19.5	92 14.1	252 38.7	129 19.8	41 6.3	203 31.2	448 68.8	
障害者福祉(障害児・障害者)		630 100.0	155 24.6	120 19.0	184 29.2	61 9.7	95 15.1	15 2.4	23 3.7	124 19.7	84 13.3	254 40.3	120 19.0	25 4.0	276 43.8	354 56.2	
企画調整(研修・調査含む)		794 100.0	274 34.5	162 20.4	179 22.5	95 12.0	78 9.8	6 0.8	41 5.2	163 20.5	134 16.9	328 41.3	112 14.1	16 2.0	351 44.2	443 55.8	
管理業務(マネジメント)		536 100.0	186 34.7	122 22.8	105 19.6	65 12.1	53 9.9	5 0.9	25 4.7	126 23.5	112 20.9	204 38.1	61 11.4	8 1.5	228 42.5	308 57.5	
その他		1699 100.0	447 26.3	288 17.0	356 21.0	232 13.7	237 13.9	139 8.2	70 4.1	269 15.8	237 13.9	615 36.2	307 18.1	201 11.8	548 32.3	1151 67.7	

②産業分野

- ・超過勤務の頻度が高い業務内容は、健康管理活動のマネジメント、経営や労務管理へのアプローチや衛生管理業務の企画立案評価(母集団が少ないが)。
- ・休日出勤の頻度が高い業務内容は、産業分野ではあまりない。
- ・過去1年間のオンコール対応の割合が多い業務内容は、産業分野ではあまり見られない。

	全体	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]							Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]						Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]	
		常にあり	週に半分程度	月に数回	特定の時期に集中してあり	ほとんどなし	全くなし	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(数が月に1回まで)	ほとんど無し	全く無し	あり	なし	
全体	22620 100.0	5276 23.3	4276 18.9	5388 23.8	3143 13.9	3480 15.4	1057 4.7	820 3.6	4101 18.1	3274 14.5	8407 37.2	4027 17.8	1991 8.8	6534 28.9	16086 71.1	
Q21MOO1: 主たる業務	各種健康診断と事後管理	454 100.0	59 13.0	75 16.5	71 15.6	73 16.1	129 28.4	47 10.4	4 0.9	15 3.3	29 6.4	53 11.7	162 35.7	191 42.1	21 4.6	433 95.4
	健康相談保健指導	405 100.0	49 12.1	46 11.4	58 14.3	60 14.8	147 36.3	45 11.1	2 0.5	14 3.5	12 3.0	60 14.8	158 39.0	159 39.3	8 2.0	397 98.0
	健康衛生教育	12 100.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	4 33.3	4 33.3	2 16.7	2 16.7	10 83.3
	健康増進活動	42 100.0	6 14.3	9 21.4	6 14.3	7 16.7	10 23.8	4 9.5	1 2.4	2 4.8	6 14.3	4 9.5	13 31.0	16 38.1	3 7.1	39 92.9
	職場巡視	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0
	生活習慣病対策	87 100.0	12 13.8	12 13.8	13 14.9	14 16.1	27 31.0	9 10.3	0 0.0	4 4.6	2 2.3	12 13.8	39 44.8	30 34.5	0 0.0	87 100.0
	メンタルヘルス対策	111 100.0	15 13.5	15 13.5	31 27.9	13 11.7	27 24.3	10 9.0	2 1.8	5 4.5	2 1.8	19 17.1	44 39.6	39 35.1	8 7.2	103 92.8
	過重労働対策	12 100.0	2 16.7	0 0.0	4 33.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	7 58.3	3 25.0	0 0.0	12 100.0
	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	19 100.0	5 26.3	1 5.3	5 26.3	2 10.5	6 31.6	0 0.0	0 0.0	2 10.5	3 15.8	0 0.0	10 52.6	4 21.1	1 5.3	18 94.7
	健康・衛生管理体制の整備と参画	26 100.0	3 11.5	6 23.1	8 30.8	5 19.2	4 15.4	0 0.0	1 3.8	1 3.8	2 7.7	5 19.2	10 38.5	7 26.9	0 0.0	26 100.0
	衛生管理業務の企画立案評価	15 100.0	4 26.7	5 33.3	2 13.3	2 13.3	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	7 46.7	4 26.7	3 20.0	2 13.3	13 86.7
	健康管理活動のマネジメント	55 100.0	17 30.9	12 21.8	7 12.7	9 16.4	9 16.4	1 1.8	1 1.8	2 3.6	2 3.6	12 21.8	24 43.6	14 25.5	4 7.3	51 92.7
	情報提供や資料作成・提供	44 100.0	5 11.4	5 11.4	8 18.2	10 22.7	14 31.8	2 4.5	0 0.0	0 0.0	3 6.8	9 20.5	14 31.8	18 40.9	3 6.8	41 93.2
	経営や労務管理へのアプローチ	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0
	その他	35 100.0	15 42.9	3 8.6	5 14.3	6 17.1	3 8.6	3 8.6	4 11.4	3 8.6	3 8.6	7 20.0	15 42.9	3 8.6	5 14.3	30 85.7
	Q21MOO2: それに準ずる業務	各種健康診断と事後管理	207 100.0	23 11.1	33 15.9	29 14.0	43 20.8	62 30.0	17 8.2	1 0.5	8 3.9	9 4.3	25 12.1	89 43.0	75 36.2	6 2.9
健康相談保健指導		358 100.0	39 10.9	54 15.1	62 17.3	51 14.2	114 31.8	38 10.6	3 0.8	9 2.5	20 5.6	55 15.4	130 36.3	141 39.4	9 2.5	349 97.5
健康衛生教育		72 100.0	10 13.9	8 11.1	12 16.7	10 13.9	23 31.9	9 12.5	3 4.2	2 2.8	4 5.6	14 19.4	29 40.3	20 27.8	4 5.6	68 94.4
健康増進活動		76 100.0	10 13.2	12 15.8	13 17.1	13 17.1	24 31.6	4 5.3	1 1.3	3 3.9	1 1.3	13 17.1	28 36.8	30 39.5	5 6.6	71 93.4
職場巡視		20 100.0	1 5.0	5 25.0	2 10.0	3 15.0	8 40.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	4 20.0	7 35.0	6 30.0	2 10.0	18 90.0
生活習慣病対策		111 100.0	15 13.5	13 11.7	23 20.7	11 9.9	35 31.5	14 12.6	1 0.9	5 4.5	6 5.4	11 9.9	42 37.8	46 41.4	3 2.7	108 97.3
メンタルヘルス対策		169 100.0	26 15.4	29 17.2	40 23.7	24 14.2	36 21.3	14 8.3	0 0.0	5 3.0	9 5.3	21 12.4	74 43.8	60 35.5	10 5.9	159 94.1
過重労働対策		30 100.0	6 20.0	2 6.7	4 13.3	8 26.7	6 20.0	4 13.3	0 0.0	1 3.3	3 10.0	6 20.0	8 26.7	12 40.0	3 10.0	27 90.0
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)		68 100.0	15 22.1	12 17.6	9 13.2	10 14.7	19 27.9	3 4.4	0 0.0	3 4.4	3 4.4	9 13.2	26 38.2	27 39.7	4 5.9	64 94.1
健康・衛生管理体制の整備と参画		14 100.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	2 14.3	5 35.7	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	6 42.9	4 28.6	1 7.1	13 92.9
衛生管理業務の企画立案評価		20 100.0	5 25.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	6 30.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	6 30.0	7 35.0	5 25.0	0 0.0	20 100.0
健康管理活動のマネジメント		36 100.0	9 25.0	2 5.6	7 19.4	7 19.4	9 25.0	2 5.6	2 5.6	1 2.8	1 2.8	6 16.7	14 38.9	12 33.3	2 5.6	34 94.4
情報提供や資料作成・提供		54 100.0	11 20.4	7 13.0	4 7.4	8 14.8	19 35.2	5 9.3	0 0.0	1 1.9	5 9.3	10 18.5	17 31.5	21 38.9	0 0.0	54 100.0
経営や労務管理へのアプローチ		30 100.0	8 26.7	4 13.3	4 13.3	8 26.7	5 16.7	1 3.3	0 0.0	4 13.3	3 10.0	5 16.7	13 43.3	5 16.7	3 10.0	27 90.0
その他		61 100.0	15 24.6	7 11.5	8 13.1	5 8.2	16 26.2	10 16.4	4 6.6	3 4.9	2 3.3	10 16.4	16 26.2	26 42.6	7 11.5	54 88.5

③その他の分野

- ・超過勤務の頻度が高い業務は、教育、退院調整、看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)など。
- ・休日出勤の頻度が高い業務は、看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)、教育、営業・広報(母集団が少ないが)、企画調整(研修・調査含む)など。
- ・過去1年間のオンコール対応の割合が多い業務は、ケアプランの作成、管理業務(マネジメント)、営業・広報(母集団が少ないが)など。

	全体	Q33: 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。[SA]						Q36: 休日出勤をすることはありますか。[SA]						Q39: 過去1年間にオンコール対応はありましたか。[SA]		
		常にあり	週に半分程度	月に数回	特定の時期に集中してあり	ほとんどなし	全くなし	常にあり	一定程度(月1回程度)あり	特定の時期に集中してあり	若干あり(数が月に1回まで)	ほとんど無し	全く無し	あり	なし	
全体	22620 100.0	5276 23.3	4276 18.9	5388 23.8	3143 13.9	3480 15.4	1057 4.7	820 3.6	4101 18.1	3274 14.5	8407 37.2	4027 17.8	1991 8.8	6534 28.9	16086 71.1	
Q22M001: 主たる業務	看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	389 100.0	153 39.3	74 19.0	69 17.7	24 6.2	56 14.4	13 3.3	91 23.4	71 18.3	15 3.9	76 19.5	80 20.6	56 14.4	302 77.6	
	介護業務	73 100.0	13 17.8	19 26.0	22 30.1	8 11.0	10 13.7	1 1.4	3 4.1	13 17.8	4 5.5	29 39.7	16 21.9	8 11.0	59 80.8	
	生活指導	62 100.0	8 12.9	8 12.9	23 37.1	5 8.1	9 14.5	9 14.5	2 3.2	14 22.6	4 6.5	11 17.7	18 29.0	13 21.0	48 77.4	
	保健指導	665 100.0	115 17.3	117 17.6	156 23.5	99 14.9	135 20.3	43 6.5	17 2.6	110 16.5	59 8.9	203 30.5	170 25.6	106 15.9	80 12.0	585 88.0
	健診業務	440 100.0	93 21.1	82 18.6	75 17.0	68 15.5	88 20.0	34 7.7	16 3.6	76 17.3	36 8.2	97 22.0	106 24.1	109 24.8	30 6.8	410 93.2
	退院調整	41 100.0	22 53.7	5 12.2	8 19.5	0 0.0	5 12.2	1 2.4	2 4.9	7 17.1	3 34.1	14 34.1	10 24.4	5 12.2	7 17.1	34 82.9
	ケアプランの作成	250 100.0	70 28.0	50 20.0	50 20.0	17 6.8	56 22.4	7 2.8	13 5.2	57 22.8	20 8.0	78 31.2	55 22.0	27 10.8	111 44.4	139 55.6
	教育	401 100.0	232 57.9	49 12.2	34 8.5	51 12.7	24 6.0	11 2.7	83 20.7	75 18.7	70 17.5	103 25.7	58 14.5	12 3.0	48 12.0	353 88.0
	企画調整(研修・調査含む)	126 100.0	34 27.0	20 15.9	19 15.1	22 17.5	23 18.3	8 6.3	14 11.1	16 12.7	19 15.1	45 35.7	23 18.3	9 7.1	29 23.0	97 77.0
	管理業務(マネジメント)	230 100.0	87 37.8	47 20.4	45 19.6	22 9.6	26 11.3	3 1.3	15 6.5	60 26.1	29 12.6	83 36.1	38 16.5	5 2.2	97 42.2	133 57.8
	営業・広報	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0
	その他	323 100.0	75 23.2	48 14.9	66 20.4	24 7.4	60 18.6	50 15.5	17 5.3	49 15.2	21 6.5	94 29.1	76 23.5	66 20.4	71 22.0	252 78.0
	Q22M002: それに準ずる業務	看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	139 100.0	53 38.1	24 17.3	21 15.1	17 12.2	18 12.9	6 4.3	12 8.6	33 23.7	8 5.8	33 23.7	34 24.5	19 13.7	108 77.7
		介護業務	136 100.0	59 43.4	33 24.3	18 13.2	9 6.6	14 10.3	3 2.2	34 25.0	28 20.6	3 2.2	28 20.6	27 19.9	16 11.8	110 80.9
生活指導		279 100.0	76 27.2	47 16.8	52 18.6	22 7.9	60 21.5	22 7.9	24 8.6	45 16.1	15 5.4	80 28.7	67 24.0	48 17.2	231 82.8	
保健指導		605 100.0	142 23.5	118 19.5	126 20.8	78 12.9	106 17.5	35 5.8	32 5.3	100 16.5	52 8.6	142 23.5	162 26.8	117 19.3	97 16.0	508 84.0
健診業務		371 100.0	67 18.1	69 18.6	86 23.2	52 14.0	74 19.9	23 6.2	8 2.2	59 15.9	33 8.9	121 32.6	87 23.5	63 17.0	34 9.2	337 90.8
退院調整		90 100.0	30 33.3	17 18.9	21 23.3	6 6.7	13 14.4	3 3.3	12 13.3	19 21.1	4 4.4	24 26.7	19 21.1	12 13.3	58 35.6	
ケアプランの作成		123 100.0	43 35.0	21 17.1	28 22.8	14 11.4	14 11.4	3 2.4	11 8.9	31 25.2	13 10.6	49 39.8	17 13.8	2 1.6	58 47.2	
教育		119 100.0	29 24.4	20 16.8	22 18.5	20 16.8	20 16.8	8 6.7	11 9.2	25 21.0	14 11.8	36 30.3	20 16.8	13 10.9	26 21.8	93 78.2
企画調整(研修・調査含む)		239 100.0	85 35.6	40 16.7	53 22.2	26 10.9	26 10.9	9 3.8	26 10.9	44 18.4	41 17.2	72 30.1	42 17.6	14 5.9	57 23.8	182 76.2
管理業務(マネジメント)		190 100.0	97 51.1	28 14.7	24 12.6	18 9.5	20 10.5	3 1.6	32 16.8	53 27.9	21 11.1	51 26.8	28 14.7	5 2.6	57 30.0	133 70.0
営業・広報		50 100.0	14 28.0	7 14.0	8 16.0	4 8.0	16 32.0	1 2.0	2 4.0	14 28.0	6 12.0	15 30.0	8 16.0	5 10.0	10 20.0	40 80.0
その他		664 100.0	208 31.3	97 14.6	108 16.3	75 11.3	112 16.9	64 9.6	70 10.5	99 14.9	71 10.7	182 27.4	140 21.1	102 15.4	114 17.2	550 82.8

(7) 職場構成別の休業・休暇中の代替要員の有無

・いわゆる1人職場では休業・休暇中の代替要員がない割合が複数配置職場よりも高い。

	全体	Q42: 休業・休暇中の代替要員はありましたか。[SA]	
		あり	なし
全体	8710 100.0	4214 48.4	4496 51.6
Q16: 現在のあなたの職場構成(あなたが置かれている職場の状況)をお答えください。	7687 100.0	3793 49.3	3894 50.7
保健師複数配置の職場	1023 100.0	421 41.2	602 58.8

6. 現状認識

(1) 年齢・経験年数別の現状認識（年齢・経験年数×現状認識）

・年齢別では、30代では産休等での人員不足・代替確保困難が、40・50代で分散配置が、それぞれ選択率が高い。
 ・経験年数別では、経験年数が上がるにつれて選択率の高まる問題点が少なくなりますが、分散配置による連携の悪化や次期リーダーの未育成、統括保健師のリーダーシップ等の選択率が経験年数と共に増加。

		Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																
N03:年齢 (カテゴリー)	全体	Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																
		分散配置 により、保 険師間の 連携・協力 ができてい なかった	市町村合 併で、労働 環境の悪 化がみら れる(保健 師の役割 が減少した り)	市町村合 併や支 那移住の 影響が少 ない(学 ぶ場が ない)	一人配 置のため 、先輩か らからの 指導が少 ない(学 ぶ場が ない)	上司が保 険師でな く、理 解が得ら れない	新人の 人材育成 ができて いない	3年未 滿で保 険師の 増加	次期 リーダー が育 てない	一 般 職 業 研 究 が 困 難	統 括 保 護 師 の 職 責 が 明 確 に な ら な い	産 休 や 育 休 に よ り 人 員 不 足 が 生 じ る 困 難	正 規 職 員 が 少 な く 、 兼 職 や 自 立 が あ ら ず 、 身 分 が あ ら ず 、 あ ら ず 、 あ ら ず	所 属 が 違 う 保 護 師 (外 部) と の 連 携 が あ ら ず 、 あ ら ず	保 護 師 と し て の 人 事 評 価 が あ ら ず 、 あ ら ず	保 護 師 と し て の 人 事 評 価 が あ ら ず 、 あ ら ず	業 務 と 保 護 師 の 関 係 が あ ら ず 、 あ ら ず	あ ら ず 、 あ ら ず
	22920	9615	3584	4412	2492	3531	4434	974	5554	8645	4692	8946	2548	7100	1664	6758	543	1928
	100.0	42.0	15.6	19.2	10.9	15.4	19.3	4.2	24.2	37.7	20.5	39.0	11.1	31.0	7.3	29.5	2.4	8.4
20~24歳	1061	225	137	97	57	84	168	52	79	289	74	261	107	258	88	208	23	237
	100.0	21.2	12.9	9.1	5.4	7.9	15.8	4.9	7.4	27.2	7.0	24.6	10.1	24.3	8.3	19.6	2.2	22.3
25~29歳	3065	946	392	346	305	430	543	166	475	1018	456	1128	390	969	361	869	94	378
	100.0	30.9	12.8	11.3	10.0	14.0	17.7	5.4	15.5	33.2	14.9	36.8	12.7	31.6	11.8	28.4	3.1	10.6
30~34歳	3430	1303	588	627	354	541	586	170	675	1233	602	1607	424	1151	87	987	109	243
	100.0	38.0	17.4	18.3	10.3	15.8	17.1	5.0	19.7	35.9	17.6	46.9	12.4	33.6	8.4	28.8	3.2	7.1
35~39歳	3243	1337	501	653	358	511	546	134	713	1235	655	1384	334	1065	218	929	75	233
	100.0	41.2	15.4	20.1	11.0	15.8	16.8	4.1	22.0	38.1	20.2	42.7	10.3	32.8	6.7	28.6	2.3	7.2
40~44歳	3384	1612	511	658	464	625	652	136	920	1376	780	1293	362	1088	220	1018	74	223
	100.0	47.6	15.1	19.4	13.7	18.5	19.3	4.0	27.2	40.7	23.0	38.2	10.7	32.2	6.5	30.1	2.2	6.6
45~49歳	3469	1620	576	766	418	585	744	133	970	1444	822	1325	361	1086	182	1072	71	211
	100.0	46.7	16.6	22.1	12.0	16.9	21.4	3.8	28.0	41.6	23.7	38.2	10.4	31.3	5.2	30.9	2.0	6.1
50~54歳	2747	1423	483	693	282	404	650	92	886	1117	705	1044	295	839	146	857	38	166
	100.0	51.8	17.6	25.2	10.3	14.7	23.7	3.3	32.3	40.7	25.7	38.0	10.7	30.5	5.3	31.2	1.4	5.8
55~59歳	1937	953	296	477	194	261	431	72	651	790	480	762	188	523	119	691	45	137
	100.0	49.2	15.3	24.6	10.0	13.5	22.3	3.7	33.6	40.8	24.8	39.3	9.7	27.0	6.1	35.7	2.3	7.1
60歳以上	584	196	90	95	60	90	114	19	185	143	118	142	87	121	43	127	14	158
	100.0	33.6	15.4	16.3	10.3	15.4	19.5	3.3	31.7	24.5	20.2	24.3	14.9	20.7	7.4	21.7	2.4	27.1
0~4年	4671	1129	565	429	486	667	759	268	593	1299	523	1420	642	1295	600	1190	158	706
	100.0	24.2	12.1	9.2	10.4	14.3	16.2	5.7	12.7	27.8	11.2	30.4	13.7	27.7	12.8	25.5	3.4	15.8
5~9年	3382	1256	522	558	362	557	592	163	691	1227	609	1513	424	1116	329	1007	87	272
	100.0	37.1	15.4	16.5	10.7	16.5	17.5	4.8	20.4	36.3	18.0	44.7	12.5	33.0	9.7	29.8	2.6	8.0
10~14年	3412	1477	583	734	372	511	571	131	784	1317	692	1497	371	1153	211	984	103	200
	100.0	43.3	17.4	21.5	10.9	15.0	16.7	3.8	23.0	38.6	20.3	43.9	10.9	33.8	6.2	28.8	3.0	5.9
15~19年	2906	1342	436	590	362	489	543	103	748	1170	694	1123	289	971	165	838	55	181
	100.0	46.2	15.0	20.3	12.5	16.8	18.7	3.5	25.7	40.3	23.9	38.6	9.9	33.4	5.7	28.8	1.9	6.2
20~24年	2949	1481	478	650	347	502	631	106	879	1275	695	1169	294	896	139	934	42	164
	100.0	50.2	16.2	22.0	11.8	17.0	21.4	3.6	29.8	43.2	23.6	39.6	10.0	30.4	4.7	31.7	1.4	5.6
25~29年	2870	1513	515	711	293	427	689	104	894	1247	761	1180	257	909	103	882	50	158
	100.0	52.7	17.9	24.8	10.2	14.9	24.0	3.6	31.1	43.4	26.5	40.4	9.0	31.7	3.6	30.7	1.7	5.9
30年以上	2730	1417	475	740	270	378	649	99	965	1110	718	1064	271	760	117	923	48	217
	100.0	51.9	17.4	27.1	9.9	13.8	23.8	3.6	35.3	40.7	26.3	39.0	9.9	27.8	4.3	33.8	1.8	7.9

(2) 最終学歴別の現状認識 (最終学歴 × 現状認識)

・学歴の高低に比した選択率の高低がある項目は、正規職員が少なく身分が曖昧(学歴の高まりに比して選択率が上昇)、所属が違う保健師との連携(逆に学歴が低いほど選択率が上昇)・個別には、大学院修士・博士課程卒の者は、次期リーダーが育っていないを比較的多く選択。

		Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																	
		分散配置により、保健師間の連携、協力ができていなかった	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の役割、職責、待遇、給与、研修機会が減少した)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でなく、理屈が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で離職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	続括保健師のリーダーが案理できていない	産休や育児による人員不足・代替確保が困難	正期職員が少なく常勤職員が多い	所属が違う保健師(外部)との連携がとれていない	保健師(看護師)の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、主体的に活動しにくい	あてはまるものはない	
04: あなたが最終学歴をお答えください。	全体	22920 100.0	9615 42.0	3584 15.6	4412 19.2	2492 10.9	3531 15.4	4434 19.3	974 4.2	5554 24.2	8645 37.7	8946 39.0	2548 11.1	7100 31.0	1664 7.3	6758 29.5	543 2.4	1928 8.4	
	専門学校(保健師養成機関)	14170 100.0	6546 46.2	2391 16.9	3202 22.6	1504 10.6	2154 15.2	2780 19.6	512 3.6	3742 26.4	5658 39.9	5592 39.4	1416 10.0	4331 30.6	833 5.9	4158 29.3	288 2.0	998 7.0	
	短大専攻科	2414 100.0	974 40.3	352 14.6	391 16.2	300 12.4	441 18.3	499 20.7	128 5.3	571 23.7	940 38.9	503 20.8	1036 42.9	288 11.9	830 34.4	212 8.8	736 30.5	74 3.1	177 7.3
	四年制大学	5628 100.0	1838 32.7	731 13.0	707 12.6	556 9.9	790 14.0	959 17.0	291 5.2	997 17.7	1845 32.8	877 15.6	2082 37.0	732 13.0	1736 30.8	533 9.5	1622 28.8	154 2.7	649 11.5
	大学院修士(前期)課程	621 100.0	228 36.7	88 14.2	94 15.1	117 18.8	124 20.0	161 25.9	36 5.8	206 33.2	175 28.2	161 25.9	212 34.1	97 15.6	179 28.8	75 12.1	216 34.8	24 3.9	88 13.8
	大学院博士(後期)課程	87 100.0	29 33.3	22 25.3	18 20.7	15 17.2	22 25.3	35 40.2	7 8.0	38 43.7	27 31.0	19 21.8	34 39.1	15 17.2	24 27.6	11 12.6	26 29.9	3 3.4	18 20.7

(3) 活動領域・所属組織別の現状認識 (活動領域・所属組織 × 現状認識)

大半が行政に係る課題となっている中でも、行政分野では業務増加、人員や研修の不足に関する指摘が多く見られる。
 ・産業・医療分野は多くの項目で選択率が低い、一人配置、上司が保健師でない、看護師との区別がない、保健師としての人事評価システムが整備されていないの選択率は高い。

Q7: 保健師として、お仕事をされている方へお聞きいたします。	Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものすべてをお選びください。[NA]																
	分配置により、保健師間の連携、協力がなくなった	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の役割、職責が減少した)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でなく、理髪師が得られない	新人の育成ができていない	3年未満で離職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	統括保健師のリーダーが兼任でかき立てていない	産休や育休による人材不足・代替確保が困難	正期職員が少なく常勤職員が多い	所属が違う保健師(外部)との連携がとれない	保健師(看護)の区別がなくなり、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、主体的に活動していない	あてはまるものはない
全体	22920	3584	4412	2492	3531	4434	974	5554	8645	4692	8946	2548	7100	1664	6758	543	1928
行政	100.0	42.0	15.6	19.2	10.9	15.4	4.2	24.2	37.7	20.5	39.0	11.1	31.0	7.3	29.5	2.4	8.4
産業	18516	8892	3220	4054	1583	2381	684	4596	7613	4067	8002	1860	5956	614	5225	243	1303
医療	100.0	46.9	17.4	21.9	8.5	12.9	19.9	3.7	24.8	41.1	43.2	10.0	32.2	3.3	28.2	1.3	7.0
福祉	1339	119	26	39	256	408	113	250	302	197	210	272	253	280	577	220	176
教育	100.0	8.9	1.9	2.9	19.1	30.5	14.8	18.7	22.6	14.7	15.7	20.3	18.9	20.9	43.1	16.4	13.1
その他	1121	154	70	53	225	333	171	67	235	118	216	115	312	504	445	37	143
省庁	100.0	13.7	6.2	4.7	20.1	29.7	15.3	6.0	21.0	22.5	19.3	10.3	27.8	45.0	39.7	3.3	12.8
都道府県	968	418	139	151	260	204	34	206	259	146	270	111	348	112	263	11	92
保健所	100.0	43.2	14.4	15.6	26.9	21.1	16.5	3.5	21.3	26.8	15.1	11.5	36.0	11.6	27.2	1.1	9.5
保健所設置市	488	149	86	70	93	115	140	38	159	107	155	88	121	75	125	17	107
特別区	100.0	30.5	17.6	14.3	19.1	23.6	28.7	7.8	32.6	21.9	31.8	18.0	24.8	15.4	25.6	3.5	21.9
市町村	488	83	43	45	75	90	83	38	108	112	93	102	110	79	123	15	107
地域包括支援センター	100.0	17.0	8.8	9.2	15.4	18.4	17.0	7.8	22.1	23.0	19.1	20.9	22.5	16.2	25.2	3.1	21.9
医療保険者	23	8	2	2	5	8	3	2	7	5	5	5	3	2	7	0	1
企業・事業所	100.0	34.8	8.7	8.7	21.7	34.8	13.0	8.7	30.4	21.7	21.7	21.7	13.0	8.7	30.4	0.0	4.3
介護(後)センター・労働衛生機関	1007	568	126	171	226	217	230	45	339	365	276	86	337	21	255	15	91
病院	100.0	55.4	12.5	17.0	22.4	21.5	22.8	4.5	33.7	36.2	27.4	8.5	33.5	2.1	25.3	1.5	9.0
診療所	3801	1895	487	639	359	470	747	169	1008	1599	812	257	1177	63	976	23	305
訪問看護ステーション	100.0	49.9	12.8	16.8	9.4	12.4	19.7	4.4	26.5	42.1	21.4	6.8	31.0	1.7	25.7	0.6	8.0
介護老人保健施設・介護老人福祉施設	2448	1159	363	471	164	270	409	91	602	1013	534	256	910	60	673	24	174
社会福祉施設	100.0	47.3	14.8	19.2	6.7	11.0	16.7	3.7	24.6	41.4	21.8	51.9	37.2	2.5	27.5	1.0	7.1
NPO	543	266	29	42	58	64	131	20	176	235	98	57	177	19	189	12	37
教育・研究機関	10611	4697	2197	2695	800	1345	2122	349	2407	4342	2312	1152	3260	436	3069	167	724
その他	100.0	44.3	20.7	25.4	7.5	12.7	20.0	3.3	22.7	40.9	44.8	10.9	30.7	4.1	28.9	1.6	6.8
その他	1081	514	166	191	192	181	188	46	244	335	214	176	412	105	313	13	80
その他	100.0	47.5	15.4	17.7	17.8	16.7	17.4	4.3	22.6	31.0	27.5	16.3	38.1	9.7	29.0	1.2	7.4
その他	253	29	6	10	46	83	33	21	50	44	21	72	60	23	96	27	36
その他	100.0	11.5	2.4	4.0	18.2	32.8	13.0	8.3	19.8	17.4	8.3	28.5	23.7	9.1	37.9	10.7	14.2
その他	879	69	14	20	172	282	127	65	170	190	139	186	160	215	426	157	106
その他	100.0	7.8	1.6	2.3	19.6	32.1	14.4	7.4	19.3	21.6	15.8	21.2	18.2	24.5	48.5	17.9	12.1
その他	488	29	11	12	72	141	105	68	109	139	64	107	117	155	197	33	61
その他	100.0	5.9	2.3	2.5	14.8	28.9	21.5	13.9	22.3	28.5	13.1	15.8	24.0	31.8	40.4	6.8	12.5
その他	718	93	46	22	151	229	93	40	133	143	64	125	189	379	294	28	88
その他	100.0	13.0	6.4	3.1	21.0	31.9	13.0	5.6	18.5	19.9	8.9	17.4	26.3	52.8	40.9	3.9	12.3
その他	41	4	0	4	15	11	5	2	9	7	2	5	4	11	17	5	5
その他	100.0	9.8	0.0	9.8	36.6	26.8	12.2	4.9	22.0	17.1	4.9	12.2	9.8	26.8	41.5	12.2	12.2
その他	93	8	3	5	14	16	15	1	25	23	7	24	12	31	39	28	12
その他	100.0	8.6	3.2	5.4	15.1	17.2	16.1	1.1	26.9	24.7	7.5	25.8	12.9	33.3	41.9	30.1	1.1
その他	21	1	1	4	2	1	3	0	4	6	4	5	1	5	6	2	7
その他	100.0	4.8	4.8	19.0	9.5	4.8	14.3	0.0	19.0	28.6	19.0	23.8	4.8	23.8	28.6	9.5	4.8
その他	45	16	3	3	17	16	4	2	9	5	7	4	5	17	13	15	7
その他	100.0	35.6	6.7	6.7	37.8	35.6	8.9	4.4	20.0	11.1	15.6	11.1	37.8	28.9	33.3	2.2	15.6
その他	15	3	2	4	3	2	2	0	5	3	3	3	2	1	1	5	0
その他	100.0	20.0	13.3	26.7	20.0	13.3	13.3	0.0	33.3	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	33.3	0.0	46.7
その他	460	140	77	64	94	115	138	33	153	106	93	81	119	71	115	18	99
その他	100.0	30.4	16.7	13.9	20.4	25.0	30.0	7.2	33.3	23.0	20.2	31.1	17.6	25.9	15.4	25.0	3.9
その他	392	126	51	53	102	80	79	20	104	65	69	65	114	39	81	18	88
その他	100.0	32.1	13.0	13.5	26.0	20.4	20.2	5.1	26.5	21.7	17.6	16.6	29.1	9.9	20.7	4.6	22.4

(4) 職位別の現状認識 (職位×現状認識)

・職位の高低による問題意識の違いが顕著に出たものは少なく、職位が上がると選抜率がわずかに高まったのは一人職場、保健師としての人事評価システム。
 ・現場のリーダーたる課長・係長は選抜率が高い項目としては分散配置や統括保健師のリーダーシップ、係長職以上では新人の育成や、次期リーダーが育っていない、業務増による職場内研修の困難等人材育成に関する選抜率が高い。

Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]		分散配置 により、保 健師間で 業務の 連携・協 力ができ なくなっ た	市町村合 併で、労 働環境の 悪化がみ られる(保 健師の役 職・職責 が異なる 市町村格 差)	市町村会 議や支 部での 削減で、 研修の機 会が減少 した(学 ぶ場が少 ない)	一人配置 のため、先 輩からの 指導が受 けられな い(学ぶ 場がない)	上司が保 健師でな く、理解 が得られ ない	新人の材 育成がで きない	3年未満 で保健師 の増加	業務増加 により職 場内研修 の確保が 困難	統括保健 師のリー ダーが兼 任されて いない	正社員職 員が少な く、勤続 年数が長 い、身が まわらな い	所属が違 う(保健 師・外部 との連 携がとれ ない)	保健師・看 護師の区 別がされ ず、同じ 職場であ る	保健師とし ての人事 評価が保 健師・看 護師と異 なると認 められて いない	産業医と の関係に おいて、 自らの活 動に積極 的に関与 していない	保健師と しての事 業に積極 的に関与 していない
全体	22920 100.0	9615 42.0	3584 15.6	4412 19.2	2492 10.9	3531 15.4	4434 19.3	974 4.2	8645 37.7	4692 20.5	8946 39.0	7100 31.0	1664 7.3	6758 29.5	543 2.4	1928 8.4
所長もしくはそれと同等	186 100.0	77 41.4	23 12.4	31 16.7	23 12.4	28 15.1	50 26.9	8 4.3	56 30.1	41 22.0	54 29.0	59 31.7	26 14.0	53 28.5	2 1.1	20 10.8
部長もしくはそれと同等	144 100.0	58 40.3	20 13.9	22 15.3	21 14.6	18 12.5	43 29.9	6 4.2	42 29.2	32 22.2	61 42.4	40 27.8	11 7.6	53 36.8	4 2.8	18 12.5
課長もしくはそれと同等	1271 100.0	644 50.7	205 16.1	313 24.6	149 11.7	163 12.8	353 27.8	68 5.4	549 43.2	341 26.8	567 44.6	363 28.6	72 5.7	439 34.5	24 1.9	68 5.4
係長もしくはそれと同等	4980 100.0	2722 54.7	856 17.2	1279 25.7	548 11.0	768 15.4	1260 25.3	190 3.8	1659 45.6	1368 27.5	2129 42.8	419 32.2	154 11.1	1652 33.2	63 3.7	185 3.7
主任もしくはそれと同等	4703 100.0	2339 49.7	865 18.4	1099 23.4	521 11.1	781 16.6	872 18.5	170 3.6	2014 42.8	1063 22.6	1974 42.0	413 33.9	218 4.6	1371 29.2	80 4.7	223 4.7
係員(スタッフ)	10432 100.0	3530 33.8	1470 14.1	1555 14.9	1109 10.6	1631 15.6	1702 16.3	486 4.7	3531 33.8	1694 16.2	3868 37.1	3199 30.7	1037 9.9	2994 28.7	319 3.1	1063 10.2
その他	1204 100.0	245 20.3	145 12.0	113 9.4	121 10.0	142 11.8	154 12.8	46 3.8	186 15.4	153 12.7	293 24.3	242 20.1	146 12.1	196 16.3	51 4.2	351 29.2

(5) 統括的役割の有無別の現状認識

・統括的役割を持つ保健師では、ほとんどの事項で選抜率が高い。
 ・統括的役割を持たない保健師の選抜率が高いのは、正社員職員が少なく身分が曖昧、外部との連携不足、看護士と同じ処遇。

Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]		分散配置 により、保 健師間で 業務の 連携・協 力ができ なくなっ た	市町村合 併で、労 働環境の 悪化がみ られる(保 健師の役 職・職責 が異なる 市町村格 差)	市町村会 議や支 部での 削減で、 研修の機 会が減少 した(学 ぶ場が少 ない)	一人配置 のため、先 輩からの 指導が受 けられな い(学ぶ 場がない)	上司が保 健師でな く、理解 が得られ ない	新人の材 育成がで きない	3年未満 で保健師 の増加	業務増加 により職 場内研修 の確保が 困難	統括保健 師のリー ダーが兼 任されて いない	正社員職 員が少な く、勤続 年数が長 い、身が まわらな い	所属が違 う(保健 師・外部 との連 携がとれ ない)	保健師・看 護師の区 別がされ ず、同じ 職場であ る	保健師とし ての人事 評価が保 健師・看 護師と異 なると認 められて いない	産業医と の関係に おいて、 自らの活 動に積極 的に関与 していない	保健師と しての事 業に積極 的に関与 していない
全体	22920 100.0	9615 42.0	3584 15.6	4412 19.2	2492 10.9	3531 15.4	4434 19.3	974 4.2	8645 37.7	4692 20.5	8946 39.0	7100 31.0	1664 7.3	6758 29.5	543 2.4	1928 8.4
はい	4095 100.0	1939 47.3	646 15.8	945 23.1	439 10.7	703 17.2	1109 27.1	214 5.2	1850 45.2	1124 27.4	1786 43.6	1157 28.3	246 6.0	1431 34.9	93 2.3	195 4.8
いいえ	18825 100.0	7676 40.8	2938 15.6	3467 18.4	2053 10.9	2828 15.0	3325 17.7	760 4.0	6795 36.1	3568 19.0	7160 38.0	5943 31.6	1418 7.5	5327 28.3	450 2.4	1733 9.2

(6) 業務内容 (主たる業務) 別の現状認識 (業務内容 (主たる業務) × 現状認識)

(主に活動領域・所属組織と現状認識とのクロス集計における結果との差異を分析)
 ・行政分野では健康危機管理・児童福祉・障害福祉・障害者福祉・企画調整・管理業務を主たる業務とする者で多くの項目を選択しているが、業務固有の問題点の指摘という関係性までは見えない。
 ・産業分野では(母集団が少ないが)、多くの業務で選択されている事項として、上司が保健師でない、身分が曖昧、看護師と同じ処遇、保健師としての人事評価。
 ・その他の分野では、外部との連携は多くの業務で選択されている。看護師業務の者の6割が看護師と同じ処遇を、ケアプラン作成や企画調整の者は1人配置のため学ぶ機会がないを、多数が選択。

①行政分野

		Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																	
		分配置により、保健師間の業務の連携・協力ができていない	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の役割の減少)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でない、理解が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で退職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	統括保健師のリーダーシップが発揮できていない	休業者による人員不足、代替確保が困難	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである	所属が違う保健師(連帯)との連携がとれない	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	あてはまるものは一つもない	
0	全体	22920	9615	3584	4412	2492	3531	4434	974	5564	8645	4692	8946	2548	7100	1664	6758	543	1928
2	100.0	42.0	15.6	19.2	10.9	15.4	19.3	4.2	24.2	37.7	20.5	39.0	11.1	31.0	7.3	29.5	2.4	8.4	
0	母子保健	4066	1672	787	939	148	398	721	150	826	1646	757	1901	480	1165	161	1069	58	382
0	100.0	41.1	19.4	23.1	3.6	9.8	17.7	3.7	20.3	40.5	18.6	46.8	11.8	28.7	4.0	26.3	1.4	9.4	
0	健康づくり	1540	700	294	381	108	191	318	55	381	626	359	664	172	495	44	411	21	93
0	100.0	45.5	19.1	24.7	7.0	12.4	20.6	3.6	24.7	40.6	23.3	43.1	11.2	32.1	2.9	26.7	1.4	6.0	
0	生活習慣病予防(がん対策含む)	2333	1052	458	571	120	288	463	70	569	1009	582	1070	244	772	84	647	40	136
0	100.0	45.1	19.6	24.5	5.1	12.3	19.8	3.0	24.4	43.2	24.9	45.9	10.5	33.1	3.6	27.7	1.7	5.8	
0	介護予防	1436	776	234	317	128	206	262	49	316	511	328	504	174	540	67	411	16	81
0	100.0	54.0	16.3	22.1	8.9	14.3	18.2	3.4	22.0	35.6	22.8	35.1	12.1	37.6	4.7	28.6	1.1	5.6	
0	介護保険	801	451	134	162	150	161	131	23	193	276	149	264	91	309	30	237	5	46
0	100.0	56.3	16.7	20.2	18.7	20.1	16.4	2.9	24.1	34.5	18.6	33.0	11.4	38.6	3.7	29.6	0.6	5.7	
0	高齢者保健(虐待対策含む)	329	184	38	53	41	46	69	17	89	126	69	136	29	131	16	103	3	17
0	100.0	55.9	11.6	16.1	12.5	14.0	21.0	5.2	27.1	38.3	21.0	41.3	8.8	39.8	4.9	31.3	0.9	5.2	
0	精神保健	1287	678	232	237	132	183	251	43	336	560	257	502	85	430	16	359	10	71
0	100.0	52.7	18.0	18.4	10.3	14.2	19.5	3.3	26.1	43.5	20.0	39.0	6.6	33.4	1.2	27.9	0.8	5.5	
0	健康危機管理	68	44	8	18	11	11	22	1	21	32	20	22	4	21	3	21	4	5
0	100.0	64.7	11.8	26.5	16.2	16.2	32.4	1.5	30.9	47.1	29.4	29.4	32.4	5.9	30.9	4.4	30.9	5.9	7.4
0	総合相談	231	124	37	45	32	38	49	10	60	79	51	86	33	71	11	66	5	16
0	100.0	53.7	16.0	19.5	13.9	16.5	21.2	4.3	26.0	34.2	22.1	37.2	14.3	30.7	4.8	28.6	2.2	6.9	
1	地区担当	1769	594	320	353	93	139	284	65	339	726	318	900	161	513	39	484	22	164
1	100.0	33.6	18.1	20.0	5.3	7.9	16.1	3.7	19.2	41.0	18.0	50.9	9.1	29.0	2.2	27.4	1.2	9.3	
1	感染症対策	1024	527	120	158	81	140	202	34	262	480	220	387	82	341	15	260	2	78
1	100.0	51.5	11.7	15.4	7.9	13.7	19.7	3.3	25.6	46.9	21.5	37.8	8.0	33.3	1.5	25.4	0.2	7.6	
1	難病	509	240	64	75	40	54	70	16	111	212	101	175	35	170	11	129	1	51
1	100.0	47.2	12.6	14.7	7.9	10.6	13.8	3.1	21.8	41.7	19.8	34.4	6.9	33.4	2.2	25.3	0.2	10.0	
1	児童福祉(虐待対策含む)	260	128	46	70	69	49	54	7	76	85	66	91	31	98	11	88	3	13
1	100.0	49.2	17.7	26.9	26.5	18.8	20.8	2.7	29.2	32.7	25.4	35.0	11.9	37.7	4.2	33.8	1.2	5.0	
1	障害者福祉(障害児・障害者)	295	173	48	50	85	72	69	11	79	106	64	111	37	100	12	103	5	17
1	100.0	58.6	16.3	16.9	28.8	24.4	23.4	3.7	26.8	35.9	21.7	37.6	12.5	33.9	4.1	34.9	1.7	5.8	
1	企画調整(研修・調査含む)	438	269	65	113	79	102	119	36	174	190	140	184	21	136	6	123	7	19
1	100.0	61.4	14.8	25.8	18.0	23.3	27.2	8.2	39.7	43.4	32.0	42.0	4.8	31.1	1.4	28.1	1.6	4.3	
1	管理業務(マネジメント)	1370	741	211	358	107	148	419	72	539	695	413	735	107	397	40	504	20	33
1	100.0	54.1	15.4	26.1	7.8	10.8	30.6	5.3	39.3	50.7	30.1	53.6	7.8	29.0	2.9	36.8	1.5	2.4	
1	その他	760	339	124	154	159	155	179	25	225	254	173	270	74	267	48	210	21	81
1	100.0	44.6	16.3	20.3	20.9	20.4	23.6	3.3	29.6	33.4	22.8	35.5	9.7	35.1	6.3	27.6	2.8	10.7	

②産業分野

		Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																	
全体		分散配置により、保健師間の業務の連携・協力ができなくなった	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の役割・職責・職場環境・市町村格差)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でなく、理解が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で退職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	統括保健師のリーダーシップが発揮できていない	産休や育休による人員不足・代替確保が困難	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである	所属が違う保健師(外部)との連携がとれない	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	あてはまるものは一つもない	
22920	100.0	9615	3584	4412	2492	3531	4434	974	5554	8645	4692	8946	2548	7100	1664	6758	543	1928	
462	100.0	42.0	15.6	19.2	10.9	15.4	19.3	4.2	24.2	37.7	20.5	39.0	11.1	31.0	7.3	29.5	2.4	8.4	
40	100.0	8.7	1.3	1.1	22.1	32.9	15.2	7.1	14.5	22.1	13.4	16.5	16.7	18.4	25.5	46.5	18.4	11.9	55
407	100.0	27	8	14	75	117	53	35	68	92	63	57	98	86	65	161	71	53	53
12	100.0	6.6	2.0	3.4	18.4	28.7	13.0	8.6	16.7	22.6	15.5	14.0	24.1	21.1	16.0	39.6	17.4	13.0	3
12	100.0	0.0	0.0	0.0	3	2	0	1	1	1	3	2	1	0	1	4	1	3	3
42	100.0	3	1	2	6	11	7	3	8	7	5	8	9	9	10	21	4	4	4
4	100.0	7.1	2.4	4.8	14.3	26.2	16.7	7.1	19.0	16.7	11.9	19.0	21.4	21.4	23.8	50.0	9.5	9.5	1
4	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	1
87	100.0	9.2	2.3	1.1	15	32	15	10	16	17	11	9	16	15	11	30	10	20	20
111	100.0	17	2	9	19	39	16	8	32	37	23	17	30	26	20	44	12	14	14
12	100.0	15.3	1.8	8.1	17.1	35.1	14.4	7.2	28.8	33.3	20.7	15.3	27.0	23.4	18.0	39.6	10.8	12.6	2
20	100.0	16.7	8.3	8.3	8.3	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	25.0	50.0	16.7	25.0	33.3	25.0	16.7	2
20	100.0	0.0	0.0	0.0	4	6	4	2	6	3	7	4	2	4	5	14	5	2	2
26	100.0	4	2	2	6	9	3	3	8	5	2	4	6	3	6	13	4	2	2
15	100.0	15.4	7.7	7.7	23.1	34.6	11.5	11.5	30.8	19.2	7.7	15.4	23.1	11.5	23.1	50.0	15.4	7.7	3
15	100.0	6.7	6.7	13.3	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0	20.0	13.3	20.0	20.0	20.0	66.7	20.0	20.0	3
55	100.0	5.5	1.8	0.0	7	11	9	6	22	14	8	11	8	4	13	27	8	4	4
44	100.0	4	0	0.0	9	10	8	6	8	6	3	7	9	6	12	18	8	7	7
5	100.0	0.0	0.0	0.0	1	0	1	0	2	2	0	2	1	0	2	1	1	0	0
37	100.0	8	2	2	4	14	7	3	8	10	4	6	6	8	10	20.0	20.0	0.0	6
21.6	100.0	21.6	5.4	5.4	10.8	37.8	18.9	8.1	21.6	27.0	10.8	16.2	16.2	21.6	27.0	37.8	10.8	16.2	6

③その他の分野

0 2 2 0 0 0 1 : 主たる業務	Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																
	分散配置により、保健師間の業務の連携・協力ができなくなった	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の役割・職責が減少した)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でなく、理解が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で退職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	統括保健師のリーダーシップが発揮できていない	産休や育休による人員不足・代替確保が困難	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである	所属が違う保健師(外部)との連携がとれない	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	あてはまるものは一つもない
全体	22920 100.0	9615 42.0	3584 15.6	4412 19.2	2492 10.9	3531 15.4	4434 19.3	5554 24.2	8645 37.7	4692 20.5	8946 39.0	2548 11.1	7100 31.0	1664 7.3	6758 29.5	543 2.4	1928 8.4
看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)	409	44	25	13	73	103	40	46	56	19	69	26	102	259	139	3	65
介護業務	73	35	13	14	18	12	9	0	21	15	12	8	31	1	13	0	10
生活指導	63	22	6	5	15	11	8	5	13	9	16	8	23	7	14	2	10
保健指導	670	154	54	67	133	156	117	48	184	85	171	107	193	127	211	21	86
健診業務	458	53	31	23	81	131	72	30	119	58	108	56	116	162	179	25	51
退院調整	43	14	10	8	8	14	5	3	11	8	6	1	17	16	19	0	6
ケアプランの作成	251	83	39	26	79	69	37	9	52	26	56	39	104	49	76	5	29
教育	407	130	74	56	80	94	122	31	139	86	128	72	95	63	99	11	90
企画調整(研修・調査含む)	127	55	21	26	37	38	32	6	42	24	31	1	34	16	47	2	11
管理業務(マネジメント)	231	81	23	34	41	44	50	9	88	48	66	35	73	32	68	4	26
営業・広報	5	2	0	0	2	2	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0	1
その他	328	131	42	47	86	68	61	20	73	50	71	43	102	38	89	7	64
	100.0	39.9	12.8	14.3	26.2	20.7	18.6	6.1	22.3	15.2	21.6	13.1	31.1	11.6	27.1	2.1	19.5

(7) 所属組織(8・9・10)別・業務内容(産業:主たる業務)別の現状認識(所属組織(8・9・10)×業務内容(産業:主たる業務)×現状認識)

	Q44: あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。[MA]																		
	全体	分散配置により、保健師間の連携、協力ができなくなった	市町村合併で、労働環境の悪化がみられる(保健師の職種・市町村格差)	市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した	一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)	上司が保健師でなく、理解が得られない	新人の人材育成ができない	3年未満で離職する保健師の増加	次期のリーダーが育っていない	業務増加により職場内研修の確保が困難	結核保健師のリーダーシップが発揮できていない	産休や育休による人員不足・代替確保が困難	正規職員が少なく常勤嘱託など、身分が異なる	所属が違っても保健師としての連携がとれていない	保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である	保健師としての人事評価システムが整備されていない	産業医との関係において、自主的に活動しにくい	あてはまるものはない	
全体(主たる業務のみ)	22920	9615	3584	4412	2492	3531	4434	974	5654	8645	4692	8946	2548	7100	1664	6758	543	1928	
全体	100.0	42.0	15.6	19.2	10.9	15.4	19.3	4.2	24.2	37.7	20.5	39.0	11.1	31.0	7.3	29.5	2.4	8.4	
N N O 8 : 所 属 組 織 (医 療 保 険 者) 企 業 ・ 事 業 所 (健 (検) 診 セ ン タ ー ・ 労 働 衛 生 機 関) 0 2 1 0 0 0 1 : 主 たる 業 務	医療保険者計	253	29	6	10	46	83	33	21	50	44	45	21	72	60	23	96	27	36
	各種健康診断と事後管理	100.0	11.5	2.4	4.0	18.2	32.8	13.0	8.3	19.8	17.4	17.8	8.3	28.5	23.7	9.1	37.9	10.7	14.2
	健康相談保健指導	84	9	2	3	20	30	8	2	14	14	17	8	27	23	7	32	12	10
	健康衛生教育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	健康増進活動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	職場巡視	2	2	0	1	0	0	1	0	1	1	1	2	0	2	1	1	0	0
	生活習慣病対策	34	3	0	0	8	15	5	5	5	7	4	1	10	6	4	14	4	5
	メンタルヘルス対策	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	過重労働対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0
	健康・衛生管理体制の整備と参画	4	0	0	0	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	0	3	0	0
	衛生管理業務の企画立案評価	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
	健康管理活動のマネジメント	7	0	0	0	0	1	0	2	1	1	2	0	2	2	0	3	2	2
	情報提供や資料作成・提供	8	0	0	0	1	3	1	2	3	1	1	0	1	0	2	2	0	1
	経営や労務管理へのアプローチ	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	6	2	0	0	1	2	2	1	2	3	1	0	1	2	0	2	0	1
	企業・事業所計	879	69	14	20	172	282	127	65	170	190	125	139	186	160	215	426	157	106
	企業	100.0	7.8	1.6	2.3	19.6	32.1	14.4	7.4	19.3	21.6	14.2	15.8	21.2	18.2	24.5	48.5	17.9	12.1
	各種健康診断と事後管理	326	27	2	2	76	118	49	18	43	71	45	51	60	59	91	166	63	37
	健康相談保健指導	231	11	2	8	44	68	29	18	38	53	31	35	55	47	47	107	45	25
	健康衛生教育	5	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	1	1	0	0	2	0	1
	健康増進活動	34	2	1	1	4	8	4	2	6	4	5	6	7	6	9	19	4	4
	職場巡視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活習慣病対策	38	4	2	1	4	16	7	3	9	8	5	6	5	5	5	13	5	11
	メンタルヘルス対策	77	8	1	4	13	29	11	7	22	24	14	13	16	16	15	35	10	10
	過重労働対策	9	1	1	1	1	3	1	1	1	0	1	1	5	2	3	4	2	2
	他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	13	0	0	0	3	4	1	2	5	1	4	1	1	4	4	11	5	1
	健康・衛生管理体制の整備と参画	15	1	1	0	3	6	2	2	6	2	1	2	4	0	5	8	3	1
	衛生管理業務の企画立案評価	12	1	0	1	2	1	1	1	1	3	2	2	3	1	2	8	2	3
	健康管理活動のマネジメント	37	1	0	0	6	10	7	2	18	10	5	9	6	1	11	20	5	1
	情報提供や資料作成・提供	30	3	0	0	8	7	5	4	5	2	1	4	6	3	8	14	6	6
	経営や労務管理へのアプローチ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	12	2	0	0	2	7	1	2	3	2	2	2	4	4	6	4	0	0
	健(検)診センター・労働衛生機関計	488	29	11	12	72	141	105	68	109	139	64	107	77	117	155	197	33	61
	健(検)	100.0	5.9	2.3	2.5	14.8	28.9	21.5	13.9	22.3	28.5	13.1	21.9	15.8	24.0	31.8	40.4	6.8	12.5
	各種健康診断と事後管理	45	3	0	1	9	10	10	6	14	7	9	7	5	13	20	6	3	3
	健康相談保健指導	48	1	1	0	5	10	12	8	15	8	7	7	4	6	12	4	9	9
	健康衛生教育	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	健康増進活動	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職場巡視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活習慣病対策	6	0	0	0	1	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	0	1	
メンタルヘルス対策	2	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	2	1	2	1	0	0	
過重労働対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)	3	0	0	0	0	1	2	0	1	2	2	3	0	0	1	1	0	0	
健康・衛生管理体制の整備と参画	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	
衛生管理業務の企画立案評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康管理活動のマネジメント	4	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	
情報提供や資料作成・提供	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	
経営や労務管理へのアプローチ	3	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	1	0	
その他	8	2	1	1	0	3	2	0	3	3	0	1	1	1	4	5	0	1	
全体	100.0	25.0	12.5	12.5	0.0	37.5	25.0	0.0	37.5	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	50.0	62.5	0.0	12.5	

調查項目

保健師の活動基盤に関する基礎調査

質問文と注意書きにしたがって上から順にお答えください。
[*]印のついた質問は必ずお答えください。

■アンケートの回答画面では、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンを使用しないでください。

*【F1】 あなたは保健師として活動している、または活動しようと思っている保健師の方ですね？参加用のパスワードを入力してください。

平成21年8月1日時点の状況で回答願います。以降の設問も同様です。

*【Q1】 あなたは日本看護協会の会員ですか。それとも非会員ですか。

1. 会員
 2. 非会員

*【Q2】 あなたの性別をお答えください。

1. 女性
 2. 男性

*【Q3】 あなたの年齢をお答えください。(半角数字の整数でお答えください)

 歳

*【Q4】 あなたの最終学歴をお答えください。

1. 専門学校(保健師養成機関)
 2. 短大専攻科
 3. 四年制大学
 4. 大学院修士(前期)課程
 5. 大学院博士(後期)課程

*【Q5】 あなたの保健師としての通算経験年数をお教えください。(必ず(1)と(2)の両方を、半角数字の整数でお答えください)

※離職中の場合、離職した時点での通算経験年数を記入願います。

* (1) 年 * (2) カ月

*【Q6】 あなたの勤務地をお答えください。

※休業中の方は、休業扱いとなっている勤務先となっている勤務先の所在地を選択してください。

1. 北海道
 2. 青森県
 3. 岩手県
 4. 宮城県
 18. 富山県
 19. 石川県
 20. 福井県
 21. 岐阜県
 35. 山口県
 36. 徳島県
 37. 香川県
 38. 愛媛県

5. 秋田県
 6. 山形県
 7. 福島県
 8. 茨城県
 9. 栃木県
 10. 群馬県
 11. 埼玉県
 12. 千葉県
 13. 東京都
 14. 神奈川県
 15. 山梨県
 16. 長野県
 17. 新潟県
 22. 静岡県
 23. 愛知県
 24. 三重県
 25. 滋賀県
 26. 京都府
 27. 大阪府
 28. 兵庫県
 29. 奈良県
 30. 和歌山県
 31. 鳥取県
 32. 鳥根県
 33. 岡山県
 34. 広島県

39. 高知県
 40. 福岡県
 41. 佐賀県
 42. 長崎県
 43. 熊本県
 44. 大分県
 45. 宮崎県
 46. 鹿児島県
 47. 沖縄県

48. 離職中・退職中
 49. その他

現在(平成21年8月1日時点)の所属組織についてお答えください。

※休業中の方は、休業扱いとなっている勤務先について選択してください。以降の設問も同様です。

*【Q7】

保健師としての活動領域として、最もあてはまるものを1つお選びください。

1. 行政
 2. 産業
 3. 医療
 4. 福祉
 5. 教育
 6. その他

*【Q8】

所属組織として、最もあてはまるものを1つお選びください。

1. 省庁
 2. 都道府県
 3. 保健所
 4. 保健所設置市
 5. 特別区
 6. 市町村
 7. 地域包括支援センター
 8. 医療保険者
 9. 企業・事業所
 10. 健(検)診センター・労働衛生機関
 11. 病院
 12. 診療所
 13. 訪問看護ステーション
 14. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設
 15. 社会福祉施設
 16. NPO
 17. 教育・研究機関
 18. その他

***【Q9】** 現在の職場での職位に最もあてはまるものを1つお選びください。

- 1. 所長もしくはそれと同等
- 2. 部長もしくはそれと同等
- 3. 課長もしくはそれと同等
- 4. 係長もしくはそれと同等
- 5. 主任もしくはそれと同等
- 6. 係員（スタッフ）
- 7. その他

***【Q10】** あなたは、統括的な立場の保健師ですか。

※統括的な立場の保健師：人材育成や地域全体の健康課題を明確にして活動する観点から、保健衛生部門に技術的に指導調整する統括的な役割をもつ保健師

- 1. はい
- 2. いいえ

平成21年8月1日時点の状況で回答願います。

***【Q11】** 現在の雇用形態についてあてはまるものを1つお選びください。

- 1. 正規職員
- 2. 臨時職員（雇用期間の定めのある人。但し派遣社員を除く）
- 3. 派遣社員
- 4. パート・タイム・アルバイト
- 5. その他

***【Q12】** 現在の勤務形態についてあてはまるものを1つお選びください。

- 1. 日勤のみ（定時間勤務）
- 2. 日勤＋当直あり
- 3. 交代勤務（2交替、3交替）
- 4. 介護休業中
- 5. 産休中・育児休業中
- 6. 上記以外の休暇・休業中
- 7. その他

***【Q13】** 産休・育児休暇の取得予定期間をお答えください。（半角数字の整数でお答えください）

※現在、「産休・育児休暇」を取得している方のみお答えください。

カ月

これまでの転職についてお聞きします。

***【Q14】** あなたは保健師として転職をしたことがありますか。ある方は保健師としての転職回数もお答えください。（他業種や看護師等からの転職も含む）

- 1. 転職したことがある（半角数字の整数でお答えください）
 回
- 2. 一度も転職したことがない

***【Q15】** 保健師として転職された理由をお答えください。

過去数度の転職を経験されている方も、これまでの主な理由を1つだけお答えください。

- 1. 結婚・妊娠・出産・子育て
- 2. 家族の介護や看病
- 3. 物理的環境の変化（転勤、引越）
- 4. 給料・待遇の低さ
- 5. 興味がもてない、やりがいがない
- 6. 自分の適性の不安
- 7. 自分の病気
- 8. 自分の進学
- 9. 職場の人間関係
- 10. 他業種への興味
- 11. 自己のキャリアアップ（知識や技能を身かしたい）
- 12. その他

平成21年8月1日時点の状況で回答願います。

***【Q16】** 現在のあなたの職場構成（あなたが置かれている職場の状況）をお答えください。

- 1. 保健師複数配置の職場
- 2. 保健師1人のみの職場

***【Q17】** 現在の立場での業務上での決定権（決裁の権限）をお答えください。

- 1. あり
- 2. なし

***【Q18】** 現在の立場での人事への関与についてあてはまるものをお答えください。

- 1. 人事に関与できる
- 2. 保健師の人事に関しては関与できる
- 3. 関与できない

***【Q19】** 連絡会議等の有無（定例的な業務連絡や検討会の実施等保健師同士のネットワークの有無）についてあてはまるものをお答えください。

例：管内保健師連絡会等

- 1. 参加している
- 2. 参加していない
- 3. 連絡会議等がない

あなたが行っている実際の業務内容についてお聞きします。
平成21年8月1日時点の状況で回答願います。

***【Q20】** 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。

- * (1) 主たる業務
↓
- 1. 母子保健
- * (2) それに準ずる業務
↓
- 〇

- 2.健康づくり
 - 3.生活習慣病予防(がん対策含む)
 - 4.介護予防
 - 5.介護保険
 - 6.高齢者保健(虐待対策含む)
 - 7.精神保健
 - 8.健康危機管理
 - 9.総合相談
 - 10.地区担当
 - 11.感染症対策
 - 12.難病
 - 13.児童福祉(虐待対策含む)
 - 14.障害者福祉(障害児・障害者)
 - 15.企画調整(研修・調査含む)
 - 16.管理業務(マネジメント)
 - 17.その他
- * (1) 主たる業務
- * (2) それに準ずる業務

***【Q21】** 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。

- 1.各種健康診断と事後管理
 - 2.健康相談保健指導
 - 3.健康衛生教育
 - 4.健康増進活動
 - 5.職場巡視
 - 6.生活習慣病対策
 - 7.メンタルヘルス対策
 - 8.過重労働対策
 - 9.他職種・他部門とのコーディネート(連絡・連携・調整)
 - 10.健康・衛生管理体制の整備と参画
 - 11.衛生管理業務の企画立案評価
 - 12.健康管理活動のマネジメント
 - 13.情報提供や資料作成・提供
 - 14.経営や労務管理へのアプローチ
 - 15.その他
- * (1) 主たる業務
- * (2) それに準ずる業務

***【Q22】** 現在のあなたの業務内容として、以下の項目から(1)主たる業務と、(2)それに準ずる業務をそれぞれお答えください。

- 1.看護師業務(在宅看護・訪問看護含む)
 - 2.介護業務
- * (1) 主たる業務
- * (2) それに準ずる業務

- 3.生活指導
 - 4.保健指導
 - 5.健診業務
 - 6.退院調整
 - 7.ケアプランの作成
 - 8.教育
 - 9.企画調整(研修・調査含む)
 - 10.管理業務(マネジメント)
 - 11.営業・広報
 - 12.その他
- * (1) 主たる業務
- * (2) それに準ずる業務

現在の職場であなたが保健師として受けた研修についてお聞きます。

- *【Q23】** 新任研修は受けましたか。
- 1.受けた
 - 2.機会はあったが受けなかった
 - 3.機会がなかった
 - 4.受ける立場にない

- *【Q24】** プリセプター(指導保健師)による指導は受けましたか。
- 1.受けた
 - 2.機会はあったが受けなかった
 - 3.機会がなかった
 - 4.受ける立場にない

- *【Q25】** 中堅研修は受けましたか。
- 1.受けた
 - 2.機会はあったが受けなかった
 - 3.機会がなかった
 - 4.受ける立場にない

- *【Q26】** 管理者研修は受けましたか。
- 1.受けた
 - 2.機会はあったが受けなかった
 - 3.機会がなかった
 - 4.受ける立場にない

- *【Q27】** 長期研修は受けましたか。
- 1.受けた
 - 2.機会はあったが受けなかった
 - 3.機会がなかった
 - 4.受ける立場にない

- *【Q28】** 過去1年間に課題研修は受けましたか。

- 1. 受けた
- 2. 機会はあったが受けなかった
- 3. 機会がなかった

※【Q29】 過去1年間に自主勉強会(組織内、組織外を問わず自主的な勉強会)へ参加していますか。

- 1. 参加している
- 2. 参加していない
- 3. 勉強会はない

※【Q30】 過去1年間に学会へ参加していますか。

- 1. 参加している
- 2. 参加していない

※【Q31】 過去1年間の保健師学生の実習指導の受け入れ状況に関わっていますか。

- 1. 関わっている
- 2. 関わっていない
- 3. 実習を受け入れていない
- 4. その他(実習を依頼する側含む)

※【Q32】 過去1年間にあなた自身のスーパーバイザー(業務上の相談をする人)がいますか。

- 1. いる
- 2. いない

過去1年間の超過勤務の状況についてお聞きます。

※【Q33】 超過勤務(業務の持ち帰りや残業)はありますか。

- 1. 常にあり
- 2. 週に半分程度
- 3. 月に数回
- 4. 特定の時期に集中してあり
- 5. ほとんどなし
- 6. 全くなし

※【Q34】 超過勤務に対する手当はありますか。

- 1. 全額支給
- 2. 一部支給
- 3. 支給なし

過去1年間の休日の取得についてお聞きます。

※【Q35】 休日(所定休日)は月平均で何日程度でしたか。(半角数字の整数でお答えください)

※有給休暇および夏季等定期休暇は除く
※過去1年間の実際の取得日数でお答えください

月平均 日程度

※【Q36】 休日出勤をすることはありますか。

- 1. 常にあり
- 2. 一定程度(月1回程度)あり
- 3. 特定の時期に集中してあり
- 4. 若干あり(数か月に1回まで)
- 5. ほとんど無し
- 6. 全く無し

※【Q37】 平成20年度の有給休暇取得実績をお教えてください。(半角数字の整数でお答えください)

昨年度 日

※【Q38】 過去1年間の早出・遅出出勤の頻度についてお答えください。

- 1. 常にあり
- 2. 一定程度(週に半分程度)あり
- 3. 特定の時期に集中してあり
- 4. 若干あり(月に数回まで)
- 5. ほとんど無し
- 6. 全く無し

※【Q39】 過去1年間にオンコール対応はありましたか。

※オンコール：待機当番。夜間、休日に電話が常につながるように待機している事

- 1. あり
- 2. なし

過去1年間の半年以上の休業・休暇についてお聞きます。

※【Q40】 取得した経験のあるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 1. 産休・育児休暇
- 2. 介護のための休暇
- 3. 病気
- 4. 海外でのボランティア活動(青年海外協力隊等)
- 5. 研修
- 6. 勉強・修学
- 7. その他
- 8. 取得なし

【Q41】【Q42】は、Q40の過去1年間の半年以上の休業・休暇の質問で、「取得なし」以外をお選びの方に伺います。

※【Q41】 休業・休暇中の賞金の支給はありましたか。

- 1. 全額支給
- 2. 一部支給
- 3. 支給なし

※【Q42】 休業・休暇中の代替要員はありましたか。

- 1. あり

2.なし

***【Q43】** 現在の職場で社会保険は完備されていますか。(年金・医療保険等)

- 1.完備
 2.完備されていない
 3.不明

***【Q44】** あなた自身が認識している現状の課題・問題について当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 1.分散配置により、保健師間での業務の連携・協力ができなくなった
 2.市町村合併で、労働環境・雇用環境の悪化がみられる(保健師の役割・職場環境・市町村格差)
 3.市町村合併や予算削減で、研修の機会が減少した
 4.一人配置のため、先輩からの指導が受けられない(学ぶ場が無い)
 5.上司が保健師でなく、理解が得られない
 6.新人の人材育成ができない
 7.3年未満で離職する保健師の増加
 8.次期のリーダーが育っていない
 9.業務増加により職場内研修の確保が困難
 10.統括保健師のリーダーシップが発揮できていない
 11.産休や育休による人員不足・代替確保が困難
 12.正規職員が少なく常勤嘱託など、身分があいまいである
 13.所属が違う保健師(外部)との連携がとれていない
 14.保健師・看護師の区別がされず、同じ処遇である
 15.保健師としての人事評価システムが整備されていない
 16.産業医との関係において、自主的に活動しにくい
 17.あてはまるものは一つもない

これで最後の設問になります。

***【Q45】** この調査を知った主な媒体を1つお選びください。

※あてはまる媒体が複数ある場合は、初めて知った媒体をお選びください。

- 1.職場への通知
 2.ハガキ
 3.チラシ
 4.会議等でのアナウンス
 5.口コミ・保健師からの伝達
 6.協会ニュース
 7.都道府県看護協会保健師職能委員会からの伝達
 8.日本看護協会ホームページ
 9.雑誌や新聞
 10.その他

[次へ進む]ボタンを押した後、画面上部にエラーメッセージが赤字で表示された場合は、メッセージにしたがって回答を修正してから[次へ進む]ボタンを押してください。

事業推進体制

平成 21 年度先駆的保健活動交流推進事業
「保健師の活動基盤に関わる調査検討委員会」開催状況

委員会	日時	内容
第一回	平成 21 年 6 月 23 日 (火) 15 : 00 ~ 17 : 00	1.基礎調査の実施方法や内容についての検討
第二回	平成 21 年 11 月 17 日 (火) 15 : 00 ~ 17 : 00	1.分析の方向性についての検討 2.調査方法等についての検討 (次年度への課題)
第三回	平成 22 年 1 月 18 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 30	1.分析結果の検討 2.報告書について

平成 21 年度先駆的保健活動交流推進事業委員会名簿

「保健師の活動基盤に関わる調査検討委員会」

委員長	曾根智史	国立保健医療科学院公衆衛生政策部 部長
委員	五十嵐千代	富士電機リテイルシステムズ株式会社健康管理室 副室長
委員	臺有桂	横浜市立大学医学部看護学科地域看護学領域 准教授
委員	土屋厚子	静岡県厚生部医療健康局健康増進室 主幹
委員	波川京子	札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授 (北海道看護協会 保健師職能委員長)
委員	東史人	株式会社富士通総研 第一コンサルティング本部 公共コンサルティング事業部 シニアコンサルタント
委員	堀井とよみ	公立大学法人 滋賀県立大学人間看護学部 教授 (日本看護協会 保健師職能理事)

(50 音順、敬称略)

オブザーバー	武村真治	国立保健医療科学院公衆衛生政策部 地域保健システム室長
オブザーバー	勝又浜子	厚生労働省健康局総務課保健指導室 室長
オブザーバー	藤井誠	厚生労働省健康局総務課保健指導室 主査

担当理事 井伊久美子
担当部署 事業開発部

部長 坪倉繁美
チーフマネージャー 藤井広美
橋本結花
津村京子

平成 21 年度 先駆的保健活動交流推進事業
保健師の活動基盤に関する基礎調査報告書

発行日 2010 年 3 月 31 日
編集 社団法人 日本看護協会 事業開発部
発行 社団法人 日本看護協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
TEL 03-5778-8831 (代表)
FAX 03-5778-5601 (代表)
URL <http://www.nurse.or.jp>

※本書からの無断転載を禁ずる